

邑楽町国民健康保険 ポテンシャル分析

令和6年7月
株式会社データホライゾン

第1章 医療費分析及び提案の骨子		
1. 取り組みの背景		5
2. 具体的な取り組みが必要な医療費適正化事業・保健事業		6
(1) 特定保健指導事業		6
(2) 健診異常値放置者受診勧奨事業		6
(3) 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業		6
(4) 糖尿病性腎症重症化予防事業		7
(5) 高血圧重症化予防事業		7
(6) 脳梗塞の発症予防・再発予防事業		7
(7) メンタル疾患の発症予防事業		8
(8) 受診行動適正化指導事業		8
(9) ジェネリック医薬品差額通知事業		8
(10) COPD早期発見を目的とする啓発事業		9
(11) 薬剤併用禁忌防止事業		9
(12) 服薬情報通知事業		9
(13) ロコモティブシンドローム対策事業		9
3. 医療費等統計の分析結果まとめ		10
4. 分析方法		13
第2章 医療費等分析及び医療費適正化事業・保健事業に向けて		
1. 特定保健指導事業		15
(1) 指導対象者のグループ化		15
(2) 特定保健指導対象者集団の特定		16
(3) 指導実施方法		17
(4) 成果の確認方法		17
2. 健診異常値放置者受診勧奨事業		18
(1) 受診勧奨対象者のグループ化		18
(2) 健診異常値放置者集団の特定		19
(3) 受診勧奨実施方法		21
(4) 成果の確認方法		21
3. 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業		22
(1) 受診勧奨対象者のグループ化		22
(2) 生活習慣病治療中断者集団の特定		23
(3) 受診勧奨実施方法		25
(4) 成果の確認方法		25
4. 糖尿病性腎症重症化予防事業		26
(1) 人工透析患者の実態		26
(2) 指導対象者集団の特定		29
(3) 適切な指導実施方法の確立		33
(4) 成果の確認方法		33
5. 高血圧重症化予防事業		34
(1) レセプト及び健康診査データによる高血圧症に係る分析		34
① 高血圧症及び関連疾病の医療費等分析		34

②健康診査データによる高血圧該当状況分析	36
(2) 指導対象者集団の特定	38
(3) 適切な指導実施方法の確立	42
(4) 成果の確認方法	42
6. 脳梗塞の発症予防・再発予防事業	43
(1) 脳卒中・心筋梗塞の疾病別医療費及び患者数	43
(2) 脳梗塞の発症予防・再発予防対象者集団の特定	44
(3) 適切な指導実施方法の確立	45
(4) 成果の確認方法	45
7. メンタル疾患の発症予防事業	46
(1) 医療費全体におけるメンタル疾患の割合	46
(2) 年齢階層別の医療費と有病率	47
(3) 適切な対策実施方法の確立	47
8. 受診行動適正化指導事業	48
(1) 多受診(重複受診・頻回受診・重複服薬)患者数とその傾向	48
(2) 指導対象者集団の特定	51
(3) 適切な指導実施方法の確立	53
(4) 成果の確認方法	53
9. ジェネリック医薬品差額通知事業	54
(1) ジェネリック医薬品への切り替えポテンシャル	54
(2) ジェネリック医薬品差額通知事業の実施方法と成果の確認方法	56
10. COPD早期発見を目的とする啓発事業	57
(1) COPDの認知度及びCOPD患者の実態	57
(2) COPD患者の医療費と医療機関の現状	58
(3) 早期発見に向けた啓発事業	60
(4) 成果の確認方法	60
11. 薬剤併用禁忌の防止に向けて	61
(1) 薬剤併用禁忌分析	61
(2) 活用方法	62
12. 服薬情報通知事業	63
(1) 服薬に係る分析	63
(2) 服薬情報通知事業の実施方法と成果の確認方法	65
13. ロコモティブシンドローム対策事業	66
(1) ロコモティブシンドロームの現状	66
(2) ロコモティブシンドロームの原因疾患と患者の実態	67
(3) 適切な指導実施方法の確立	68
(4) 成果の確認方法	68
第3章 保健事業の費用対効果	
1. 糖尿病性腎症重症化予防事業	69
2. 受診行動適正化指導事業	71
第4章 医療費等統計	
1. 基礎統計	73

2. 高額レセプトの件数及び医療費	78
(1) 高額レセプトの件数及び割合	78
(2) 高額レセプトの年齢階層別統計	79
(3) 高額レセプト発生患者の疾病傾向	81
3. 大分類による疾病別医療費統計	83
(1) 邑楽町国民健康保険全体	83
(2) 入院・入院外比較	85
(3) 男性・女性比較	86
(4) 年齢階層別比較	87
(5) 地区比較	96
4. 中分類による疾病別医療費統計	108
(1) 邑楽町国民健康保険全体	108
(2) 地区比較	115
5. 生活習慣病に係る医療費等の状況	127
(1) 生活習慣病と生活習慣病以外の医療費と患者数	127
(2) 生活習慣病疾病別医療費等の状況	130
6. ジェネリック医薬品普及率	132
(1) ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)	132
(2) ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)	133
(3) 年齢階層別普及率	134
7. 特定健康診査結果分析	135
(1) 有所見者割合	135
(2) 質問別回答状況	136
8. 健康診査データによるメタボリックシンドローム該当状況	137
9. 健康診査データによるCKD重症度分類	138
10. 健康診査データによる糖尿病診断	139
11. 生活習慣病患者の健康診査受診状況別罹患状況と医療費	140
12. 特定健診の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況	141
13. 特定保健指導対象者・非対象者の生活習慣病医療費比較	142
14. 骨折予防・骨粗鬆症重症化予防に係る分析	143
(1) 骨折及び骨粗鬆症医療費の状況	143
(2) 骨粗鬆症患者の治療継続状況	148
その他(参考資料)	
大分類要素別集計	149
巻末資料	
1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方	168
2. 疾病分類表(2013年版)	169

第1章 医療費分析及び提案の骨子

1. 取り組みの背景

医療保険者は、レセプトや健診等のデータ分析に基づき、被保険者の健康保持増進のためPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業を実施することが求められている。

近年、レセプトの電子化や国保データベース(KDB)システムの整備により、医療保険者が健康・医療情報を活用して被保険者の健康課題の分析、保健事業の評価等を行うための基盤整備が進んでいる。これらの俯瞰的な分析に加え、細部を観察し事業に直結する分析をする必要がある。

具体的には、特定健診受診率の向上や糖尿病性腎症重症化予防の推進等に向けて、被保険者の個々の状況に応じた対策や対応が求められる。

本分析は事業毎に対象範囲や人数等を明確にし、事業を迅速に支援することを目的としている。また本分析は特許である医療費分解技術等を用いている。

■データ分析期間

- ・入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト
単年分析
令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)
- ・健康診査データ
単年分析
令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)

2. 具体的な取り組みが必要な医療費適正化事業・保健事業

(1) 特定保健指導事業…健康診査結果より、特定保健指導の対象者と特定された人を対象に指導を行う。

現状	必要な対策とその効果
<ul style="list-style-type: none"> ● 特定健診受診者数 2,154人 ● 特定保健指導対象者 232人 積極的支援の対象者は55人 動機付け支援の対象者は177人 	<ul style="list-style-type: none"> ● 特定保健指導 <p>厚生労働省のガイドラインに沿って、指導を実施する。</p>

(2) 健診異常値放置者受診勧奨事業…健康診査結果より、医療機関への受診が必要と思われる対象者を特定し、対象者が医療機関への受診を行っていない場合、適切な検査・治療を促し重症化予防を図る。

現状	必要な対策とその効果
<ul style="list-style-type: none"> ● 異常値放置者は376人 このうち、効率の良い候補者は280人 	<ul style="list-style-type: none"> ● 異常値放置者への医療機関受診勧奨 <p>健康診査検査値の推移並びに糖尿病や脳血管疾患の今後の発症予測を記載した医療機関受診勧奨通知を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 効果実績は平均10%であり、対象者のうち28人の医療機関受診が見込める。 <p>※効果実績…データ分析会社の実績から算出。</p>

(3) 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業…生活習慣病の治療を行っていたにもかかわらず、現在治療を中断している患者に対し、医療機関への受診を促し、重症化の予防を図る。

現状	必要な対策とその効果
<ul style="list-style-type: none"> ● 治療中断者 25人 このうち、効率の良い候補者は25人 <p>※過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を治療中断者とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 治療中断者への医療機関受診勧奨 <p>治療を中断することによる重篤な疾患の発症リスクを説明し、医療機関への受診を促す通知を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 効果実績は平均15%であり、対象者のうち4人の医療機関受診が見込める。 <p>※効果実績…データ分析会社の実績から算出。</p>

(4) 糖尿病性腎症重症化予防事業…糖尿病の重症化を防ぐことで患者のQOLを維持するとともに、新規人工透析患者を抑制し、高額な医療費の発生を防ぐ。

現状	必要な対策とその効果						
<p>●人工透析患者26人のうち、生活習慣を起因とする糖尿病から悪化し透析に至った患者は16人であった。</p> <p>一人当たりの医療費は約512万円/12カ月間</p> <p>●腎症の治療が確認できる患者は260人</p> <p>このうち、重症化予防に適した病期で指導が効果的な患者(※)は91人</p> <p>※糖尿病起因以外の腎臓病患者や生活習慣起因以外の糖尿病患者を除き、更に指導効果の高い患者に絞り込む。</p>	<p>●糖尿病性腎症の重症化予防指導事業</p> <p>・指導実施対象者：9人(指導同意率10%考慮) ・指導実施完了者：8人(脱落・指導中止者10%考慮)</p> <p>透析移行阻止率別の10年間の医療費予想は、</p> <table> <tr> <td>0%阻止</td> <td>約5,982万円</td> </tr> <tr> <td>75%阻止</td> <td>約2,935万円</td> </tr> <tr> <td>94%阻止</td> <td>約2,391万円</td> </tr> </table> <p>●透析移行を75%阻止した場合、10年間で約3,047万円削減が期待できる。(5,982万円-2,935万円=3,047万円)</p>	0%阻止	約5,982万円	75%阻止	約2,935万円	94%阻止	約2,391万円
0%阻止	約5,982万円						
75%阻止	約2,935万円						
94%阻止	約2,391万円						

(5) 高血圧重症化予防事業…血圧を良好にコントロールすることで、高血圧による脳心血管病及び腎疾患等の発症・再発の抑制及び重症化予防を図る。

現状	必要な対策とその効果
<p>●高血圧症医療費患者数 9,020万円 2,211人</p> <p>●特定健診受診者のうち、高血圧該当者 684人</p> <p>●指導候補者1,716人 このうち、効率のよい候補者は980人 ・うち、二次予防(※) 700人 ・うち、三次予防(※) 280人</p> <p>※二次予防…高血圧症及び関連疾病(脳心血管病及び腎疾患等)の発症予防対象者 ※三次予防…高血圧症及び関連疾病(脳心血管病及び腎疾患等)の重症化予防、再発予防対象者</p>	<p>●高血圧による脳心血管病及び腎疾患等の発症や重症化リスクを持つ対象者に対して、高血圧のリスクを説明し、服薬管理、食事療法等の保健指導を実施する。</p>

(6) 脳梗塞の発症予防・再発予防事業…脳梗塞の発症・再発を防ぐことで、疾患によるまひ等のQOLの低下、死亡の抑制、医療費の削減を図る。

現状	必要な対策とその効果
<p>●脳梗塞医療費患者数 約2,010万円 259人</p> <p>受診勧奨候補者 12人 発症予防候補者 11人 再発予防候補者 173人</p> <p>●脳内出血医療費患者数 約202万円 64人</p> <p>●くも膜下出血医療費患者数 約14万円 9人</p>	<p>●脳梗塞の発症予防・再発予防事業</p> <p>●脳梗塞を発症したにもかかわらず、定期的な医療機関受診を行っていない候補者に対する受診勧奨通知を行う。</p>

(7)メンタル疾患の発症予防事業…メンタル疾患の発症状況を把握し、さらなる発症者を防ぐ。

現状	必要な対策とその効果
メンタル疾患として定義した疾患の医療費。	<p>●メンタル疾患発症率の高い地域を特定し、原因を想定した上で対策を実施する。</p> <p>※不眠症、アルコール使用障害は、気分障害(うつ病等)の発症と関連が深いと考えられる。</p>
●気分障害(うつ病等) 約3,415万円	
●神経症、ストレス関連等 約1,195万円	
●不眠症 約2,897万円	
●アルコール使用障害 約12万円	

(8)受診行動適正化指導事業…受診回数が多すぎると思われる患者に指導を行い、医療費適正化を図る。

現状	必要な対策とその効果
●重複受診者 (同一疾患で複数の医療機関に受診している対象者) 36人	<p>●重複受診、頻回受診、重複服薬と思われる患者に対して指導を実施する。</p> <p>・必要な医療の可能性がある場合は除外 ・効果、効率を重視した対象群を特定</p> <p>・受診行動適正化指導が効果的な候補者 8人</p> <p>●行動変容率と「一人当たりひと月分の削減医療費」を用いて試算すると、全体で年間約20万円の医療費削減効果となる。</p>
●頻回受診者 (医療機関の受診回数が多すぎると思われる対象者) 49人	
●重複服薬対象者 (同一薬の処方が同一月に複数ある対象者) 79人	
実人数 156人	
除外対象を除いた人数 43人	

(9)ジェネリック医薬品差額通知事業…ジェネリック医薬品の普及率を上げるとともに、医療費の削減を図る。

現状	必要な対策とその効果
●ジェネリック医薬品普及率 79.6%(数量ベース)	<p>●ジェネリック医薬品の普及促進</p> <p>個人宛のジェネリック医薬品促進通知書を本人自己負担額の軽減効果額が高い被保険者から順に通知する。 ジェネリック医薬品に切り替えた場合の削減可能額も記載する。</p> <p>●ジェネリック医薬品への切り替えにより削減できるポテンシャルは約1,070万円/12カ月間</p>

(10) COPD早期発見を目的とする啓発事業…COPD早期発見のため、ハイリスク者へ医療機関受診を促す。

現状	必要な対策とその効果
<ul style="list-style-type: none"> ●COPD投薬治療患者 51人 ●潜在患者数 1,020人 	<ul style="list-style-type: none"> ●COPDを発症している可能性のある対象者、将来発症する可能性の高い対象者に対し、啓発につながるリーフレット、医療機関での検査を勧める内容の通知を行う。

(11) 薬剤併用禁忌防止事業…複数の医療機関または保険薬局で処方された薬剤の併用禁忌発生件数を削減する。

現状	必要な対策とその効果
<ul style="list-style-type: none"> ●薬剤併用禁忌発生件数 278件 ●薬剤併用禁忌対象者 84人 	<ul style="list-style-type: none"> ●医療機関に対し、処方状況の情報提供を行う。 <p>一人の患者に対し複数の医療機関で医薬品を処方された場合、その実態を医療機関側が全て把握するのは困難である。一人の患者の全てのレセプトが集まる保険者だからこそ把握できる情報といえる。保険者が医療機関・薬局へ情報提供することで、薬害防止に努める。</p>

(12) 服薬情報通知事業…多剤服薬等が発生している者に、適切な服薬を促す。

現状	必要な対策とその効果
<ul style="list-style-type: none"> ●長期服薬者数 718人 ●多剤服薬者数全体 351人 	<ul style="list-style-type: none"> ●多剤服薬等が発生している者を特定し、服薬状況を記載した通知書を送付する。 <p>薬剤の多剤服薬は、副作用が起こりやすく様々なリスクが伴う可能性がある。服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、対象となる患者を特定し、通知書を送付する。</p>

(13) ロコモティブシンドローム対策事業…対象者へロコモティブシンドロームについて周知し、運動機能向上のための施策を実施して発症を防ぐ。

現状	必要な対策とその効果
<ul style="list-style-type: none"> ●ロコモティブシンドローム原因疾患患者 1,200人 	<ul style="list-style-type: none"> ●対象者にロコモティブシンドロームについて周知し、運動機能改善を促す。 <p>ロコモティブシンドローム原因疾患患者に対し、ロコモティブシンドロームになる可能性のあることを周知し、運動機能測定会を実施する。対象者が自宅にてロコモティブシンドローム対策の運動を実施するように促す。</p>

3. 医療費等統計の分析結果まとめ

レセプトデータ及び健康診査データから算出した医療費等統計の主要な分析結果を示す。

【基礎統計】

医療費	2,011,677,110円
-----	----------------

【高額(5万点以上)レセプト分析】

高額レセプト件数	713件
高額レセプト件数割合	0.78%
高額レセプト医療費割合	35.3%

【大分類による疾病別医療費統計】

医療費が高額な疾病		医療費	構成比
1位	新生物<腫瘍>	403,313,972円	20.1%
2位	循環器系の疾患	247,730,494円	12.3%
3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	197,703,979円	9.8%

患者数が多い疾病		患者数
1位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	2,903人
2位	循環器系の疾患	2,831人
3位	呼吸器系の疾患	2,738人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	新生物<腫瘍>	266,038円
2位	精神及び行動の障害	152,630円
3位	分類外	148,650円

【中分類による疾病別医療費統計】

医療費が高額な疾病		医療費	構成比
1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	183,008,262円	9.1%
2位	糖尿病	122,289,656円	6.1%
3位	腎不全	104,869,987円	5.2%

患者数が多い疾病		患者数
1位	高血圧性疾患	2,217人
2位	糖尿病	2,080人
3位	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,777人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	白血病	558,087円
2位	腎不全	529,646円
3位	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	505,360円

【生活習慣病医療費の状況】

生活習慣病医療費	425,635,835円
----------	--------------

【特定健康診査結果分析】

有所見者割合が高い検査項目		有所見者割合
1位	HbA1c (NGSP)	59.3%
2位	LDLコレステロール	50.7%
3位	収縮期血圧	47.5%

メタボリックシンドローム該当状況		該当割合
基準該当		23.6%
予備群該当		10.7%

【骨折予防・骨粗鬆症重症化予防事業に係る分析】

	男女合計	男性	女性
骨折医療費	42,194,456円	18,691,603円	23,502,853円
骨折患者数	215人	78人	137人
患者一人当たりの骨折医療費	196,253円	239,636円	171,554円

	男女合計	男性	女性
骨粗鬆症患者数	551人	71人	480人
骨粗鬆症治療薬服用中患者数	425人	44人	381人
骨粗鬆症治療中断患者数	21人	9人	12人
治療薬服用中患者に占める 治療中断患者割合	4.9%	20.5%	3.1%

4. 分析方法

邑楽町国民健康保険におけるレセプト及び健康診査データを用いてデータベースを作成し、分析する。データベースの作成方法及び分析方法は、株式会社データホライゾンの特許技術及び独自技術を用いる。

●医療費分解技術(特許第4312757号)

レセプトに記載された全ての傷病名と診療行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出する。

レセプトは傷病名毎に点数が振り分けられておらず、通常の統計資料は主傷病名で点数集計されており、また、治療中の傷病と治療済の傷病が併記されている。そのまま分析に使用すると「主傷病以外の傷病の医療費がゼロとなり、傷病名毎の医療費が正確には把握できない」「現在治療中の疾病が把握できない」等の問題がある。医療費分解技術を用いることで、これらの問題を解決し、疾病別に係る医療費を正確に把握できる。

●未コード化傷病名のコード化

傷病名マスターに収載されていない病名は、未コード化傷病名として扱われるが、その場合、集計対象外となる。この問題を解決するため、株式会社データホライゾン独自の辞書情報と突合検索処理を行い、可能な限りコード化を行うことで、集計漏れを極力減らす。

医科レセプト

傷病名	(1) 本態性高血圧(主)	調剤レセプト	No.	医薬品名・規格・用量・剤形・用法	単位	薬剤科点	薬剤数量
	(2) 狭心症						
	(3) うつ病						
	(4) 高コレステロール血症						
	(5) 2型糖尿病						
	(6) 急性上気道炎						
	(7) アレルギー性鼻炎						
12 再診							
13 時外							
60 糖Hb							
80 尿生							
決定点数						2,688	

①未コード化傷病名のコード化

未コード化傷病名を株式会社データホライゾン独自の辞書情報と突合検索処理しコード化する。

医科レセプトの記載		コード化	
(1)	本態性高血圧(主)	未コード化傷病名 ⇒ 8840107	本態性高血圧症
(2)	狭心症	4139007	狭心症
(3)	うつ病	2961003	うつ病
(4)	高コレステロール血症	2720004	高コレステロール血症
(5)	2型糖尿病	2500015	2型糖尿病
(6)	急性上気道炎	4659007	急性上気道炎
(7)	アレルギー性鼻炎	4779004	アレルギー性鼻炎

②医療費分解後グルーピング

レセプトに記載された全傷病名に対し、適応のある医薬品や診療行為を関連付け、医療費を分解後、傷病毎にグルーピングする。

医科レセプトの記載		薬品	検査	診療行為	合計点数
(1)	本態性高血圧症(主)	184.3	25.2	266.5	476.0
(2)	狭心症	963.6	4.7	61.0	1,029.3
(3)	うつ病	63.7	0.3	11.0	75.0
(4)	高コレステロール血症	858.1	4.1	57.2	919.4
(5)	2型糖尿病	618.3	356.7	61.3	1,036.3
(6)	急性上気道炎	0.0	0.0	0.0	0.0
(7)	アレルギー性鼻炎	0.0	0.0	0.0	0.0
合計					3,536.0

●傷病管理システム(特許第5203481号)

レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定する。

例えば糖尿病の重症度を判定することで、将来の重症化予測や特定した対象患者の病期に合わせた的確な指導を行うことが可能となる。株式会社データホライズンにおいて開発した傷病管理システムを用いて、糖尿病患者を階層化し特定する。

●レセプト分析システムおよび分析方法(特許第5992234号)

中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別する。

レセプトに記載されている傷病名は、追記式のため、過去から現在までの傷病名が記載されており、そのうち、約4割が現在治療中でない傷病名といわれている。重症化予防や受診勧奨等、個別の保健事業の実施に当たっては、現在治療中の傷病名のみを取り出し、該当者を抽出する必要がある。前述の「医療費分解技術」では、当月の傷病名別にどのような医薬品や診療行為が使用されたのかは把握できた。しかし、傷病の種類によっては、中長期にわたる投薬や診療がなされるため、必ずしもその傷病名がアクティブかノンアクティブかを識別することが困難だったが、当特許技術で解決した。

●服薬情報提供装置、服薬情報提供方法、およびコンピュータプログラム (特許第6409113号)

多剤併用による薬物有害事象(ポリファーマシー)が大きな社会問題となるなか、お薬手帳が実現できなかつた患者の全服薬情報を一元的に管理することが求められている。本特許を活用することで、今まで実現できなかつた、医科・調剤レセプトから取得した患者毎の全服薬情報を一元的に把握し、患者本人への啓発を促し、かかりつけ医やかかりつけ薬剤師への服薬情報提供を通してポリファーマシー解消のための服薬指導を支援することが可能となる。

●マスタの整備

マスタ(傷病名、医薬品、診療行為等レセプトに記載される全てを網羅したデータベース)を定期的にメンテナンスし最新状態に保つ。

1. 特定保健指導事業

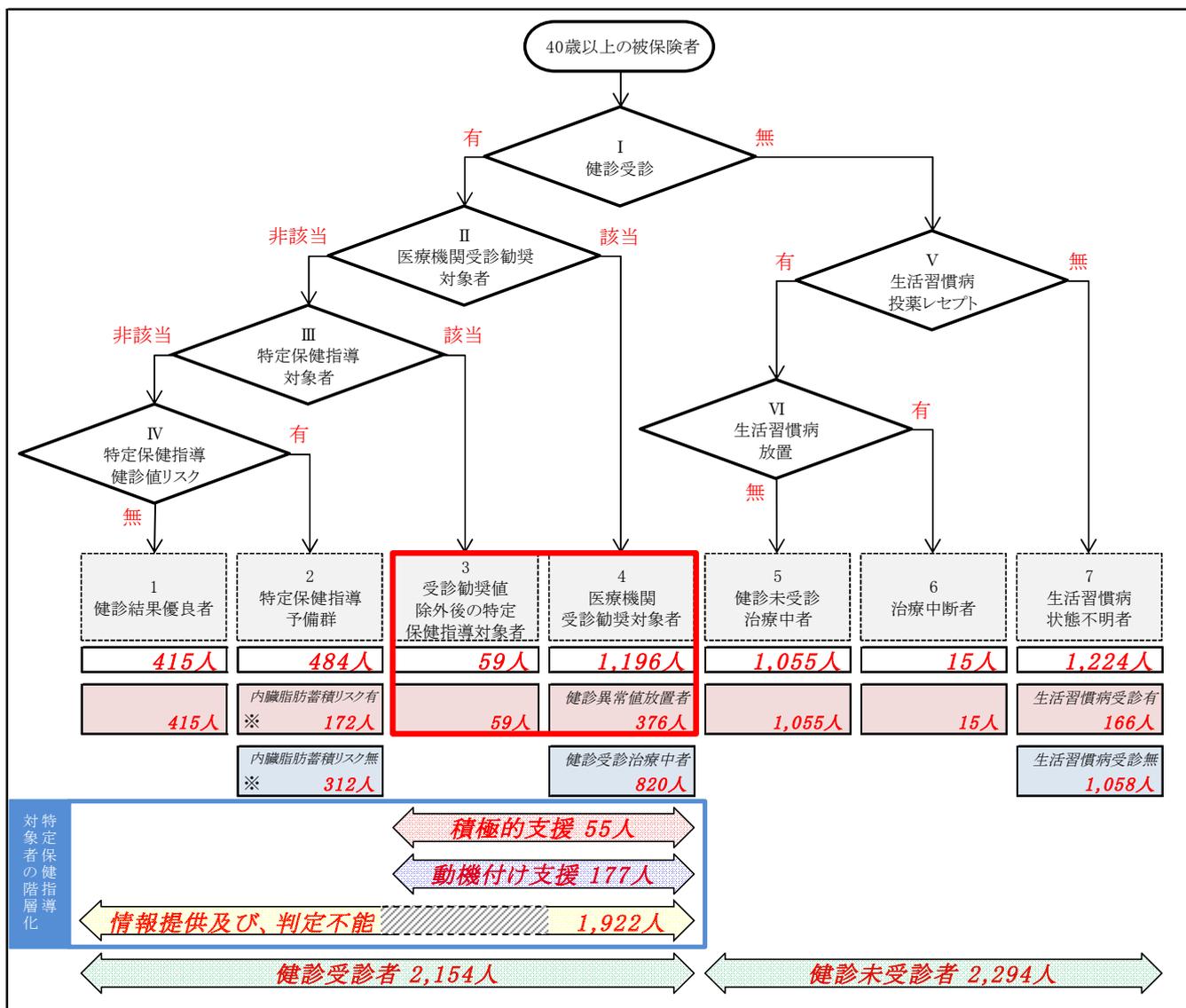
特定保健指導の対象者は、被保険者個々の診療実態をレセプトにより見極める必要がある。ここでは健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行い、「指導対象者のグループ化」「対象者集団の特定」「指導実施方法」「成果の確認方法」を明確にする。

(1) 指導対象者のグループ化

健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類する。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループである。

健康診査及びレセプトによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

各フローの詳細については巻末資料「指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。

※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 特定保健指導対象者集団の特定

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されている。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けている。

前項の分析にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は232人である。このうち、積極的支援の対象者は55人、動機付け支援の対象者は177人である。

生活習慣病は、バランスの取れた食生活、適度な運動習慣を身に付けることにより予防可能な疾患である。特定保健指導の対象者に効果的な指導を実施することで、生活習慣病への移行を防ぐことを目指す。

特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者	
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			232人	
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	4人	55人 24%
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	9人	
	●	●	●	●		血糖+血圧+喫煙	0人	
	●	●	●	●		血糖+脂質+喫煙	2人	
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	0人	
	●	●	●		因子数2	血糖+血圧	9人	
	●	●	●			血糖+脂質	7人	
		●	●			血圧+脂質	9人	
	●		●	●		血糖+喫煙	4人	
		●		●	因子数1	血圧+喫煙	2人	
			●	●		脂質+喫煙	8人	
	●					血糖	1人	
		●			因子数0	血圧	0人	
		●		脂質		0人		
			●	喫煙		0人		
				因子数0	なし	0人		
動機付け支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	8人	177人 76%
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	22人	
	●	●	●	●		血糖+血圧+喫煙	7人	
	●	●	●	●		血糖+脂質+喫煙	3人	
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	4人	
	●	●	●		因子数2	血糖+血圧	27人	
	●	●	●			血糖+脂質	7人	
		●	●			血圧+脂質	10人	
	●		●	●		血糖+喫煙	2人	
		●		●	因子数1	血圧+喫煙	2人	
			●	●		脂質+喫煙	1人	
	●					血糖	27人	
		●			因子数0	血圧	36人	
		●		脂質		18人		
			●	喫煙		0人		
				因子数0	なし	3人		

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合がある。また、医師の判断等により、リスク因子数が0であっても特定保健指導対象者に分類される場合がある。

リスク判定の詳細は以下のとおりとする。

- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c(NGSP)5.6%以上
(空腹時血糖とHbA1c(NGSP)の両方を測定している場合は、空腹時血糖を優先し判定に用いる)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

(3) 指導実施方法

指導対象者集団の特定をした後は、その対象者に対して適切な指導を行う必要がある。特定保健指導では厚生労働省のガイドラインに沿った指導を行う。

(4) 成果の確認方法

特定保健指導の実施状況と実施率を定期的に確認する。また、指導実施前と実施後で、問診項目の回答状況や健康診査検査値を比較し、生活習慣の改善度を確認する。

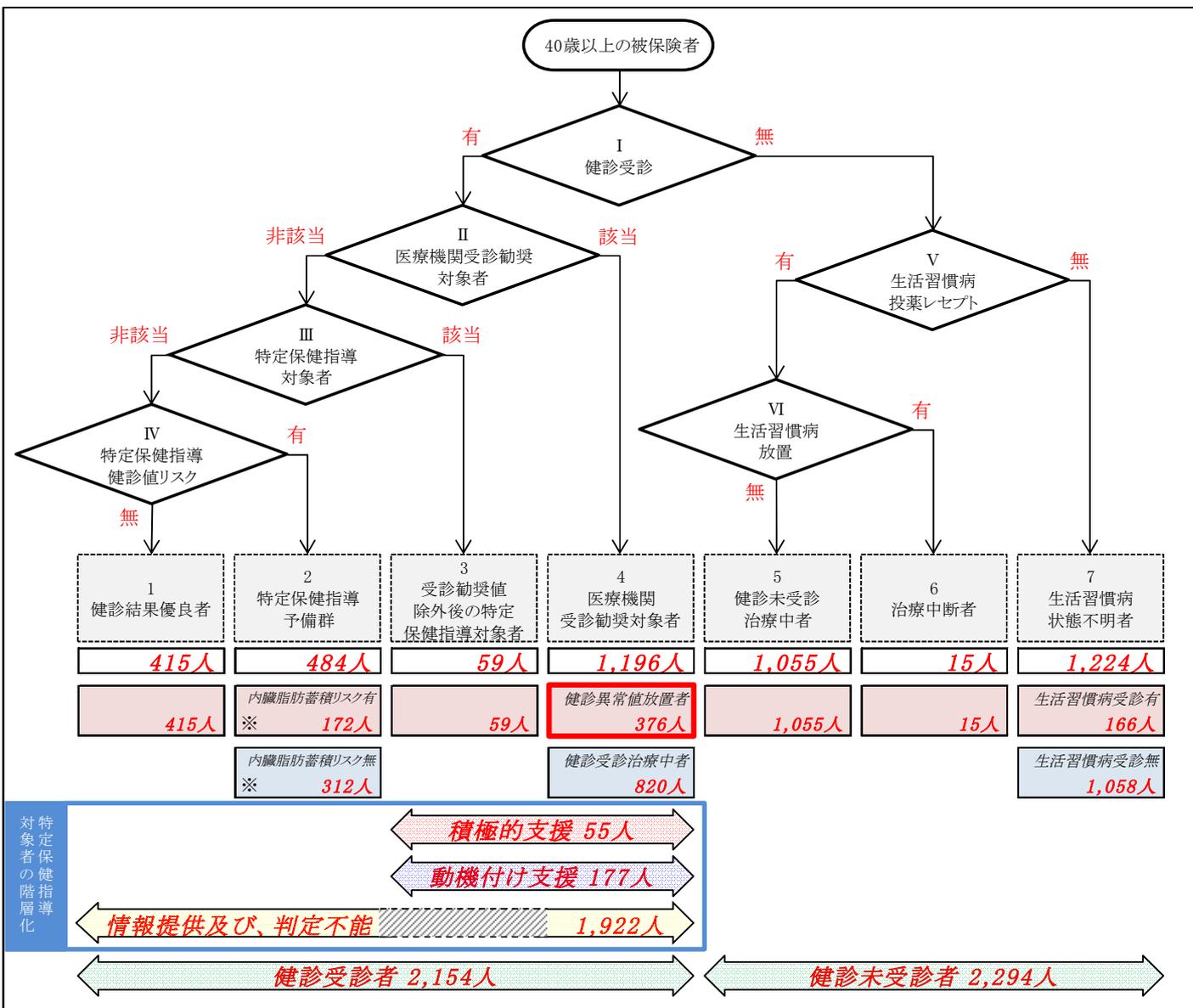
2. 健診異常値放置者受診勧奨事業

健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めている。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない者が存在する。その結果、生活習慣病が進行し、重症化してしまう可能性があるため、これらの対象者をレセプトにより見極める。ここでは健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行い、「受診勧奨対象者のグループ化」「対象者集団の特定」「受診勧奨実施方法」「成果の確認方法」を明確にする。

(1) 受診勧奨対象者のグループ化

健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類する。

健康診査及びレセプトによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…令和6年3月31日時点。
 各フローの詳細については巻末資料「指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。
 ※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 健診異常値放置者集団の特定

前項の分析において「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する376人が健診異常値放置受診勧奨対象者となる。

条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定

- ・健診異常値放置者 …健診受診後、医療機関へ受診していない人
厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする

条件設定により対象となった候補者数	376 人
-------------------	--------------

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和6年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」「人工透析患者」に関しては、治療を優先すべき疾病を有しており、医学的管理の下にあることが推察される。また、指導が困難な可能性も考えられる。以上の理由から、該当する患者について指導対象者から除外する。

除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定

		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	96 人
		↓
除外患者を除いた候補者数		280 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和6年3月31日時点。
※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者280人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない対象者を健診異常値放置受診勧奨対象者とする。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙は生活習慣病のリスクを高めることから、喫煙の有無によりリスクを判定した。

これら対象者は全てが受診勧奨対象者ではあるが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択する。

優先順位(健診異常値放置)

Ⅲ. 優先順位			
↑高 効果 ↓低	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ	候補者A 1 人	候補者C 5 人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ	候補者B 11 人	候補者D 68 人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ	候補者E 35 人	候補者F 160 人
		喫煙	非喫煙
		←高 リスク 低→	
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数			280 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

健診異常値放置者の判定について

- 健康診査にて異常値があるとされた被保険者を対象とし、健康診査受診後に医療機関への受診がない被保険者を健診異常値放置者と判定する。

(3) 受診勧奨実施方法

データ分析会社への業者委託を前提とした、他保険者での実施例をひとつの方法として説明する。業者委託のメリットは、準備と人的資源を軽減できること、既に実績を有しており一定の効果が実証されていること等である。

医療機関への受診勧奨者に対する受診勧奨の作業実施フローは以下のとおりである。

保険者は健康診査データ・レセプトデータをデータ分析会社へ提供し、データ分析会社は様々な観点から階層化を行い、高い効果を見込むことのできる対象者を特定する。これら対象者に対し、医療機関への受診を促す通知を行う。実施後、これらの効果を測定する。

(4) 成果の確認方法

受診勧奨通知送付後のレセプトデータを確認し、医療機関受診の有無を確認する。通知後のレセプトをデータ化していることが前提となる。

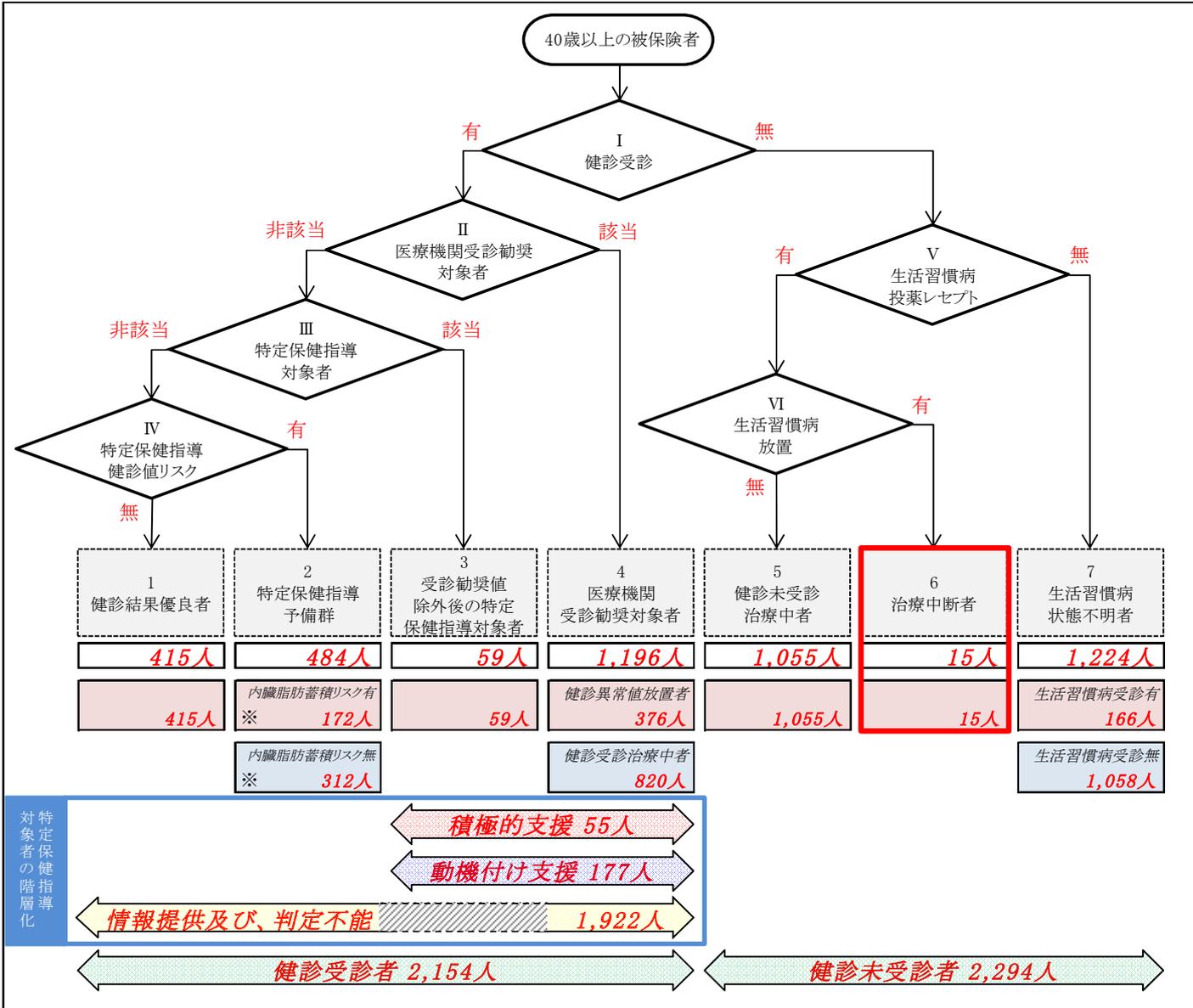
3. 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業

生活習慣病は一度発症すると治癒することは少ないため病状の維持が重要となる。そのためには定期的な診療が必要であり、継続的な服薬が求められる。しかし、生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがある。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性がある。ここでは健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行い、「受診勧奨対象者のグループ化」「対象者集団の特定」「受診勧奨実施方法」「成果の確認方法」を明確にする。

(1) 受診勧奨対象者のグループ化

健康診査データとレセプトデータを組み合わせた分析を行う。40歳以上の被保険者について、健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類する。

健康診査及びレセプトによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。
 資格確認日…令和6年3月31日時点。
 各フローの詳細については巻末資料「指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。
 ※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

(2) 生活習慣病治療中断者集団の特定

前項の分析において治療中断が発生している患者25人が対象となる。かつて生活習慣病で治療を行っていたにもかかわらず、現在医療機関への受診を行っていないため、将来、生活習慣病が重篤化するおそれが強い。

条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I. 条件設定による指導対象者の特定		
・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者		
		候補者人数
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	15 人
	上記以外のグループ	10 人
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		25 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

上記以外のグループ…治療中断者は、健康診査受診の有無、生活習慣病投薬レセプト有無にかかわらず、生活習慣病での受診がある患者の中から抽出する。前項のフローにおいて、「I 健診受診」で健康診査の受診の有無、「V 生活習慣病投薬レセプト」で生活習慣病投薬レセプトの有無をみているため、「6 治療中断者」には健康診査未受診かつ生活習慣病投薬レセプト有の治療中断者のみ格納される。

「上記以外のグループ」には、「6 治療中断者」の抽出条件に該当しないが、次の①、②のいずれかに該当する治療中断者が格納される。

①「1 健診結果優良者」～「4 医療機関受診勧奨対象者」(健診受診者)のうちの治療中断者

②「7 生活習慣病状態不明者」生活習慣病受診有」(健診未受診かつ生活習慣病投薬無かつ生活習慣病受診有)のうちの治療中断者

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」「人工透析患者」に関しては、治療を優先すべき疾病を有しており、医学的管理の下にあることが推察される。また、指導が困難な可能性も考えられる。以上の理由から、該当する患者について指導対象者から除外する。

除外設定(生活習慣病治療中断者)

II. 除外設定		
		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	0 人
除外患者を除き、候補者となった患者数		25 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者25人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定する。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者を生活習慣病治療中断者とする。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先とした。

優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ. 優先順位				
↑高 効果 ↓低	生活習慣病有病数 3つ	候補者A1 0人	候補者A2 0人	候補者A3 0人
	生活習慣病有病数 2つ	候補者B1 1人	候補者B2 4人	候補者B3 2人
	生活習慣病有病数 1つ	候補者C1 1人	候補者C2 10人	候補者C3 7人
		毎月受診	2～3カ月に1度受診	4カ月以上の定期受診
効果が高く効率の良い候補者A1～候補者C3の患者数				25人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和6年3月31日時点。

生活習慣病治療中断者の判定について

- 分析期間内において生活習慣病の治療を行っている人の生活習慣病での医療機関受診頻度を特定する。その後、毎月受診していた方が毎月受診せず中断している等、現在の受診状況と比較し、生活習慣病での医療機関受診中断の有無の判定を行う。

(3) 受診勧奨実施方法

ここでは、データ分析会社への業者委託を前提とした、他保険者での実施例をひとつの方法として説明する。業者委託のメリットは、準備と人的資源を軽減できること、既に実績を有しており一定の効果が実証されていること等である。

医療機関への受診勧奨者に対する受診勧奨の作業実施フローは以下のとおりである。

保険者はレセプトデータをデータ分析会社へ提供し、データ分析会社は様々な観点から階層化を行い、高い効果を見込むことのできる対象者を特定する。これら対象者に対し、医療機関への受診を促す通知を行う。実施後、これらの効果を測定する。

(4) 成果の確認方法

受診勧奨通知送付後のレセプトデータを確認し、医療機関での生活習慣病に関連する受診の有無を確認する。通知後のレセプトをデータ化していることが前提となる。

4. 糖尿病性腎症重症化予防事業

国は、健康日本21(第三次)において、糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数の減少等を数値目標として掲げ、全国的な取り組みの強化を進めている。生活習慣を起因とした糖尿病性腎症患者に対し、生活習慣の改善を促し重症化を予防することで人工透析への移行を防止し、患者のQOLの維持及び医療費の適正化を図ることが本事業の目的である。

(1) 人工透析患者の実態

邑楽町国民健康保険における人工透析患者の分析を行った。「透析」は傷病名ではないため、「透析」に当たる診療行為が行われている患者を特定し、集計した。

対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数は26人である。

対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

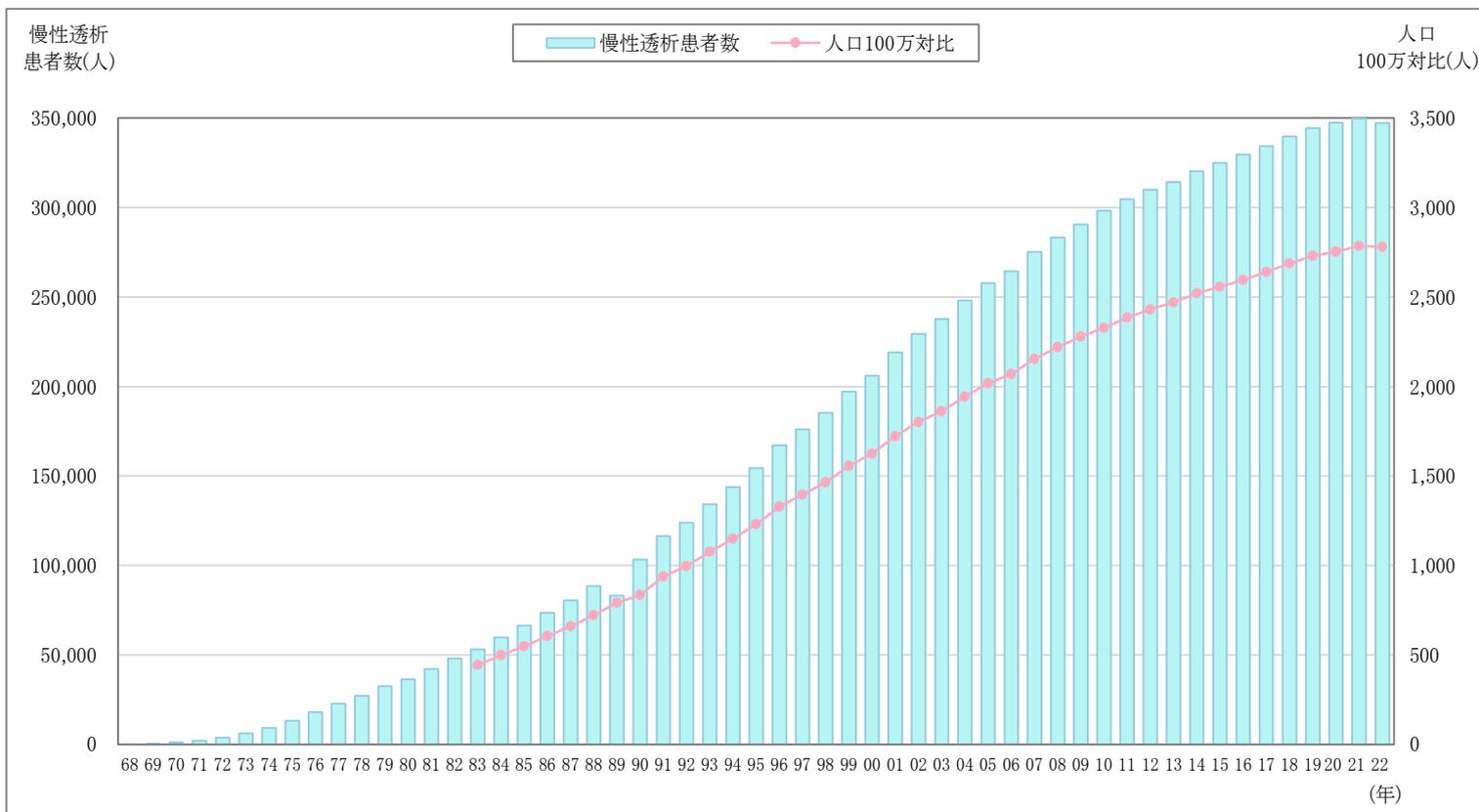
透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	26
腹膜透析のみ	0
血液透析及び腹膜透析	0
透析患者合計	26

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

[参考資料] 日本の慢性透析患者数と有病率(人口100万対比)の推移



出典:日本透析医学会 統計調査委員会「わが国の慢性透析療法の現況(2022年12月31日現在)」 施設調査による集計

※1989年末の患者数の減少は、当該年度にアンケート回収率が86%と例外的に低かったことによる見掛け上の影響。人口100万対比は回収率86%で補正。

次に、人工透析に至った起因を、令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)のレセプトに記載されている傷病名から判定した。ただし、レセプトに「腎不全」や「慢性腎不全」のみの記載しかない場合は、起因が特定できない患者となる。

起因が明らかとなった患者のうち、65.4%が生活習慣を起因とするものであり、61.5%がⅡ型糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かった。

透析患者の起因

透析に至った起因		透析患者数 (人)	割合 ※ (%)	生活習慣を 起因とする疾病	食事療法等指導することで 重症化を遅延できる 可能性が高い疾病
①	糖尿病性腎症 Ⅰ型糖尿病	0	0.0%	-	-
②	糖尿病性腎症 Ⅱ型糖尿病	16	61.5%	●	●
③	糸球体腎炎 IgA腎症	0	0.0%	-	-
④	糸球体腎炎 その他	2	7.7%	-	●
⑤	腎硬化症 本態性高血圧	1	3.8%	●	●
⑥	腎硬化症 その他	0	0.0%	-	-
⑦	痛風腎	0	0.0%	●	●
⑧	起因が特定できない患者 ※	7	26.9%	-	-
透析患者合計		26			

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

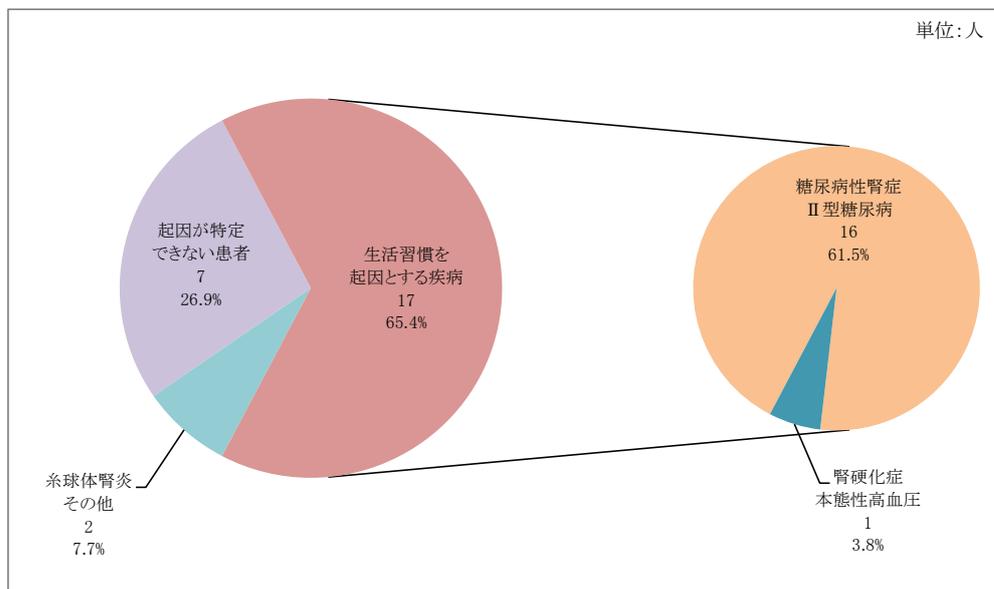
現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

※⑧起因が特定できない患者…①～⑦の傷病名組み合わせに該当しない患者。

⑧起因が特定できない患者7人のうち高血圧症が確認できる患者は7人、高血圧性心疾患が確認できる患者は0人、痛風が確認できる患者は0人。高血圧症、高血圧性心疾患、痛風のいずれも確認できない患者は0人。複数の疾病を持つ患者がいるため、合計人数は一致しない。

透析患者の起因



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

次に、人工透析患者26人を対象に、以下のとおり医療費を分析した。令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)での患者一人当たりの医療費平均は512万円程度、このうち透析関連の医療費が485万円程度、透析関連以外の医療費が27万円程度である。

透析患者の医療費

透析患者の起因	透析患者数 (人)	割合 (%)	医療費(円)			医療費(円) 【一人当たり】			医療費(円) 【一人当たりひと月当たり】		
			透析関連	透析関連 以外	合計	透析関連	透析関連 以外	合計	透析関連	透析関連 以外	合計
① 糖尿病性腎症 I型糖尿病	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
② 糖尿病性腎症 II型糖尿病	16	61.5%	75,627,650	4,912,630	80,540,280	4,726,728	307,039	5,033,768	393,894	25,587	419,481
③ 糸球体腎炎 IgA腎症	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④ 糸球体腎炎 その他	2	7.7%	14,407,920	909,290	15,317,210	7,203,960	454,645	7,658,605	600,330	37,887	638,217
⑤ 腎硬化症 本態性高血圧	1	3.8%	4,647,430	0	4,647,430	4,647,430	0	4,647,430	387,286	0	387,286
⑥ 腎硬化症 その他	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑦ 痛風腎	0	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑧ 起因が特定できない患者 ※	7	26.9%	31,340,380	1,281,900	32,622,280	4,477,197	183,129	4,660,326	373,100	15,261	388,360
透析患者全体	26		126,023,380	7,103,820	133,127,200						
患者一人当たり 医療費平均			4,847,053	273,224	5,120,277						
患者一人当たりひと月当たり 医療費平均			403,921	22,769	426,690						

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「血液透析」もしくは「腹膜透析」の診療行為がある患者を対象に集計。

現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※⑧起因が特定できない患者…①～⑦の傷病名組み合わせに該当しない患者。

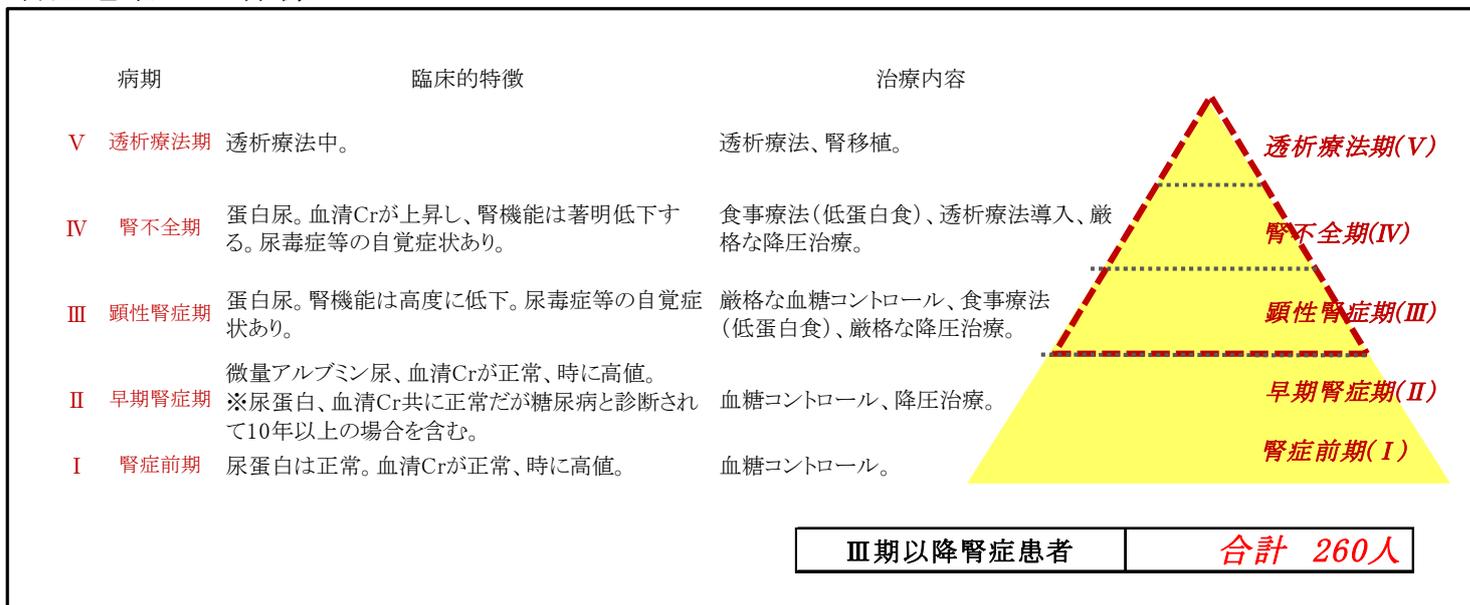
生活習慣を起因とする糖尿病患者に対し、腎症の悪化を遅延させるため、早期に保健指導を行い生活習慣の改善を目指す。

(2) 指導対象者集団の特定

「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定する。その結果、腎症患者260人中91人の適切な指導対象者を特定した。

腎症患者の全体像を以下に示す。

腎症患者の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

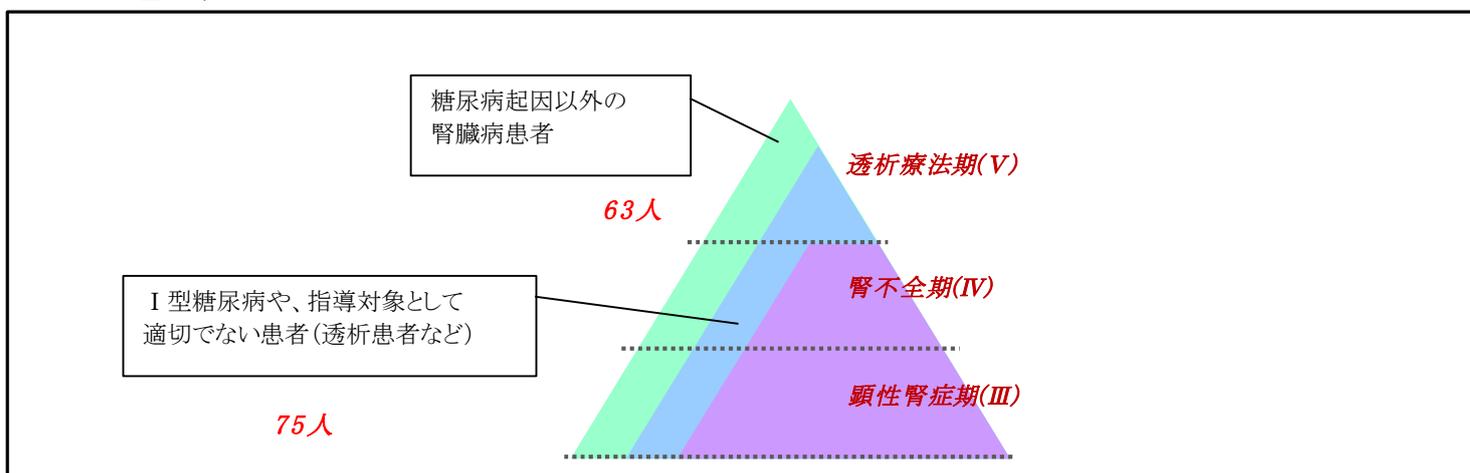
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

「腎症の起因分析」を以下に示す。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、63人の患者が存在する。また、青色部分は糖尿病患者であるが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、指導期間中に後期高齢者医療広域連合へ異動する可能性がある74歳以上の患者等)と考えられ、75人の患者が存在する。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となる。

腎症の起因分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

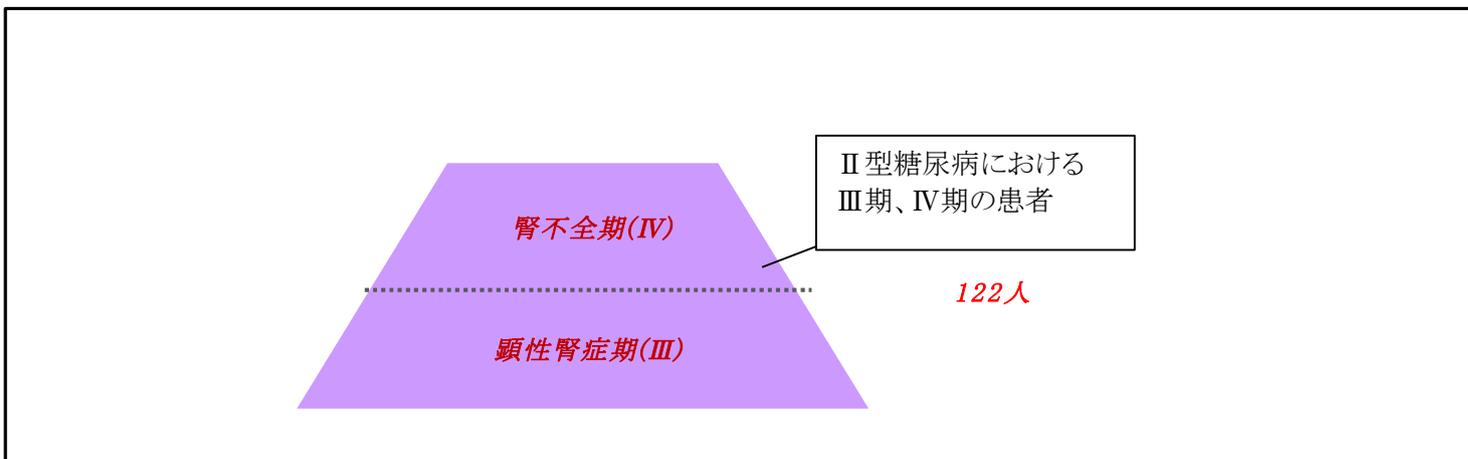
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下のとおり示す。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて122人となった。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行が近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となる。

Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

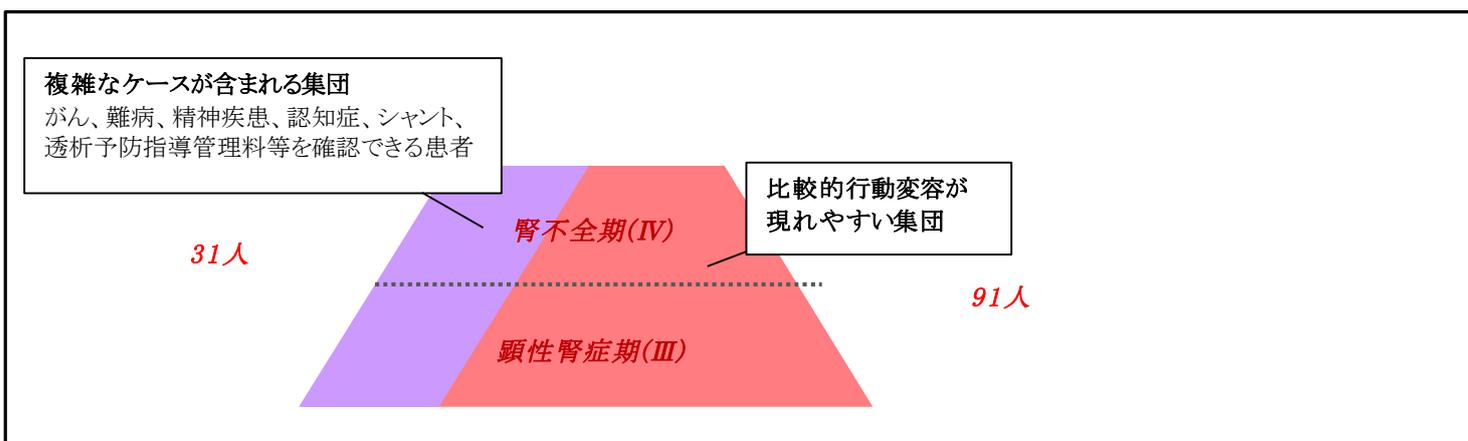


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和6年3月31日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析した。122人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、31人存在する。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、91人存在する。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがある。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者である。

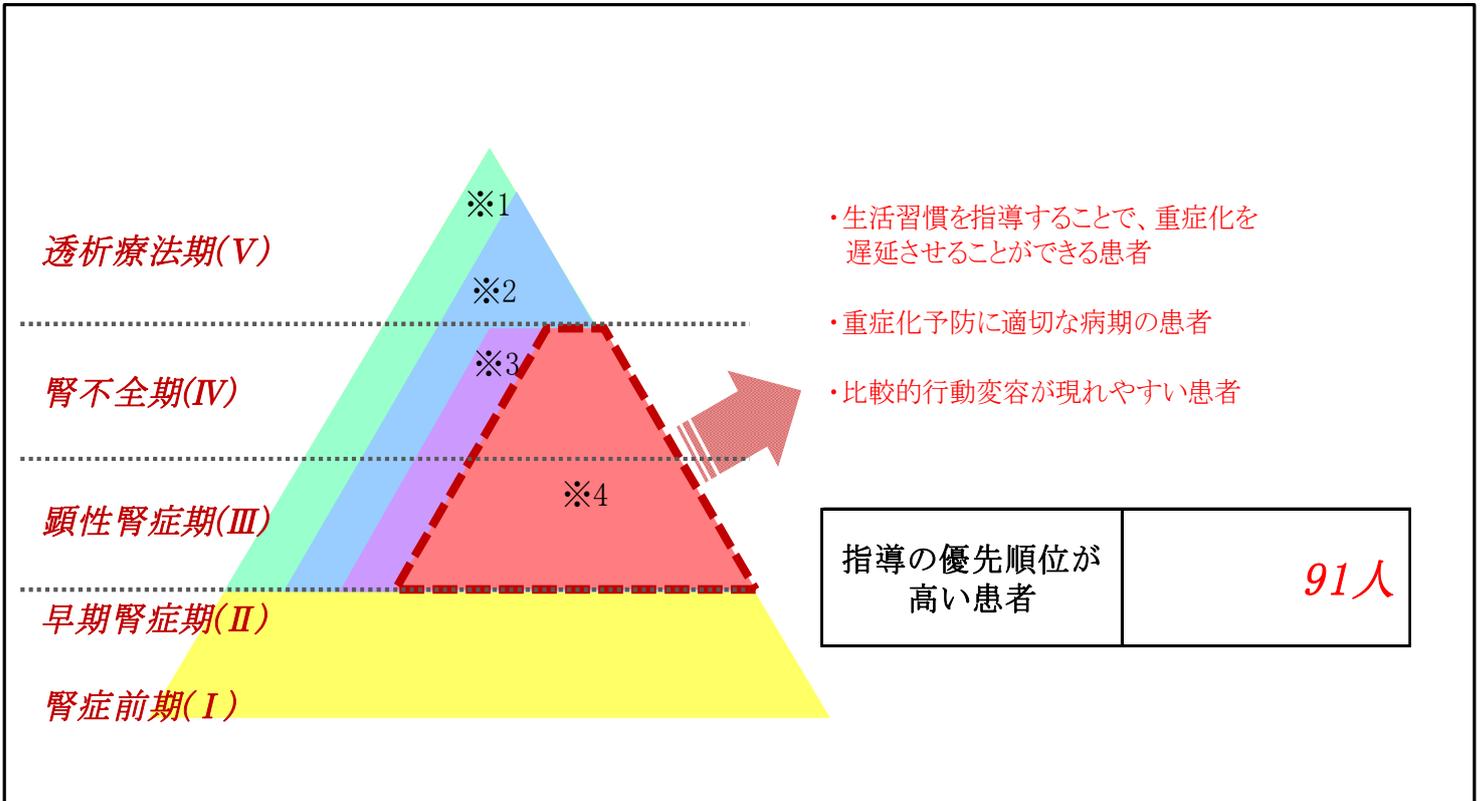
保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。
資格確認日…令和6年3月31日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、91人となった。この分析の全体像を以下に示す。

保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

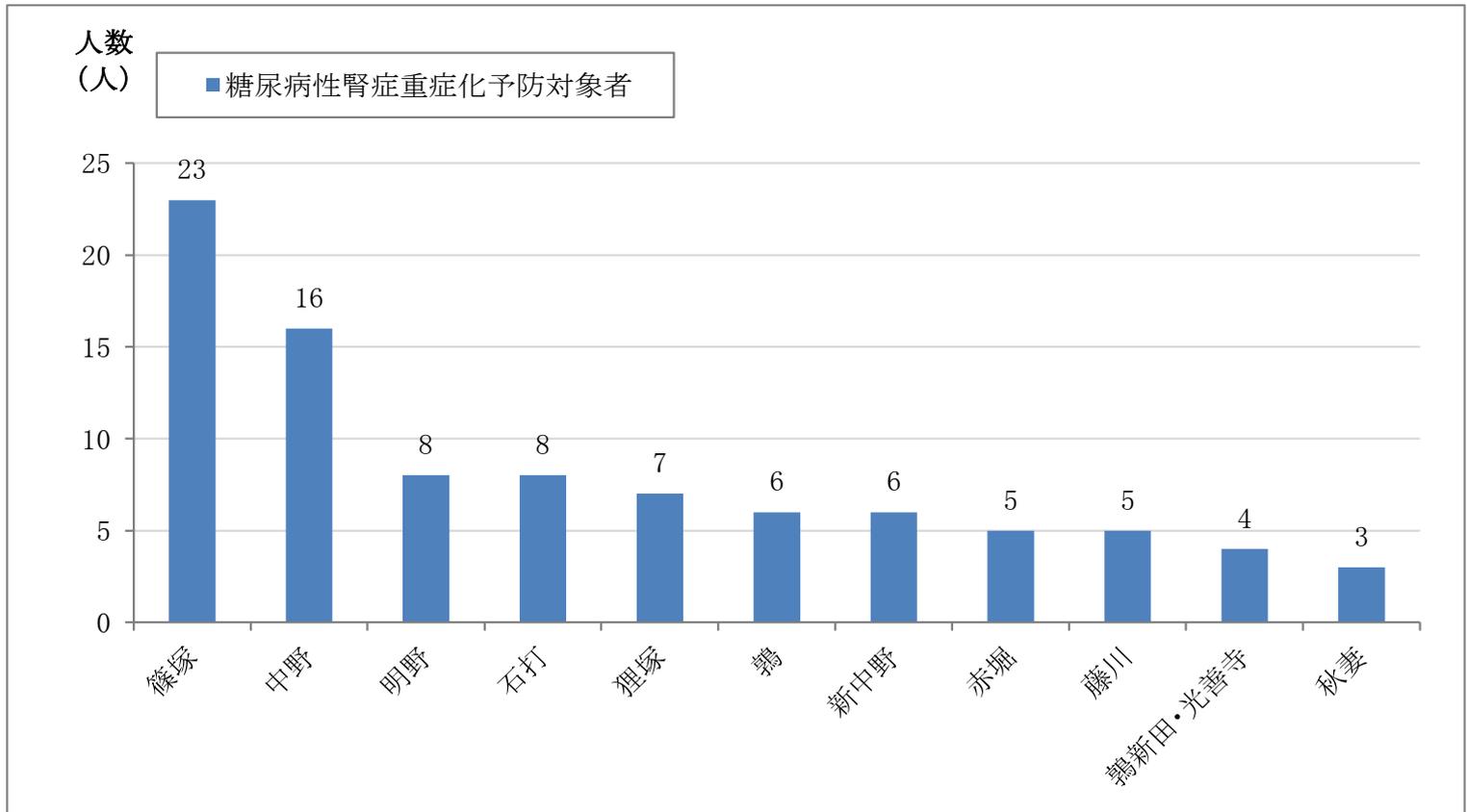
※2…Ⅰ型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

※4…比較的行動変容が現れやすい患者

指導の優先順位が高い患者を地区別に示す。

保健指導対象者の地区分布



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

(3) 適切な指導実施方法の確立

ここでは、データ分析会社及び保健指導実施会社への業者委託を前提とした、他保険者での実施例をひとつの方法として説明する。業者委託のメリットは、準備と人的資源を軽減できること、既に実績を有しており一定の効果が実証されていること等である。

以下に示すのは、指導実施方法のフローである。

まず、保険者はレセプトデータや健康診査データ等、分析に必要なデータをデータ分析会社に提供する。データ分析会社は受領したデータから糖尿病性腎症重症化予防に適切な指導対象者を特定する。その後、データ分析会社は、保健指導実施会社へ指導を委託する。保健指導実施会社の保健師・看護師は、対象者に対し、同意の取得を行い、面談・電話にて指導を行う。保健指導実施会社は指導結果を分析会社に提出し、データ分析会社はこれらデータとレセプト、健康診査データ等を使用し分析を行う。分析結果を保険者へ報告する。

(4) 成果の確認方法

次に、保健指導事業の成果の確認方法について述べる。ここでは、前項に引き続き、データ分析会社及び保健指導実施会社への業者委託を前提とした、実施例を説明する。事業の評価は以下のとおり、客観的な検査値の推移、指導対象者、つまり患者本人の評価、指導を行った保健師・看護師の指導記録により行う。

成果の確認方法(糖尿病性腎症重症化予防)

	評価基準	方法	詳細	頻度
①	検査値の推移	患者から提供される検査値を記録し、数値が維持・改善されているかを確認する。	項目は「収縮期血圧、拡張期血圧、血清クレアチニン、eGFR、HbA1c、空腹時血糖」	3カ月に1回記録 (患者に提供してもらわない場合は記録できない)
②	患者本人の評価	アンケートによる患者本人の評価を集計する。	アンケート項目 ・自己管理に関するもの ・QOL(生活の質)に関するもの	3カ月に1回実施
③	保健師・看護師の指導記録	指導時に生活習慣をヒアリングする。食事・運動に関する問題点を指導、及び目標を設定する。	患者の病期(ステージ)に合った指導を行う。	3カ月に1回報告

5. 高血圧重症化予防事業

高血圧性疾患は疾病中分類における医療費、患者数においていずれも上位にある。自覚症状の低さから軽視される傾向にあるが、高血圧は脳心血管病(脳卒中及び心疾患)の最大の危険因子であり、慢性腎臓病(CKD)、末期腎不全の発症リスクを上昇させ、また各種疾患罹患を通して全死亡リスクも上昇させる(「高血圧治療ガイドライン2019」より)。高血圧による脳心血管病及び腎疾患等の発症・進展・再発を防ぐことが本事業の目的である。

(1) レセプト及び健康診査データによる高血圧症に係る分析

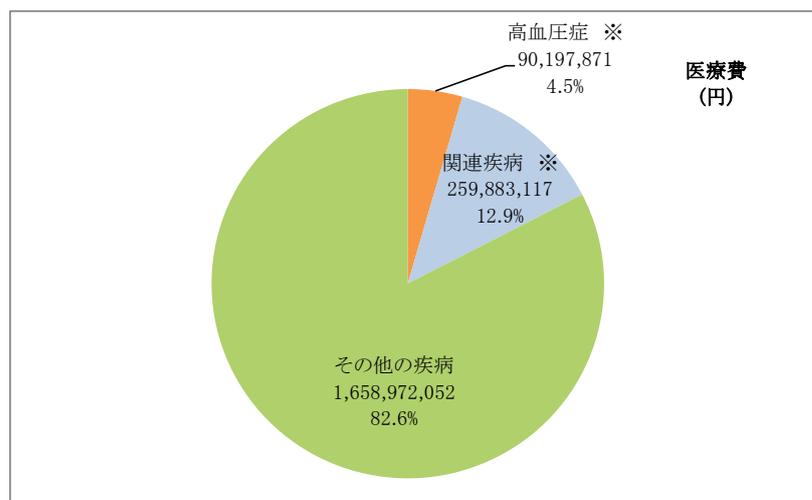
①高血圧症及び関連疾病の医療費等分析

高血圧症、及び高血圧により発症や重症化のリスクが高まる脳心血管病、腎疾患等の重篤な疾病(以下、「関連疾病」という)に係る医療費等の状況について分析を行った。

高血圧症及び関連疾病の医療費等の状況

疾病項目	医療費(円)	構成比(%)	患者数(人)
高血圧症及び関連疾病	350,080,988	17.4%	2,855
高血圧症 ※	90,197,871	4.5%	2,211
関連疾病 ※	259,883,117	12.9%	1,754
脳血管障害	28,989,404	1.4%	435
心疾患	104,228,013	5.2%	1,244
腎疾患	109,424,460	5.4%	353
血管疾患	17,241,240	0.9%	482
その他の疾病	1,658,972,052	82.6%	5,348
合計	2,009,053,040		5,405

医療費全体に占める高血圧症及び関連疾病の医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※高血圧症…ICD10により、次の疾病を対象に集計。I10「本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)」、I15「二次性<続発性>高血圧(症)」

※関連疾病…中分類または、ICD10により、以下の疾病を対象に集計。

脳血管障害…0904「くも膜下出血」、0905「脳内出血」、0906「脳梗塞」、0907「脳動脈硬化(症)」、0908「その他の脳血管疾患」

心疾患…0902「虚血性心疾患」、0903「その他の心疾患」、I11「高血圧性心疾患」、I13「高血圧性心腎疾患」

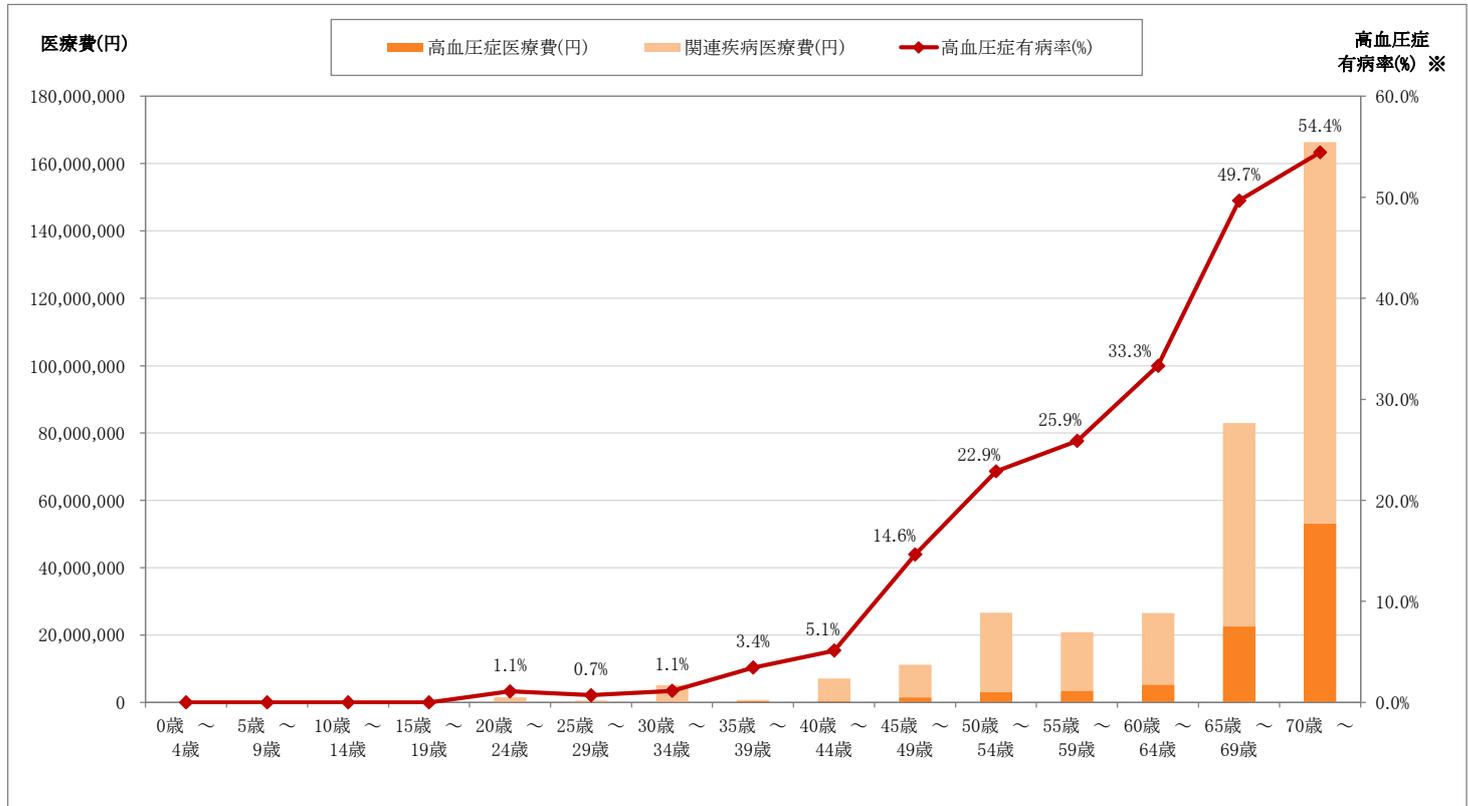
腎疾患…1401「糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患」、1402「腎不全」、I12「高血圧性腎疾患」

血管疾患…0909「動脈硬化(症)」、0912「その他の循環器系の疾患」(一部)

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

年齢階層別の高血圧症及び関連疾病の医療費、高血圧症の有病率を以下に示す。高年齢層において関連疾病の医療費が増大する傾向にある。高血圧症の有病率は加齢に伴って高くなることから、関連疾病の発症や進展に至る前の早めの対策が肝要である。

年齢階層別 高血圧症の医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※高血圧症有病率…被保険者数に占める高血圧症患者数の割合。

※高血圧症…ICD10により、次の疾病を対象に集計。I10「本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)」、I15「二次性<続発性>高血圧(症)」

※関連疾病…中分類または、ICD10により、以下の疾病を対象に集計。

脳血管障害…0904「くも膜下出血」、0905「脳内出血」、0906「脳梗塞」、0907「脳動脈硬化(症)」、0908「その他の脳血管疾患」

心疾患…0902「虚血性心疾患」、0903「その他の心疾患」、I11「高血圧性心疾患」、I13「高血圧性心腎疾患」

腎疾患…1401「糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患」、1402「腎不全」、I12「高血圧性腎疾患」

血管疾患…0909「動脈硬化(症)」、0912「その他の循環器系の疾患」(一部)

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

②健康診査データによる高血圧該当状況分析

40歳以上の被保険者を対象として、特定健康診査受診者における高血圧該当状況及び降圧薬服薬状況を示す。特定健康診査受診者の31.8%に当たる684人が高血圧に該当している。うち349人は高血圧症の投薬レセプトを有しており、272人は高血圧症及び関連疾病のいずれでも医療機関を受診していない。一方、特定健康診査受診者の68.2%に当たる1,470人は高血圧に該当しないが、うち574人が高血圧症の投薬レセプトを有しており、薬物治療による血圧コントロールを受けていると推測できる。

「高血圧治療ガイドライン2019」によると、血圧レベルによって分類される6群のうち、正常血圧以外の全ての人に生活習慣の改善が推奨されている。

健診及びレセプトによる高血圧該当状況

血圧値の分類	検査値範囲		該当者数 (人)	高血圧症 ※ 投薬レセプト有	高血圧症 ※ 投薬レセプト無	高血圧症及び 関連疾病 ※ レセプト無
	収縮期血圧 (mmHg)	拡張期血圧 (mmHg)				
高血圧			684	349	63	272
Ⅲ度高血圧	180～	かつ/または 110～	27	16	2	9
Ⅱ度高血圧	160～179	かつ/または 100～109	141	72	14	55
Ⅰ度高血圧	140～159	かつ/または 90～99	516	261	47	208
その他の血圧分類			1,470	574	194	702
高値血圧	130～139	かつ/または 80～89	461	220	52	189
正常高値血圧	120～129	かつ ~79	480	207	58	215
正常血圧	~119	かつ ~79	529	147	84	298

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

※高血圧症…ICD10により、次の疾病を対象に集計。I10「本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)」、I15「二次性<続発性>高血圧(症)」

※関連疾病…中分類または、ICD10により、以下の疾病を対象に集計。

脳血管障害…0904「くも膜下出血」、0905「脳内出血」、0906「脳梗塞」、0907「脳動脈硬化(症)」、0908「その他の脳血管疾患」

心疾患…0902「虚血性心疾患」、0903「その他の心疾患」、I11「高血圧性心疾患」、I13「高血圧性心腎疾患」

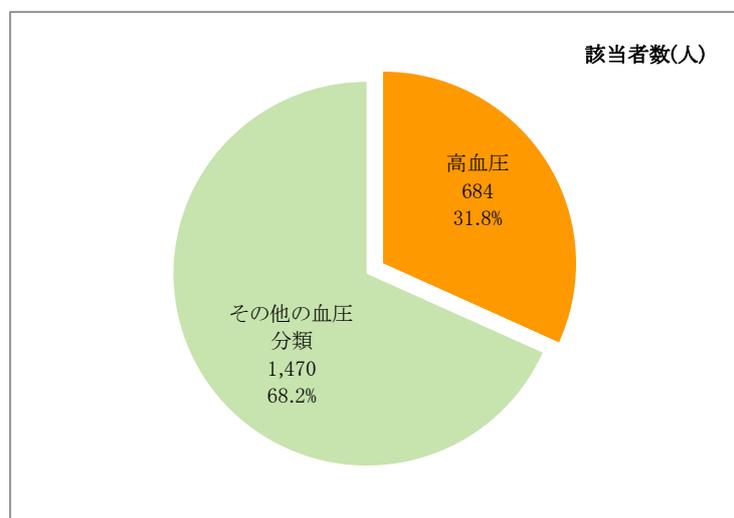
腎疾患…1401「糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患」、1402「腎不全」、I12「高血圧性腎疾患」

血管疾患…0909「動脈硬化(症)」、0912「その他の循環器系の疾患」(一部)

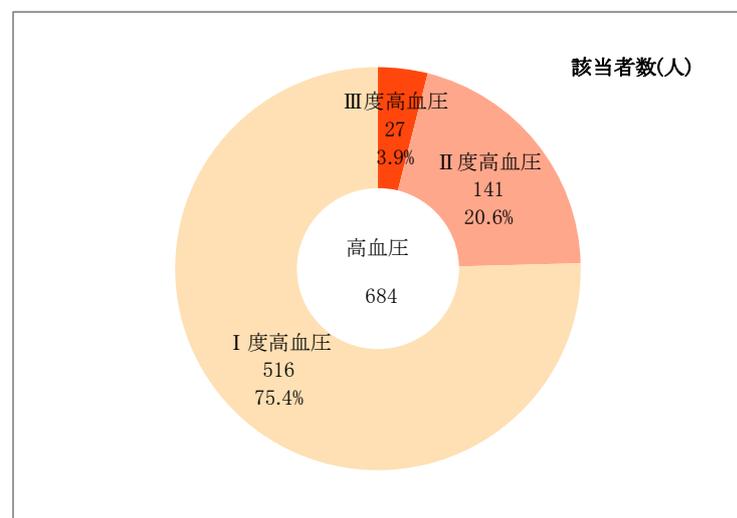
株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

参考資料:日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン作成委員会「高血圧治療ガイドライン2019」(ライフサイエンス出版)

健診受診者に占める高血圧該当者の割合



高血圧該当者における血圧値の分類別の割合



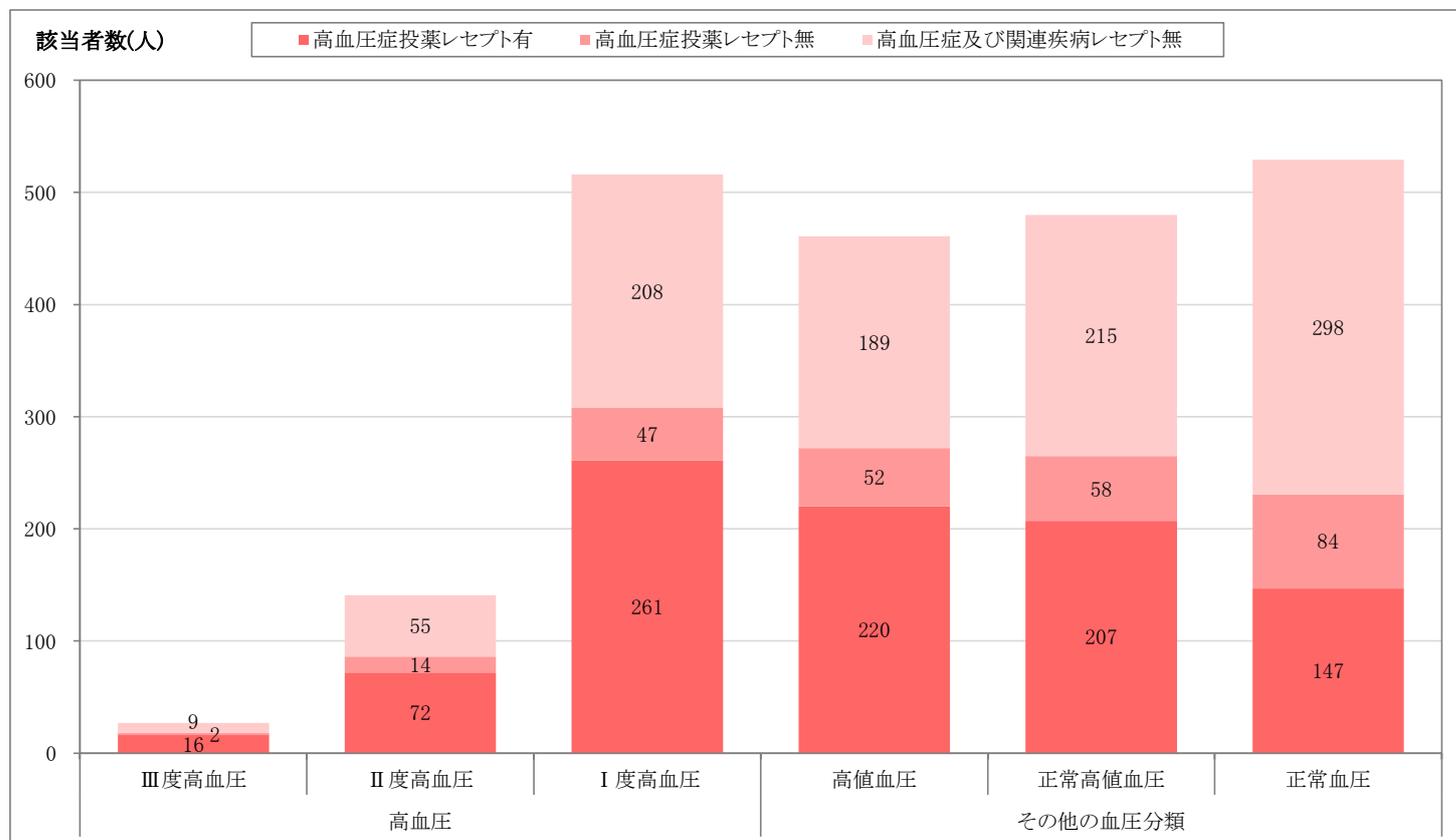
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

参考資料:日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン作成委員会「高血圧治療ガイドライン2019」(ライフサイエンス出版)

前述のとおり、健康診査データとレセプトデータの組み合わせから、高血圧に該当するにもかかわらず高血圧症(関連疾病を含む)で医療機関を受診していない者、高血圧症の治療を受けているがコントロール不良にある者、高血圧症の治療を受けており血圧コントロールが比較的良好である者など、異なる様々な状況にあることがわかる。

健診及びレセプトによる血圧値の分類別該当状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

※高血圧症…ICD10により、次の疾病を対象に集計。I10「本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)」、I15「二次性<続発性>高血圧(症)」

※関連疾病…中分類または、ICD10により、以下の疾病を対象に集計。

脳血管障害…0904「くも膜下出血」、0905「脳内出血」、0906「脳梗塞」、0907「脳動脈硬化(症)」、0908「その他の脳血管疾患」

心疾患…0902「虚血性心疾患」、0903「その他の心疾患」、I11「高血圧性心疾患」、I13「高血圧性心腎疾患」

腎疾患…1401「糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患」、1402「腎不全」、I12「高血圧性腎疾患」

血管疾患…0909「動脈硬化(症)」、0912「その他の循環器系の疾患」(一部)

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

参考資料:日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン作成委員会「高血圧治療ガイドライン2019」(ライフサイエンス出版)

グラフの見方

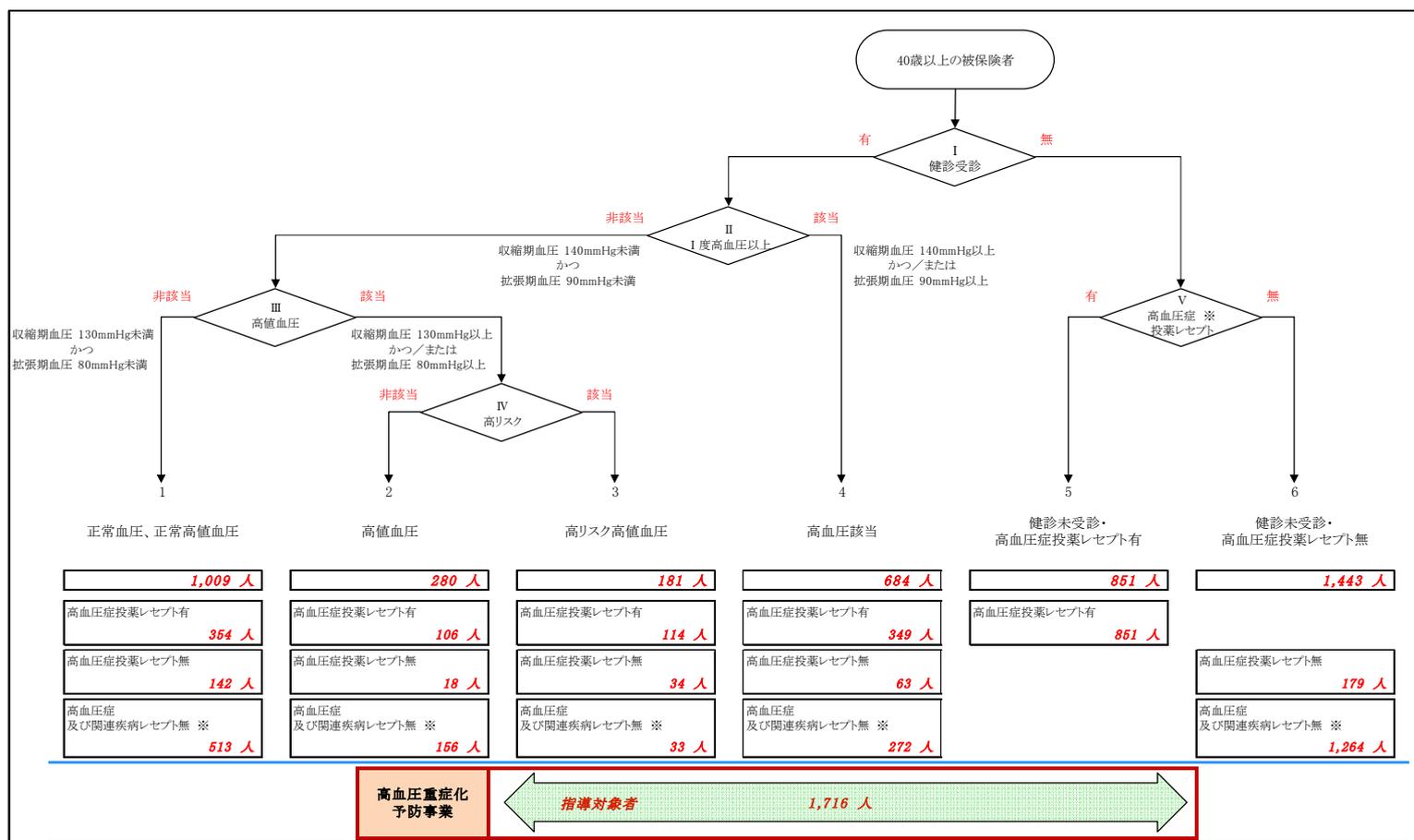
	高血圧該当者	その他の血圧分類該当者
高血圧症及び関連疾病レセプト無	高血圧に該当するにもかかわらず、高血圧症、関連疾病のいずれでも医療機関を受診していない。	血圧値は高血圧の基準値未満であり、高血圧症、関連疾病のいずれでも医療機関を受診していない。
高血圧症投薬レセプト無	高血圧症または関連疾病で医療機関を受診しているが、高血圧症の薬物治療は行っておらず、血圧値はコントロール不良の状態にある。	高血圧症または関連疾病で医療機関を受診しているが、高血圧症の薬物治療は行っておらず、血圧値は高血圧の基準値未満である。
高血圧症投薬レセプト有	高血圧症の薬物治療を受けているが、血圧値はコントロール不良の状態にある。	高血圧症の薬物治療を受けており、血圧コントロールが比較的良好である。

※ここでは「高血圧該当者」と「その他の血圧分類該当者」に二分しているが、「高血圧治療ガイドライン2019」では正常血圧以外の全ての人に生活習慣の改善を推奨しており、その他の血圧分類該当者に対しても、血圧レベルや高血圧以外の危険因子の有無等の評価に応じて、生活習慣改善の指導の強化や薬物療法の検討等、計画的な介入が必要としている。

(2) 指導対象者集団の特定

40歳以上の被保険者について、健康診査データ及びレセプトデータから6つのグループに分類し、指導対象者を特定する。特定健康診査受診者については、「高血圧治療ガイドライン2019」にて「医療者の関わりの中なかで、計画的に生活習慣に介入」する対象とされている「3 高リスク高値血圧該当」及び「4 高血圧該当」を指導対象者とする。特定健康診査未受診者については血圧検査値による判定ができないことから、高血圧症に係る投薬レセプトを有する「5 健診未受診・高血圧症投薬レセプト有」を指導対象者とする。

健康診査及びレセプトによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

※高血圧症…ICD10により、次の疾病を対象に集計。I10「本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)」、I15「二次性<続発性>高血圧(症)」

※関連疾病…中分類または、ICD10により、以下の疾病を対象に集計。

脳血管障害…0904「くも膜下出血」、0905「脳内出血」、0906「脳梗塞」、0907「脳動脈硬化(症)」、0908「その他の脳血管疾患」

心疾患…0902「虚血性心疾患」、0903「その他の心疾患」、I11「高血圧性心疾患」、I13「高血圧性心腎疾患」

腎疾患…1401「糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患」、1402「腎不全」、I12「高血圧性腎疾患」

血管疾患…0909「動脈硬化(症)」、0912「その他の循環器系の疾患」(一部)

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

参考資料:日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン作成委員会「高血圧治療ガイドライン2019」(ライフサイエンス出版)

【フロー説明】

I 健診受診…健診受診の有無を判定。

II I度高血圧以上…収縮期血圧、拡張期血圧のいずれかが、日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン2019」に定められた血圧値の分類のI度高血圧以上か判定。

III 高値血圧…収縮期血圧、拡張期血圧のいずれかが、日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン2019」に定められた血圧値の分類の高値血圧か判定。

IV 高リスク…日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン2019」の脳心血管病リスク層別化及び高血圧管理計画に基づき高リスクか判定。高血圧管理計画より、降圧目標の緩和対象である、降圧において十分な配慮が必要とされる疾患や病態がレセプトデータから確認できる場合または後期高齢者(75歳以上)に該当する場合は高リスク相当であっても「非該当」と判定。

V 高血圧症投薬レセプト有…高血圧症で投薬治療を受けている医科レセプトの有無を判定。

分類の結果、特定健康診査受診者のうち「3 高リスク高値血圧該当」の181人及び「4 高血圧該当」の684人、特定健康診査未受診者のうち高血圧症に係る投薬レセプトを有する「5 健診未受診・高血圧症投薬レセプト有」の851人を合わせた1,716人が事業対象者となる。

条件設定による指導対象者の特定(高血圧重症化予防事業)

I. 条件設定による指導対象者の特定		
指導対象者分析結果	3 高リスク高値血圧該当	181人
	4 高血圧該当	684人
	5 健診未受診・高血圧症投薬レセプト有	851人
条件設定により対象となった候補者数(合計)		1,716人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。高血圧となった原因が特定されている「二次性高血圧患者」に関しては、その原因となった疾患の治療を通して血圧管理が行われると考えられる。また、「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」「人工透析患者」に関しては、治療を優先すべき疾病を有しており、医学的管理の下にあることが推察される。また、指導が困難な可能性も考えられる。以上の理由から、該当する患者について指導対象者から除外する。

除外設定(高血圧重症化予防事業)

II. 除外設定			実人数
除外1	二次性高血圧 ※	5人	736人
除外2	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	734人	
↓			
除外患者を除き、 候補者となった患者数	3 高リスク高値血圧該当		103人
	4 高血圧該当		430人
	5 健診未受診・高血圧症投薬レセプト有		447人
	合計		980人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

※二次性高血圧…疑い病名を含む。

※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者980人について、脳心血管病、腎疾患等の関連疾病を既に発症している者を三次予防対象者、残る指導対象者を二次予防対象者として分類する。また、特定健康診査受診者は血圧検査値から、特定健康診査未受診者は処方された降圧薬種類数から、対象者の重症度を判定し、分類グループ毎に指導の優先順位が高い候補者を特定した。

これら対象者は全て高血圧重症化予防事業対象者ではあるが、事業方針や規模に応じて指導対象とするグループの範囲を決定し、対象者を選択する。

優先順位(高血圧重症化予防事業)

Ⅲ. 優先順位						
3 高リスク高血圧該当(健診受診者)、4 高血圧該当(健診受診者)						
↑高 リスク 低↓	血圧値の分類	収縮期血圧 (mmHg)	拡張期血圧 (mmHg)	二次予防 ※	三次予防 ※	
	Ⅲ度高血圧	180～	かつ/または	110～	候補者2-A 16人	候補者3-A 2人
	Ⅱ度高血圧	160～179	かつ/または	100～109	候補者2-B 73人	候補者3-B 14人
	Ⅰ度高血圧	140～159	かつ/または	90～99	候補者2-C 263人	候補者3-C 62人
	高値血圧	130～139	かつ/または	80～89	候補者2-D 67人	候補者3-D 36人
候補者A～Cの人数				419人	114人	
5 健診未受診・高血圧症投薬レセプト有(健診未受診者)						
↑高 リスク 低↓	降圧薬種類数 ※			二次予防 ※	三次予防 ※	
	4種類以上			候補者2-A 7人	候補者3-A 7人	
	3種類			候補者2-B 23人	候補者3-B 26人	
	2種類			候補者2-C 120人	候補者3-C 67人	
	1種類			候補者2-D 130人	候補者3-D 65人	
	なし			候補者2-E 1人	候補者3-E 1人	
候補者A～Eの人数				281人	166人	

二次予防対象者、三次予防対象者の分類について

対象者区分	関連疾病のレセプト有無	指導の目的と方向性
二次予防 ※	無	高血圧の改善指導を通して、高血圧を起因とした脳心血管病、腎疾患等の関連疾病の発症を予防する。対象者自身が高血圧のリスクを認識することが重要となる。
三次予防 ※	有	関連疾病のレセプトが発生している対象者に対して、高血圧の改善指導を通して、高血圧を起因とした関連疾病の再発、重症化を予防する。関連疾病の一つである脳梗塞や虚血性心疾患等は特に再発率が高い疾病であるため、適切な治療の継続と生活習慣の改善による慎重な血圧管理が必要となる。

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

※二次予防…高血圧症及び関連疾病の発症予防対象者。

※三次予防…高血圧症及び関連疾病の重症化予防、再発予防対象者。

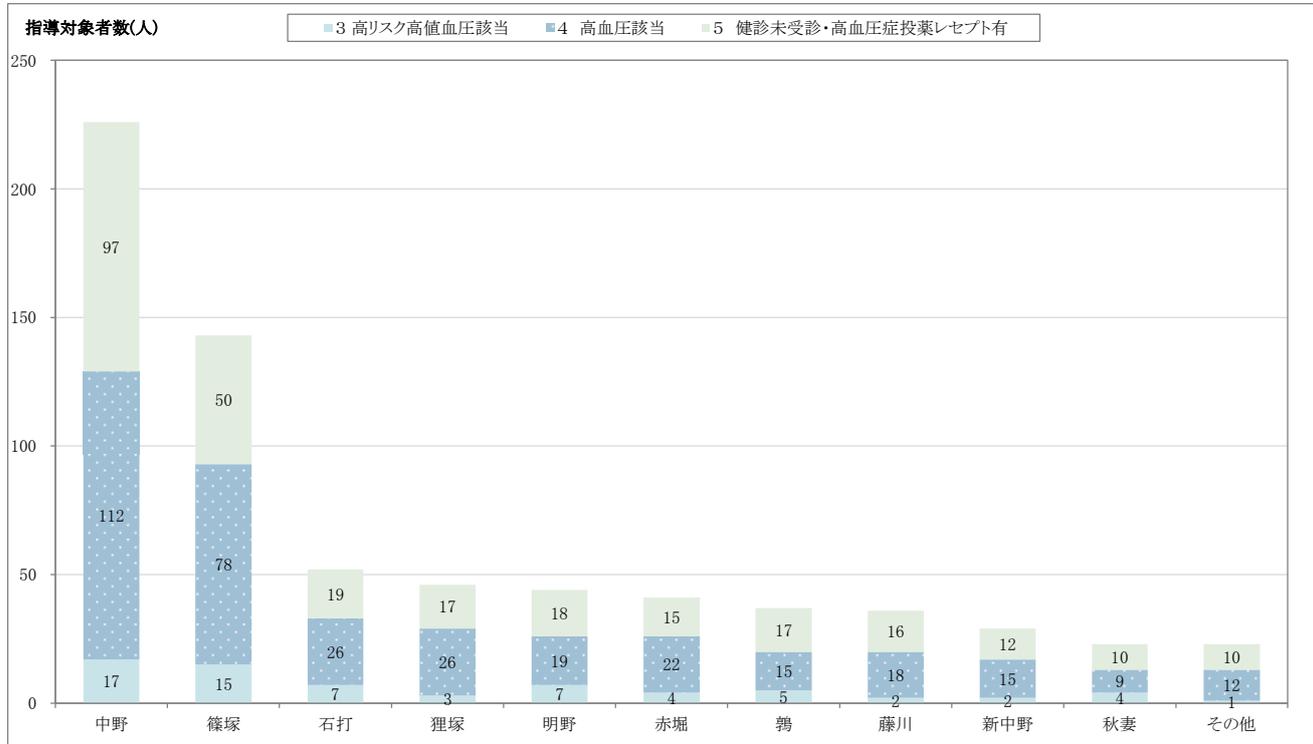
※降圧薬種類数…服薬している降圧薬の薬剤種類数により高血圧の重症度を判定。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

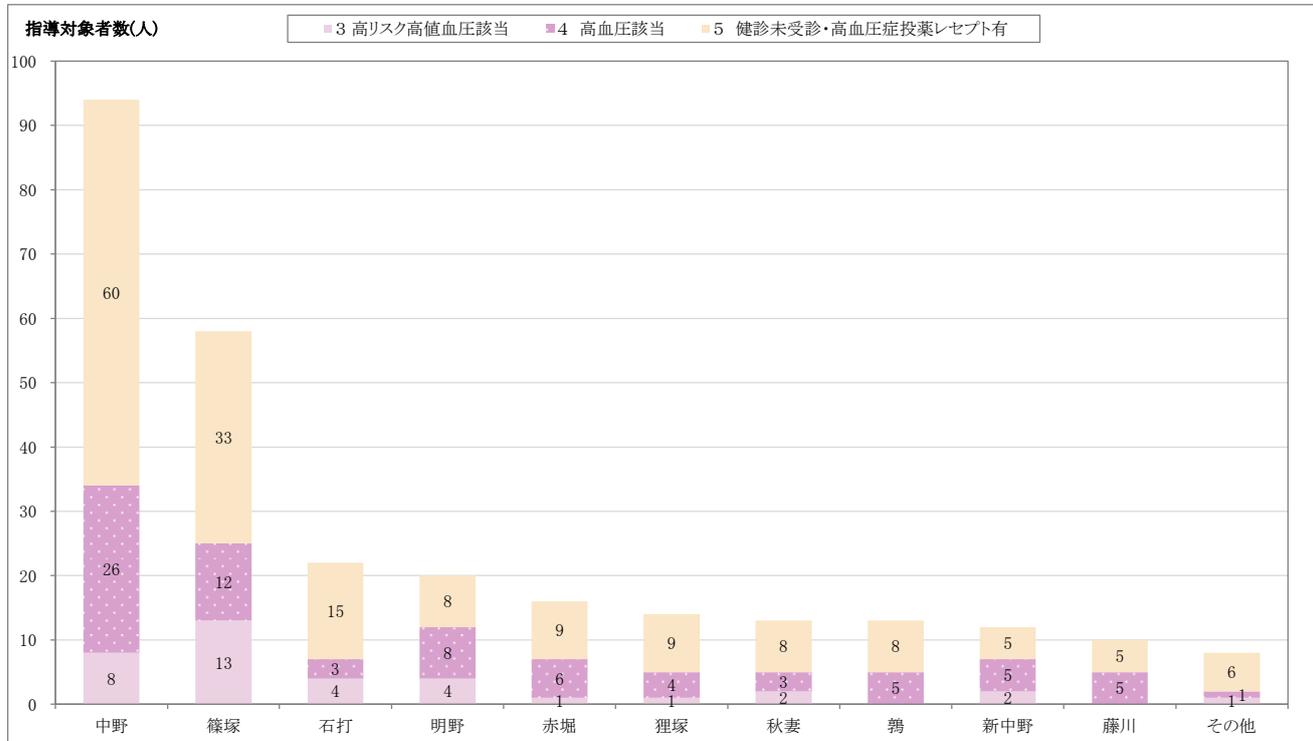
参考資料:日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン作成委員会「高血圧治療ガイドライン2019」(ライフサイエンス出版)

以下に、二次予防対象者、三次予防対象者それぞれについて、地区別の分布状況を示す。指導対象者の分類「高リスク高値血圧該当」「高血圧該当」「健診未受診・高血圧症投薬レセプト有」によってグラフの要素を色分けしている。

保健指導対象者の地区分析(二次予防対象者)※



保健指導対象者の地区分析(三次予防対象者)※



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

※二次予防…高血圧症及び関連疾病の発症予防対象者。

※三次予防…高血圧症及び関連疾病の重症化予防、再発予防対象者。

上位10地区のみ表示。上位10地区以外の対象者数はその他に集約している。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

(3) 適切な指導実施方法の確立

高血圧は生活習慣に関連した疾病であるため、生活習慣を改善する指導を行うことで、その重症化による脳心血管病及び腎疾患等の発症・進行のリスクを減少させることができると考えられる。

ここでは、データ分析会社及び保健指導実施会社への業者委託を前提とした、他保険者での実施例をひとつの方法として説明する。業者委託のメリットは、準備と人的資源を軽減できること、既に実績を有しており一定の効果が実証されていること等である。

以下に示すのは、指導実施方法のフローである。

まず、保険者はレセプトデータや健康診査データ等、分析に必要なデータをデータ分析会社に提供する。データ分析会社は受領したデータから、高血圧重症化予防に適切な事業対象者を特定する。データ分析会社より委託を受けた保健指導実施会社の保健師・看護師が指導対象者に同意を得て、面談・電話にて指導を行う。保健指導実施会社から指導結果の提供を受けたデータ分析会社はこれらデータとレセプトデータ、健康診査データ等を使用し分析を行い、分析結果を保険者へ報告する。

(4) 成果の確認方法

次に事業の成果の確認方法について述べる。ここでは、前項に引き続き、データ分析会社及び保健指導実施会社への業者委託を前提とした実施例を説明する。

成果の確認方法(高血圧重症化予防)

	評価基準	方法	詳細	頻度
①	検査値の推移	患者から提供される検査値を記録し、数値が維持・改善されているかを確認する。	項目は「収縮期血圧、拡張期血圧、BMI、eGFR、HbA1c、空腹時血糖、HDL、LDL」	3カ月に1回記録 (患者に提供してもらわない場合は記録できない)
②	患者本人の評価	アンケートによる患者本人の評価を集計する。	アンケート項目 ・自己管理に関するもの ・QOL(生活の質)に関するもの	3カ月に1回実施
③	保健師・看護師の指導記録	指導時に生活習慣をヒアリングする。服薬・食事・運動に関する問題点を指摘し、指導計画及び目標を設定する。	患者の病期(ステージ)に合った指導を行う。	3カ月に1回報告

6. 脳梗塞の発症予防・再発予防事業

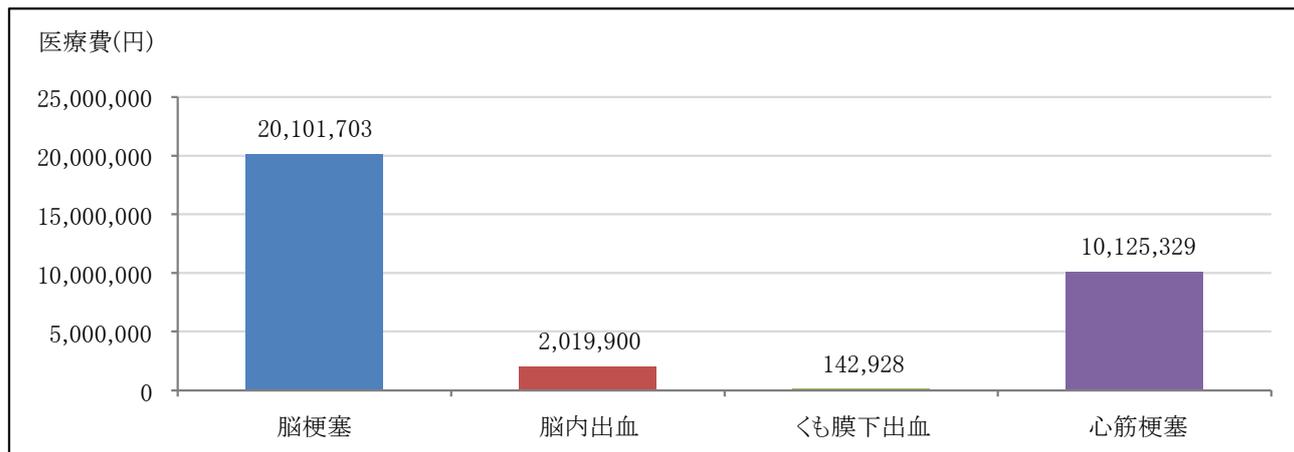
(1) 脳卒中・心筋梗塞の疾病別医療費及び患者数

厚生労働省「令和4年人口動態統計」において死因順位第2位の心疾患、第4位の脳血管疾患に関して分析を行う。脳卒中は後遺症が残るおそれがあり、厚生労働省「2022年国民生活基礎調査」において要介護者となった主な原因の第2位となっている。

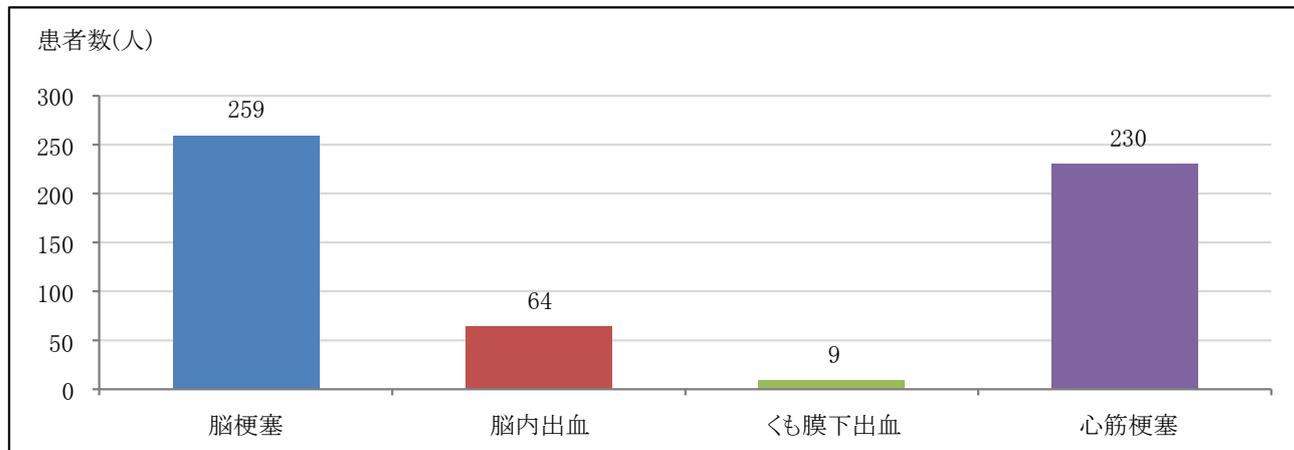
脳卒中・心筋梗塞の医療費、患者数を集計する。生活習慣病から重篤化した疾患のなかでは、脳梗塞の患者数が多く、特に対策が必要な疾病であると考えられる。

脳卒中・心筋梗塞は再発率が高いため、治療完了後の生活習慣の改善が必要となる。

脳卒中(脳梗塞・脳内出血・くも膜下出血)、心筋梗塞における医療費



脳卒中(脳梗塞・脳内出血・くも膜下出血)、心筋梗塞における患者数



疾病分類	医療費(円)	患者数(人)	一人当たり医療費(円)
脳梗塞	20,101,703	259	77,613
脳内出血	2,019,900	64	31,561
くも膜下出血	142,928	9	15,881
心筋梗塞	10,125,329	230	44,023

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

データ化範囲(分析対象)期間内に「脳卒中」もしくは「心筋梗塞」に関する診療行為がある患者を対象に集計。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

(2) 脳梗塞の発症予防・再発予防対象者集団の特定

前項の分析結果より、患者数の多い脳梗塞は特に対策を行う必要のある疾病である。また、生活習慣に関連した疾患との関連性が強いと考えられるため、治療完了後も生活習慣に改善がみられない場合、再発するおそれが高い。再発を防ぐために適切な指導を行う必要がある。

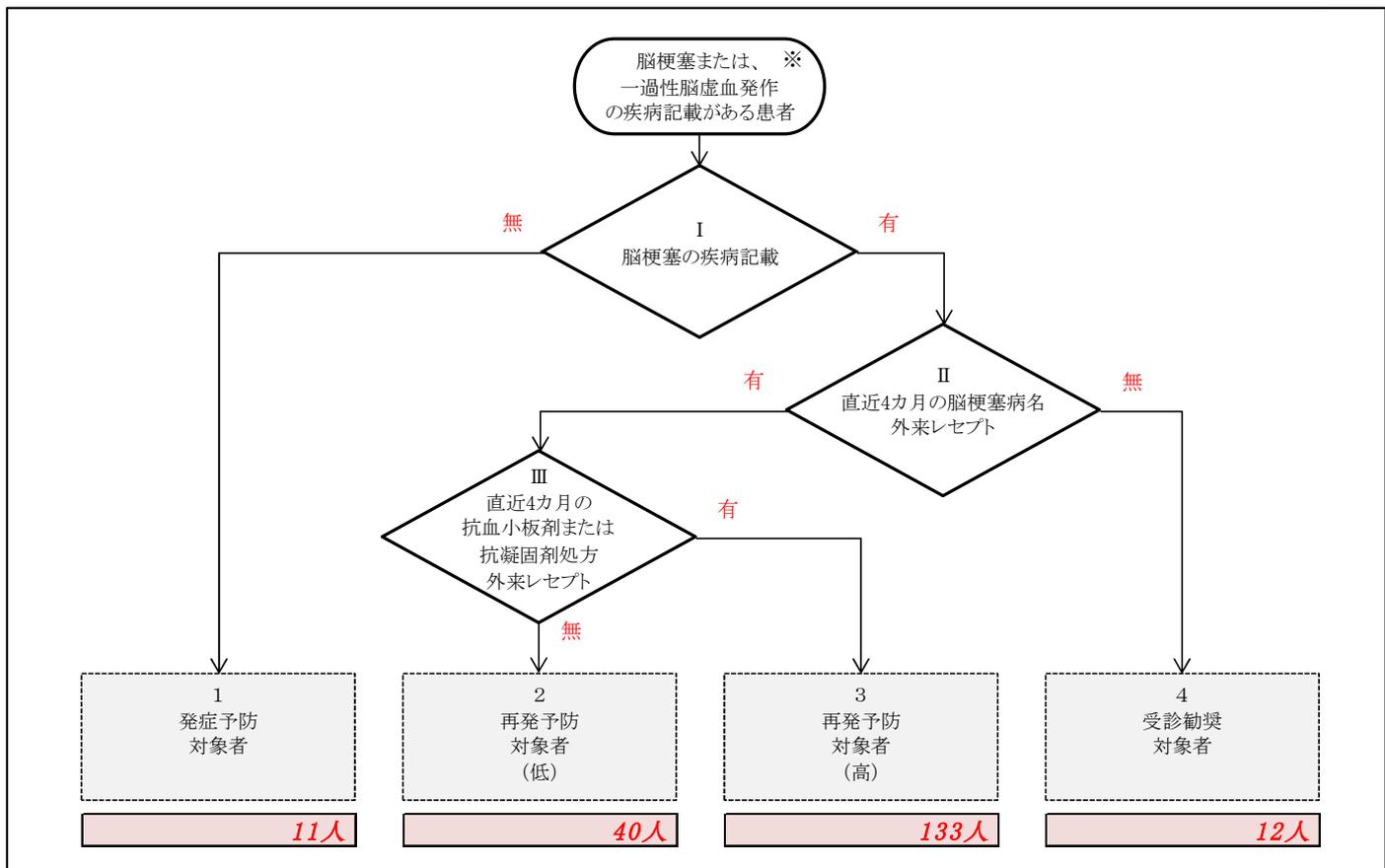
ここでは、レセプトデータより、過去に脳梗塞を発症した患者または一過性脳虚血発作を発症した患者に対し、疾病・処方医薬品・通院傾向を把握し、発症と再発を予防するための対象者分析を行う。

一過性脳虚血発作を発症した患者は、脳梗塞の発症リスクが高いと考えられるため、発症予防の対象者として分類する(1. 発症予防対象者)。

脳梗塞の疾病が確認される患者については、直近4カ月における脳梗塞の外来レセプトの有無を確認する。外来レセプトが有る場合、医療機関への受診は行われているため、再発予防の対象者とする(2. 3. 再発予防対象者)。その際「抗血小板剤または抗凝固剤」処方の有無により、優先度を設定する。

外来レセプトが無い場合、定期的な受診を促す(4. 受診勧奨対象者)。

レセプトによる脳梗塞再発予防指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

※脳梗塞または、一過性脳虚血発作の疾病記載がある患者…入院中のおそれがあるため、直近4カ月の脳梗塞の入院レセプトがある患者は除く。

一過性脳虚血発作…脳梗塞と同様の症状が一時的に起こって短時間で消失する現象。本格的な脳梗塞を起こす前兆発作といわれている。抗血小板剤または抗凝固剤…凝固因子の活性化や血小板の働きを抑えることにより血液を固まりにくくする薬。心筋梗塞や脳梗塞の予防を目的として処方されることから、ここでは高リスク者の判定材料とした。

(3) 適切な指導実施方法の確立

脳梗塞は生活習慣病に関連した疾病であるため、生活習慣を改善する指導を行うことで、再発のリスクを減少させることができると考えられる。

ここでは、データ分析会社及び保健指導実施会社への業者委託を前提とした、実施例をひとつの方法として説明する。業者委託のメリットは、準備と人的資源を軽減できること、既に実績を有しており一定の効果が実証されていること等である。

以下に示すのは、指導実施方法のフローである。

まず、保険者はレセプトデータや健康診査データ等、分析に必要なデータをデータ分析会社に提供する。データ分析会社は受領したデータから脳梗塞発症予防・再発予防に適切な指導対象者を特定する。その後、データ分析会社は、保健指導実施会社へ指導を委託する。保健指導実施会社の保健師・看護師は、対象者に対し、同意の取得を行い、面談・電話にて指導を行う。保健指導実施会社は指導結果を分析会社に提出し、データ分析会社はこれらデータとレセプト、健診データ等を使用し分析を行う。分析結果を保険者へ報告する。

(4) 成果の確認方法

次に、保健指導成果の確認方法について述べる。ここでは、前項に引き続き、データ分析会社及び保健指導実施会社への業者委託を前提とした、実施例を説明する。事業の評価は以下のとおり、客観的な検査値の推移、指導対象者、つまり患者本人の評価、指導を行った保健師・看護師の指導記録により行う。

成果の確認方法(脳梗塞の発症予防・再発予防事業)

	評価基準	方法	詳細	頻度
①	検査値の推移	患者から提供される検査値を記録し、数値が維持・改善されているかを確認する。	項目は「収縮期血圧、拡張期血圧、HbA1c、空腹時血糖、HDL、LDL」	3カ月に1回記録 (患者に提供してもらわない場合は記録できない)
②	患者本人の評価	アンケートによる患者本人の評価を集計する。	アンケート項目 ・自己管理に関するもの ・QOL(生活の質)に関するもの	3カ月に1回実施
③	保健師・看護師の指導記録	指導時に生活習慣をヒアリングする。食事・運動に関する問題点を指導、及び目標を設定する。	患者に合った指導を行う。	3カ月に1回報告

7. メンタル疾患の発症予防事業

健康寿命の延伸を実現するために、身体健康と共に重要とされるのが、メンタル疾患を予防しこころの健康を維持することである。厚生労働省は健康日本21(第三次)において、基本的な方針に「社会環境の質の向上」を定め、「社会とのつながり・こころの健康の維持及び向上」の観点から、地域の人々とのつながりが強いと思う者の増加、メンタルヘルス対策に取り組む事業場の増加等を具体的な目標として掲げている。

メンタル疾患として代表的な、うつ病を含む気分障害の患者は、厚生労働省の患者調査において近年急速に増加していることが指摘されている。また、うつ病やうつ状態となると、喫煙率が高くなる・肥満になる等健康的な生活習慣が妨げられる傾向があり、その結果、脳卒中・心筋梗塞等の予後が悪化することが明らかとなっている。

ここでは、疾病分類の中分類における「0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)」及び「0505 神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害」(以下、「神経症、ストレス関連等」という)、うつ病と関係性が高い「睡眠障害」「アルコール使用障害」を“メンタル疾患”とし、分析する。

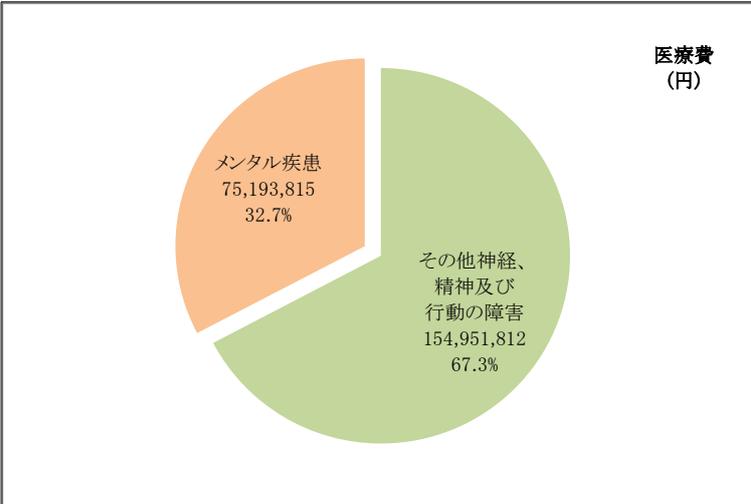
参考資料: 厚生労働省「健康日本21(第三次)の推進のための説明資料」

(1) 医療費全体におけるメンタル疾患の割合

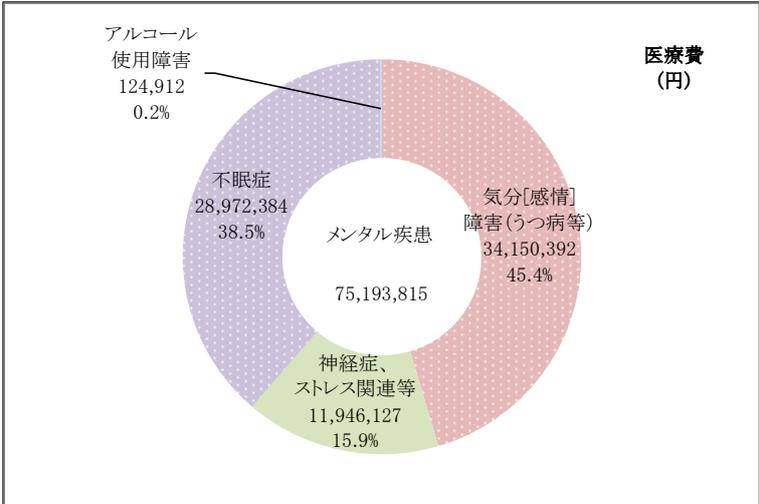
大分類による疾病別医療費をみると、医療費全体における「V. 精神及び行動の障害」「VI. 神経系の疾患」の割合は11.5%であった。このうち“メンタル疾患”の割合を集計すると32.7%であった(※)。「気分[感情]障害(うつ病等)」、「不眠症」が多くを占めており、対策が必要な疾病であると考えられる。

※…「V. 精神及び行動の障害」分類には認知症、統合失調症、知的障害等が含まれ、「VI. 神経系の疾患」分類にはパーキンソン病、アルツハイマー病、てんかん等含まれる疾病が多岐にわたる。

神経、精神及び行動の障害におけるメンタル疾患の割合



メンタル疾患の医療費割合

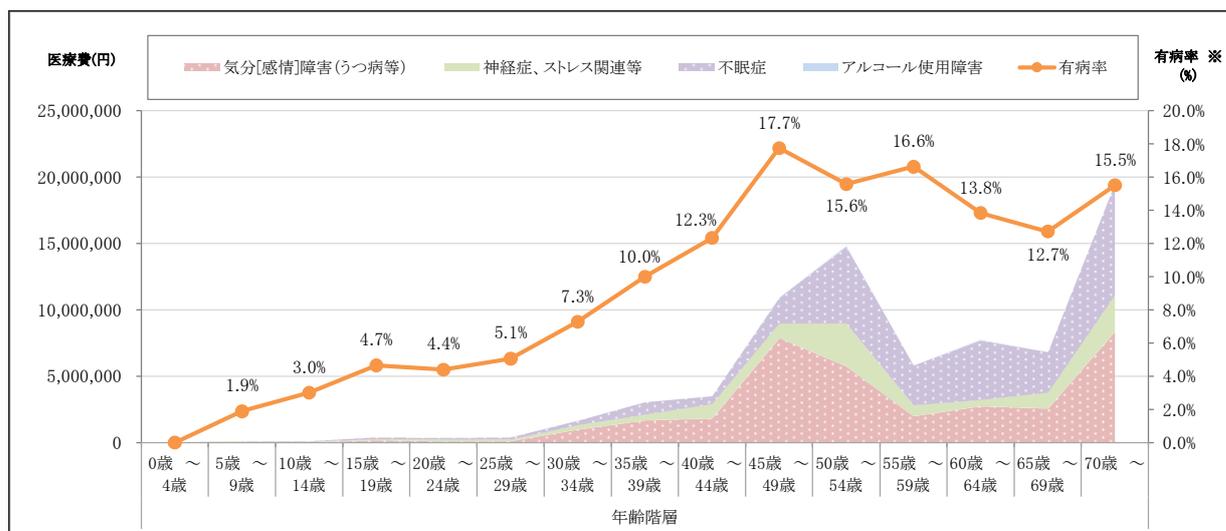


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 データ化範囲(分析対象)期間内に「気分[感情]障害(うつ病等)」もしくは「神経症、ストレス関連等」「不眠症」「アルコール使用障害」に関する診療行為がある患者を対象に集計。
 株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

(2) 年齢階層別の医療費と有病率

次に、年齢階層別のメンタル疾患の医療費及び有病率を以下に示す。

年齢階層別被保険者における“メンタル疾患”疾病別医療費と有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

データ化範囲(分析対象)期間内の「気分[感情]障害(うつ病等)」もしくは「神経症、ストレス関連等」「不眠症」「アルコール使用障害」に関する診療行為がある患者を対象に医療費を集計。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※有病率…データ化範囲(分析対象)期間内に「気分[感情]障害(うつ病等)」もしくは「神経症、ストレス関連等」「不眠症」「アルコール使用障害」に関する投薬がある患者を対象に集計。

患者の地区別内訳

順位	地区名	被保険者(人)		合計(人)
		男性	女性	
1	中野	94	137	231
2	篠塚	63	89	152
3	鶉	18	32	50
4	狸塚	22	27	49
5	明野	15	26	41
6	赤堀	18	23	41
7	石打	15	24	39
8	新中野	13	18	31
9	藤川	14	17	31
10	秋妻	9	15	24
その他		12	18	30
総計		293	426	719

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

データ化範囲(分析対象)期間内に「気分[感情]障害(うつ病等)」もしくは「神経症、ストレス関連等」「不眠症」「アルコール使用障害」に関する投薬がある患者を対象に集計。

上位10地区のみ表示。上位10地区以外の対象者数はその他に集約している。

(3) 適切な対策実施方法の確立

メンタル疾患において軽度な段階で早期発見、早期治療を行い、深刻な症状への進行を防ぐことが大切である。早期発見するために、住民を対象としたうつ病、抑うつ状態に関する意識調査、メンタルヘルスの相談が行えるように健康相談の体制の充実を図ることが重要である。また、メンタルヘルスについて理解を深めるために、勉強会を企画したり、うつ対策を進めている他都道府県、市区町村へ視察する等して、適切な対策方法を確立することが大切である。

8. 受診行動適正化指導事業

多受診(重複受診・頻回受診・重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要である。ここでは「多受診患者数とその傾向」を把握し、「指導対象者集団の特定」「適切な指導実施方法の確立」「成果の確認方法」について明確にする。

(1) 多受診(重複受診・頻回受診・重複服薬)患者数とその傾向

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析した。

以下のとおり重複受診者数を集計した。ひと月平均4人程度の重複受診者が確認できる。12カ月間の延べ人数は46人、実人数は36人である。

重複受診者数

	令和5年4月	令和5年5月	令和5年6月	令和5年7月	令和5年8月	令和5年9月	令和5年10月	令和5年11月	令和5年12月	令和6年1月	令和6年2月	令和6年3月
重複受診者数(人) ※	1	5	7	2	4	1	3	1	5	6	5	6
											12カ月間の延べ人数	46人
											12カ月間の実人数	36人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※重複受診者数…1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

重複受診の要因となる主な上位疾病は以下のとおりである。

順位	病名	分類	割合(%)
1	慢性胃炎	消化器系の疾患	11.5%
2	高血圧症	循環器系の疾患	6.4%
3	クローン病	消化器系の疾患	5.8%
4	糖尿病	内分泌, 栄養及び代謝疾患	3.8%
5	急性気管支炎	呼吸器系の疾患	3.8%
6	橈骨遠位端骨折	損傷, 中毒及びその他の外因の影響	3.8%
7	脳梗塞	循環器系の疾患	3.8%
8	便秘症	消化器系の疾患	3.8%
9	湿疹	皮膚及び皮下組織の疾患	3.2%
10	COVID-19	特殊目的用コード	3.2%

以下のとおり頻回受診者数を集計した。ひと月平均13人程度の頻回受診者が確認できる。12カ月間の延べ人数は160人、実人数は49人である。

頻回受診者数

	令和5年4月	令和5年5月	令和5年6月	令和5年7月	令和5年8月	令和5年9月	令和5年10月	令和5年11月	令和5年12月	令和6年1月	令和6年2月	令和6年3月
頻回受診者数(人) ※	13	17	16	19	9	12	17	13	10	10	11	13
										12カ月間の延べ人数	160人	
										12カ月間の実人数	49人	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

※頻回受診者数…1カ月間で同一医療機関に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

頻回受診の要因となる主な上位疾病は以下のとおりである。

順位	病名	分類	割合(%)
1	統合失調症	精神及び行動の障害	18.7%
2	腰椎椎間板症	筋骨格系及び結合組織の疾患	7.6%
3	変形性腰椎症	筋骨格系及び結合組織の疾患	6.6%
4	腰椎椎間板ヘルニア	筋骨格系及び結合組織の疾患	6.6%
5	頸椎椎間板症	筋骨格系及び結合組織の疾患	6.1%
6	高次脳機能障害	精神及び行動の障害	6.1%
7	頸椎捻挫	損傷, 中毒及びその他の外因の影響	5.1%
8	挫傷	損傷, 中毒及びその他の外因の影響	3.5%
9	骨粗鬆症	筋骨格系及び結合組織の疾患	3.0%
10	胃炎	消化器系の疾患	3.0%

以下のとおり重複服薬者数を集計した。ひと月平均10人程度の重複服薬者が確認できる。12カ月間の延べ人数は121人、実人数は79人である。

重複服薬者数

	令和5年4月	令和5年5月	令和5年6月	令和5年7月	令和5年8月	令和5年9月	令和5年10月	令和5年11月	令和5年12月	令和6年1月	令和6年2月	令和6年3月
重複服薬者数(人) ※	5	6	8	5	6	16	9	8	15	15	12	16
											12カ月間の延べ人数	121人
											12カ月間の実人数	79人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

※重複服薬者数…1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。

重複服薬の要因となる主な上位薬品は以下のとおりである。

順位	医薬品名 ※	薬効分類	割合(%)
1	カンデサルタン錠4mg「日新」	血圧降下剤	7.1%
2	デパス錠1mg	精神神経用剤	6.0%
3	ノルバスク錠2.5mg	血管拡張剤	4.9%
4	プレドニゾン錠1mg(旭化成)	副腎ホルモン剤	3.6%
5	レバミピド錠100mg「オーツカ」	消化性潰瘍用剤	3.4%
6	ロスバスタチン錠5mg「サワイ」	高脂血症用剤	2.8%
7	ポララミン錠2mg	抗ヒスタミン剤	2.3%
8	メトグルコ錠250mg	糖尿病用剤	2.3%
9	ロサルタンカリウム錠25mg「サワイ」	血圧降下剤	2.1%
10	エソメプラゾールカプセル20mg「ニプロ」	消化性潰瘍用剤	2.1%

※医薬品名…重複服薬と判定された同系の医薬品の中で、最も多く処方された医薬品名。

(2) 指導対象者集団の特定

分析結果より、12カ月間で重複受診者は36人、頻回受診者は49人、重複服薬者は79人存在する。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性のある患者も含まれることである。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要がある。ここでは、令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析した。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行う。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前項の分析結果より患者数は減少する。

条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I. 条件設定による指導対象者の特定

- ・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者
- ・頻回受診患者 …1カ月間で同一医療機関に12回以上受診している患者
- ・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者

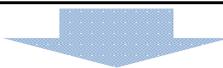
条件設定により候補者となった患者数	156人
-------------------	-------------

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和6年3月31日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外する。「がん患者」「精神疾患患者」「難病患者」「認知症患者」「人工透析患者」に関しては、必要な医療による受診の可能性はある。また、指導が困難な可能性も考えられる。以上の理由から、該当する患者について指導対象者から除外する。

除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II. 除外設定

		除外理由別人数
除外	がん、精神疾患、難病、認知症 ※ 人工透析	113人
		
除外患者を除き、候補者となった患者数		43人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和6年3月31日時点。
※がん、精神疾患、難病、認知症…疑い病名を含む。

次に、残る対象者43人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定する。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためである。効果については、レセプト期間最終月から6カ月間遡ったレセプトのうち、5～6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先とする。効率については、指導のアポイントメントが取りやすい等の理由から60歳以上を最優先とし、次に、50歳～59歳を対象とした。以下のとおり、効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fは8人となった。

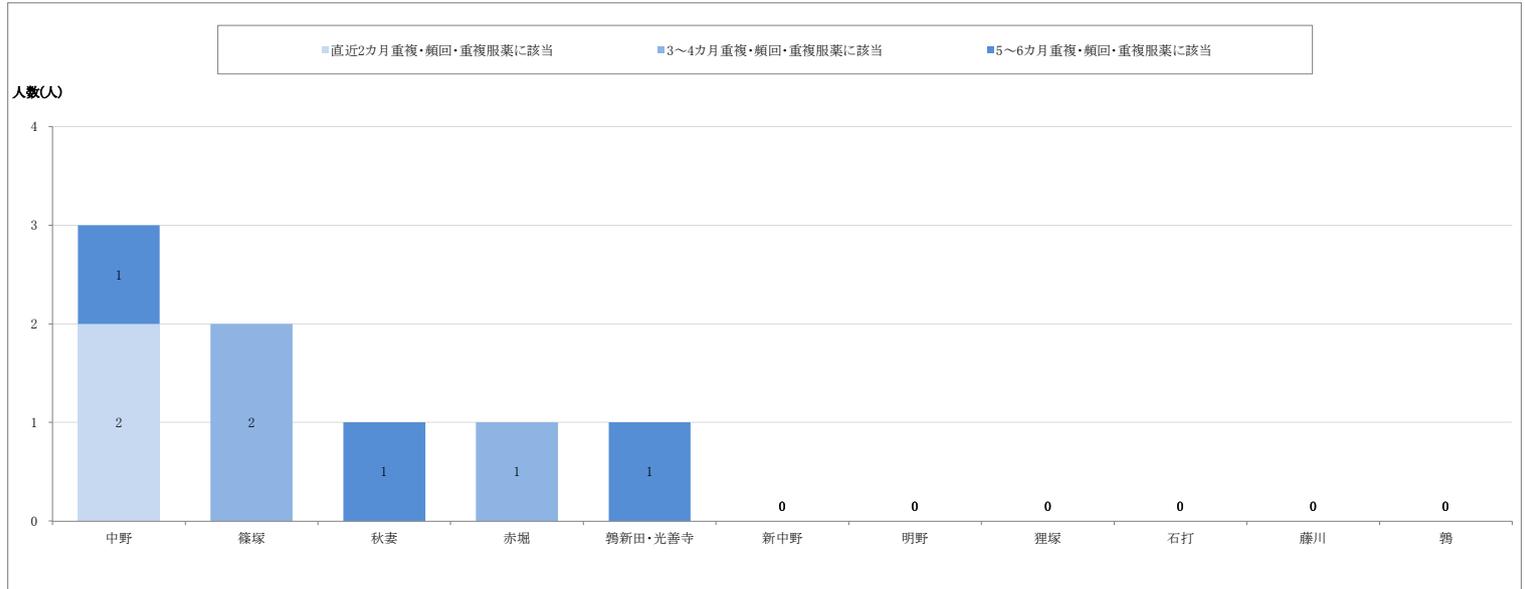
優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅲ. 優先順位				
↑高 効果 低↓	最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者A 3人	候補者C 0人	候補者 としない
	最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者B 2人	候補者D 1人	
	最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該当)	候補者E 2人	候補者F 0人	
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者			35人
		60歳以上	50～59歳	50歳未満
←良 効率 悪→				
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数				8人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和6年3月31日時点。

効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数を地区別に示す。

保健指導候補者の地区分布



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…令和6年3月31日時点。

以上の分析のように「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者を特定し保健事業を実施することが効果的だと考える。

(3) 適切な指導実施方法の確立

ここでは、データ分析会社及び保健指導実施会社への業者委託を前提とした、他保険者での実施例をひとつの方法として説明する。業者委託のメリットは、準備と人的資源を軽減できること、既に実績を有しており一定の効果が実証されていること等である。

以下に示すのは、指導実施方法のフローである。

まず、保険者はレセプトデータや健康診査データ等、分析に必要なデータをデータ分析会社に提供する。データ分析会社は受領したデータから受診行動適正化指導に適切な指導対象者を特定する。その後データ分析会社は、保健指導実施会社へ指導を委託する。保健指導実施会社の保健師・看護師は、対象者に対し、同意の取得を行い、面談・電話にて指導を行う。保健指導実施会社は指導結果を分析会社に提出し、データ分析会社はこれらのデータとレセプトデータ等を使用し分析を行う。分析結果を保険者へ報告する。

(4) 成果の確認方法

成果の確認方法については、保健指導の実施報告書と指導前後のレセプトにより削減効果額を算出する。指導実施前後のレセプトをデータ化していることが前提となる。

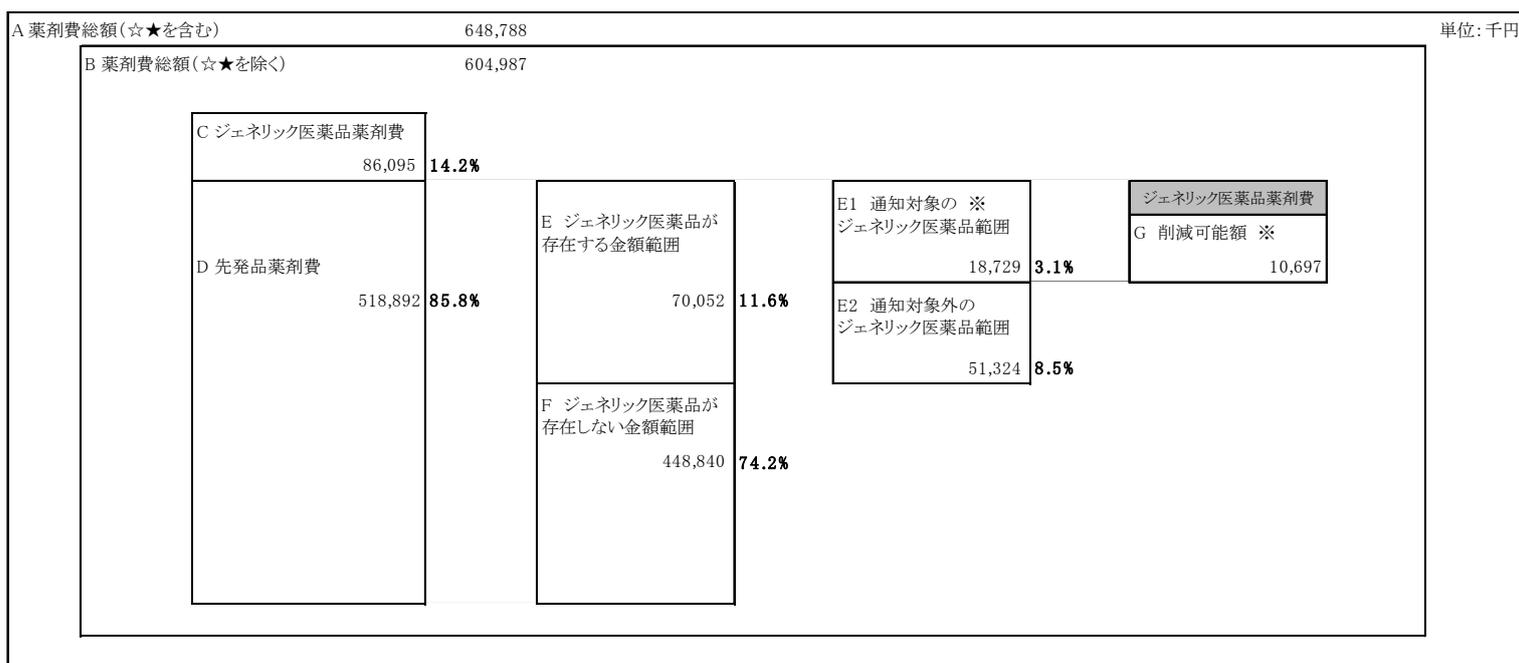
9. ジェネリック医薬品差額通知事業

(1) ジェネリック医薬品への切り替えポテンシャル

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図る。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点がある。ここでは、令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、金額・数量・患者数においてジェネリック医薬品切り替えポテンシャルを分析した。

薬剤費の内訳を以下に示す。薬剤費総額6億4,879万円(A)のうち、厚生労働省が定めているジェネリック普及率算出対象となる薬剤費総額は6億499万円(B)となる。以下、この金額をもとに分析を行う。先発品薬剤費は5億1,889万円(D)で85.8%を占め、このうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲は7,005万円(E)となり、11.6%を占める。さらに株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、1,873万円(E1)がジェネリック医薬品切り替え可能範囲となり、このうち削減可能額は1,070万円(G)となる。

ジェネリック医薬品への切り替えポテンシャル(金額ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

☆…厚生労働省指定薬剤のうち、後発医薬品がある先発医薬品で後発医薬品と同額または薬価が低いもの。

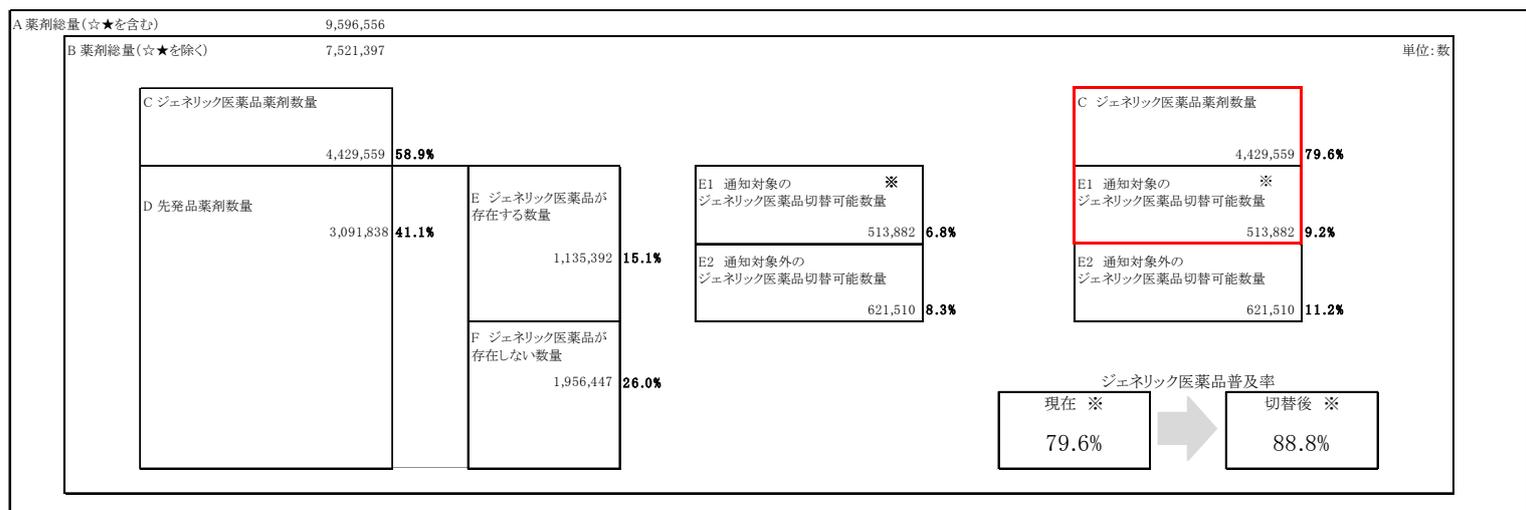
★…厚生労働省指定薬剤のうち、後発医薬品で先発医薬品と同額または薬価が高いもの。

※Eのうち通知対象のジェネリック医薬品範囲…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方等、通知対象として不適切な場合は含まない)。

※先発品のうち削減可能額…通知対象のジェネリック医薬品範囲のうち、後発品へ切り替える事により削減可能な金額。

次に、薬剤総量の内訳を以下に示す。薬剤総量960万(A)のうち、厚生労働省が定めているジェネリック普及率算出対象となる薬剤総量は752万(B)となる。以下、この数量をもとに分析を行う。先発品薬剤数量は309万(D)で41.1%を占め、このうちジェネリック医薬品が存在する数量は114万(E)となり、15.1%を占める。さらに株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、51万(E1)がジェネリック医薬品切り替え可能数量となる。現在のジェネリック医薬品普及率(数量ベース)は、79.6%である。ジェネリック医薬品切り替え可能数量(E1)を全てジェネリック医薬品へ切り替えたと仮定すると、ジェネリック医薬品に置き換えられる先発品及びジェネリック医薬品をベースとしたジェネリック医薬品普及率は、現在の79.6%から88.8%となる。

ジェネリック医薬品への切り替えポテンシャル(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

☆…厚生労働省指定薬剤のうち、後発医薬品がある先発医薬品で後発医薬品と同額または薬価が低いもの。

★…厚生労働省指定薬剤のうち、後発医薬品で先発医薬品と同額または薬価が高いもの。

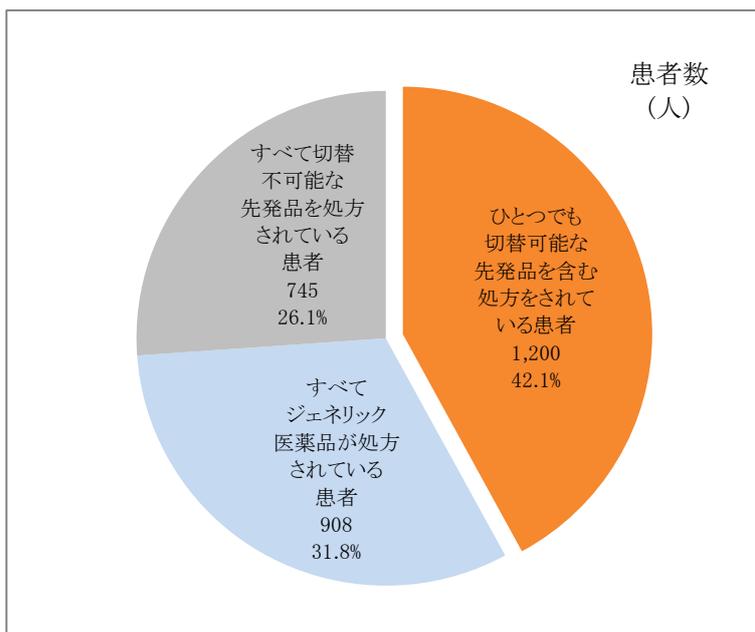
※Eのうち通知対象のジェネリック医薬品切替可能数量…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方等、通知対象として不適切な場合は含まない)。

※現在のジェネリック医薬品普及率…C ジェネリック医薬品薬剤数量/(C ジェネリック医薬品薬剤数量+E 先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)×100

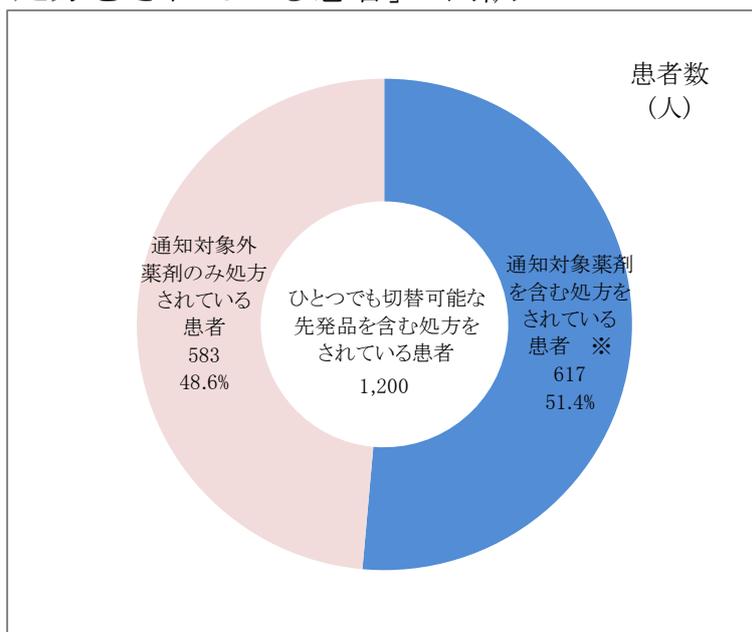
※切替後のジェネリック医薬品普及率…(C ジェネリック医薬品薬剤数量+E1 通知対象のジェネリック医薬品切替可能数量)/(C ジェネリック医薬品薬剤数量+E 先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)×100

令和6年3月診療分のレセプトで薬剤処方状況別の患者数を以下に示す。患者数は2,853人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は1,200人で患者数全体の42.1%を占める。さらにこのうち株式会社データホライゾン基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、617人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、ひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者の51.4%を占める。

ジェネリック医薬品への切り替えポテンシャル(患者数ベース)



「ひとつでも切替可能な先発品を含む処方をされている患者」の内訳



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和6年3月診療分(1ヵ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…株式会社データホライゾン通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方のみは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(2) ジェネリック医薬品差額通知事業の実施方法と成果の確認方法

レセプトからジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定し、通知書を発送する。発送後のレセプトを用いて、ジェネリック医薬品の使用率と薬剤費削減状況を確認する。

10. COPD早期発見を目的とする啓発事業

COPD(慢性閉塞性肺疾患)は、主に長期の喫煙によってもたらされる肺の炎症性疾患で咳・痰・息切れ等の症状があり、緩徐に呼吸障害が進行する疾患である。世界的にみると、WHOファクトシート「死亡原因トップ10」において、COPDは2019年の世界死亡原因3位である。厚生労働省「令和4年人口動態統計」によると、日本のCOPDによる死亡数は1万6千人以上、うち男性は1万4千人以上である。

(1) COPDの認知度及びCOPD患者の実態

COPDの認知度は、「どんな病気かよく知っている」人が13.2%、「名前は聞いたことがある」人が19.9%で合計33.1%と低く、また、日本におけるCOPDの治療を行っている患者は約26万1千人、それに対して潜在患者は530万人と推定されている。厚生労働省は健康日本21(第三次)において、認知度の向上を行うことに加え、発症予防、早期発見・介入、重症化予防等の対策を総合的に行うことが重要であるとし、予防・早期発見を通じ、COPDの死亡率の減少を最終目標として定めている。認知度の低さから医療機関にかからないまま重症化する患者が存在すると推測される。医療機関と連携し、ハイリスク者への医療機関受診勧奨を行い、早期発見を促す必要がある。

邑楽町国民健康保険の被保険者を対象に令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)で分析したところ、治療を行っている患者は51人であった。日本における治療患者と潜在患者の比率を参考に、邑楽町国民健康保険被保険者に換算すると、潜在患者は1,020人程度と想定する。

COPDの認知度状況

設問:あなたはCOPDという病気を知っていますか?		
どんな病気かよく知っている	1,318	13.2%
名前は聞いたことがある	1,988	19.9%
知らない	6,694	66.9%

出典:GOLD日本委員会 調査

http://www.gold-jac.jp/copd_facts_in_japan/copd_degree_of_recognition.html (アクセス日:令和6年3月31日)
1万人を対象とした調査。(令和5年12月調査)

COPD患者の治療状況と潜在患者数

対象範囲	治療患者数	潜在患者数
日本	26万1千人 ※	推定530万人 ※
邑楽町国民健康保険 被保険者	51人 内訳: 男性39人 (76%) 女性12人 (24%)	推定1,020人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

薬物療法が発生している患者のみ分析対象とする。

参考資料

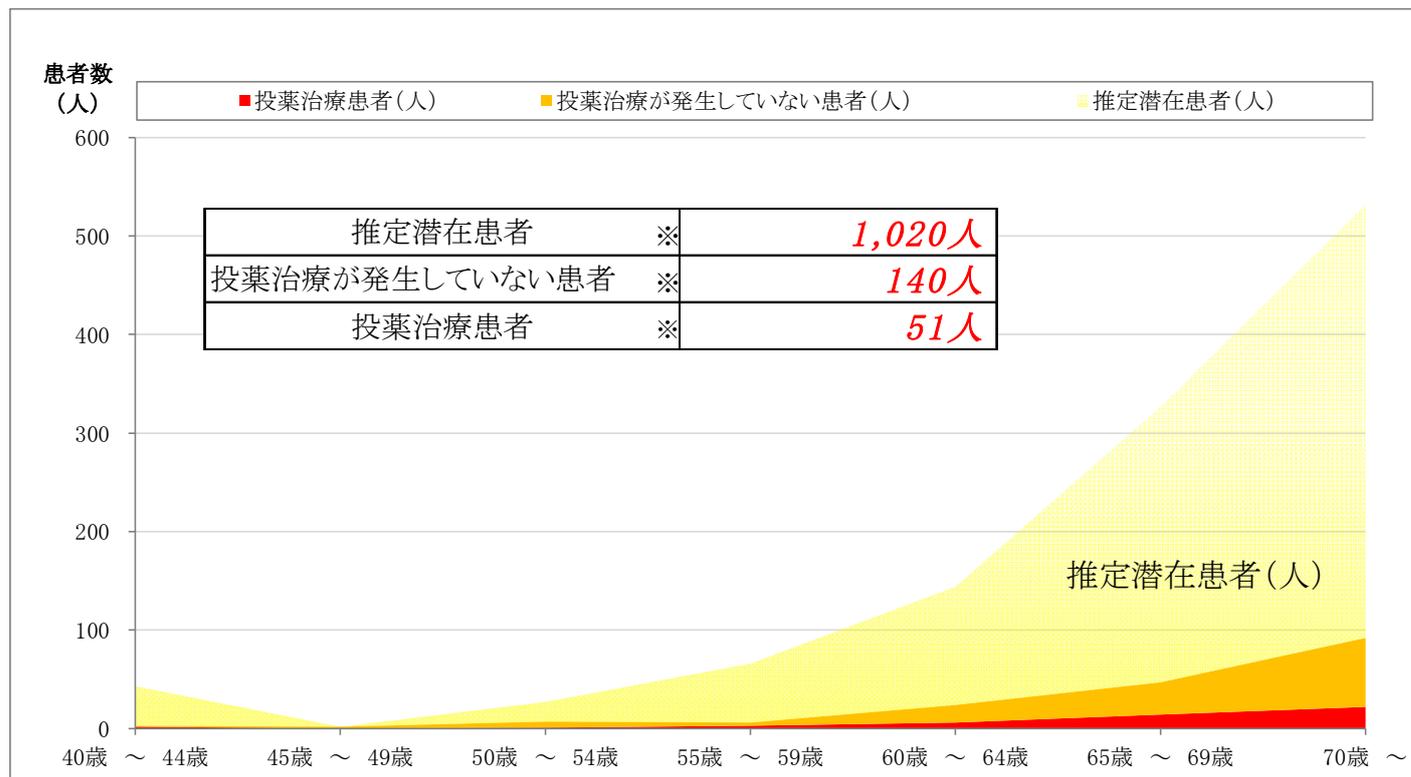
※治療患者数…厚生労働省「平成26年患者調査(総患者数,性・年齢階層×傷病小分類別)」

http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020103.do?_toGL08020103_&listID=000001141596 (アクセス日:令和6年3月31日)

※潜在患者数…Fukuchi Y, et al, COPD in Japan: the Nippon COPD Epidemiology study, *Respirology*.2004Nov;9(4):458-65

以下のとおり、邑楽町国民健康保険におけるCOPD患者の年齢階層別「投薬治療患者」「投薬治療が発生していない患者」「推定潜在患者」を示す。

COPD患者の治療状況と潜在患者数



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※推定潜在患者…投薬治療患者の数に対し、日本の潜在患者数を参考に推定した患者数。

※投薬治療が発生していない患者…データ化範囲内において傷病名に慢性閉塞性肺疾患があるが投薬は確認できない患者数。

※投薬治療患者…データ化範囲内において傷病名に慢性閉塞性肺疾患があり、投薬も確認できる患者数。

(2) COPD患者の医療費と医療機関の現状

投薬治療患者51人と投薬が発生していない患者140人を合わせたCOPD患者全体191人の医療費を分析したところ、以下のとおりとなった。12カ月間での患者一人当たりの医療費平均は151万円程度、このうちCOPD関連の医療費が5万円程度、COPD関連以外の医療費が146万円程度である。COPD関連の医療費自体は高額ではないが、患者毎にみると、生活習慣病である糖尿病・高血圧・脂質異常等を併存している患者が多い。

COPD患者全体の医療費平均

	一人当たり医療費(円)
医療費合計	1,509,275
COPD関連	53,959
COPD関連以外	1,455,317

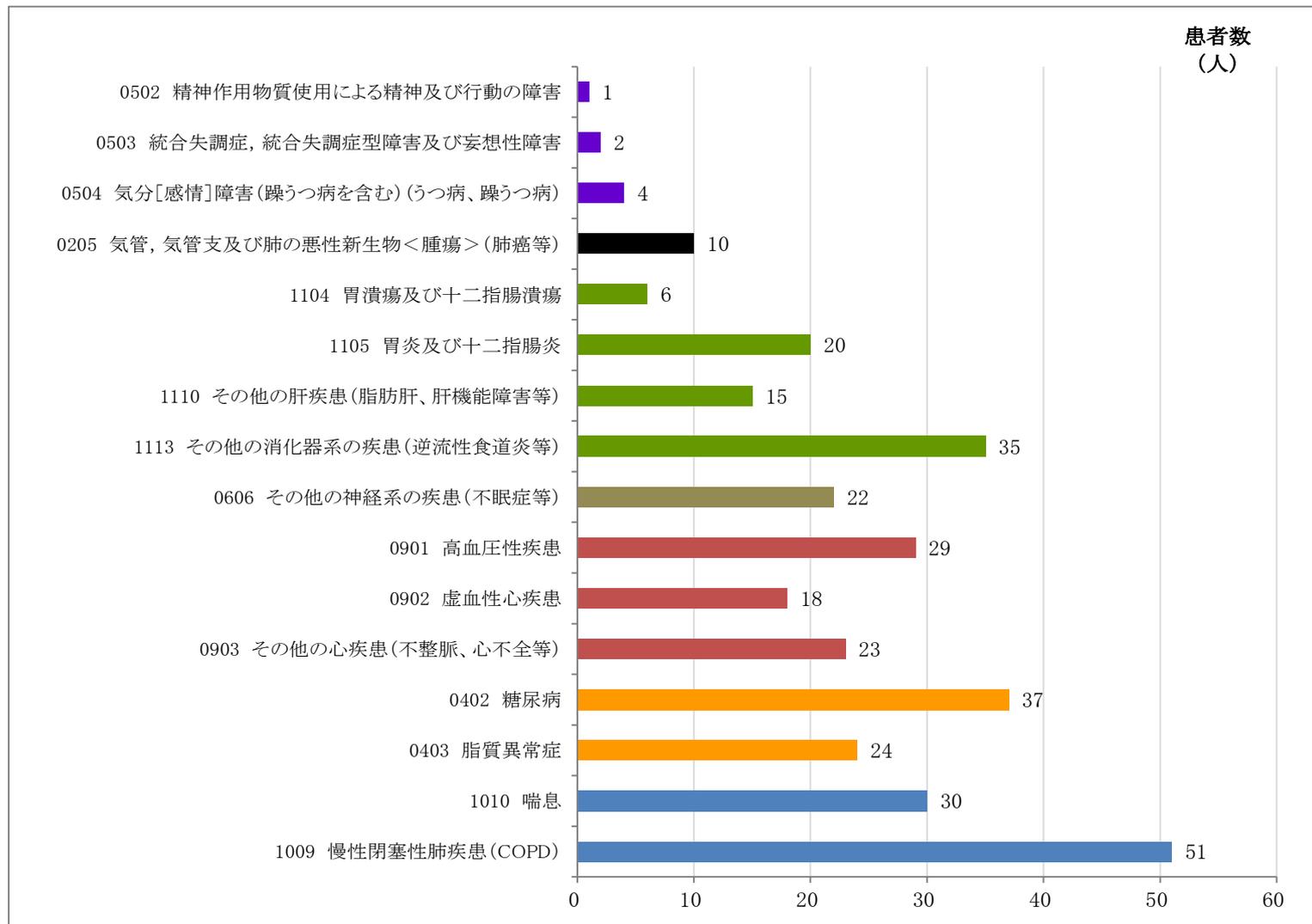
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

COPD患者51人が併存している疾患を以下のとおり示す。COPD患者は高血圧・心疾患等の循環器系疾患や、糖尿病及び脂質異常等の生活習慣病を併存している。また、肺がんは51人のうち19.6%の10人が併存している。肺がん等の悪性新生物、うつ病・躁うつ病、統合失調症については、患者一人当たりの医療費が高額な疾病である。

COPD患者の併存疾患



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

薬物療法が発生している患者のみ分析対象とする。

COPDの全身併存症		肺の合併症
●全身性炎症	●骨粗鬆症	●喘息
●骨格筋機能障害、サルコペニア、フレイル	●心血管疾患	●肺がん
●消化器疾患、GERD、嚥下障害	●不安、抑うつ、認知症	●気腫合併肺線維症
●代謝性疾患	●閉塞性睡眠時無呼吸	
●貧血		

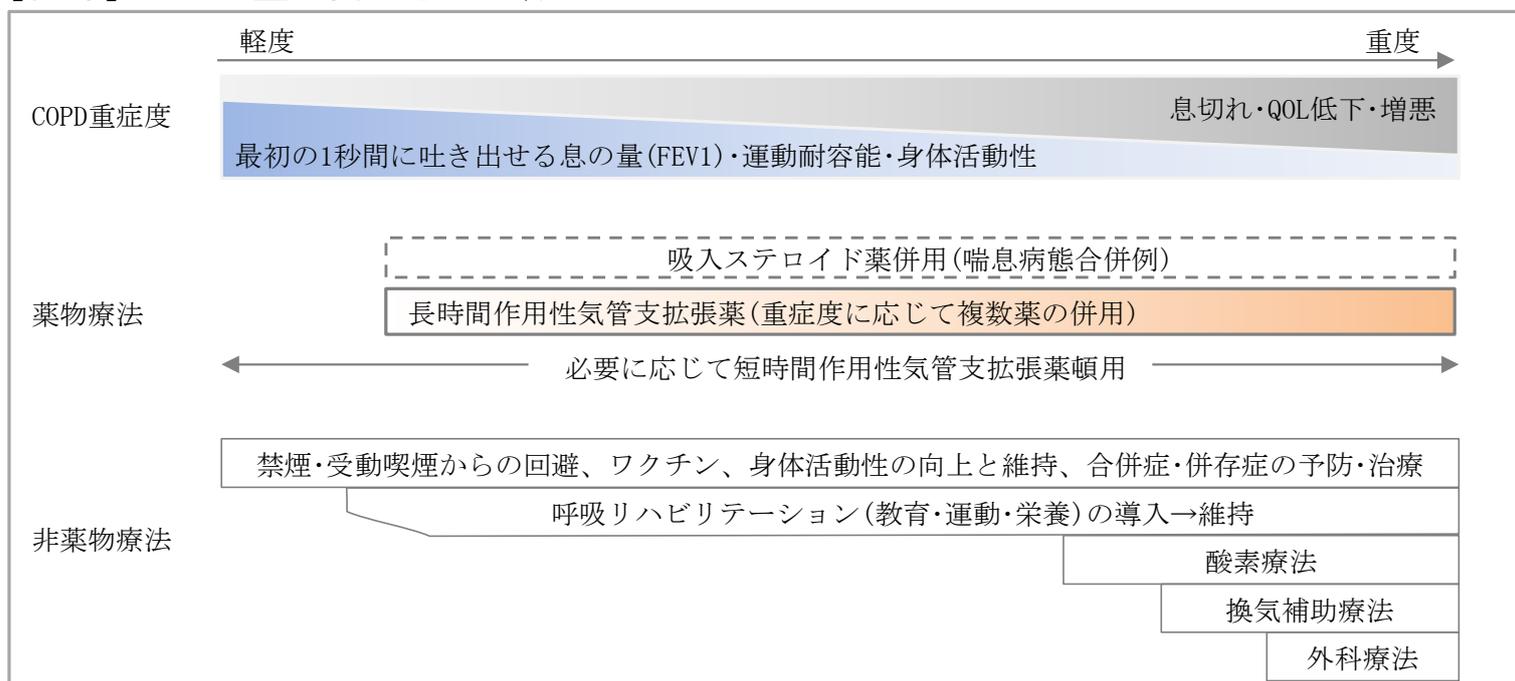
出典: 日本呼吸器学会COPDガイドライン第6版作成委員会

「COPD(慢性閉塞性肺疾患)診断と治療のためのガイドライン第6版2022」(メディカルレビュー社)

COPDは徐々に進行していく疾病であり、重症化例では合併症や併存症の発症リスクが高まり、酸素療法や外科療法を必要とする病態への進行、生命予後の低下が懸念される。少しでも早い段階で診断を受け、禁煙を含む適切な治療を開始することで症状の改善及び進行の抑制を図ることが望ましいが、本項冒頭に示したようにCOPDの認知度も低いことから、重症化してから医療機関にかかる患者が存在すると考えられる。

COPDの診断はスパイロメータ(呼吸機能を検査するための医療機器)による検査で行える。しかし、スパイロメータが設置されている医療機関は、呼吸器内科等ある程度限られているのが現状である。令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)のレセプトにおいて、スパイロメータの診療行為が発生している医療機関は31施設存在する。これらの医療機関と連携し、早期発見に向けた医療機関受診勧奨を行う必要がある。

【参考】COPDの重症度に応じた管理



「COPD(慢性閉塞性肺疾患)診断と治療のためのガイドライン第6版2022」(日本呼吸器学会COPDガイドライン第6版作成委員会, メディカルレビュー社)を参照して作成

(3) 早期発見に向けた啓発事業

「COPDの認知度及びCOPD患者の実態」及び「COPD患者の医療費と医療機関の現状」から、COPDの早期発見に向けて、啓発事業を実施することが効果的だと考える。

以下に示すのは、実施方法のフローである。

保険者はレセプトデータ等をデータ分析会社へ提供し、データ分析会社は様々な観点から階層化を行い、COPDを発症している可能性のある対象者、将来発症する可能性の高い対象者を特定する。これら対象者に対し、COPDの啓発につながるリーフレット、医療機関での検査を勧める内容の通知書を送付する。実施後、これらの効果を測定する。

(4) 成果の確認方法

受診勧奨通知書発送後、レセプトデータを確認し通知における効果を測定する。また、アンケートを送付し、現在の認知度調査、今後の事業展開の課題を明確にするアプローチも重要である。

11. 薬剤併用禁忌の防止に向けて

(1) 薬剤併用禁忌分析

特定の薬剤の併用により、病状の悪化、深刻な副作用、効果の減少等の様々なリスクを引き起こす可能性がある。本分析では、服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、併用禁忌となる薬剤の組み合わせをレセプトデータから分析する。

令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)で発生した併用禁忌は、278件、84人が該当する。主な併用禁忌の組み合わせを以下に示す。

実人数(人)	84
件数合計(件)	278

薬剤併用禁忌 医薬品リスト

No.	(X) 剤型名	(X) 医薬品コード	(X) 医薬品名	(Y) 剤型名	(Y) 医薬品コード	(Y) 医薬品名	件数
1	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	622200701	クエチアピン錠100mg「アメル」	19
2	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	622200801	クエチアピン錠200mg「アメル」	19
3	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	611170743	コントミン糖衣錠50mg	19
4	内服	611170693	バルネチール錠200 200mg	内服	622200701	クエチアピン錠100mg「アメル」	19
5	内服	611170693	バルネチール錠200 200mg	内服	622200801	クエチアピン錠200mg「アメル」	19
6	内服	611170693	バルネチール錠200 200mg	内服	611170743	コントミン糖衣錠50mg	19
7	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	620008158	リスベリドン錠3mg「サワイ」	17
8	内服	611170693	バルネチール錠200 200mg	内服	620008158	リスベリドン錠3mg「サワイ」	17
9	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	11
10	内服	611170692	バルネチール錠100 100mg	内服	622484101	オランザピンOD錠10mg「杏林」	11
11	内服	611170693	バルネチール錠200 200mg	内服	622484101	オランザピンOD錠10mg「杏林」	11
12	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	10
13	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	622660201	トアラセット配合錠「共創未来」	7
14	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	6
15	内服	621634101	アセトアミノフェン錠200mg「三和」	内服	620161401	ビーエイ配合錠	5
16	内服	621634101	アセトアミノフェン錠200mg「三和」	内服	620160501	PL配合顆粒	4
17	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	4
18	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	622647501	トアラセット配合錠「クミファ」	4
19	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	620161401	ビーエイ配合錠	4
20	内服	622081101	トラムセット配合錠	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	4
21	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160501	PL配合顆粒	3
22	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	3
23	内服	622556801	アセトアミノフェン錠200mg「マルイシ」	内服	620160501	PL配合顆粒	2
24	内服	621498101	カフコデN配合錠	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	2
25	内服	616140105	クラリス錠200 200mg	内服	622374301	ベルソムラ錠20mg	2
26	内服	622650101	トアラセット配合錠「DSEP」	内服	622649001	アセトアミノフェン錠500mg「マルイシ」	2
27	内服	622667701	トアラセット配合錠「Me」	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	2
28	内服	622556801	アセトアミノフェン錠200mg「マルイシ」	内服	620160601	サラザック配合顆粒	1
29	内服	622556801	アセトアミノフェン錠200mg「マルイシ」	内服	622661701	トアラセット配合錠「杏林」	1
30	内服	622556801	アセトアミノフェン錠200mg「マルイシ」	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	1
31	内服	621634101	アセトアミノフェン錠200mg「三和」	内服	621498101	カフコデN配合錠	1
32	内服	621522602	アセトアミノフェン錠200mg「武田テバ」	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	1
33	内服	622649001	アセトアミノフェン錠500mg「マルイシ」	内服	621498101	カフコデN配合錠	1
34	内服	622658401	エレクトリブタン錠20mg「目新」	内服	622563203	リザトリブタンOD錠10mg「VTRS」	1
35	内服	620002022	カロナール細粒20%	内服	620000476	アセトアミノフェン(ハチ)	1
36	内服	620002022	カロナール細粒20%	内服	620160701	セラピナ配合顆粒	1
37	内服	620002022	カロナール細粒20%	内服	620159701	小児用ベレックス配合顆粒	1
38	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	621558101	SG配合顆粒	1
39	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	620160701	セラピナ配合顆粒	1
40	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	622647501	トアラセット配合錠「クミファ」	1
41	内服	620002023	カロナール錠200 200mg	内服	622081101	トラムセット配合錠	1
42	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620160501	PL配合顆粒	1
43	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	620160601	サラザック配合顆粒	1
44	内服	620000033	カロナール錠300 300mg	内服	622650101	トアラセット配合錠「DSEP」	1
45	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	620160501	PL配合顆粒	1
46	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	620160701	セラピナ配合顆粒	1
47	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	622661701	トアラセット配合錠「杏林」	1
48	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	620160801	トーワチーム配合顆粒	1
49	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	620160301	ベレックス配合顆粒	1
50	内服	622381201	カロナール錠500 500mg	内服	620161001	マリキナ配合顆粒	1

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…令和6年3月31日時点。
 ※リストは51件以上省略

(2) 活用方法

患者がお薬手帳を持参しない場合、薬剤併用禁忌が発生しやすく、患者の健康被害につながる可能性がある。薬剤併用禁忌情報は、各医療機関側では把握しにくい情報であり、地域の情報が集まる保険者だからこそ捉えることができる情報といえる。保険者が薬剤併用禁忌情報を定期的に把握し、医療機関に情報提供することで、患者の健康被害防止につながる。また、情報提供を行うことで、地域の医師会・医療機関との連携の強化が期待できる。

12. 服薬情報通知事業

(1) 服薬に係る分析

多剤服薬は、薬の飲み忘れ、飲み間違い等の服薬過誤や、副作用等の薬物有害事象発生につながりやすい。薬物有害事象の発生リスクは6種類以上の服薬で特に高まるとされており、複数疾病を有する高齢者においては特に注意が必要である。高齢者に起こりやすい副作用にはふらつき・転倒、物忘れ、うつ、せん妄、食欲低下、便秘、排尿障害等がある。

本分析では、服薬状況を把握し適切な服薬を促すことを目的に、対象となる患者の特定を行う。複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されている長期服薬者のうち、基準月(令和6年3月)に6種類以上の内服薬を服用している者は351人である。

薬剤種類数別長期服薬者数

年齢階層	対象者数(人)									
	～ 39歳	40歳～ 44歳	45歳～ 49歳	50歳～ 54歳	55歳～ 59歳	60歳～ 64歳	65歳～ 69歳	70歳～	合計	
被保険者数(人)	1,084	237	291	351	318	431	1,033	1,787	5,532	
薬剤種類数	2種類	10	1	2	1	1	5	9	22	51
	3種類	9	2	3	6	3	3	23	49	98
	4種類	10	0	3	2	4	7	32	58	116
	5種類	8	2	1	3	4	5	36	43	102
	6種類	5	4	3	4	5	9	22	47	99
	7種類	3	0	3	3	3	3	12	43	70
	8種類	1	2	1	7	3	3	8	22	47
	9種類	1	1	0	5	2	5	6	16	36
	10種類	0	0	3	1	3	3	9	9	28
	11種類	1	0	0	1	2	1	5	9	19
	12種類	0	0	2	2	0	0	2	9	15
	13種類	0	0	1	0	2	1	1	6	11
	14種類	0	0	1	1	1	0	2	5	10
	15種類	0	0	0	2	1	0	0	1	4
	16種類	0	0	0	2	0	0	0	2	4
	17種類	0	0	0	1	0	1	0	0	2
	18種類	0	0	0	0	0	1	0	2	3
	19種類	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20種類	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	21種類以上	0	0	1	0	1	0	0	0	2
	合計	48	12	24	41	35	48	167	343	718



多剤服薬者数全体(人)※	351
--------------	-----

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年12月～令和6年3月診療分(4カ月分)。

一時的に服用した医薬品を除くため、処方日数が14日以上(14日未満)の医薬品を対象としている。複数医療機関から処方された内服薬のうち、基準月(分析期間最終月)に服用している長期処方薬の種類数を集計する。基準月の服用状況については、基準月に処方された薬剤と基準月以前に処方された長期処方薬を調剤日と処方日数から判定している。

※多剤服薬者数全体…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されており、その長期処方の内服薬が6種類以上の人数。

参考資料: 日本老年医学会「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015」(メジカルビュー社)

長期服薬者における、多剤服薬者及び重複服薬者の年齢階層別の状況を以下に示す。

なお、本分析においては、基準月(令和6年3月)に6種類以上の内服薬の服用が発生している場合に多剤服薬、基準月(令和6年3月)に薬理作用が同じ薬の重複服用が発生している場合に重複服薬、その両方に該当する場合に多剤服薬かつ重複服薬としている。

年齢階層別 多剤服薬者及び重複服薬者の状況

		～ 39歳	40歳～ 44歳	45歳～ 49歳	50歳～ 54歳	55歳～ 59歳	60歳～ 64歳	65歳～ 69歳	70歳～	合計
A	被保険者数(人)	1,084	237	291	351	318	431	1,033	1,787	5,532
B	長期服薬者数(人)※	48	12	24	41	35	48	167	343	718
C	多剤服薬者数(人)※	9	5	12	25	18	27	64	145	305
C/A	被保険者数に占める 多剤服薬者割合(%)	0.8%	2.1%	4.1%	7.1%	5.7%	6.3%	6.2%	8.1%	5.5%
C/B	長期服薬者数に占める 多剤服薬者割合(%)	18.8%	41.7%	50.0%	61.0%	51.4%	56.3%	38.3%	42.3%	42.5%
D	多剤服薬かつ 重複服薬者数(人)※	2	2	3	4	5	1	3	26	46
D/A	被保険者数に占める 多剤服薬かつ重複服薬者割合(%)	0.2%	0.8%	1.0%	1.1%	1.6%	0.2%	0.3%	1.5%	0.8%
D/B	長期服薬者数に占める 多剤服薬かつ重複服薬者割合(%)	4.2%	16.7%	12.5%	9.8%	14.3%	2.1%	1.8%	7.6%	6.4%
(C+D)	多剤服薬者数全体(人)※	11	7	15	29	23	28	67	171	351
(C+D)/A	被保険者数に占める 多剤服薬者数全体の割合(%)	1.0%	3.0%	5.2%	8.3%	7.2%	6.5%	6.5%	9.6%	6.3%
(C+D)/B	長期服薬者数に占める 多剤服薬者数全体の割合(%)	22.9%	58.3%	62.5%	70.7%	65.7%	58.3%	40.1%	49.9%	48.9%
E	重複服薬者数(人)※	4	0	0	0	1	1	8	9	23
E/A	被保険者数に占める 重複服薬者割合(%)	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.2%	0.8%	0.5%	0.4%
E/B	長期服薬者数に占める 重複服薬者割合(%)	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	2.1%	4.8%	2.6%	3.2%
(D+E)	重複服薬者数全体(人)※	6	2	3	4	6	2	11	35	69
(D+E)/A	被保険者数に占める 重複服薬者数全体の割合(%)	0.6%	0.8%	1.0%	1.1%	1.9%	0.5%	1.1%	2.0%	1.2%
(D+E)/B	長期服薬者数に占める 重複服薬者数全体の割合(%)	12.5%	16.7%	12.5%	9.8%	17.1%	4.2%	6.6%	10.2%	9.6%

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年12月～令和6年3月診療分(4カ月分)。

一時的に服用した医薬品を除くため、処方日数が14日以上(長期)の医薬品を対象としている。複数医療機関から処方された内服薬のうち、基準月(分析期間最終月)に服用している長期処方薬の種類数を集計する。基準月の服用状況については、基準月に処方された薬剤と基準月以前に処方された長期処方薬を調剤日と処方日数から判定している。

※長期服薬者数…複数医療機関から内服薬が長期(14日以上)処方されている人数。

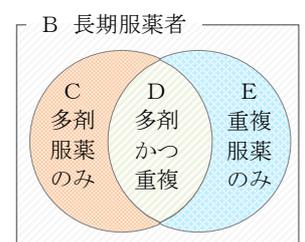
※多剤服薬者数…長期服薬者のうち、長期処方の内服薬が6種類以上で、重複服薬のない人数。

※多剤服薬かつ重複服薬者数…長期服薬者のうち、長期処方の内服薬が6種類以上で、重複服薬のある人数。

※多剤服薬者数全体…長期服薬者のうち、長期処方の内服薬が6種類以上で、重複服薬のない人数。

※重複服薬者数…長期服薬者のうち、長期処方の内服薬が2種類以上6種類未満で、重複服薬のある人数。

※重複服薬者数全体…長期服薬者のうち、長期処方の内服薬が2種類以上で、重複服薬のある人数。



(2) 服薬情報通知事業の実施方法と成果の確認方法

レセプトから服薬状況を確認し、多剤服薬や重複服薬が発生している対象者を特定し通知書を送付する。送付後のレセプトを用いて、通知送付者の服薬状況から効果を確認する。

13. ロコモティブシンドローム対策事業

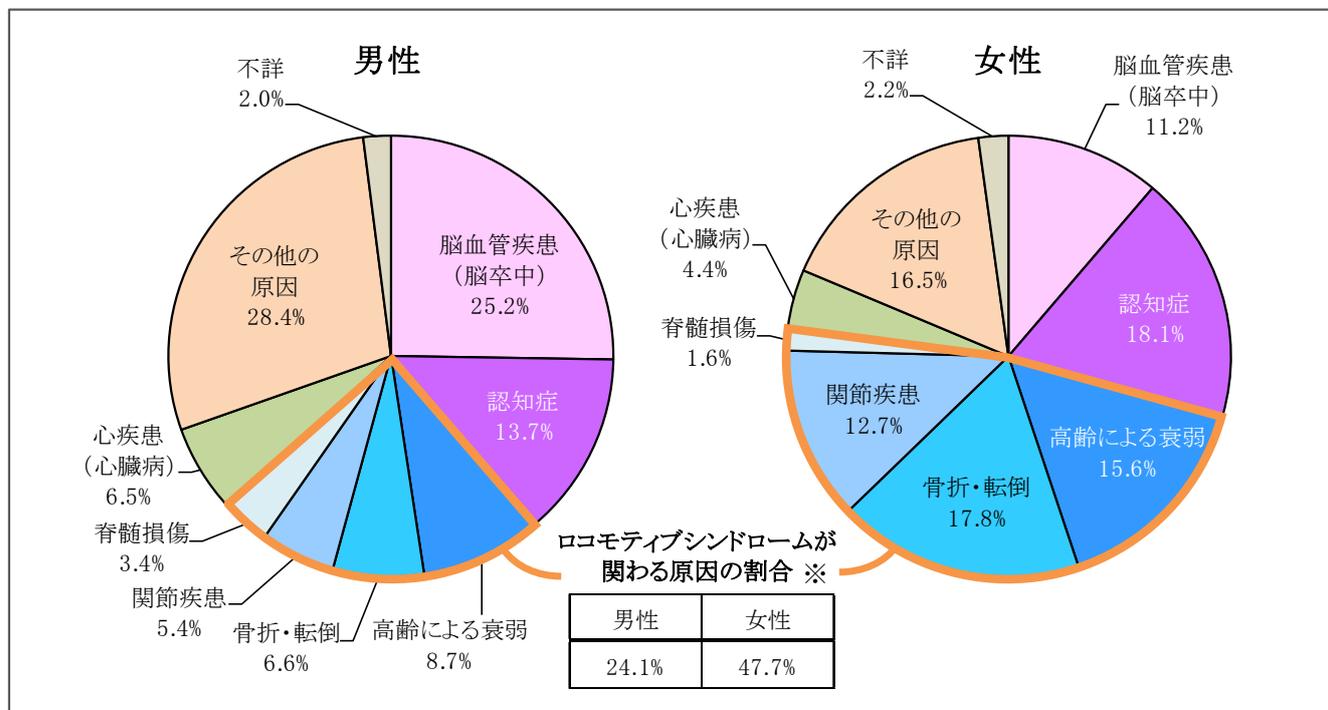
ロコモティブシンドロームは日本整形外科学会が平成19年に提唱した概念で、運動器（骨、関節、筋肉など）の障害によって、立つ、歩くといった移動機能の低下をきたした状態を指し、進行すると要介護のリスクが高くなるとされる（「ロコモティブシンドローム診療ガイド2021」より）。

要介護状態への移行を予防し、健康寿命の延伸を目指すためにも、ロコモティブシンドローム対策の必要性は極めて高い。ここでは全国における「ロコモティブシンドロームの現状」を示し、続いて邑楽町国民健康保険の「ロコモティブシンドロームの原因疾患と患者の実態」「適切な指導実施方法の確立」「成果の確認方法」について明確にする。

(1) ロコモティブシンドロームの現状

厚生労働省「2022年国民生活基礎調査」によると、介護が必要となった主な原因において、ロコモティブシンドロームが関わる原因が多くを占めている。

[全国] 性別にみた介護が必要となった主な原因の構成



出典：厚生労働省「2022年国民生活基礎調査」

※「高齢による衰弱」は、ロコモティブシンドローム原因疾患であるサルコペニアが原因のひとつであり、運動器障害との関連があることからロコモティブシンドロームが関わる原因に加えている。

[全国] 要介護度別にみた介護が必要となった主な原因(上位3位)

要介護度	第1位	第2位	第3位
総数	認知症 16.6	脳血管疾患(脳卒中) 16.1	骨折・転倒 13.9
要支援者	関節疾患 19.3	高齢による衰弱 17.4	骨折・転倒 16.1
要支援1	高齢による衰弱 19.5	関節疾患 18.7	骨折・転倒 12.2
要支援2	関節疾患 19.8	骨折・転倒 19.6	高齢による衰弱 15.5
要介護者	認知症 23.6	脳血管疾患(脳卒中) 19.0	骨折・転倒 13.0
要介護1	認知症 26.4	脳血管疾患(脳卒中) 14.5	骨折・転倒 13.1
要介護2	認知症 23.6	脳血管疾患(脳卒中) 17.5	骨折・転倒 11.0
要介護3	認知症 25.3	脳血管疾患(脳卒中) 19.6	骨折・転倒 12.8
要介護4	脳血管疾患(脳卒中) 28.0	骨折・転倒 18.7	認知症 14.4
要介護5	脳血管疾患(脳卒中) 26.3	認知症 23.1	骨折・転倒 11.3

出典：厚生労働省「2022年国民生活基礎調査」

(2) ロコモティブシンドロームの原因疾患と患者の実態

邑楽町国民健康保険におけるロコモティブシンドローム原因疾患のレセプトが存在する患者数及びロコモティブシンドローム原因疾患医療費を示す。40歳以上の男女が対象者である。

ロコモティブシンドローム原因疾患患者数及び医療費

ロコモティブシンドローム原因疾患のレセプトが存在する患者数(人)	1,200
ロコモティブシンドローム原因疾患医療費(円)	118,825,501

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

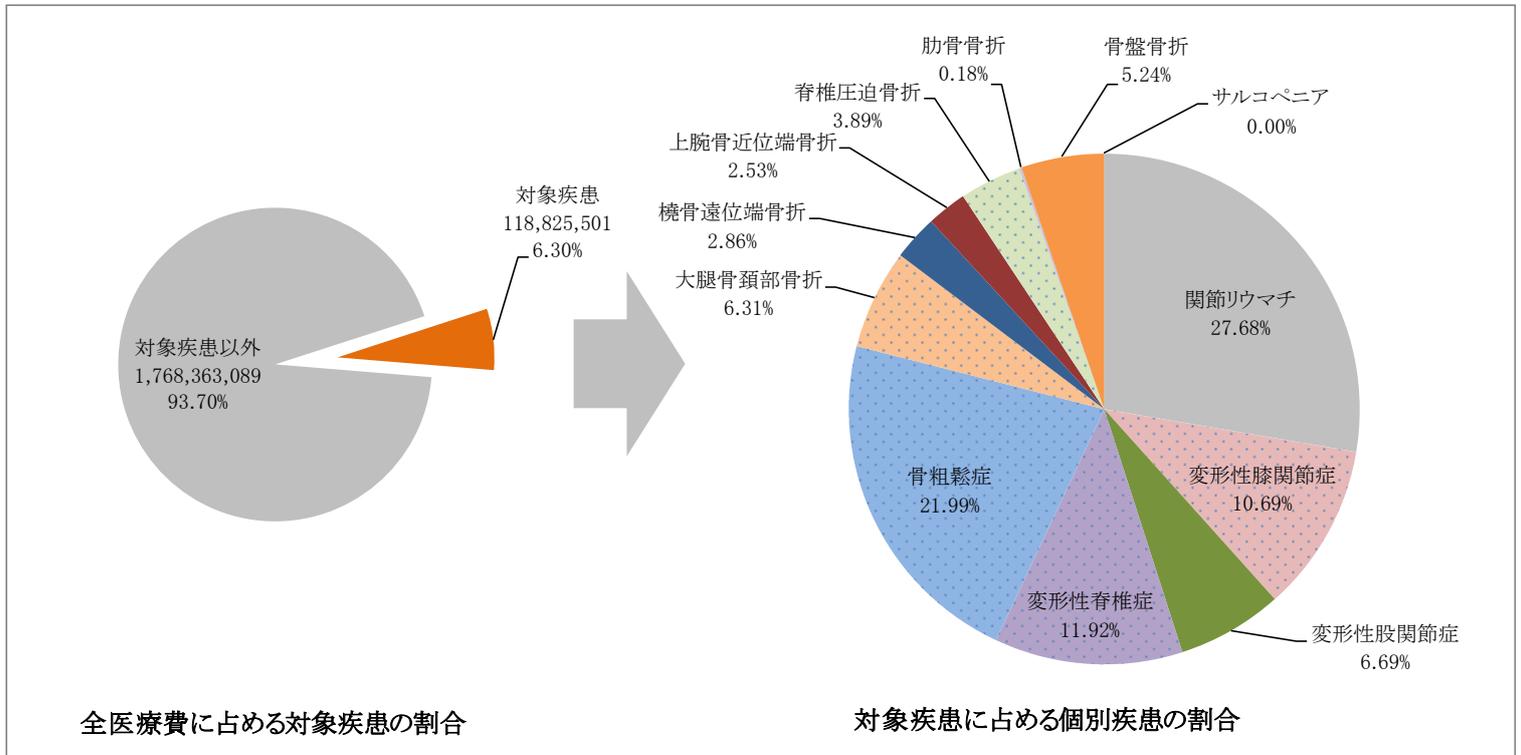
※ロコモティブシンドローム原因疾患…「ロコモティブシンドローム診療ガイド2021」等を参照し、株式会社データホライズンにて選定した以下の疾病。

関節リウマチ、変形性膝関節症、変形性股関節症、変形性脊椎症、骨粗鬆症、骨折(大腿骨頸部骨折、橈骨遠位端骨折、上腕骨近位端骨折、脊椎圧迫骨折、肋骨骨折、脆弱性骨折、骨盤骨折)、サルコペニア(筋肉量が低下し、筋力または身体能力が低下した状態)。

参考資料:日本整形外科学会、日本運動器科学会「ロコモティブシンドローム診療ガイド2021」(文光堂)

次に、ロコモティブシンドローム原因疾患別医療費をグラフにて示す。医療費総計の約6.3%をロコモティブシンドローム原因疾患が占め、中には要支援及び要介護の主な原因である「関節疾患」「骨折・転倒」に関連する疾病が多く含まれる。

ロコモティブシンドローム原因疾患別医療費の状況



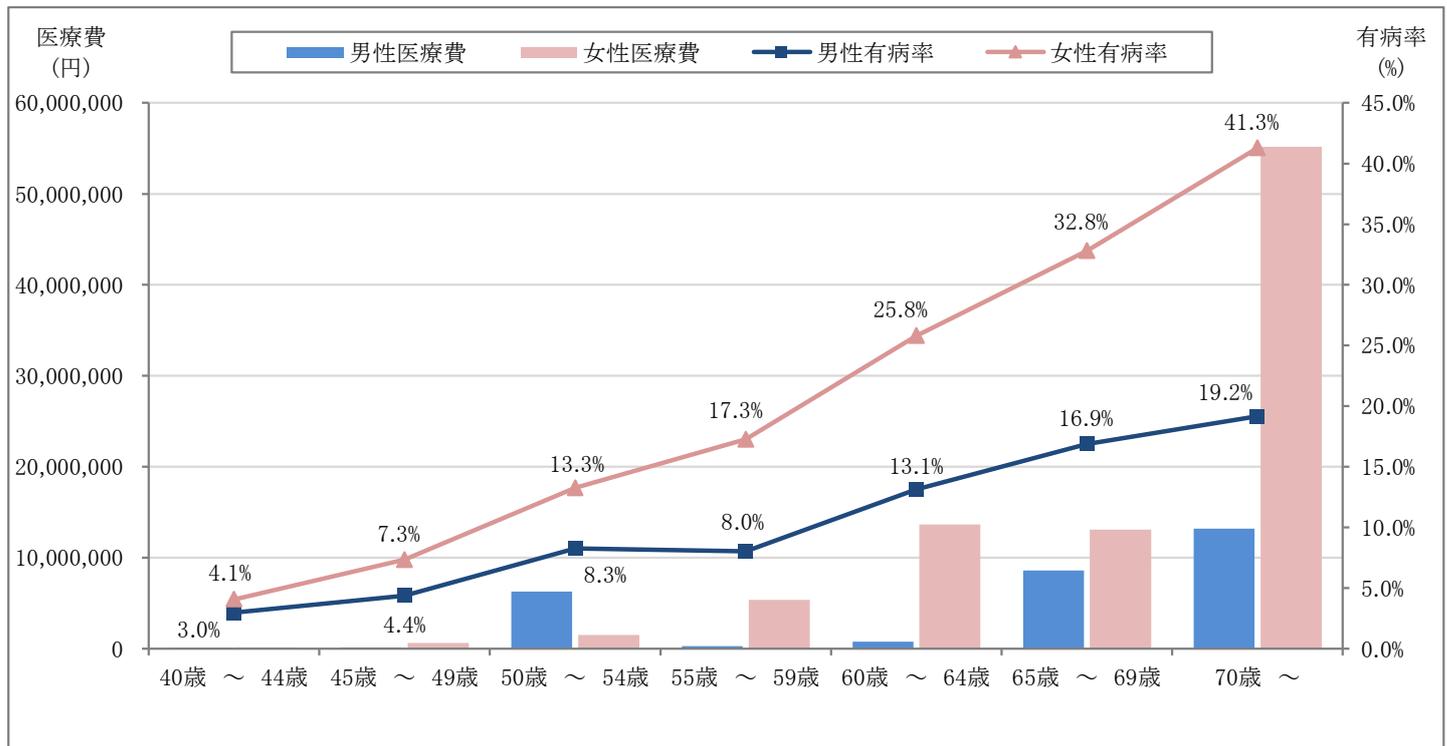
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

年齢階層別・男女別のロコモティブシンドローム原因疾患有病率と原因疾患医療費を以下に示す。加齢が進むにつれて患者数が増え医療費が急速に増大する傾向にある。

年齢階層別・男女別 ロコモティブシンドローム原因疾患 有病率と医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。対象年齢は40歳以上。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

(3) 適切な指導実施方法の確立

データ分析会社への業者委託を前提とした実施例を、ひとつの方法として説明する。指導実施方法のフローは以下のとおりである。

保険者はレセプトデータ等をデータ分析会社へ提供し、データ分析会社は受領したデータからロコモティブシンドローム対策事業に適切な対象者を特定する。保険者はこれら対象者に対し、本事業の案内及び運動機能測定会への参加を促す通知を行い、測定会を実施する。測定会参加者は自宅にて3カ月間、ロコモティブシンドローム対策の簡易な運動を実施する。運動期間終了後、保険者は終了測定会を実施し、その結果を分析会社に提出する。データ分析会社はこれらのデータとレセプトデータ等を使用し分析を行い、分析結果を保険者へ報告する。

(4) 成果の確認方法

成果の確認方法については、測定会の参加者数より測定会参加率を算出する。また、自宅での運動実施者について、測定会における数値を基に運動機能改善率を算出する。さらに、レセプトを使用し、自宅での運動実施者と非実施者の翌年度における原因疾患医療費を確認する。

第3章 保健事業の費用対効果

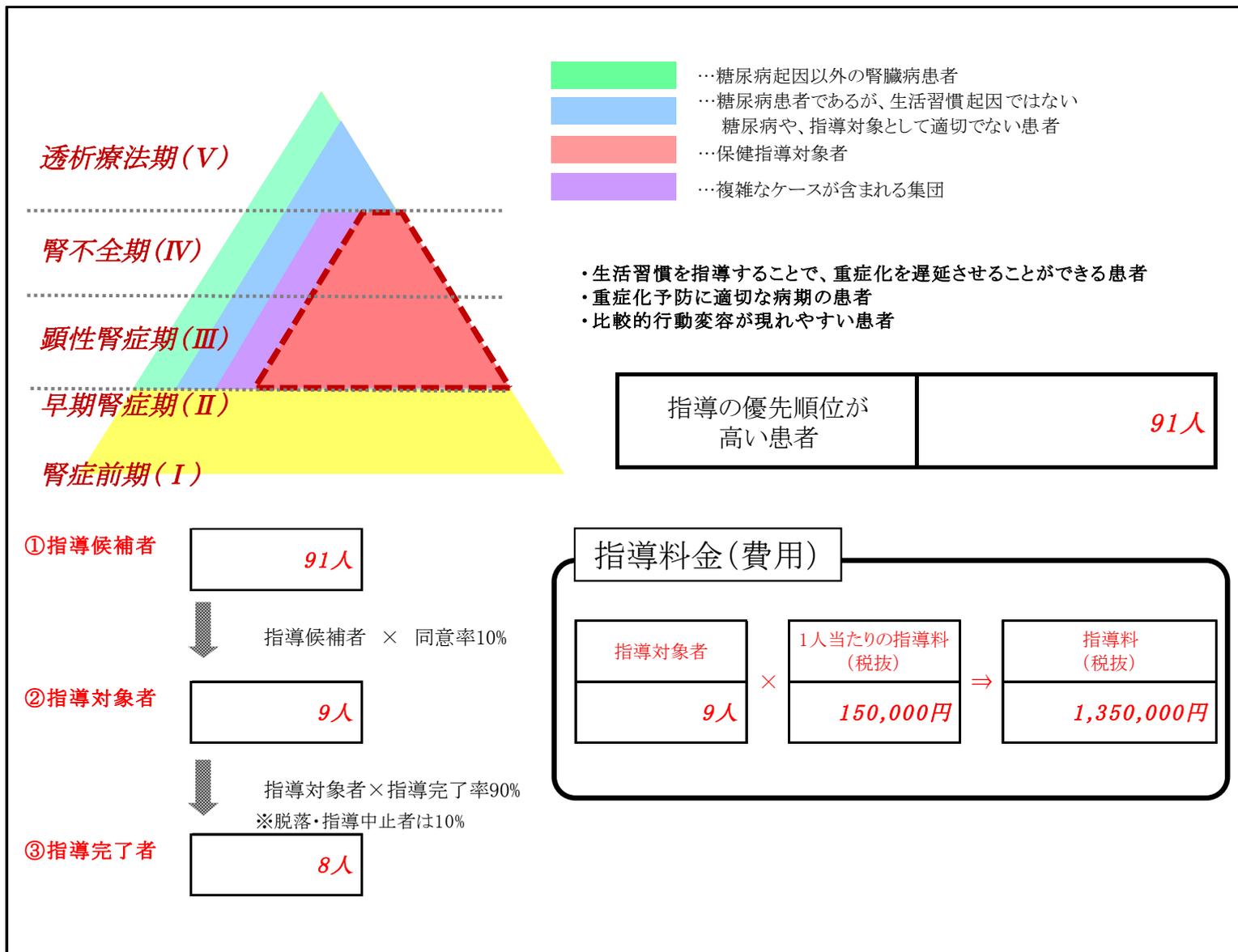
1. 糖尿病性腎症重症化予防事業

「第2章4. 糖尿病性腎症重症化予防事業」について、費用と効果金額を算出する。

費用はデータ分析会社で事業を実施することを前提とし、効果はデータ分析会社の実績の数値を使うものとする。

費用について以下のとおり示す。分析結果から、邑楽町国民健康保険の被保険者における糖尿病性腎症重症化予防の適切な指導対象者は、9人となった。一人当たりの指導料は15万円のため、9人に対して指導を行うと指導料金(費用)は135万円となる。

費用(糖尿病性腎症重症化予防)



※記載の金額は、外部委託業者に当該保健事業を委託した際の平均的な金額である。

※「対象者の特定」「効果測定」等は別途費用が必要となる。

※レセプトはデータベース化の必要がある。レセプトデータベース化を行う場合、別途費用が必要となる。

次に、効果について以下のとおり示す。1年間で重症化する患者数割合を用い、重症化予防をした場合としなかった場合の今後10年間の医療費をシミュレーションをすると、重症化予防をしない場合、10年間の医療費合計は5,982万円となる。指導目標(75%阻止)を達成した場合2,935万円の医療費合計となり、この事業の削減効果額は、3,047万円となる。

効果(糖尿病性腎症重症化予防)

③指導完了者

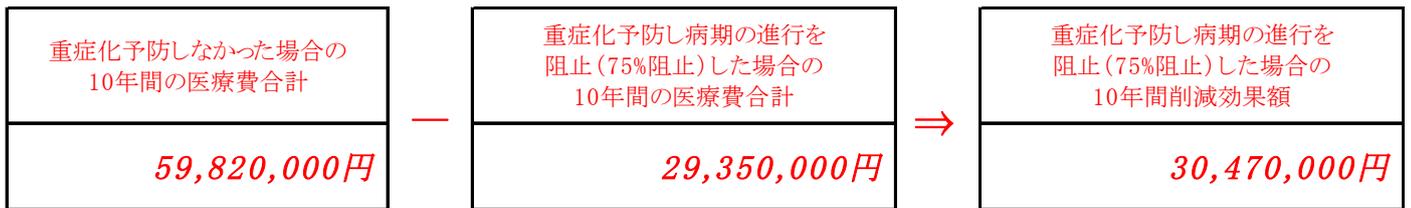
8人



今後10年間の医療費 削減効果額シミュレーション

	重症化阻止率	指標	10年間の医療費合計(円)	重症化予防しなかった場合との差額: 削減効果額(円)
重症化予防しなかった場合	0%阻止		59,820,000	
重症化予防し病期の進行を阻止した場合	25%阻止		48,590,000	11,230,000
	50%阻止	保守的効果	38,260,000	21,560,000
	75%阻止	指導目標	29,350,000	30,470,000
	94%阻止 ※	過去実績	23,910,000	35,910,000
	100%阻止		22,500,000	37,320,000

※94%阻止…平成22年度～平成25年度までの4カ年分の重症化予防実績より試算



～その他の効果～

- ・患者のQOL維持、仕事を継続できる等の効果
- ・患者の家族への負担軽減

また、その他の効果として、指導対象者のQOL維持や、対象者家族への負担軽減もある。

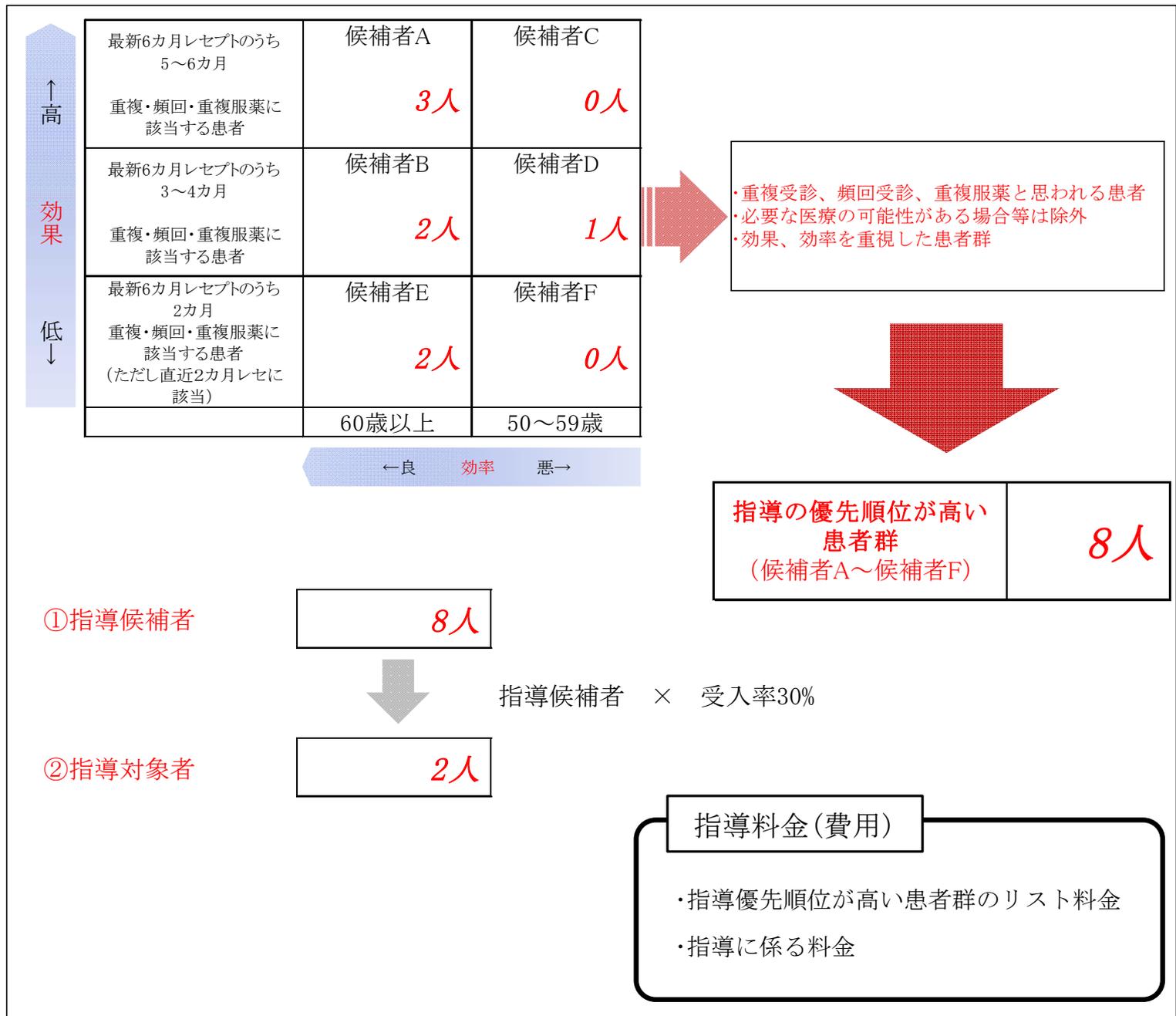
2. 受診行動適正化指導事業

「第2章8. 受診行動適正化指導事業」について、費用対効果を算出する。

費用はデータ分析会社で事業を実施することを前提とし、効果はデータ分析会社の実績の数値を使うものとする。

費用について以下のとおり示す。分析結果から、邑楽町国民健康保険の被保険者における、受診行動適正化指導の適切な指導候補者は8人となった(①)。指導同意率の実績は30%であり、実際に訪問指導できる指導対象者は2人(②)と予測する。費用は2人に対する指導料となる。

費用(受診行動適正化)



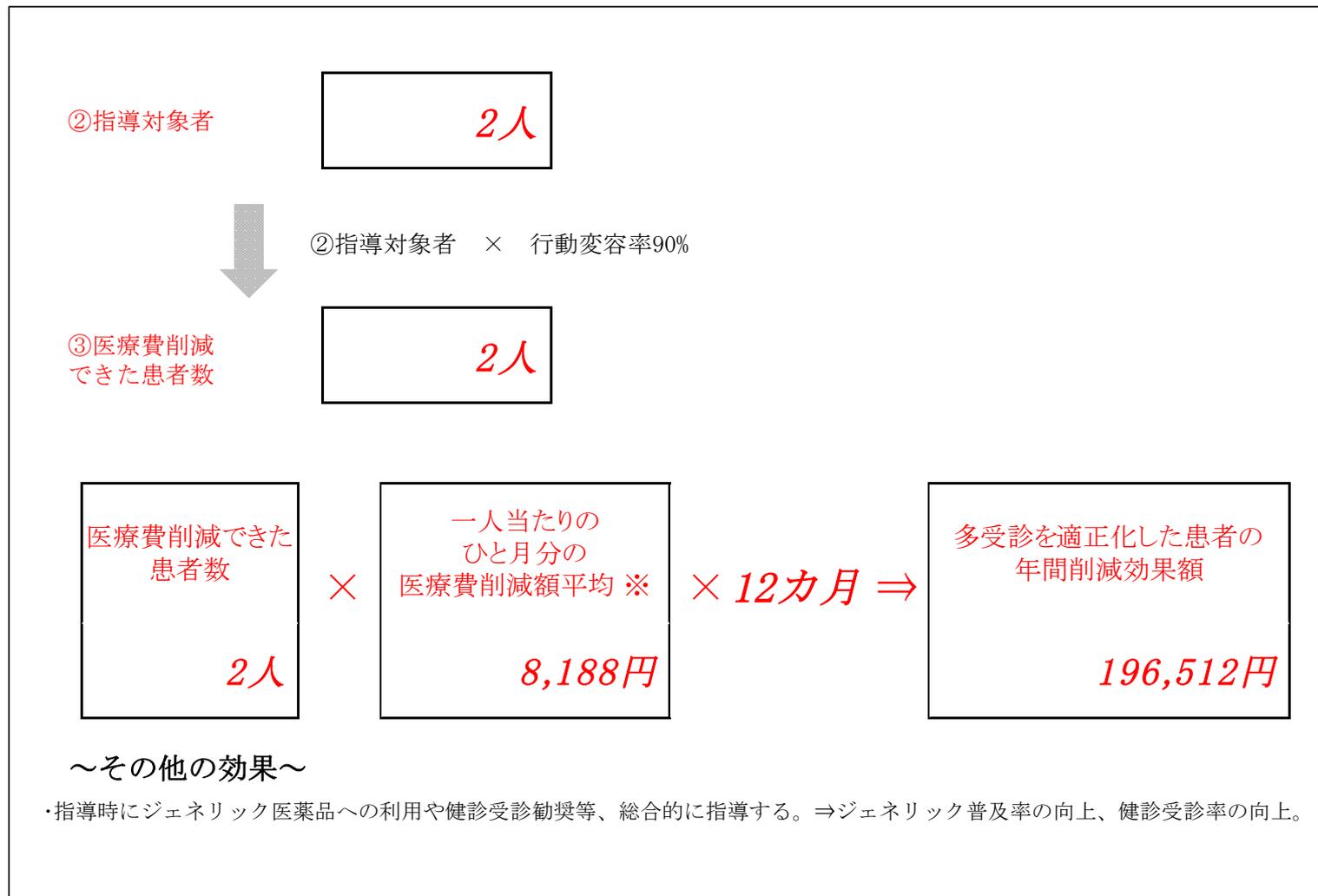
※「効果測定」等は別途費用が必要となる。

※レセプトはデータベース化の必要がある。レセプトデータベース化を行う場合、別途費用が必要となる。

次に、効果について以下のとおり示す。指導対象者の多受診傾向が緩和する行動変容率の実績は90%であり、指導対象者2人(②)のうち医療費が削減できる患者は2人(③)と予測する。

よって、この事業の効果金額は、医療費が削減できる患者数2人(③)に、「一人当たりのひと月分の医療費削減額平均」の8,188円と、1年間分としての12を乗じた20万円程度となる。

効果(受診行動適正化)



※一人当たりのひと月分の医療費削減額平均…実績から算出した、外部委託業者に当該保健事業を委託した際の平均的な削減額。

また、その他の効果として、訪問指導時にはジェネリック医薬品についての情報提供や健康診査受診の勧奨等、総合的な指導を行うため、ジェネリック医薬品普及率の向上や健診受診率の向上も期待できる。

第4章 医療費等統計

1. 基礎統計

当医療費統計は、令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータを対象とし分析する。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下のとおりである。被保険者数は平均5,817人、レセプト件数は平均7,591件、患者数は平均3,173人となった。また、患者一人当たりの医療費は平均52,839円となった。

基礎統計

		令和5年4月	令和5年5月	令和5年6月	令和5年7月	令和5年8月	令和5年9月	令和5年10月	
A	被保険者数(人)	5,995	5,917	5,901	5,880	5,868	5,850	5,838	
B	レセプト件数(件)	入院外	4,562	4,611	4,607	4,676	4,382	4,531	4,648
		入院	95	91	84	94	103	90	102
		調剤	3,081	3,072	2,986	3,080	2,912	3,005	3,075
		合計	7,738	7,774	7,677	7,850	7,397	7,626	7,825
C	医療費(円) ※	161,824,770	161,078,780	153,639,240	176,186,780	173,109,330	161,682,660	172,873,390	
D	患者数(人) ※	3,236	3,224	3,209	3,267	3,109	3,168	3,271	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	26,993	27,223	26,036	29,964	29,501	27,638	29,612	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	20,913	20,720	20,013	22,444	23,403	21,202	22,092	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	50,008	49,962	47,878	53,929	55,680	51,036	52,850	
D/A	有病率(%)	54.0%	54.5%	54.4%	55.6%	53.0%	54.2%	56.0%	
三要素	受診率(件/人・月) ※	0.78	0.79	0.79	0.81	0.76	0.79	0.81	
	一件当たりの日数(日) ※	1.64	1.63	1.65	1.67	1.69	1.66	1.70	
	一日当たりの医療費(円) ※	21,245	21,034	19,883	22,162	22,817	21,061	21,371	

		令和5年11月	令和5年12月	令和6年1月	令和6年2月	令和6年3月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	5,803	5,719	5,721	5,662	5,654	5,817		
B	レセプト件数(件)	入院外	4,458	4,600	4,328	4,255	4,362	4,502	54,020
		入院	99	98	110	99	89	96	1,154
		調剤	2,953	3,073	2,868	2,857	2,958	2,993	35,920
		合計	7,510	7,771	7,306	7,211	7,409	7,591	91,094
C	医療費(円) ※	166,259,110	174,565,980	180,790,500	160,766,100	168,900,470	167,639,759	2,011,677,110	
D	患者数(人) ※	3,188	3,224	3,056	3,018	3,102	3,173	38,072	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	28,651	30,524	31,601	28,394	29,873	28,817		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	22,138	22,464	24,745	22,295	22,797	22,084		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	52,152	54,146	59,159	53,269	54,449	52,839		
D/A	有病率(%)	54.9%	56.4%	53.4%	53.3%	54.9%	54.5%		
三要素	受診率(件/人・月) ※	0.79	0.82	0.78	0.77	0.79			
	一件当たりの日数(日) ※	1.67	1.67	1.69	1.64	1.66			
	一日当たりの医療費(円) ※	21,868	22,252	24,157	22,567	22,877			

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…レセプトに記載されている請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

※受診率…被保険者一人当たり、一月当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。一月当たりのレセプト件数のため、他帳票の受診率とは一致しない。

※一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

※一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)について、被保険者一人当たりの医療費及びその構成要素である受診率、一件当たりの日数、一日当たりの医療費を入院・入院外別に以下に示す。

受診率は被保険者一人当たりのレセプト件数である。受診動向や感染症の流行に影響を受けやすく医療機関を受診する人が多いと受診率が高くなる。一件当たりの日数はレセプト一件当たりの診療実日数であり、通院頻度や入院日数等の影響を受ける。一日当たりの医療費は医療費の単価(一回の診療または一日の入院にかかる医療費)を表す。

被保険者一人当たりの医療費及び医療費の三要素

		入院	入院外	全体
被保険者一人当たりの医療費(円)		104,267	188,086	292,352
三要素	受診率(件/人) ※	0.17	7.85	8.02
	一件当たりの日数(日) ※	14.64	1.39	1.66
	一日当たりの医療費(円) ※	42,456	17,292	21,927

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

本分析における被保険者一人当たりの医療費は、分析期間内の被保険者数を用いて算出している。そのため、月単位の被保険者数を用いて算出している他帳票とは一致しない。

※受診率…被保険者一人当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。

※一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

※一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

以下のとおり年齢階層別に被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等を示す。

年齢階層別基礎統計

年齢階層	A	B				C	D
	被保険者数(人)	レセプト件数(件)				医療費(円) ※	患者数(人) ※
		入院外	入院	調剤	合計		
0歳～4歳	107	731	5	463	1,199	10,123,290	91
5歳～9歳	106	617	1	383	1,001	7,205,450	90
10歳～14歳	133	583	2	381	966	6,817,000	108
15歳～19歳	172	619	3	318	940	10,863,840	132
20歳～24歳	273	505	21	278	804	22,221,520	132
25歳～29歳	277	513	6	267	786	10,913,330	129
30歳～34歳	261	737	21	451	1,209	32,351,140	138
35歳～39歳	290	956	13	600	1,569	21,587,470	156
40歳～44歳	292	1,251	8	767	2,026	39,643,300	189
45歳～49歳	355	1,874	76	1,237	3,187	101,308,570	234
50歳～54歳	411	2,532	92	1,707	4,331	127,889,030	298
55歳～59歳	367	2,619	49	1,823	4,491	93,295,430	272
60歳～64歳	477	3,901	111	2,627	6,639	162,074,150	401
65歳～69歳	1,077	11,234	217	7,565	19,016	433,410,490	965
70歳～	2,283	25,348	529	17,053	42,930	931,973,100	2,084
合計	6,881	54,020	1,154	35,920	91,094	2,011,677,110	5,419

年齢階層	C/A	C/B	C/D	D/A	医療費の三要素		
	被保険者一人当たりの医療費(円)	レセプト一件当たりの医療費(円)	患者一人当たりの医療費(円)	有病率(%)	受診率(件/人) ※	一件当たりの日数(日) ※	一日当たりの医療費(円) ※
0歳～4歳	94,610	8,443	111,245	85.0%	6.88	1.46	9,443
5歳～9歳	67,976	7,198	80,061	84.9%	5.83	1.29	9,018
10歳～14歳	51,256	7,057	63,120	81.2%	4.40	1.30	8,934
15歳～19歳	63,162	11,557	82,302	76.7%	3.62	1.23	14,201
20歳～24歳	81,398	27,639	168,345	48.4%	1.93	2.01	20,983
25歳～29歳	39,398	13,885	84,599	46.6%	1.87	1.29	16,264
30歳～34歳	123,951	26,759	234,429	52.9%	2.90	1.99	21,467
35歳～39歳	74,440	13,759	138,381	53.8%	3.34	1.43	15,587
40歳～44歳	135,765	19,567	209,753	64.7%	4.31	1.66	18,995
45歳～49歳	285,376	31,788	432,943	65.9%	5.49	2.29	22,669
50歳～54歳	311,166	29,529	429,158	72.5%	6.38	2.23	21,891
55歳～59歳	254,211	20,774	342,998	74.1%	7.27	1.75	19,995
60歳～64歳	339,778	24,412	404,175	84.1%	8.41	1.92	21,029
65歳～69歳	402,424	22,792	449,130	89.6%	10.63	1.53	24,682
70歳～	408,223	21,709	447,204	91.3%	11.33	1.60	22,516
合計	292,352	22,084	371,227	78.8%	8.02	1.66	21,927

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

年齢階層別基礎統計は分析期間内の被保険者数、患者数を算出している。他基礎統計では被保険者数、患者数を月単位で算出しており、本統計とは一致しない。

※医療費…レセプトに記載されている請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…分析期間中に一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

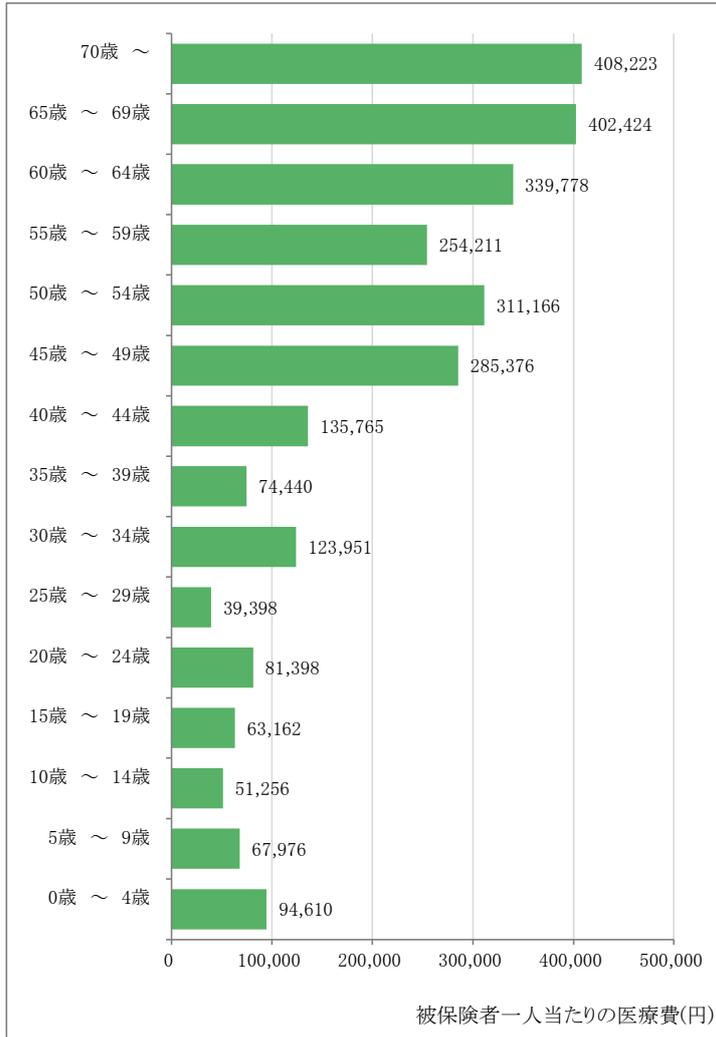
※受診率…被保険者一人当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。

※一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

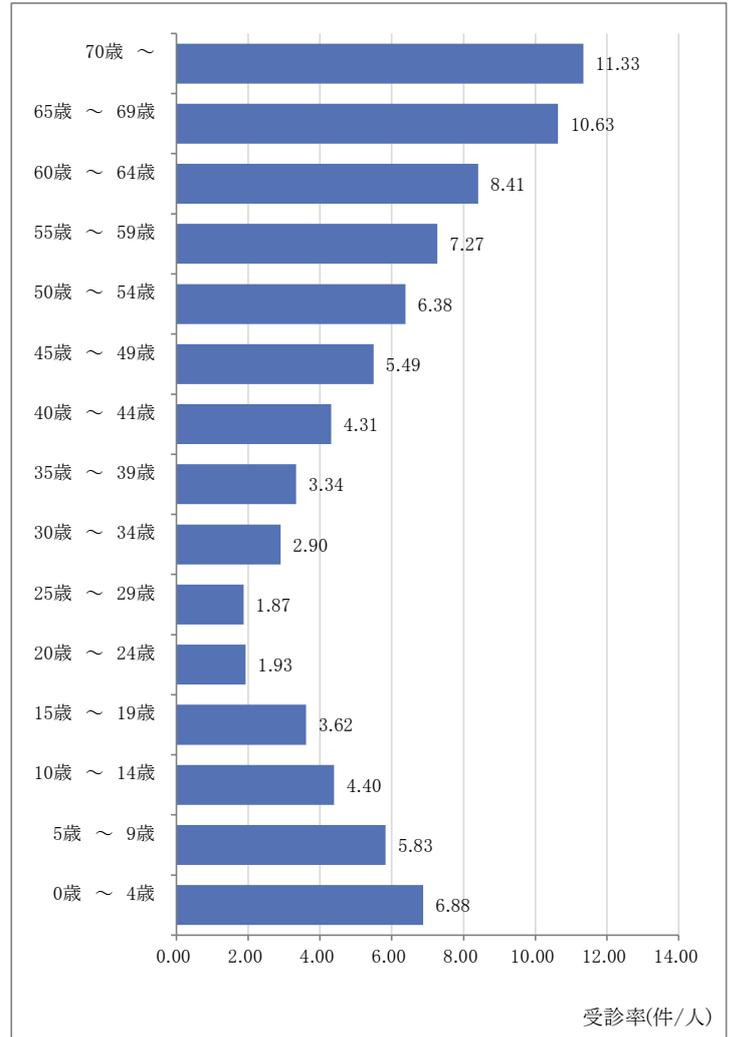
※一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

被保険者一人当たりの医療費、受診率、一件当たりの日数、一日当たりの医療費の年齢階層別の状況をグラフにて示す。

年齢階層別 被保険者一人当たりの医療費

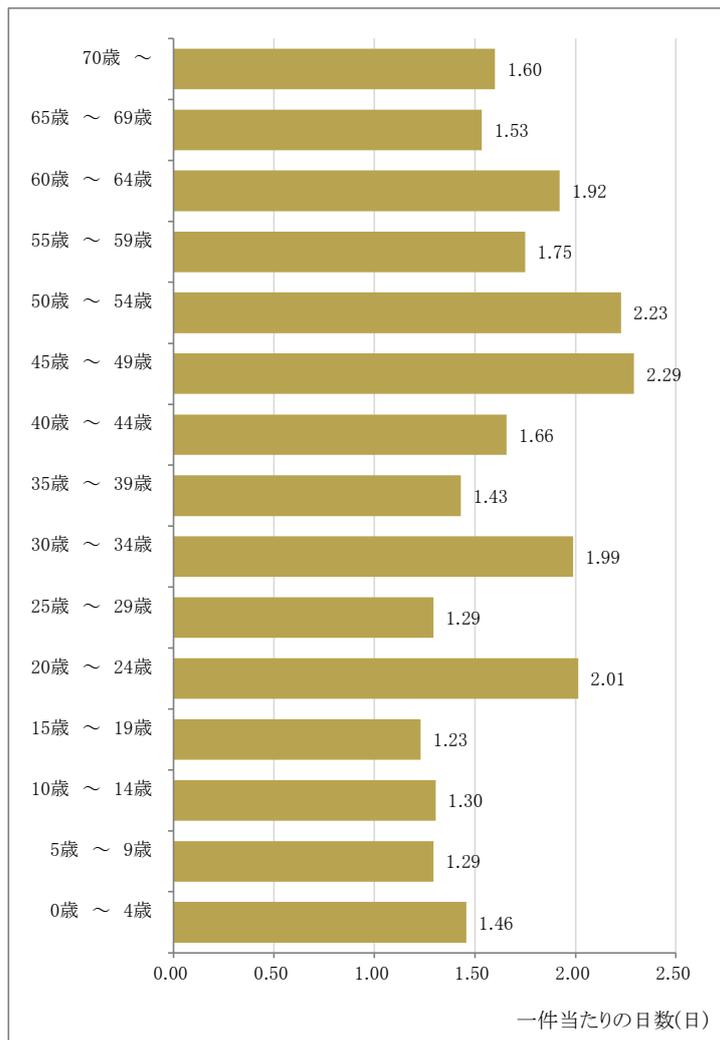


年齢階層別 受診率

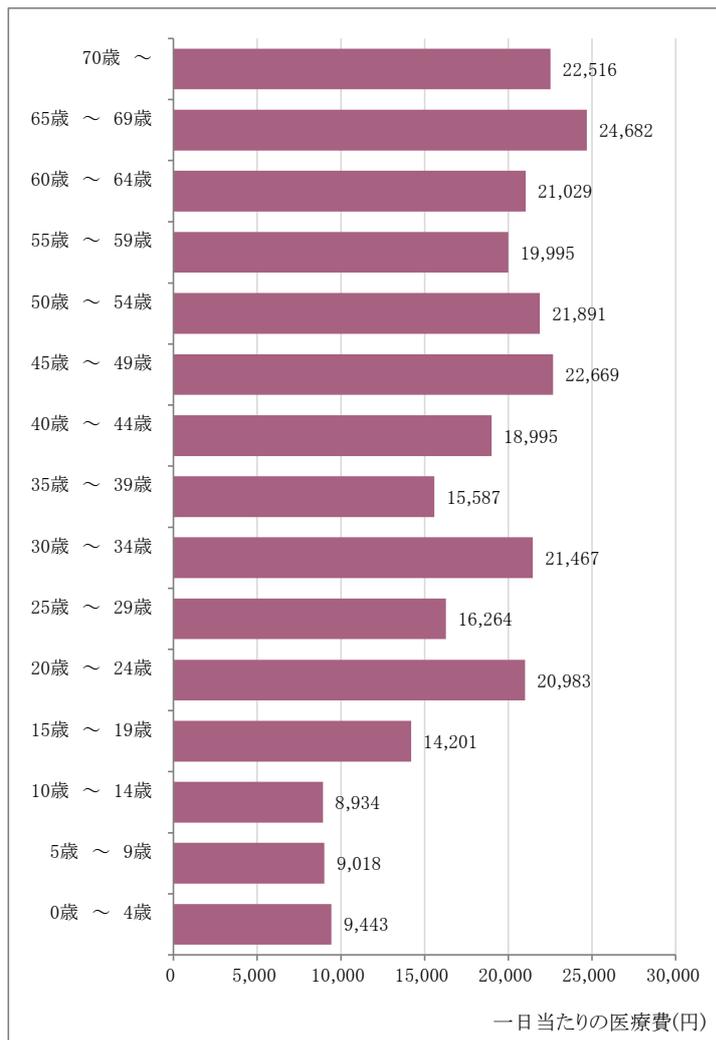


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 受診率…被保険者一人当たりのレセプト件数。集計に調剤レセプトを含まない。

年齢階層別 一件当たりの日数



年齢階層別 一日当たりの医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

一件当たりの日数…集計に調剤レセプトを含まない。

一日当たりの医療費…医療費の集計に調剤レセプトを含む。日数の集計に調剤レセプトを含まない。

2. 高額レセプトの件数及び医療費

(1) 高額レセプトの件数及び割合

令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下のとおり集計した。高額レセプトは月間平均59件発生しており、レセプト件数全体の0.78%を占める。高額レセプトの医療費は月間平均5,910万円程度となり、医療費全体の35.3%を占める。

高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

		令和5年4月	令和5年5月	令和5年6月	令和5年7月	令和5年8月	令和5年9月	令和5年10月
A	レセプト件数(件)	7,738	7,774	7,677	7,850	7,397	7,626	7,825
B	高額レセプト件数(件)	65	52	47	63	60	51	63
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.84%	0.67%	0.61%	0.80%	0.81%	0.67%	0.81%
C	医療費全体(円) ※	161,824,770	161,078,780	153,639,240	176,186,780	173,109,330	161,682,660	172,873,390
D	高額レセプトの医療費(円) ※	57,282,900	49,974,800	41,353,050	64,170,800	67,360,990	51,781,940	58,814,940
E	その他レセプトの医療費(円) ※	104,541,870	111,103,980	112,286,190	112,015,980	105,748,340	109,900,720	114,058,450
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	35.4%	31.0%	26.9%	36.4%	38.9%	32.0%	34.0%

		令和5年11月	令和5年12月	令和6年1月	令和6年2月	令和6年3月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	7,510	7,771	7,306	7,211	7,409	7,591	91,094
B	高額レセプト件数(件)	57	66	71	61	57	59	713
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.76%	0.85%	0.97%	0.85%	0.77%	0.78%	
C	医療費全体(円) ※	166,259,110	174,565,980	180,790,500	160,766,100	168,900,470	167,639,759	2,011,677,110
D	高額レセプトの医療費(円) ※	59,302,500	62,747,390	73,373,330	59,322,760	63,690,300	59,097,975	709,175,700
E	その他レセプトの医療費(円) ※	106,956,610	111,818,590	107,417,170	101,443,340	105,210,170	108,541,784	1,302,501,410
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	35.7%	35.9%	40.6%	36.9%	37.7%	35.3%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

(2) 高額レセプトの年齢階層別統計

令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)における高額レセプトの年齢階層別医療費、年齢階層別患者数、年齢階層別レセプト件数を以下に示す。

高額(5万点以上)レセプトの年齢階層別医療費

年齢階層	入院外(円)	入院(円)	総計(円)	構成比(%)
0歳～4歳	0	578,330	578,330	0.1%
5歳～9歳	0	0	0	0.0%
10歳～14歳	0	0	0	0.0%
15歳～19歳	2,330,800	711,730	3,042,530	0.4%
20歳～24歳	0	10,816,050	10,816,050	1.5%
25歳～29歳	2,789,420	736,830	3,526,250	0.5%
30歳～34歳	0	13,263,990	13,263,990	1.9%
35歳～39歳	0	4,019,880	4,019,880	0.6%
40歳～44歳	2,561,040	1,753,000	4,314,040	0.6%
45歳～49歳	6,283,710	43,660,700	49,944,410	7.0%
50歳～54歳	8,483,710	32,970,070	41,453,780	5.8%
55歳～59歳	1,988,610	16,609,580	18,598,190	2.6%
60歳～64歳	9,711,350	45,477,060	55,188,410	7.8%
65歳～69歳	61,162,940	123,929,260	185,092,200	26.1%
70歳～	69,416,050	249,921,590	319,337,640	45.0%
合計	164,727,630	544,448,070	709,175,700	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

高額(5万点以上)レセプトの年齢階層別患者数

年齢階層	入院外(人)	入院(人)	入院外および入院(人)	構成比(%)
0歳～4歳	0	1	1	0.3%
5歳～9歳	0	0	0	0.0%
10歳～14歳	0	0	0	0.0%
15歳～19歳	1	1	2	0.6%
20歳～24歳	0	4	4	1.2%
25歳～29歳	1	1	1	0.3%
30歳～34歳	0	4	4	1.2%
35歳～39歳	0	2	2	0.6%
40歳～44歳	3	2	5	1.5%
45歳～49歳	3	17	19	5.9%
50歳～54歳	3	22	24	7.4%
55歳～59歳	1	15	16	4.9%
60歳～64歳	4	24	26	8.0%
65歳～69歳	14	61	68	21.0%
70歳～	26	135	152	46.9%
合計	56	289	324	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
入院外と入院で重複する患者がいるので総計は一致しない。

高額(5万点以上)レセプトの年齢階層別レセプト件数

年齢階層	入院外(件)	入院(件)	入院外および入院(件)	構成比(%)
0歳～4歳	0	1	1	0.1%
5歳～9歳	0	0	0	0.0%
10歳～14歳	0	0	0	0.0%
15歳～19歳	2	1	3	0.4%
20歳～24歳	0	16	16	2.2%
25歳～29歳	5	1	6	0.8%
30歳～34歳	0	15	15	2.1%
35歳～39歳	0	5	5	0.7%
40歳～44歳	4	2	6	0.8%
45歳～49歳	9	48	57	8.0%
50歳～54歳	11	35	46	6.5%
55歳～59歳	3	15	18	2.5%
60歳～64歳	11	47	58	8.1%
65歳～69歳	71	114	185	25.9%
70歳～	82	215	297	41.7%
合計	198	515	713	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

(3) 高額レセプト発生患者の疾病傾向

令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を以下のとおり示す。高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計した。高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に分類した結果、高額レセプト発生患者の一人当たり医療費が高額な疾病分類は「貧血」「脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群」「腎不全」等である。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0301	貧血	再生不良性貧血	1	7,384,270	2,504,580	9,888,850	9,888,850
2	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	1	7,345,200	0	7,345,200	7,345,200
3	1402	腎不全	慢性腎不全, 急性腎前性腎不全	7	10,951,590	30,526,380	41,477,970	5,925,424
4	0109	その他の感染症及び寄生虫症	ガス壊疽	1	5,838,250	0	5,838,250	5,838,250
5	0208	悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫, 悪性リンパ腫	2	3,181,100	7,913,040	11,094,140	5,547,070
6	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎	1	1,586,760	3,877,130	5,463,890	5,463,890
7	1011	その他の呼吸器系の疾患	間質性肺炎, 特発性肺線維症, 膿胸	11	36,164,530	21,468,980	57,633,510	5,239,410
8	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 噴門癌, 胃消化管間質腫瘍	7	8,478,580	27,230,380	35,708,960	5,101,280
9	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 後腹膜脂肪肉腫	34	85,052,280	81,810,740	166,863,020	4,907,736
10	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 胸椎化膿性脊椎炎, 化膿性椎間板炎	5	23,478,590	846,730	24,325,320	4,865,064
11	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 上葉肺腺癌, 上葉肺扁平上皮癌	12	24,698,880	31,878,670	56,577,550	4,714,796
12	0601	パーキンソン病	パーキンソン病	2	8,262,740	1,099,720	9,362,460	4,681,230
13	0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝細胞癌	1	1,702,060	2,950,490	4,652,550	4,652,550
14	1010	喘息	気管支喘息	1	1,346,210	2,880,810	4,227,020	4,227,020
15	0912	その他の循環器系の疾患	腹部大動脈瘤, 急性大動脈解離StanfordA, 食道静脈瘤	6	22,971,160	1,672,760	24,643,920	4,107,320
16	0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌再発, 子宮体癌	3	3,558,210	8,656,980	12,215,190	4,071,730
17	0501	血管性及び詳細不明の認知症	血管性認知症	1	3,961,840	93,840	4,055,680	4,055,680
18	0905	脳内出血	被殻出血	1	3,886,950	0	3,886,950	3,886,950
19	0901	高血圧性疾患	高血圧症	1	3,461,220	391,900	3,853,120	3,853,120
20	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 統合失調感情障害, 妄想型統合失調症	14	49,349,690	4,270,830	53,620,520	3,830,037

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)の高額レセプト発生患者の疾病傾向を患者数順に示す。高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に分類した結果、高額レセプト発生患者数が多い疾病分類は「その他の悪性新生物<腫瘍>」「骨折」「その他の消化器系の疾患」等である。

高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 多発性骨髄腫, 後腹膜脂肪肉腫	34	85,052,280	81,810,740	166,863,020	4,907,736
2	1901	骨折	橈骨遠位端骨折, 上腕骨近位端骨折, 骨盤骨折	20	49,548,900	8,714,150	58,263,050	2,913,153
3	1113	その他の消化器系の疾患	潰瘍性大腸炎・全大腸炎型, S状結腸憩室穿孔, クローン病	19	21,799,070	16,171,180	37,970,250	1,998,434
4	0903	その他の心疾患	うっ血性心不全, 発作性心房細動, 持続性心房細動	17	28,401,100	11,219,640	39,620,740	2,330,632
5	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳房上外側部乳癌, 乳房上内側部乳癌, 乳房下内側部乳癌	14	7,660,580	29,865,010	37,525,590	2,680,399
5	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 統合失調感情障害, 妄想型統合失調症	14	49,349,690	4,270,830	53,620,520	3,830,037
7	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 上葉肺腺癌, 上葉肺扁平上皮癌	12	24,698,880	31,878,670	56,577,550	4,714,796
8	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	脳腫瘍, 膝神経内分泌腫瘍, 円蓋部髄膜腫	11	13,157,670	4,615,780	17,773,450	1,615,768
8	1011	その他の呼吸器系の疾患	間質性肺炎, 特発性肺線維症, 膿胸	11	36,164,530	21,468,980	57,633,510	5,239,410
10	0902	虚血性心疾患	狭心症, 不安定狭心症, 労作性狭心症	9	13,144,060	4,585,780	17,729,840	1,969,982
10	1111	胆石症及び胆のう炎	総胆管結石, 胆のう結石症, 胆石性急性胆のう炎	9	7,749,260	2,353,370	10,102,630	1,122,514
12	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	S状結腸癌, 横行結腸癌, 下行結腸癌	8	15,035,260	6,613,840	21,649,100	2,706,138
12	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	8	13,371,430	9,942,250	23,313,680	2,914,210
12	0704	その他の眼及び付属器の疾患	網膜前膜, 黄斑円孔, 網膜剥離	8	6,834,000	2,184,540	9,018,540	1,127,318
12	0906	脳梗塞	アテローム血栓性脳梗塞・急性期, 出血性脳梗塞, 多発性脳梗塞	8	14,397,650	2,006,050	16,403,700	2,050,463
16	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 噴門癌, 胃消化管間質腫瘍	7	8,478,580	27,230,380	35,708,960	5,101,280
16	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	廃用症候群, 多発性筋炎, 外反母趾	7	12,676,990	5,319,460	17,996,450	2,570,921
16	1402	腎不全	慢性腎不全, 急性腎前性腎不全	7	10,951,590	30,526,380	41,477,970	5,925,424
19	0912	その他の循環器系の疾患	腹部大動脈瘤, 急性大動脈解離StanfordA, 食道静脈瘤	6	22,971,160	1,672,760	24,643,920	4,107,320
19	1302	関節症	変形性股関節症, 変形性膝関節症	6	12,475,610	1,183,980	13,659,590	2,276,598

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類毎に集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

3. 大分類による疾病別医療費統計

(1) 邑楽町国民健康保険全体

令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出した。「新生物<腫瘍>」が医療費合計の20.1%を占めている。「循環器系の疾患」は医療費合計の12.3%、「内分泌、栄養及び代謝疾患」は医療費合計の9.8%と高い割合を占めている。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「新生物<腫瘍>」「精神及び行動の障害」等である。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	37,884,902	1.9%	13	5,623	13	1,465	10	25,860	17
II. 新生物<腫瘍>	403,313,972	20.1%	1	6,393	12	1,516	9	266,038	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	33,942,964	1.7%	14	3,060	15	722	16	47,012	14
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	197,703,979	9.8%	3	33,961	2	2,903	1	68,103	10
V. 精神及び行動の障害	119,814,722	6.0%	8	9,189	8	785	15	152,630	2
VI. 神経系の疾患	110,330,905	5.5%	9	14,427	6	1,285	12	85,861	8
VII. 眼及び付属器の疾患	71,785,506	3.6%	10	8,932	10	1,940	6	37,003	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	6,724,730	0.3%	19	1,501	18	431	17	15,603	21
IX. 循環器系の疾患	247,730,494	12.3%	2	36,297	1	2,831	2	87,506	7
X. 呼吸器系の疾患	142,302,818	7.1%	5	15,713	5	2,738	3	51,973	13
X I. 消化器系の疾患 ※	137,674,839	6.9%	7	23,267	3	2,527	4	54,482	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	39,858,080	2.0%	12	9,564	7	1,887	7	21,122	20
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	176,889,139	8.8%	4	18,938	4	2,250	5	78,617	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	140,446,578	7.0%	6	7,903	11	1,357	11	103,498	5
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	3,060,637	0.2%	20	65	20	25	20	122,425	4
X VI. 周産期に発生した病態 ※	208,967	0.0%	22	12	22	8	22	26,121	16
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	7,360,530	0.4%	18	334	19	72	19	102,230	6
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	26,737,508	1.3%	15	9,165	9	1,777	8	15,046	22
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	68,895,737	3.4%	11	3,391	14	1,039	14	66,310	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	7,894,673	0.4%	17	2,122	17	364	18	21,689	18
X X II. 特殊目的用コード	26,558,904	1.3%	16	2,760	16	1,231	13	21,575	19
分類外	1,932,456	0.1%	21	51	21	13	21	148,650	3
合計	2,009,053,040			90,710		5,405		371,703	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

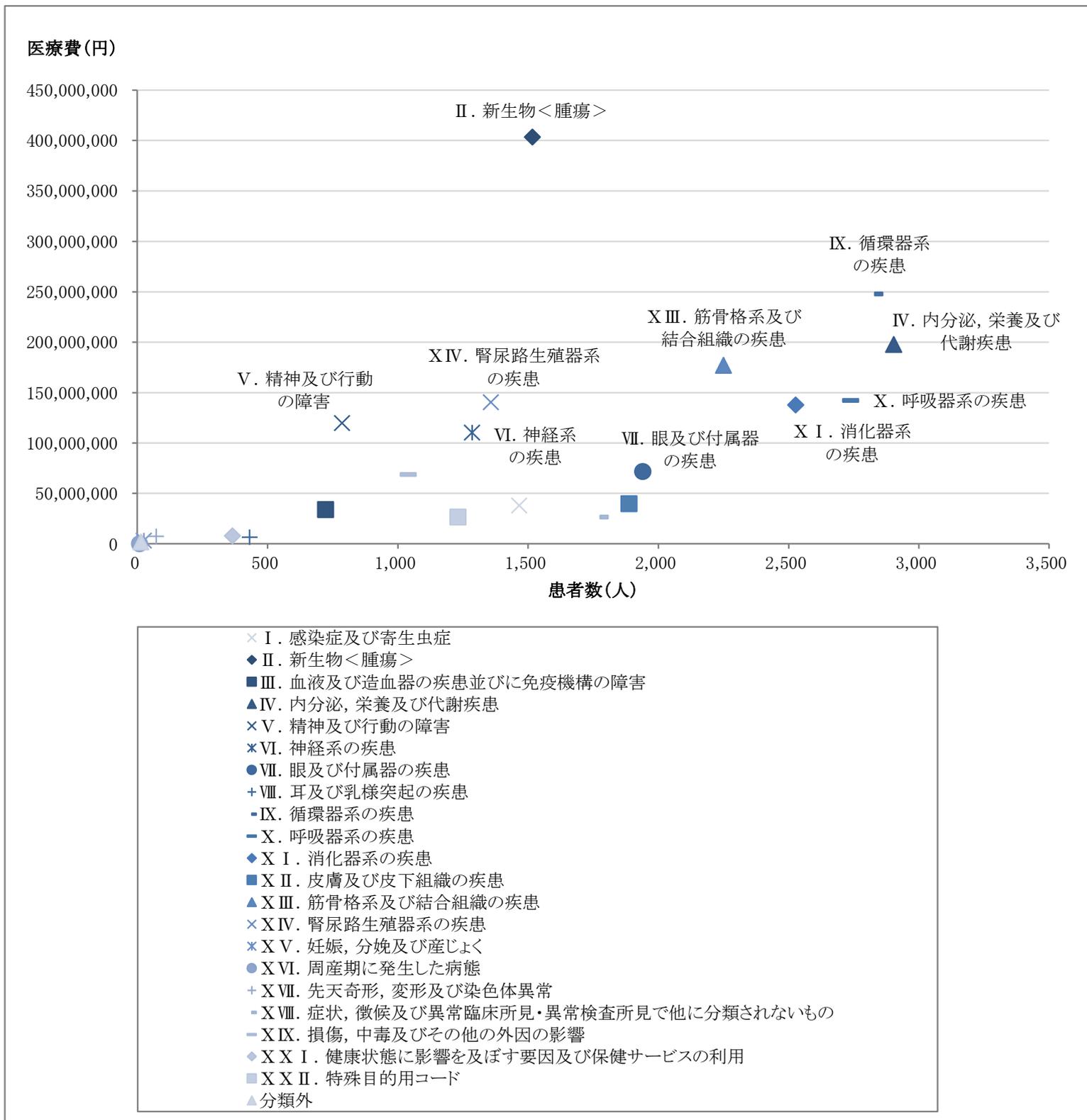
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

以下のとおり疾病項目毎の医療費、及び患者数を示す。

大分類による疾病別医療費統計 グラフ



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

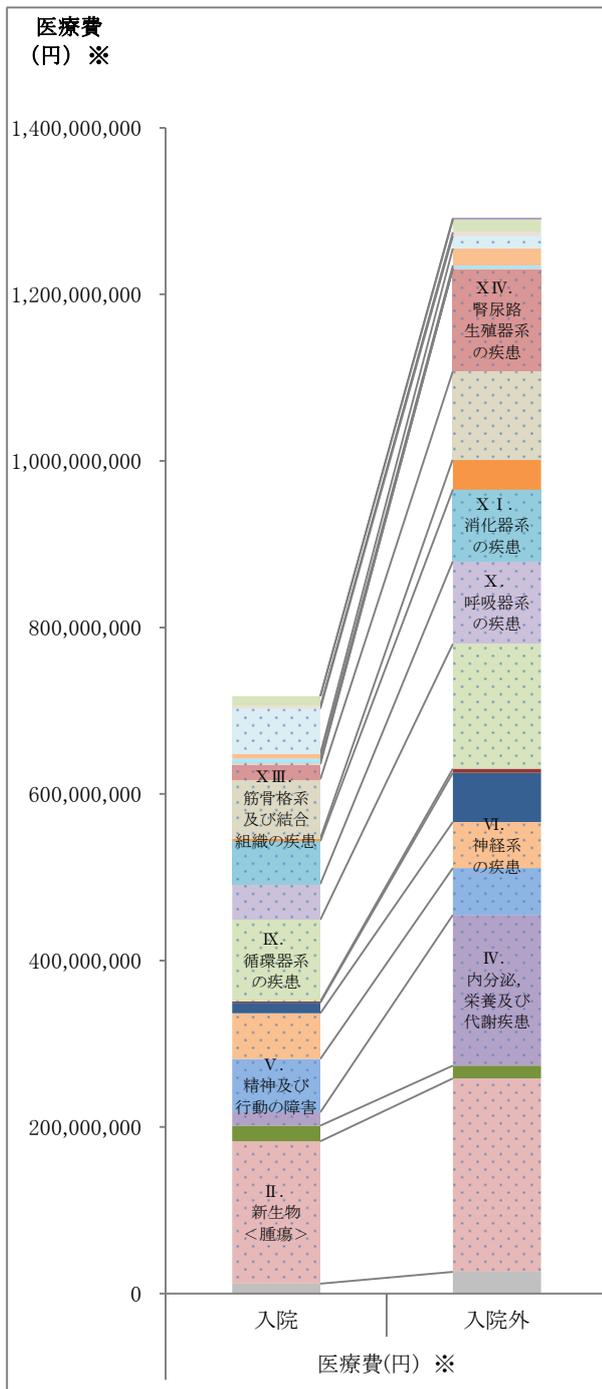
(2) 入院・入院外比較

令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、邑楽町国民健康保険における、疾病別医療費統計を入院・入院外別に示す。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	医療費(円) ※	
	入院	入院外
I. 感染症及び寄生虫症	11,825,540	26,059,362
II. 新生物<腫瘍>	170,984,698	232,329,274
III. 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	18,522,999	15,419,965
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	16,530,133	181,173,846
V. 精神及び行動の障害	63,882,966	55,931,756
VI. 神経系の疾患	54,915,615	55,415,290
VII. 眼及び付属器の疾患	12,884,814	58,900,692
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,561,910	5,162,820
IX. 循環器系の疾患	98,045,470	149,685,024
X. 呼吸器系の疾患	42,728,479	99,574,339
X I. 消化器系の疾患 ※	51,632,613	86,042,226
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	3,198,923	36,659,157
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	71,128,710	105,760,429
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	17,544,828	122,901,750
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	2,576,230	484,407
X VI. 周産期に発生した病態 ※	169,120	39,847
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	4,021,686	3,338,844
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,180,149	20,557,359
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	54,000,921	14,894,816
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	3,254,892	4,639,781
X X II. 特殊目的用コード	11,869,304	14,689,600
分類外	0	1,932,456
合計	717,460,000	1,291,593,040



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

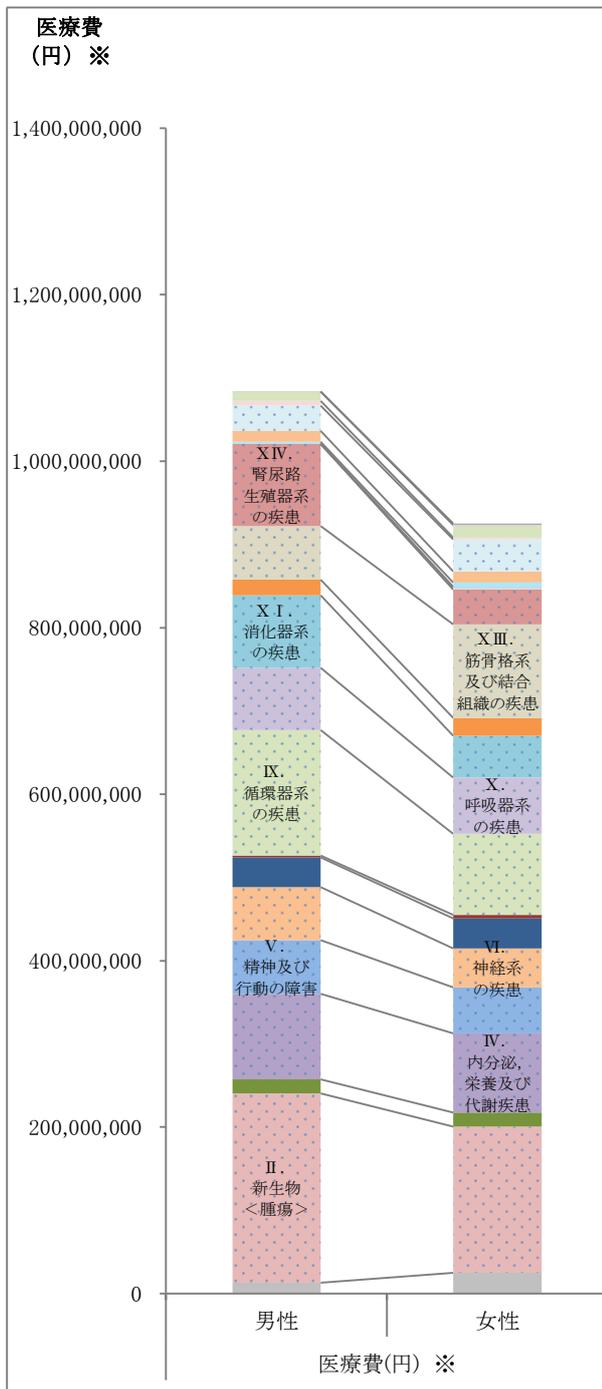
(3) 男性・女性比較

令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、邑楽町国民健康保険における、疾病別医療費統計を男女別に示す。

大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	医療費(円) ※	
	男性	女性
I. 感染症及び寄生虫症	13,002,771	24,882,131
II. 新生物<腫瘍>	227,451,151	175,862,821
III. 血液及び血管系の疾患並びに免疫機構の障害	17,146,883	16,796,081
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	102,502,713	95,201,266
V. 精神及び行動の障害	64,797,132	55,017,590
VI. 神経系の疾患	63,298,465	47,032,440
VII. 眼及び付属器の疾患	35,836,702	35,948,804
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,230,332	4,494,398
IX. 循環器系の疾患	150,719,890	97,010,604
X. 呼吸器系の疾患	74,651,344	67,651,474
X I. 消化器系の疾患 ※	87,533,417	50,141,422
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	18,253,527	21,604,553
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	64,621,559	112,267,580
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	98,491,832	41,954,746
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	1,062	3,059,575
X VI. 周産期に発生した病態 ※	195,130	13,837
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	2,374,341	4,986,189
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	13,027,962	13,709,546
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	30,784,312	38,111,425
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	5,427,019	2,467,654
X X II. 特殊目的用コード	11,377,887	15,181,017
分類外	35,249	1,897,207
合計	1,083,760,680	925,292,360



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

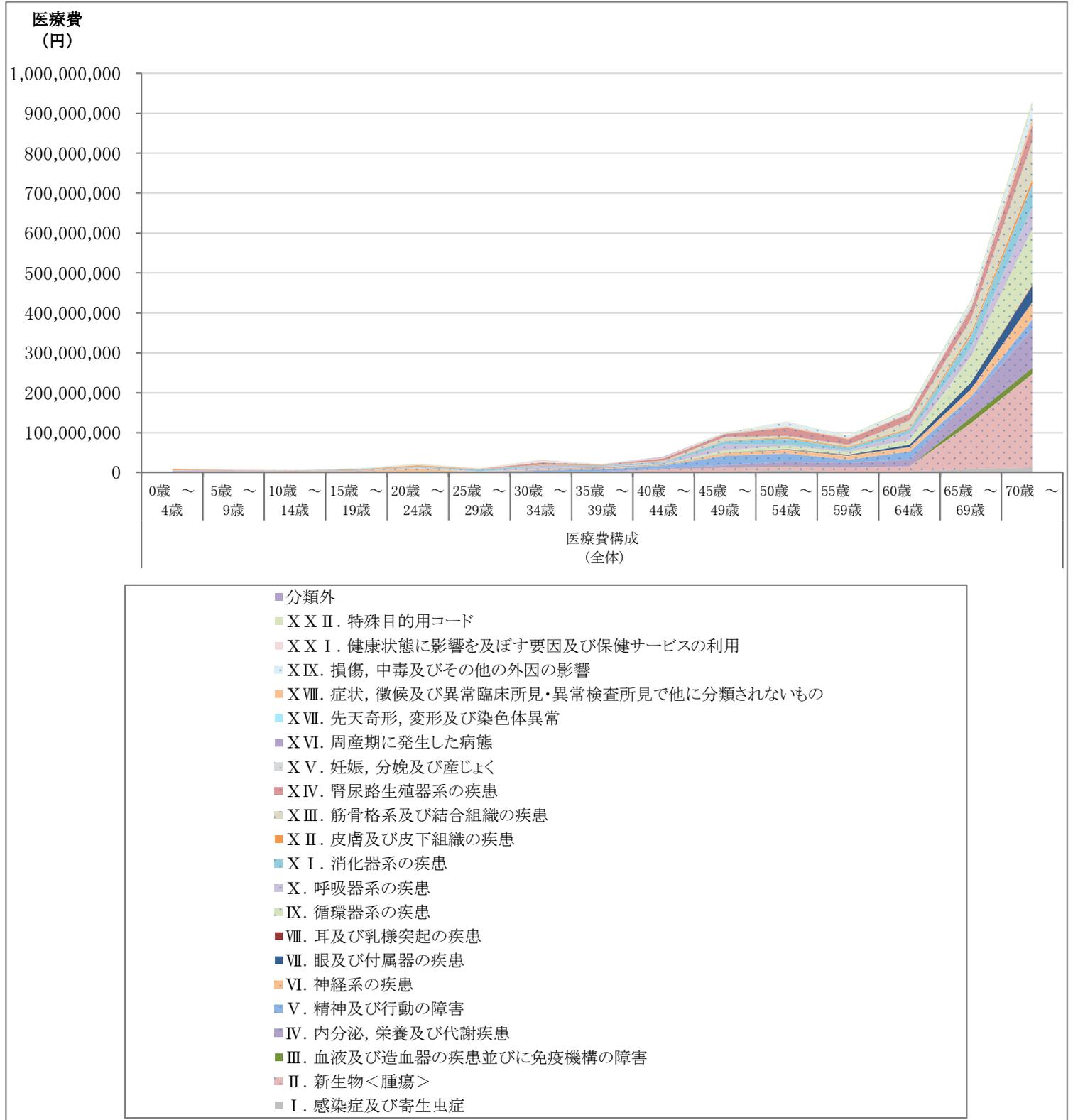
※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

(4) 年齢階層別比較

令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、邑楽町国民健康保険における、疾病別医療費構成を年齢階層別に示す。

年齢階層別医療費(全体)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

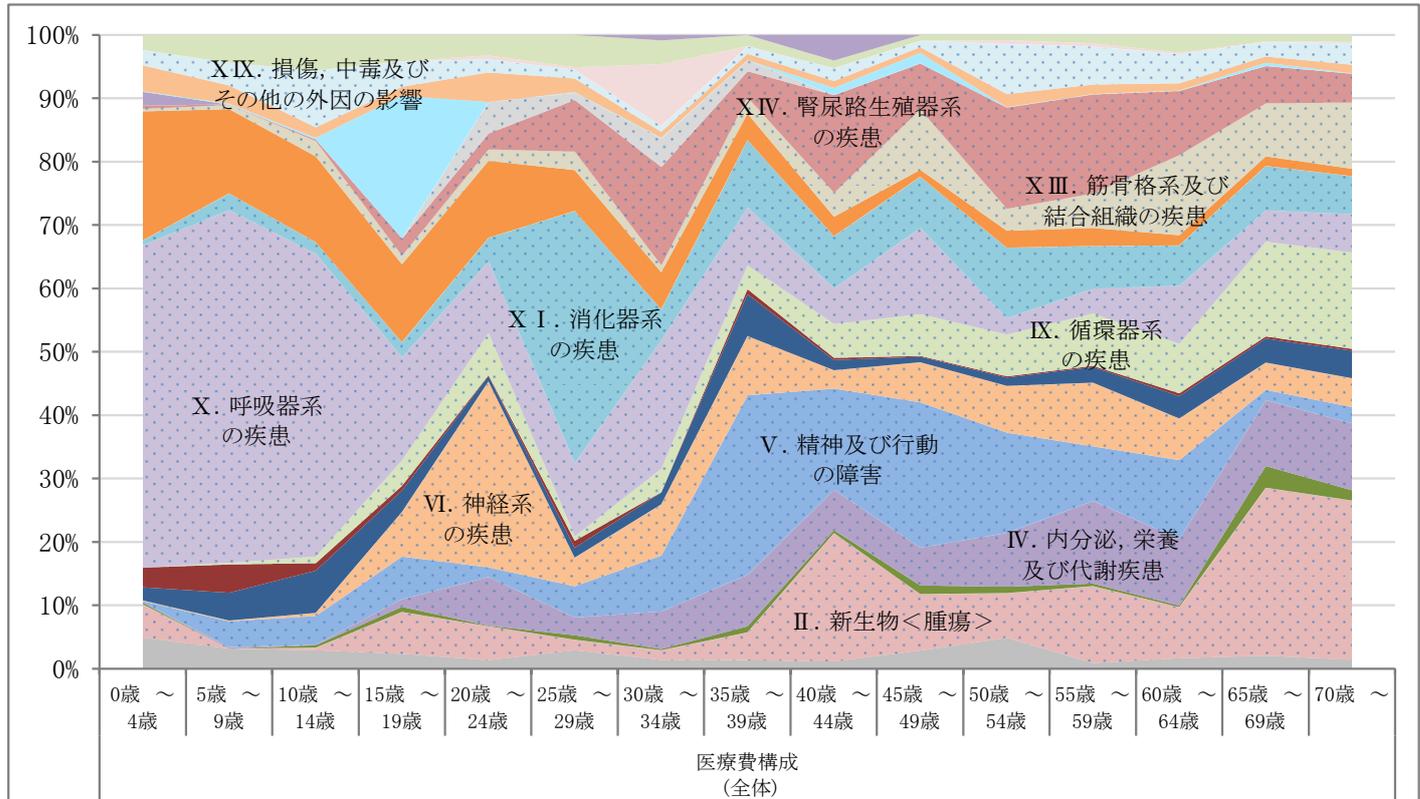
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

年齢階層別医療費構成(全体)



- 分類外
- XXII. 特殊目的用コード
- XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
- XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響
- XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常
- XVI. 周産期に発生した病態
- XV. 妊娠, 分娩及び産じょく
- XIV. 腎尿路生殖器系の疾患
- XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患
- XII. 皮膚及び皮下組織の疾患
- XI. 消化器系の疾患
- X. 呼吸器系の疾患
- IX. 循環器系の疾患
- VIII. 耳及び乳様突起の疾患
- VII. 眼及び付属器の疾患
- VI. 神経系の疾患
- V. 精神及び行動の障害
- IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
- III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- II. 新生物<腫瘍>
- I. 感染症及び寄生虫症

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

邑楽町国民健康保険における、疾病別医療費構成を年齢階層別に示す。

若年層では「呼吸器系の疾患」、中年層では「精神及び行動の障害」、高年層では「筋骨格系及び結合組織の疾患」「新生物<腫瘍>」が上位を占める。

年齢階層別医療費 大分類上位5疾病(全体)

年齢階層	1	2	3	4	5
0歳～4歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	II. 新生物<腫瘍>	I. 感染症及び寄生虫症	X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
5歳～9歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	VIII. 耳及び乳様突起の疾患	X X II. 特殊目的用コード	VII. 眼及び付属器の疾患
10歳～14歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	VII. 眼及び付属器の疾患	X X II. 特殊目的用コード
15歳～19歳	X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	VI. 神経系の疾患	V. 精神及び行動の障害
20歳～24歳	VI. 神経系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	X. 呼吸器系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	IX. 循環器系の疾患
25歳～29歳	X I. 消化器系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	X X II. 特殊目的用コード
30歳～34歳	X. 呼吸器系の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	V. 精神及び行動の障害	VI. 神経系の疾患
35歳～39歳	V. 精神及び行動の障害	X I. 消化器系の疾患	VI. 神経系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患
40歳～44歳	II. 新生物<腫瘍>	V. 精神及び行動の障害	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	X I. 消化器系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患
45歳～49歳	V. 精神及び行動の障害	X. 呼吸器系の疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X I. 消化器系の疾患
50歳～54歳	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	X I. 消化器系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響
55歳～59歳	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	II. 新生物<腫瘍>	VI. 神経系の疾患	V. 精神及び行動の障害
60歳～64歳	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	V. 精神及び行動の障害	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	X. 呼吸器系の疾患
65歳～69歳	II. 新生物<腫瘍>	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X I. 消化器系の疾患
70歳～	II. 新生物<腫瘍>	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X. 呼吸器系の疾患

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

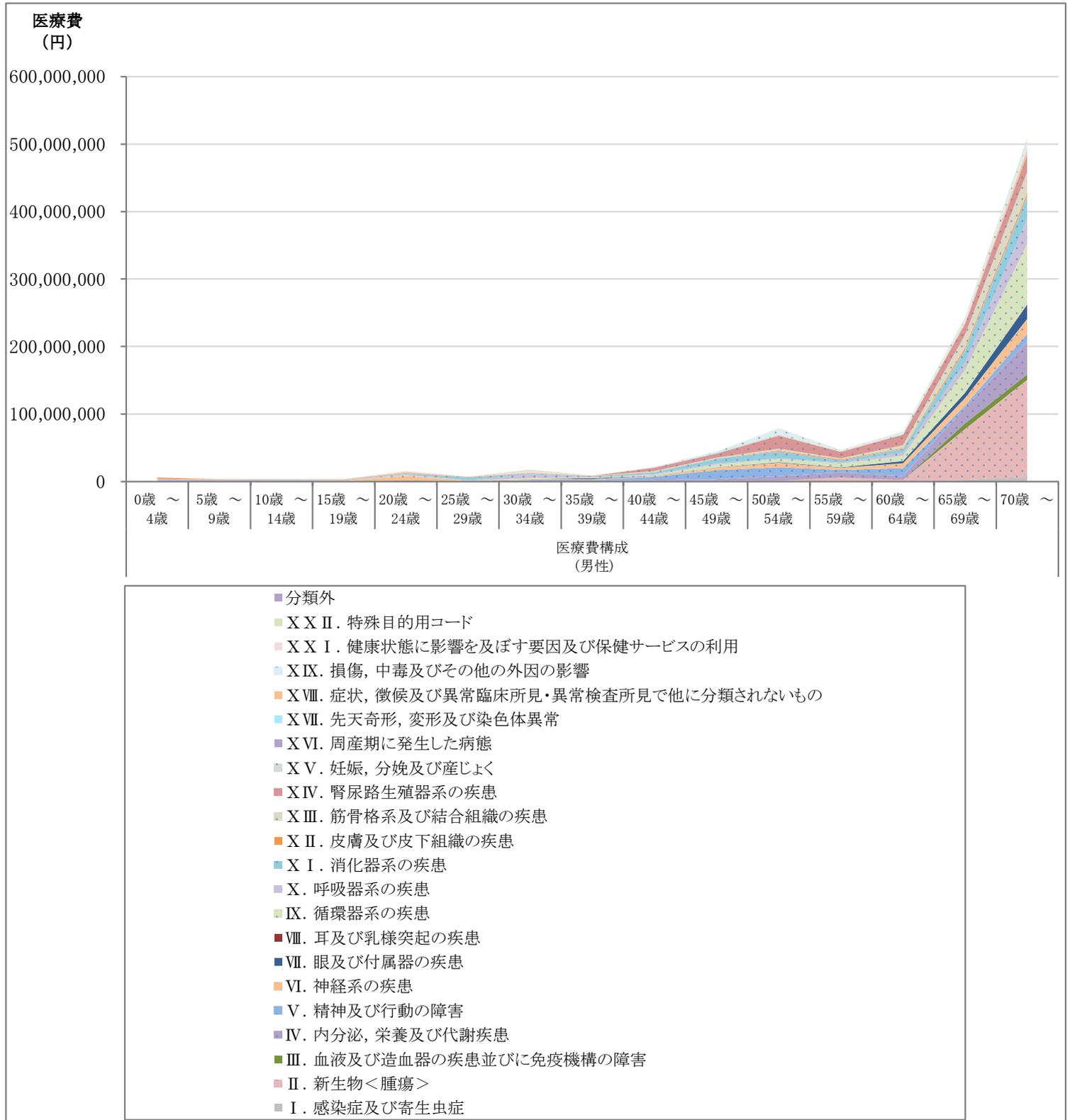
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

邑楽町国民健康保険の男性における、疾病別医療費構成を年齢階層別に示す。

年齢階層別医療費(男性)

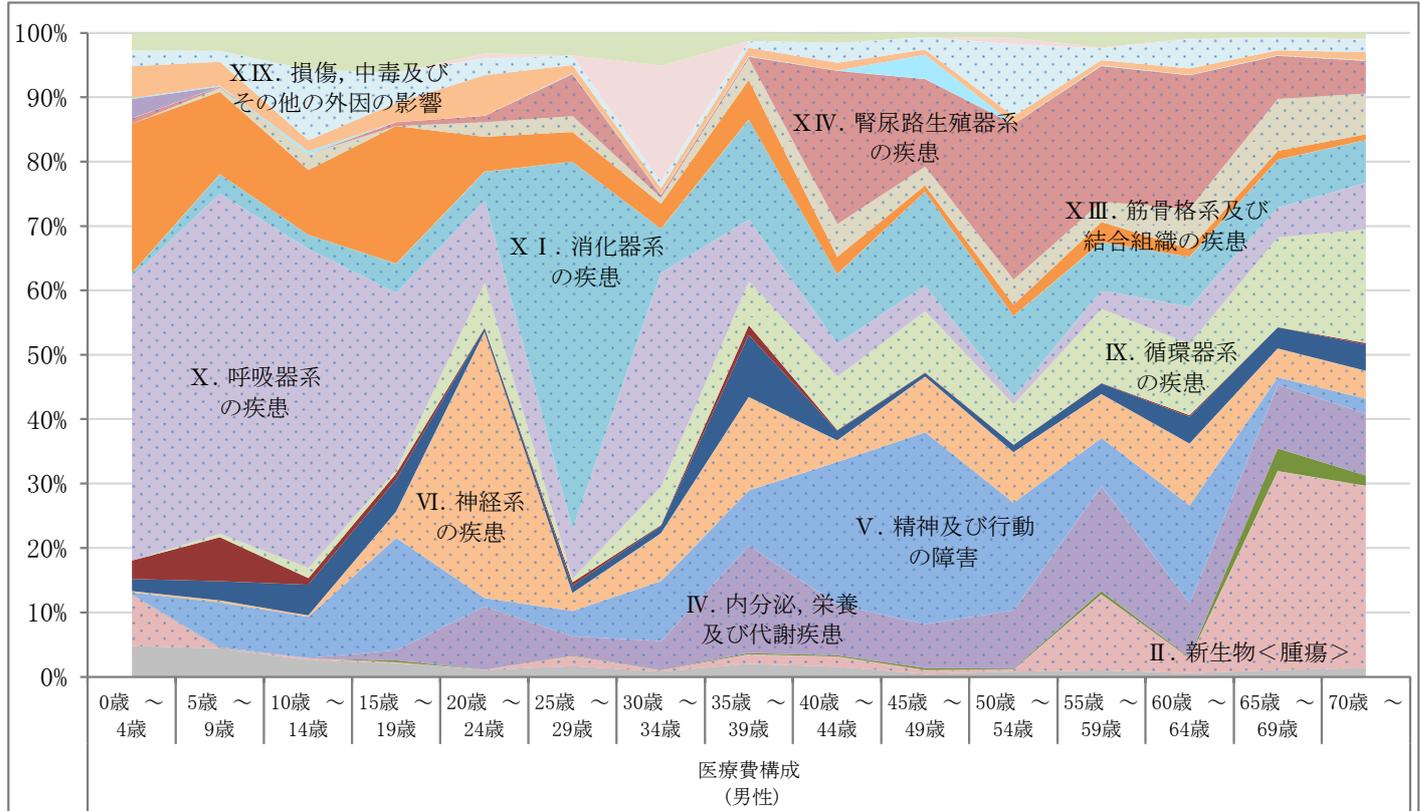


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

年齢階層別医療費構成(男性)



- 分類外
- XXII. 特殊目的用コード
- XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
- XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響
- XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常
- XVI. 周産期に発生した病態
- XV. 妊娠, 分娩及び産じょく
- XIV. 腎尿路生殖器系の疾患
- XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患
- XII. 皮膚及び皮下組織の疾患
- XI. 消化器系の疾患
- X. 呼吸器系の疾患
- IX. 循環器系の疾患
- VIII. 耳及び乳様突起の疾患
- VII. 眼及び付属器の疾患
- VI. 神経系の疾患
- V. 精神及び行動の障害
- IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
- III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- II. 新生物<腫瘍>
- I. 感染症及び寄生虫症

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
 対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
 株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

邑楽町国民健康保険における、疾病別医療費構成を年齢階層別に示す。

若年層では「呼吸器系の疾患」、中年層では「腎尿路生殖器系の疾患」、高年層では「腎尿路生殖器系の疾患」「新生物<腫瘍>」が上位を占める。

年齢階層別医療費 大分類上位5疾病(男性)

年齢階層	1	2	3	4	5
0歳～4歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	I. 感染症及び寄生虫症
5歳～9歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	V. 精神及び行動の障害	VIII. 耳及び乳様突起の疾患	I. 感染症及び寄生虫症
10歳～14歳	X. 呼吸器系の疾患	X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	V. 精神及び行動の障害	X X II. 特殊目的用コード
15歳～19歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	V. 精神及び行動の障害	X X II. 特殊目的用コード	VII. 眼及び付属器の疾患
20歳～24歳	VI. 神経系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	IX. 循環器系の疾患	X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
25歳～29歳	X I. 消化器系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	V. 精神及び行動の障害
30歳～34歳	X. 呼吸器系の疾患	X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	V. 精神及び行動の障害	VI. 神経系の疾患	X I. 消化器系の疾患
35歳～39歳	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	X I. 消化器系の疾患	VI. 神経系の疾患	X. 呼吸器系の疾患	VII. 眼及び付属器の疾患
40歳～44歳	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	X I. 消化器系の疾患	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患
45歳～49歳	V. 精神及び行動の障害	X I. 消化器系の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	IX. 循環器系の疾患	VI. 神経系の疾患
50歳～54歳	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	X I. 消化器系の疾患	X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患
55歳～59歳	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	II. 新生物<腫瘍>	IX. 循環器系の疾患	V. 精神及び行動の障害
60歳～64歳	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	IX. 循環器系の疾患	VI. 神経系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患
65歳～69歳	II. 新生物<腫瘍>	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X I. 消化器系の疾患
70歳～	II. 新生物<腫瘍>	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	X. 呼吸器系の疾患	X I. 消化器系の疾患

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

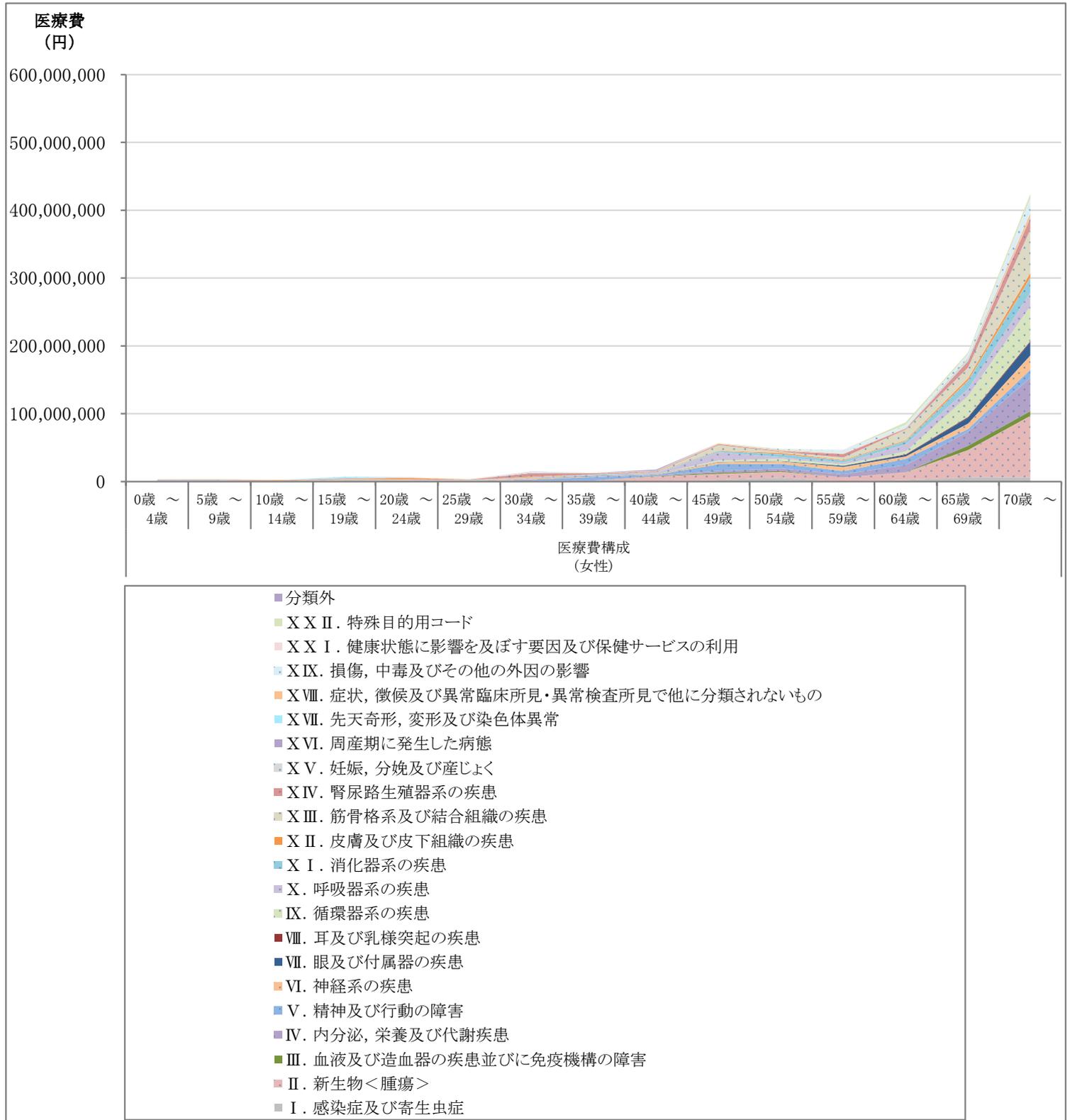
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

邑楽町国民健康保険の女性における、疾病別医療費構成を年齢階層別に示す。

年齢階層別医療費(女性)

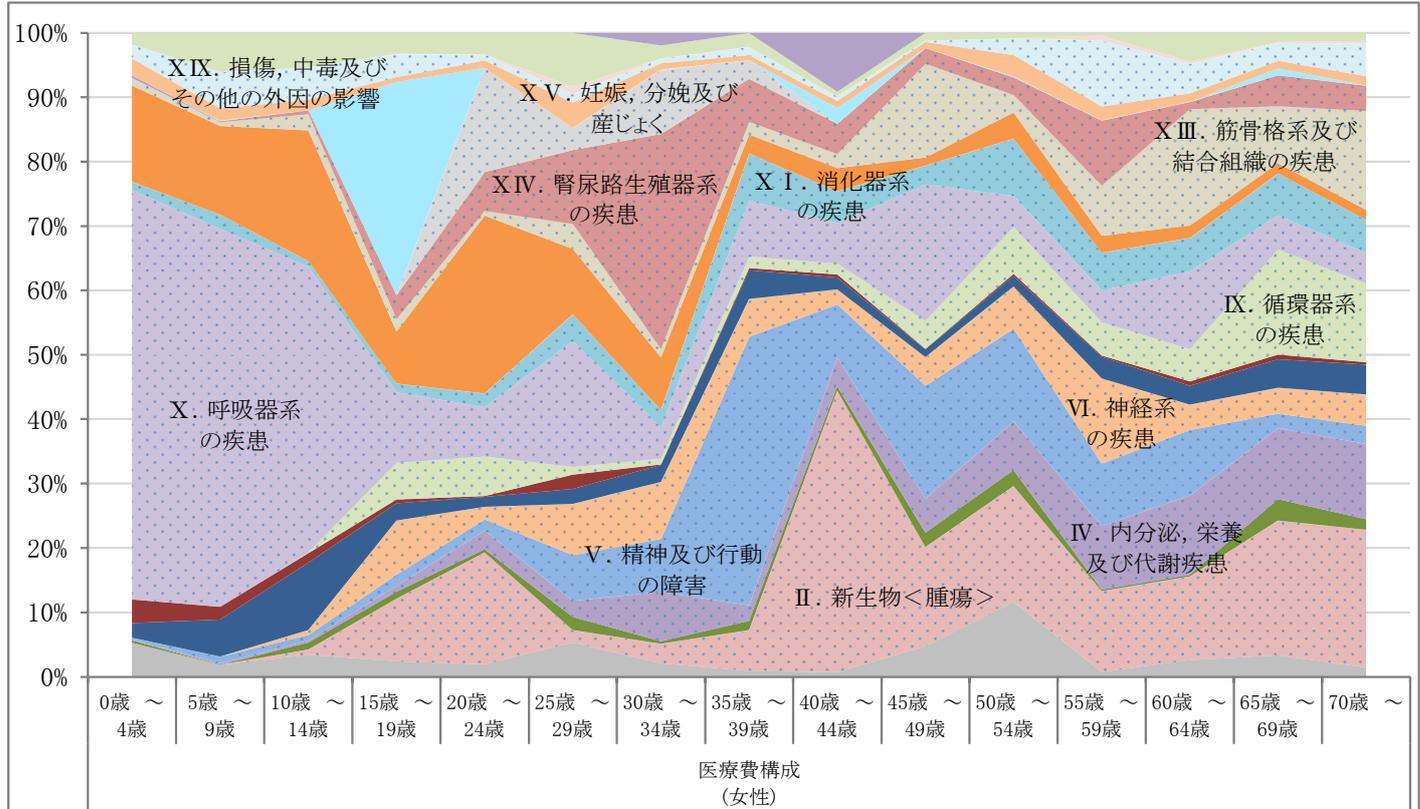


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

年齢階層別医療費構成(女性)



- 分類外
- XXII. 特殊目的用コード
- XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
- XIX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響
- XVIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- XVII. 先天奇形, 変形及び染色体異常
- XVI. 周産期に発生した病態
- XV. 妊娠, 分娩及び産じょく
- XIV. 腎尿路生殖器系の疾患
- XIII. 筋骨格系及び結合組織の疾患
- XII. 皮膚及び皮下組織の疾患
- XI. 消化器系の疾患
- X. 呼吸器系の疾患
- IX. 循環器系の疾患
- VIII. 耳及び乳様突起の疾患
- VII. 眼及び付属器の疾患
- VI. 神経系の疾患
- V. 精神及び行動の障害
- IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患
- III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- II. 新生物<腫瘍>
- I. 感染症及び寄生虫症

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。
株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。
消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

邑楽町国民健康保険における、疾病別医療費構成を年齢階層別に示す。

若年層では「呼吸器系の疾患」、中年層では「新生物<腫瘍>」、高年層では「筋骨格系及び結合組織の疾患」「新生物<腫瘍>」が上位を占める。

年齢階層別医療費 大分類上位5疾病(女性)

年齢階層	1	2	3	4	5
0歳～4歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	I. 感染症及び寄生虫症	VIII. 耳及び乳様突起の疾患	X VII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
5歳～9歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	X X II. 特殊目的用コード	VII. 眼及び付属器の疾患	X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響
10歳～14歳	X. 呼吸器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	VII. 眼及び付属器の疾患	X X II. 特殊目的用コード	X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響
15歳～19歳	X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	X. 呼吸器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	VI. 神経系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患
20歳～24歳	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X V. 妊娠、分娩及び産じょく	X. 呼吸器系の疾患	IX. 循環器系の疾患
25歳～29歳	X. 呼吸器系の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	X X II. 特殊目的用コード	VI. 神経系の疾患
30歳～34歳	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	X V. 妊娠、分娩及び産じょく	VI. 神経系の疾患	V. 精神及び行動の障害	X II. 皮膚及び皮下組織の疾患
35歳～39歳	V. 精神及び行動の障害	X. 呼吸器系の疾患	X I. 消化器系の疾患	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	II. 新生物<腫瘍>
40歳～44歳	II. 新生物<腫瘍>	分類外	V. 精神及び行動の障害	X. 呼吸器系の疾患	X I. 消化器系の疾患
45歳～49歳	X. 呼吸器系の疾患	V. 精神及び行動の障害	II. 新生物<腫瘍>	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患
50歳～54歳	II. 新生物<腫瘍>	V. 精神及び行動の障害	I. 感染症及び寄生虫症	X I. 消化器系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患
55歳～59歳	VI. 神経系の疾患	II. 新生物<腫瘍>	X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患
60歳～64歳	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	II. 新生物<腫瘍>	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	X. 呼吸器系の疾患	V. 精神及び行動の障害
65歳～69歳	II. 新生物<腫瘍>	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	X I. 消化器系の疾患
70歳～	II. 新生物<腫瘍>	X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	IX. 循環器系の疾患	IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	X I. 消化器系の疾患

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

(5) 地区比較

令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、地区毎に集計した。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【中野】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	18,051,664	2.5%	12	2,069	13	544	9	33,183	15
II. 新生物<腫瘍>	191,284,852	26.0%	1	2,438	11	538	10	355,548	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	17,202,764	2.3%	13	1,058	15	253	16	67,995	7
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	60,940,851	8.3%	4	11,461	2	1,052	1	57,929	11
V. 精神及び行動の障害	39,913,131	5.4%	7	3,057	9	276	15	144,613	2
VI. 神経系の疾患	28,852,662	3.9%	9	4,792	6	443	13	65,130	8
VII. 眼及び付属器の疾患	21,521,495	2.9%	11	2,862	10	659	7	32,658	16
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,430,445	0.3%	18	525	18	170	17	14,297	20
IX. 循環器系の疾患	81,041,975	11.0%	2	12,622	1	1,005	2	80,639	5
X. 呼吸器系の疾患	57,533,177	7.8%	5	5,749	5	1,001	3	57,476	12
X I. 消化器系の疾患 ※	51,461,031	7.0%	6	7,959	3	917	4	56,119	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	13,389,725	1.8%	14	3,220	8	706	6	18,966	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	67,872,627	9.2%	3	6,675	4	802	5	84,629	4
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	37,679,915	5.1%	8	2,434	12	480	11	78,500	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	389,545	0.1%	20	25	20	11	20	35,413	14
X VI. 周産期に発生した病態 ※	175,230	0.0%	21	3	22	3	22	58,410	10
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	2,520,447	0.3%	17	78	19	23	19	109,585	3
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,389,826	1.4%	15	3,342	7	659	7	15,766	19
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	21,937,436	3.0%	10	1,156	14	373	14	58,814	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,177,932	0.2%	19	634	17	109	18	10,807	21
X X II. 特殊目的用コード	9,111,725	1.2%	16	1,026	16	448	12	20,339	17
分類外	17,885	0.0%	22	7	21	4	21	4,471	22
合計	734,896,340			31,869		1,979		371,347	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【鶉】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	547,258	0.7%	15	166	14	54	13	10,134	16
II. 新生物<腫瘍>	4,092,791	5.4%	8	245	12	71	10	57,645	8
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	178,865	0.2%	17	128	15	32	16	5,590	20
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	10,907,530	14.5%	2	1,752	2	136	2	80,202	5
V. 精神及び行動の障害	4,317,925	5.7%	7	512	8	39	15	110,716	1
VI. 神経系の疾患	3,472,226	4.6%	10	905	5	77	9	45,094	10
VII. 眼及び付属器の疾患	4,537,498	6.0%	6	515	7	94	6	48,271	9
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	114,636	0.2%	18	49	18	14	18	8,188	18
IX. 循環器系の疾患	12,340,148	16.4%	1	1,781	1	140	1	88,144	3
X. 呼吸器系の疾患	8,503,403	11.3%	4	709	6	123	3	69,133	6
X I. 消化器系の疾患 ※	7,147,116	9.5%	5	1,305	3	122	4	58,583	7
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,303,393	1.7%	11	378	10	80	7	16,292	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	10,365,685	13.7%	3	1,106	4	105	5	98,721	2
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	1,068,295	1.4%	13	368	11	69	11	15,483	14
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	8,300	0.0%	20	1	21	1	20	8,300	17
X VI. 周産期に発生した病態 ※	7,727	0.0%	21	5	20	1	20	7,727	19
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	16,416	0.0%	19	22	19	3	19	5,472	21
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	852,895	1.1%	14	457	9	80	7	10,661	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1,240,250	1.6%	12	182	13	55	12	22,550	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	425,444	0.6%	16	84	17	16	17	26,590	11
X X II. 特殊目的用コード	3,963,039	5.3%	9	107	16	49	14	80,878	4
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	75,410,840			4,390		252		299,249	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため, “男性” においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため, 周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため, データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト, 月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【鶉新田・光善寺】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	464,045	1.0%	17	168	12	38	10	12,212	18
II. 新生物<腫瘍>	2,885,637	6.1%	8	105	14	37	11	77,990	7
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	805,692	1.7%	15	68	16	16	16	50,356	11
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	5,543,593	11.7%	3	1,140	1	77	1	71,995	8
V. 精神及び行動の障害	3,141,598	6.6%	6	362	8	24	14	130,900	2
VI. 神経系の疾患	2,838,354	6.0%	9	480	5	33	13	86,011	6
VII. 眼及び付属器の疾患	3,532,215	7.4%	5	214	11	57	6	61,969	9
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	104,798	0.2%	19	31	18	9	18	11,644	19
IX. 循環器系の疾患	7,508,789	15.8%	1	1,109	2	74	2	101,470	4
X. 呼吸器系の疾患	2,890,260	6.1%	7	425	6	69	4	41,888	12
X I. 消化器系の疾患 ※	2,266,774	4.8%	10	663	3	73	3	31,052	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	973,378	2.0%	13	275	9	56	7	17,382	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	4,085,225	8.6%	4	650	4	67	5	60,974	10
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	5,696,861	12.0%	2	388	7	46	8	123,845	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,288,112	2.7%	12	10	20	1	20	1,288,112	1
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	17,905	0.0%	20	20	19	1	20	17,905	15
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	933,444	2.0%	14	216	10	35	12	26,670	14
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1,779,774	3.7%	11	108	13	18	15	98,876	5
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	156,061	0.3%	18	67	17	15	17	10,404	20
X X II. 特殊目的用コード	658,837	1.4%	16	84	15	42	9	15,687	17
分類外	10,618	0.0%	21	2	21	2	19	5,309	21
合計	47,581,970			2,825		154		308,974	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため, “男性” においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため, 周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため, データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト, 月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【新中野】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	908,863	1.1%	15	227	12	72	8	12,623	18
II. 新生物<腫瘍>	8,127,391	9.9%	4	221	13	64	11	126,990	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	298,204	0.4%	18	158	14	37	16	8,060	20
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	10,795,930	13.1%	2	1,468	2	130	1	83,046	5
V. 精神及び行動の障害	2,683,216	3.3%	10	466	7	41	15	65,444	7
VI. 神経系の疾患	5,259,531	6.4%	8	680	5	72	8	73,049	6
VII. 眼及び付属器の疾患	4,771,478	5.8%	9	443	9	98	7	48,689	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	259,993	0.3%	19	62	18	15	18	17,333	17
IX. 循環器系の疾患	7,607,666	9.2%	5	1,569	1	120	2	63,397	8
X. 呼吸器系の疾患	5,366,269	6.5%	6	612	6	108	4	49,688	9
X I. 消化器系の疾患 ※	5,350,755	6.5%	7	1,103	3	110	3	48,643	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,596,866	3.2%	11	461	8	99	6	26,231	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	9,037,176	11.0%	3	770	4	100	5	90,372	4
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	12,987,773	15.8%	1	339	11	57	12	227,856	2
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	60,671	0.1%	20	9	19	2	20	30,336	13
X VI. 周産期に発生した病態 ※	6,940	0.0%	21	1	21	1	21	6,940	21
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,683,680	2.0%	13	6	20	3	19	561,227	1
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	849,963	1.0%	16	362	10	71	10	11,971	19
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1,754,269	2.1%	12	157	15	52	14	33,736	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	636,134	0.8%	17	132	16	23	17	27,658	14
X X II. 特殊目的用コード	1,383,802	1.7%	14	105	17	55	13	25,160	16
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	82,426,570			4,172		240		343,444	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため, “男性” においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため, 周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため, データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト, 月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【明野】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	2,040,473	1.7%	13	296	13	88	11	23,187	14
II. 新生物<腫瘍>	34,766,912	29.2%	1	474	12	107	8	324,924	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	560,336	0.5%	16	192	15	49	15	11,435	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	11,818,965	9.9%	4	1,988	2	162	3	72,957	5
V. 精神及び行動の障害	3,668,034	3.1%	10	477	11	45	16	81,512	2
VI. 神経系の疾患	3,316,897	2.8%	11	786	6	68	14	48,778	8
VII. 眼及び付属器の疾患	6,149,674	5.2%	7	679	7	139	4	44,242	9
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	296,961	0.2%	17	80	18	27	17	10,999	18
IX. 循環器系の疾患	12,352,944	10.4%	3	2,156	1	176	1	70,187	7
X. 呼吸器系の疾患	12,392,573	10.4%	2	932	4	174	2	71,222	6
X I. 消化器系の疾患 ※	10,009,742	8.4%	5	1,248	3	136	5	73,601	4
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	4,961,622	4.2%	8	554	10	122	7	40,669	10
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	4,294,078	3.6%	9	929	5	135	6	31,808	13
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	7,201,718	6.1%	6	555	9	93	10	77,438	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	73,083	0.1%	19	2	20	2	20	36,542	11
X VI. 周産期に発生した病態 ※	4,060	0.0%	21	1	22	1	21	4,060	20
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	18,935	0.0%	20	12	19	5	19	3,787	21
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,478,994	1.2%	14	586	8	105	9	14,086	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	2,298,980	1.9%	12	199	14	69	13	33,319	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	123,929	0.1%	18	107	17	20	18	6,196	19
X X II. 特殊目的用コード	1,142,768	1.0%	15	179	16	73	12	15,654	15
分類外	3,432	0.0%	22	2	20	1	21	3,432	22
合計	118,975,110			5,717		342		347,880	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため, “男性” においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため, 周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため, データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト, 月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【藤川】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	944,261	0.9%	13	231	13	55	11	17,168	15
II. 新生物<腫瘍>	35,444,657	33.1%	1	265	12	72	7	492,287	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	633,249	0.6%	15	158	14	35	15	18,093	14
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	9,817,890	9.2%	5	1,748	2	132	1	74,378	6
V. 精神及び行動の障害	1,712,601	1.6%	11	346	11	31	16	55,245	9
VI. 神経系の疾患	1,843,860	1.7%	10	592	5	51	12	36,154	10
VII. 眼及び付属器の疾患	2,383,013	2.2%	7	414	8	91	6	26,187	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	233,870	0.2%	18	102	17	15	18	15,591	16
IX. 循環器系の疾患	16,050,273	15.0%	2	1,930	1	128	2	125,393	4
X. 呼吸器系の疾患	2,061,200	1.9%	8	588	6	97	5	21,249	12
X I. 消化器系の疾患 ※	8,339,057	7.8%	6	1,305	3	116	3	71,888	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,161,673	1.1%	12	371	9	63	9	18,439	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	11,102,239	10.4%	4	1,046	4	103	4	107,789	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	11,544,945	10.8%	3	420	7	63	9	183,253	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	145,650	0.1%	19	4	21	2	21	72,825	7
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	56,253	0.1%	21	37	19	5	19	11,251	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	732,184	0.7%	14	351	10	64	8	11,440	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	345,822	0.3%	17	121	15	42	13	8,234	20
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	59,450	0.1%	20	108	16	24	17	2,477	21
X X II. 特殊目的用コード	539,204	0.5%	16	79	18	40	14	13,480	17
分類外	1,888,429	1.8%	9	29	20	3	20	629,476	1
合計	107,039,780			4,091		210		509,713	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため, “男性” においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため, 周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため, データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト, 月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【秋妻】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	493,932	0.8%	15	190	12	39	10	12,665	17
II. 新生物<腫瘍>	14,280,980	24.4%	1	243	10	40	9	357,025	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	345,877	0.6%	16	78	16	23	15	15,038	16
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	8,487,617	14.5%	3	1,132	2	95	2	89,343	5
V. 精神及び行動の障害	2,229,689	3.8%	9	212	11	20	16	111,484	2
VI. 神経系の疾患	1,906,722	3.3%	10	402	6	34	11	56,080	6
VII. 眼及び付属器の疾患	2,238,574	3.8%	8	318	8	61	7	36,698	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	138,237	0.2%	18	48	18	15	18	9,216	19
IX. 循環器系の疾患	11,591,244	19.8%	2	1,227	1	104	1	111,454	3
X. 呼吸器系の疾患	3,932,334	6.7%	4	460	5	83	3	47,378	7
X I. 消化器系の疾患 ※	3,346,971	5.7%	5	741	3	80	4	41,837	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,317,921	2.2%	11	344	7	54	8	24,406	12
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	2,315,150	4.0%	7	574	4	64	5	36,174	11
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	3,120,299	5.3%	6	176	13	34	11	91,774	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	21,981	0.0%	19	12	19	1	19	21,981	13
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	737,202	1.3%	13	281	9	64	5	11,519	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1,212,011	2.1%	12	79	15	26	14	46,616	8
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	310,057	0.5%	17	105	14	16	17	19,379	14
X X II. 特殊目的用コード	563,112	1.0%	14	64	17	30	13	18,770	15
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	58,589,910			2,647		161		363,912	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため, “男性” においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため, 周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため, データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト, 月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【石打】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,296,964	1.4%	14	357	12	87	9	14,908	15
II. 新生物<腫瘍>	16,636,047	18.1%	1	307	13	85	10	195,718	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,355,239	1.5%	13	121	17	27	17	50,194	9
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	10,811,096	11.8%	3	1,952	2	162	2	66,735	4
V. 精神及び行動の障害	8,464,353	9.2%	4	451	10	41	15	206,448	1
VI. 神経系の疾患	3,868,705	4.2%	9	730	6	66	13	58,617	6
VII. 眼及び付属器の疾患	6,054,928	6.6%	6	499	8	113	6	53,583	7
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	660,749	0.7%	17	129	16	33	16	20,023	14
IX. 循環器系の疾患	15,641,174	17.1%	2	2,225	1	171	1	91,469	3
X. 呼吸器系の疾患	5,142,471	5.6%	8	834	5	154	3	33,393	11
X I. 消化器系の疾患 ※	6,117,369	6.7%	5	1,358	3	146	4	41,900	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,896,745	2.1%	12	450	11	94	8	20,178	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	5,947,273	6.5%	7	949	4	115	5	51,715	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	2,444,361	2.7%	11	483	9	77	11	31,745	12
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	5,350	0.0%	20	2	20	1	20	5,350	18
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	19,666	0.0%	19	13	19	8	19	2,458	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,232,557	1.3%	15	560	7	96	7	12,839	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	3,063,744	3.3%	10	189	14	51	14	60,073	5
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	28,136	0.0%	18	76	18	13	18	2,164	20
X X II. 特殊目的用コード	1,040,053	1.1%	16	153	15	70	12	14,858	16
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	91,726,980			5,007		308		297,815	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため, “男性” においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため, 周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため, データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト, 月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【篠塚】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	10,087,714	2.4%	12	1,187	13	312	9	32,332	16
II. 新生物<腫瘍>	62,966,174	14.7%	1	1,256	12	312	9	201,815	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	8,109,529	1.9%	13	717	14	156	16	51,984	12
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	43,496,276	10.2%	3	7,197	2	617	1	70,496	10
V. 精神及び行動の障害	31,757,585	7.4%	6	1,922	8	162	15	196,034	3
VI. 神経系の疾患	38,397,470	9.0%	4	3,087	6	268	12	143,274	5
VII. 眼及び付属器の疾患	13,529,753	3.2%	11	1,839	9	402	6	33,656	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,840,509	0.4%	19	322	18	86	18	21,401	17
IX. 循環器系の疾患	57,710,067	13.5%	2	7,443	1	585	3	98,650	6
X. 呼吸器系の疾患	31,204,164	7.3%	7	3,601	5	598	2	52,181	11
X I. 消化器系の疾患 ※	20,561,678	4.8%	10	4,536	3	508	4	40,476	14
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	7,715,563	1.8%	14	2,216	7	378	8	20,412	19
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	36,649,852	8.6%	5	3,720	4	465	5	78,817	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	24,505,730	5.7%	8	1,630	11	266	13	92,127	8
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,089,926	0.3%	20	12	20	5	20	217,985	1
X VI. 周産期に発生した病態 ※	15,010	0.0%	21	2	22	2	21	7,505	21
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	2,446,514	0.6%	18	73	19	14	19	174,751	4
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,135,427	1.2%	16	1,807	10	379	7	13,550	20
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	21,310,058	5.0%	9	691	15	224	14	95,134	7
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	3,667,708	0.9%	17	535	17	87	17	42,158	13
X X II. 特殊目的用コード	5,528,911	1.3%	15	609	16	270	11	20,477	18
分類外	7,602	0.0%	22	10	21	2	21	3,801	22
合計	427,733,220			18,870		1,108		386,041	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため, “男性” においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため, 周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため, データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト, 月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【赤堀】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,100,131	1.1%	17	347	13	78	11	14,104	17
II. 新生物<腫瘍>	9,438,737	9.4%	5	426	12	97	9	97,307	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4,198,694	4.2%	9	206	15	47	15	89,334	4
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	11,246,225	11.2%	4	1,952	2	165	1	68,159	8
V. 精神及び行動の障害	3,055,781	3.1%	11	570	9	45	16	67,906	9
VI. 神経系の疾患	3,823,279	3.8%	10	809	6	82	10	46,625	12
VII. 眼及び付属器の疾患	2,437,893	2.4%	13	505	10	104	8	23,441	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	251,137	0.3%	18	71	18	27	17	9,301	18
IX. 循環器系の疾患	12,461,336	12.5%	3	2,007	1	153	3	81,447	5
X. 呼吸器系の疾患	6,757,098	6.8%	6	813	5	140	5	48,265	11
X I. 消化器系の疾患 ※	12,475,224	12.5%	2	1,517	3	155	2	80,485	6
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,465,923	2.5%	12	619	7	107	6	23,046	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	13,527,894	13.5%	1	1,201	4	147	4	92,026	3
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	5,803,450	5.8%	8	479	11	75	12	77,379	7
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	892	0.0%	19	2	19	1	19	892	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,388,587	2.4%	14	573	8	106	7	22,534	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	5,911,565	5.9%	7	228	14	64	14	92,368	2
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,190,966	1.2%	16	148	17	22	18	54,135	10
X X II. 特殊目的用コード	1,447,528	1.4%	15	162	16	67	13	21,605	16
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	99,982,340			5,191		302		331,067	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため, “男性” においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため, 周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため, データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト, 月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【狸塚】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,935,929	1.3%	12	379	13	94	9	20,595	13
II. 新生物<腫瘍>	23,368,593	15.6%	2	409	12	90	11	259,651	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	232,914	0.2%	18	155	16	43	16	5,417	18
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	12,489,154	8.3%	5	2,074	2	165	3	75,692	8
V. 精神及び行動の障害	14,258,804	9.5%	3	698	7	53	15	269,034	2
VI. 神経系の疾患	11,194,626	7.5%	7	1,001	5	82	12	136,520	4
VII. 眼及び付属器の疾患	4,518,642	3.0%	11	610	8	118	6	38,294	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	367,341	0.2%	17	59	18	18	17	20,408	14
IX. 循環器系の疾患	12,760,138	8.5%	4	2,105	1	169	2	75,504	9
X. 呼吸器系の疾患	6,389,725	4.3%	10	948	6	183	1	34,917	12
X I. 消化器系の疾患 ※	10,046,828	6.7%	8	1,397	3	154	4	65,239	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,868,226	1.2%	13	588	11	118	6	15,832	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	11,377,999	7.6%	6	1,275	4	142	5	80,127	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	28,216,966	18.8%	1	600	10	92	10	306,706	1
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	549,323	0.4%	16	56	19	6	19	91,554	6
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,410,743	0.9%	14	607	9	113	8	12,484	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	7,965,126	5.3%	9	267	14	62	14	128,470	5
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	47,966	0.0%	19	102	17	18	17	2,665	20
X X II. 特殊目的用コード	1,126,227	0.8%	15	178	15	80	13	14,078	16
分類外	4,490	0.0%	20	1	20	1	20	4,490	19
合計	150,129,760			5,568		333		450,840	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため, “男性” においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため, 周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため, データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト, 月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【その他】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	13,668	0.1%	18	6	17	4	12	3,417	19
II. 新生物<腫瘍>	21,201	0.1%	17	4	18	3	15	7,067	16
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	21,601	0.1%	16	21	14	4	12	5,400	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	1,348,852	9.3%	3	97	5	10	1	134,885	3
V. 精神及び行動の障害	4,612,005	31.7%	2	116	4	8	5	576,501	2
VI. 神経系の疾患	5,556,573	38.2%	1	163	1	9	4	617,397	1
VII. 眼及び付属器の疾患	110,343	0.8%	11	34	9	4	12	27,586	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	26,054	0.2%	15	23	12	2	17	13,027	14
IX. 循環器系の疾患	664,740	4.6%	4	123	3	6	8	110,790	5
X. 呼吸器系の疾患	130,144	0.9%	10	42	8	8	5	16,268	13
X I. 消化器系の疾患 ※	552,294	3.8%	6	135	2	10	1	55,229	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	207,045	1.4%	8	88	6	10	1	20,705	12
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	313,941	2.2%	7	43	7	5	9	62,788	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	176,265	1.2%	9	31	10	5	9	35,253	9
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	8,518	0.1%	19	3	19	2	17	4,259	18
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	595,686	4.1%	5	23	12	5	9	119,137	4
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	76,702	0.5%	12	14	15	3	15	25,567	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	70,890	0.5%	13	24	11	1	19	70,890	6
X X II. 特殊目的用コード	53,698	0.4%	14	14	15	7	7	7,671	15
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	14,560,220			363		16		910,014	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため, “男性” においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため, 周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため, データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト, 月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

4. 中分類による疾病別医療費統計

(1) 邑楽町国民健康保険全体

令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病分類表における中分類単位で集計し、以下に示す。

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	183,008,262	9.1%	750
2	0402	糖尿病	122,289,656	6.1%	2,080
3	1402	腎不全	104,869,987	5.2%	198
4	1113	その他の消化器系の疾患	94,831,309	4.7%	1,702
5	0901	高血圧性疾患	90,599,910	4.5%	2,217
6	0903	その他の心疾患	71,952,119	3.6%	914
7	1011	その他の呼吸器系の疾患	63,237,904	3.1%	1,234
8	0606	その他の神経系の疾患	63,062,142	3.1%	1,176
9	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	60,684,707	3.0%	252
10	0403	脂質異常症	50,638,199	2.5%	1,646

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	90,599,910	2,217	41.0%
2	0402	糖尿病	122,289,656	2,080	38.5%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	26,737,508	1,777	32.9%
4	1113	その他の消化器系の疾患	94,831,309	1,702	31.5%
5	0403	脂質異常症	50,638,199	1,646	30.5%
6	0703	屈折及び調節の障害	5,470,522	1,426	26.4%
7	1202	皮膚炎及び湿疹	20,618,601	1,350	25.0%
8	1006	アレルギー性鼻炎	14,050,085	1,314	24.3%
9	0704	その他の眼及び付属器の疾患	42,889,182	1,274	23.6%
10	1011	その他の呼吸器系の疾患	63,237,904	1,234	22.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	0209	白血病	9,487,481	17	558,087
2	1402	腎不全	104,869,987	198	529,646
3	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	20,214,407	40	505,360
4	0208	悪性リンパ腫	12,995,908	42	309,426
5	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	5,327,142	21	253,673
6	0602	アルツハイマー病	13,164,783	52	253,169
7	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	48,240,743	197	244,877
8	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	183,008,262	750	244,011
9	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	60,684,707	252	240,812
10	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	37,470,091	176	212,898

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中分類による疾病別医療費統計

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)			レセプト件数(件) ※			患者数(人) ※		
	2,009,053,040			90,710			5,405		

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 (件) ※	構成比 (%)	順位	患者数(人) ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)		
											順位	
I. 感染症及び寄生虫症												
	37,884,902	1.9%		5,623	6.2%		1,465	27.1%		25,860		
0101	腸管感染症	3,856,075	0.2%	73	1,589	1.8%	45	482	8.9%	37	8,000	100
0102	結核	944,705	0.0%	99	158	0.2%	99	52	1.0%	94	18,167	77
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	656,700	0.0%	102	342	0.4%	85	209	3.9%	61	3,142	121
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	4,802,731	0.2%	71	961	1.1%	58	309	5.7%	48	15,543	81
0105	ウイルス性肝炎	7,230,847	0.4%	60	781	0.9%	65	251	4.6%	55	28,808	59
0106	その他のウイルス性疾患	3,778,354	0.2%	74	292	0.3%	88	160	3.0%	70	23,615	65
0107	真菌症	5,955,497	0.3%	65	1,504	1.7%	49	395	7.3%	42	15,077	83
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	13,402	0.0%	119	4	0.0%	121	2	0.0%	119	6,701	104
0109	その他の感染症及び寄生虫症	10,646,591	0.5%	47	947	1.0%	59	277	5.1%	51	38,435	47
II. 新生物<腫瘍>												
	403,313,972	20.1%		6,393	7.0%		1,516	28.0%		266,038		
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	29,664,840	1.5%	19	823	0.9%	62	290	5.4%	50	102,293	20
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	26,905,172	1.3%	20	833	0.9%	61	276	5.1%	52	97,483	21
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	20,214,407	1.0%	30	280	0.3%	89	40	0.7%	99	505,360	3
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	2,589,159	0.1%	85	269	0.3%	92	92	1.7%	87	28,143	60
0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	48,240,743	2.4%	11	602	0.7%	72	197	3.6%	63	244,877	7
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	37,470,091	1.9%	14	747	0.8%	66	176	3.3%	69	212,898	10
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	9,357,150	0.5%	51	225	0.2%	93	98	1.8%	83	95,481	23
0208	悪性リンパ腫	12,995,908	0.6%	42	129	0.1%	102	42	0.8%	97	309,426	4
0209	白血病	9,487,481	0.5%	50	89	0.1%	106	17	0.3%	108	558,087	1
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	183,008,262	9.1%	1	2,984	3.3%	31	750	13.9%	23	244,011	8
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	23,380,759	1.2%	27	1,408	1.6%	54	557	10.3%	32	41,976	43
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害												
	33,942,964	1.7%		3,060	3.4%		722	13.4%		47,012		
0301	貧血	15,003,484	0.7%	38	1,810	2.0%	41	399	7.4%	41	37,603	48
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	18,939,480	0.9%	32	1,504	1.7%	49	465	8.6%	38	40,730	45
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患												
	197,703,979	9.8%		33,961	37.4%		2,903	53.7%		68,103		
0401	甲状腺障害	8,995,335	0.4%	53	2,386	2.6%	36	493	9.1%	36	18,246	76
0402	糖尿病	122,289,656	6.1%	2	17,672	19.5%	3	2,080	38.5%	2	58,793	33
0403	脂質異常症	50,638,199	2.5%	10	21,427	23.6%	2	1,646	30.5%	5	30,764	57
0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	15,780,789	0.8%	36	5,991	6.6%	13	822	15.2%	20	19,198	75
V. 精神及び行動の障害												
	119,814,722	6.0%		9,189	10.1%		785	14.5%		152,630		
0501	血管性及び詳細不明の認知症	2,777,014	0.1%	82	138	0.2%	101	33	0.6%	102	84,152	26
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	171,832	0.0%	113	103	0.1%	105	17	0.3%	108	10,108	93
0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	60,684,707	3.0%	9	3,968	4.4%	23	252	4.7%	54	240,812	9

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数(件) ※	患者数(人) ※
	2,009,053,040	90,710	5,405

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 (件) ※	構成比 (%)	順位	患者数(人) ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	34,150,392	1.7%	16	5,326	5.9%	15	382	7.1%	43	89,399	24
0505	神経症性障害, ストレス関連障害 及び身体表現性障害	11,946,127	0.6%	44	5,887	6.5%	14	517	9.6%	35	23,107	67
0506	知的障害<精神遅滞>	3,398,430	0.2%	78	462	0.5%	82	30	0.6%	104	113,281	18
0507	その他の精神及び行動の障害	6,686,220	0.3%	62	838	0.9%	60	100	1.9%	82	66,862	30
VI. 神経系の疾患		110,330,905	5.5%		14,427	15.9%		1,285	23.8%		85,861	
0601	パーキンソン病	10,669,797	0.5%	46	708	0.8%	68	55	1.0%	93	193,996	12
0602	アルツハイマー病	13,164,783	0.7%	41	539	0.6%	78	52	1.0%	94	253,169	6
0603	てんかん	17,880,903	0.9%	33	1,663	1.8%	44	140	2.6%	75	127,721	17
0604	脳性麻痺及びその他の 麻痺性症候群	5,327,142	0.3%	70	107	0.1%	104	21	0.4%	106	253,673	5
0605	自律神経系の障害	226,138	0.0%	110	275	0.3%	91	34	0.6%	101	6,651	105
0606	その他の神経系の疾患	63,062,142	3.1%	8	12,875	14.2%	5	1,176	21.8%	13	53,624	36
VII. 眼及び付属器の疾患		71,785,506	3.6%		8,932	9.8%		1,940	35.9%		37,003	
0701	結膜炎	5,759,044	0.3%	66	4,167	4.6%	21	920	17.0%	17	6,260	108
0702	白内障	17,666,758	0.9%	34	2,768	3.1%	32	547	10.1%	33	32,298	55
0703	屈折及び調節の障害	5,470,522	0.3%	68	6,022	6.6%	12	1,426	26.4%	6	3,836	118
0704	その他の眼及び付属器の疾患	42,889,182	2.1%	13	6,300	6.9%	10	1,274	23.6%	9	33,665	54
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		6,724,730	0.3%		1,501	1.7%		431	8.0%		15,603	
0801	外耳炎	521,396	0.0%	105	374	0.4%	84	133	2.5%	76	3,920	116
0802	その他の外耳疾患	433,386	0.0%	106	202	0.2%	95	107	2.0%	81	4,050	114
0803	中耳炎	1,141,327	0.1%	96	328	0.4%	86	112	2.1%	80	10,190	92
0804	その他の中耳及び 乳様突起の疾患	195,507	0.0%	112	128	0.1%	103	60	1.1%	92	3,258	120
0805	メニエール病	1,199,020	0.1%	95	479	0.5%	81	95	1.8%	84	12,621	88
0806	その他の内耳疾患	1,667,313	0.1%	93	144	0.2%	100	35	0.6%	100	47,638	41
0807	その他の耳疾患	1,566,781	0.1%	94	551	0.6%	76	193	3.6%	64	8,118	99
IX. 循環器系の疾患		247,730,494	12.3%		36,297	40.0%		2,831	52.4%		87,506	
0901	高血圧性疾患	90,599,910	4.5%	5	31,391	34.6%	1	2,217	41.0%	1	40,866	44
0902	虚血性心疾患	31,876,440	1.6%	18	4,985	5.5%	18	637	11.8%	26	50,042	38
0903	その他の心疾患	71,952,119	3.6%	6	6,056	6.7%	11	914	16.9%	18	78,722	28
0904	くも膜下出血	142,928	0.0%	115	28	0.0%	112	9	0.2%	112	15,881	79
0905	脳内出血	2,019,900	0.1%	90	164	0.2%	98	64	1.2%	91	31,561	56
0906	脳梗塞	20,101,703	1.0%	31	2,482	2.7%	34	259	4.8%	53	77,613	29
0907	脳動脈硬化(症)	11,034	0.0%	120	11	0.0%	116	2	0.0%	119	5,517	110
0908	その他の脳血管疾患	6,713,839	0.3%	61	557	0.6%	75	179	3.3%	67	37,507	49
0909	動脈硬化(症)	3,086,078	0.2%	80	1,528	1.7%	47	349	6.5%	46	8,843	96
0911	低血圧(症)	591,036	0.0%	104	64	0.1%	108	12	0.2%	111	49,253	39
0912	その他の循環器系の疾患	20,635,507	1.0%	28	1,698	1.9%	43	327	6.0%	47	63,106	31
X. 呼吸器系の疾患		142,302,818	7.1%		15,713	17.3%		2,738	50.7%		51,973	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	990,668	0.0%	98	631	0.7%	71	241	4.5%	58	4,111	113
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	3,472,902	0.2%	77	2,017	2.2%	40	784	14.5%	22	4,430	112
1003	その他の急性上気道感染症	7,250,191	0.4%	59	3,194	3.5%	28	961	17.8%	16	7,544	101

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数(件) ※	患者数(人) ※
	2,009,053,040	90,710	5,405

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 (件) ※	構成比 (%)	順位	患者数(人) ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
1004	肺炎	9,233,369	0.5%	52	658	0.7%	70	248	4.6%	57	37,231	51
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	6,487,427	0.3%	63	3,162	3.5%	29	968	17.9%	15	6,702	103
1006	アレルギー性鼻炎	14,050,085	0.7%	40	6,951	7.7%	8	1,314	24.3%	8	10,693	91
1007	慢性副鼻腔炎	2,492,231	0.1%	86	1,492	1.6%	51	411	7.6%	40	6,064	109
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	777,147	0.0%	101	385	0.4%	83	120	2.2%	78	6,476	107
1009	慢性閉塞性肺疾患	10,306,098	0.5%	48	1,491	1.6%	52	191	3.5%	66	53,959	35
1010	喘息	24,004,796	1.2%	25	4,107	4.5%	22	624	11.5%	27	38,469	46
1011	その他の呼吸器系の疾患	63,237,904	3.1%	7	3,869	4.3%	24	1,234	22.8%	10	51,246	37
X I . 消化器系の疾患		137,674,839	6.9%		23,267	25.6%		2,527	46.8%		54,482	
1101	う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	3,487	0.0%	122	5	0.0%	119	3	0.1%	117	1,162	122
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	16,162	0.0%	118	7	0.0%	118	4	0.1%	116	4,041	115
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	3,011,961	0.1%	81	1,116	1.2%	56	178	3.3%	68	16,921	78
1105	胃炎及び十二指腸炎	14,092,922	0.7%	39	8,001	8.8%	7	1,226	22.7%	12	11,495	89
1106	痔核	1,693,398	0.1%	92	590	0.7%	74	127	2.3%	77	13,334	86
1107	アルコール性肝疾患	2,401,955	0.1%	87	209	0.2%	94	25	0.5%	105	96,078	22
1108	慢性肝炎 (アルコール性のものを除く)	894,439	0.0%	100	593	0.7%	73	68	1.3%	89	13,154	87
1109	肝硬変 (アルコール性のものを除く)	2,189,775	0.1%	89	510	0.6%	80	82	1.5%	88	26,705	62
1110	その他の肝疾患	5,386,843	0.3%	69	2,458	2.7%	35	619	11.5%	28	8,702	97
1111	胆石症及び胆のう炎	9,645,060	0.5%	49	782	0.9%	64	156	2.9%	72	61,827	32
1112	膵疾患	3,507,528	0.2%	76	547	0.6%	77	155	2.9%	74	22,629	68
1113	その他の消化器系の疾患	94,831,309	4.7%	4	16,858	18.6%	4	1,702	31.5%	4	55,718	34
X II . 皮膚及び皮下組織の疾患		39,858,080	2.0%		9,564	10.5%		1,887	34.9%		21,122	
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	3,516,242	0.2%	75	1,435	1.6%	53	529	9.8%	34	6,647	106
1202	皮膚炎及び湿疹	20,618,601	1.0%	29	6,626	7.3%	9	1,350	25.0%	7	15,273	82
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	15,723,237	0.8%	37	5,269	5.8%	16	1,142	21.1%	14	13,768	85
X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患		176,889,139	8.8%		18,938	20.9%		2,250	41.6%		78,617	
1301	炎症性多発性関節障害	36,723,104	1.8%	15	3,761	4.1%	25	427	7.9%	39	86,003	25
1302	関節症	23,921,227	1.2%	26	5,180	5.7%	17	688	12.7%	25	34,769	52
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	25,367,168	1.3%	24	3,529	3.9%	27	587	10.9%	29	43,215	42
1304	椎間板障害	7,891,426	0.4%	55	1,531	1.7%	46	301	5.6%	49	26,217	63
1305	頸腕症候群	1,129,051	0.1%	97	1,034	1.1%	57	156	2.9%	72	7,238	102
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	5,699,169	0.3%	67	3,657	4.0%	26	582	10.8%	30	9,792	94
1307	その他の脊柱障害	12,888,250	0.6%	43	537	0.6%	79	157	2.9%	71	82,091	27
1308	肩の傷害<損傷>	2,738,375	0.1%	83	1,523	1.7%	48	249	4.6%	56	10,997	90
1309	骨の密度及び構造の障害	26,729,225	1.3%	22	4,800	5.3%	19	560	10.4%	31	47,731	40
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	33,802,144	1.7%	17	4,625	5.1%	20	904	16.7%	19	37,392	50

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数(件) ※	患者数(人) ※
	2,009,053,040	90,710	5,405

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 (件) ※	構成比 (%)	順位	患者数(人) ※			患者一人当たりの医療費 (円)	
							構成比 (%)	順位	患者数(人)	構成比 (%)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	140,446,578	7.0%		7,903	8.7%		1,357	25.1%		103,498	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	4,551,888	0.2%	72	725	0.8%	67	193	3.6%	64	23,585	66
1402 腎不全	104,869,987	5.2%	3	2,044	2.3%	39	198	3.7%	62	529,646	2
1403 尿路結石症	3,246,696	0.2%	79	276	0.3%	90	95	1.8%	84	34,176	53
1404 その他の腎尿路系の疾患	11,219,124	0.6%	45	3,037	3.3%	30	709	13.1%	24	15,824	80
1405 前立腺肥大(症)	6,249,490	0.3%	64	1,708	1.9%	42	224	4.1%	60	27,900	61
1406 その他の男性生殖器の疾患	258,886	0.0%	109	181	0.2%	97	48	0.9%	96	5,393	111
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	2,357,394	0.1%	88	685	0.8%	69	119	2.2%	79	19,810	74
1408 乳房及びその他の女性生殖器の疾患	7,693,113	0.4%	57	806	0.9%	63	354	6.5%	45	21,732	70
XV. 妊娠、分娩及び産じょく	3,060,637	0.2%		65	0.1%		25	0.5%		122,425	
1501 流産	264,261	0.0%	108	13	0.0%	114	9	0.2%	112	29,362	58
1502 妊娠高血圧症候群	167,172	0.0%	114	2	0.0%	122	1	0.0%	121	167,172	14
1503 単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504 その他の妊娠、分娩及び産じょく	2,629,204	0.1%	84	51	0.1%	110	20	0.4%	107	131,460	16
XVI. 周産期に発生した病態	208,967	0.0%		12	0.0%		8	0.1%		26,121	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	3,864	0.0%	121	5	0.0%	119	1	0.0%	121	3,864	117
1602 その他の周産期に発生した病態	205,103	0.0%	111	12	0.0%	115	8	0.1%	115	25,638	64
XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常	7,360,530	0.4%		334	0.4%		72	1.3%		102,230	
1701 心臓の先天奇形	81,986	0.0%	116	20	0.0%	113	9	0.2%	112	9,110	95
1702 その他の先天奇形、変形及び染色体異常	7,278,544	0.4%	58	320	0.4%	87	65	1.2%	90	111,978	19
XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	26,737,508	1.3%		9,165	10.1%		1,777	32.9%		15,046	
1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	26,737,508	1.3%	21	9,165	10.1%	6	1,777	32.9%	3	15,046	84
XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	68,895,737	3.4%		3,391	3.7%		1,039	19.2%		66,310	
1901 骨折	42,998,199	2.1%	12	1,130	1.2%	55	241	4.5%	58	178,416	13
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	8,415,195	0.4%	54	82	0.1%	107	42	0.8%	97	200,362	11
1903 熱傷及び腐食	650,893	0.0%	103	58	0.1%	109	32	0.6%	103	20,340	72
1904 中毒	335,990	0.0%	107	188	0.2%	96	93	1.7%	86	3,613	119
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	16,495,460	0.8%	35	2,266	2.5%	37	822	15.2%	20	20,067	73
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	7,894,673	0.4%		2,122	2.3%		364	6.7%		21,689	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	26,049	0.0%	117	8	0.0%	117	3	0.1%	117	8,683	98
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2104 歯の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数(件) ※	患者数(人) ※
	2,009,053,040	90,710	5,405

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 (件) ※	構成比 (%)	順位	患者数(人) ※	構成比 (%)	順位	患者一人 当たりの 医療費 (円)	順位
2105	特定の処置(歯の補てつを 除く)及び保健ケアのための保健 サービスの利用者	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2106	その他の理由による保健サービスの 利用者	7,868,624	0.4%	56	2,114	2.3%	38	362	6.7%	44	21,737	69
X X II . 特殊目的用コード		26,558,904	1.3%		2,760	3.0%		1,231	22.8%		21,575	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	26,558,904	1.3%	23	2,760	3.0%	33	1,231	22.8%	11	21,575	71
分類外		1,932,456	0.1%		51	0.1%		13	0.2%		148,650	
9999	分類外	1,932,456	0.1%	91	51	0.1%	110	13	0.2%	110	148,650	15

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

(2) 地区比較

令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費上位10疾病を以下に示す。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【中野】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	96,249,319	13.1%	278
2	1113	その他の消化器系の疾患	34,187,982	4.7%	612
3	0901	高血圧性疾患	33,240,529	4.5%	795
4	0402	糖尿病	32,922,082	4.5%	730
5	1402	腎不全	24,915,645	3.4%	69
6	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	24,759,778	3.4%	59
7	1011	その他の呼吸器系の疾患	24,096,874	3.3%	448
8	0903	その他の心疾患	23,244,566	3.2%	313
9	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	21,737,011	3.0%	90
10	0606	その他の神経系の疾患	21,113,031	2.9%	412

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【鶉】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0402	糖尿病	7,122,273	9.4%	98
2	1011	その他の呼吸器系の疾患	6,620,451	8.8%	46
3	0903	その他の心疾患	6,569,673	8.7%	41
4	1113	その他の消化器系の疾患	5,806,480	7.7%	74
5	0901	高血圧性疾患	4,174,452	5.5%	108
6	1301	炎症性多発性関節障害	4,154,190	5.5%	25
7	2220	その他の特殊目的用コード	3,963,039	5.3%	49
8	0606	その他の神経系の疾患	3,368,081	4.5%	75
9	0704	その他の眼及び付属器の疾患	3,090,057	4.1%	66
10	0403	脂質異常症	2,980,498	4.0%	82

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【鶉新田・光善寺】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402	腎不全	4,515,337	9.5%	8
2	0402	糖尿病	3,757,138	7.9%	52
3	0901	高血圧性疾患	2,755,650	5.8%	61
4	0606	その他の神経系の疾患	2,611,350	5.5%	33
5	0704	その他の眼及び付属器の疾患	2,293,238	4.8%	37
6	0906	脳梗塞	2,259,377	4.7%	9
7	0507	その他の精神及び行動の障害	2,030,409	4.3%	2
8	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	1,969,600	4.1%	15
9	1301	炎症性多発性関節障害	1,805,622	3.8%	14
10	0903	その他の心疾患	1,699,582	3.6%	14

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【新中野】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402	腎不全	9,917,049	12.0%	9
2	0402	糖尿病	6,868,402	8.3%	90
3	1113	その他の消化器系の疾患	4,192,543	5.1%	87
4	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	3,841,483	4.7%	30
5	0901	高血圧性疾患	3,617,832	4.4%	91
6	1301	炎症性多発性関節障害	3,510,502	4.3%	16
7	0606	その他の神経系の疾患	3,256,290	4.0%	67
8	1011	その他の呼吸器系の疾患	3,008,171	3.6%	53
9	0403	脂質異常症	2,871,045	3.5%	75
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	2,596,728	3.2%	61

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【明野】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	13,135,666	11.0%	16
2	0402	糖尿病	7,966,162	6.7%	115
3	1011	その他の呼吸器系の疾患	7,861,819	6.6%	75
4	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	7,531,997	6.3%	5
5	1113	その他の消化器系の疾患	7,162,225	6.0%	99
6	0901	高血圧性疾患	6,578,364	5.5%	130
7	1402	腎不全	4,723,030	4.0%	8
8	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	4,703,797	4.0%	43
9	0704	その他の眼及び付属器の疾患	4,668,676	3.9%	99
10	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	4,501,897	3.8%	19

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【藤川】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	13,284,677	12.4%	40
2	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	10,478,784	9.8%	16
3	1402	腎不全	9,265,273	8.7%	8
4	0208	悪性リンパ腫	7,775,382	7.3%	1
5	0402	糖尿病	7,010,510	6.5%	104
6	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	5,626,354	5.3%	37
7	0903	その他の心疾患	5,523,675	5.2%	43
8	1113	その他の消化器系の疾患	5,153,859	4.8%	76
9	0901	高血圧性疾患	4,528,920	4.2%	108
10	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	3,410,698	3.2%	21

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【秋妻】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	5,281,964	9.0%	21
2	0402	糖尿病	5,162,447	8.8%	58
3	0901	高血圧性疾患	3,277,674	5.6%	76
4	0908	その他の脳血管疾患	2,988,840	5.1%	5
5	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	2,663,376	4.5%	7
6	1113	その他の消化器系の疾患	2,446,911	4.2%	64
7	0403	脂質異常症	2,414,614	4.1%	63
8	1402	腎不全	2,413,220	4.1%	5
9	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	2,376,094	4.1%	3
10	0906	脳梗塞	2,236,859	3.8%	16

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【石打】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	7,539,599	8.2%	9
2	0402	糖尿病	6,828,382	7.4%	128
3	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	6,666,310	7.3%	33
4	0901	高血圧性疾患	5,756,289	6.3%	136
5	0903	その他の心疾患	5,233,177	5.7%	46
6	0704	その他の眼及び付属器の疾患	4,622,962	5.0%	78
7	1113	その他の消化器系の疾患	4,356,425	4.7%	88
8	0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	4,030,185	4.4%	20
9	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	3,571,664	3.9%	14
10	0403	脂質異常症	2,914,545	3.2%	99

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【篠塚】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	30,761,436	7.2%	149
2	0402	糖尿病	28,560,040	6.7%	460
3	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	20,204,222	4.7%	54
4	1402	腎不全	18,165,153	4.2%	39
5	0901	高血圧性疾患	17,386,406	4.1%	459
6	0606	その他の神経系の疾患	16,351,386	3.8%	234
7	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	14,228,656	3.3%	36
8	1113	その他の消化器系の疾患	13,586,001	3.2%	339
9	0903	その他の心疾患	13,300,251	3.1%	201
10	0912	その他の循環器系の疾患	13,011,146	3.0%	71

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【赤堀】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1113	その他の消化器系の疾患	8,931,453	8.9%	96
2	0402	糖尿病	7,402,353	7.4%	122
3	0903	その他の心疾患	5,499,277	5.5%	58
4	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	4,854,072	4.9%	46
5	0901	高血圧性疾患	4,817,443	4.8%	127
6	1402	腎不全	4,464,466	4.5%	10
7	1307	その他の脊柱障害	4,345,700	4.3%	11
8	1309	骨の密度及び構造の障害	3,754,582	3.8%	45
9	1011	その他の呼吸器系の疾患	3,661,386	3.7%	71
10	1901	骨折	3,124,815	3.1%	16

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【狸塚】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402	腎不全	26,142,080	17.4%	18
2	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	16,915,172	11.3%	46
3	0402	糖尿病	8,656,580	5.8%	118
4	1901	骨折	7,278,594	4.8%	19
5	1113	その他の消化器系の疾患	6,964,264	4.6%	107
6	0606	その他の神経系の疾患	6,166,940	4.1%	75
7	0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	5,574,990	3.7%	30
8	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	5,346,485	3.6%	20
9	0903	その他の心疾患	5,280,833	3.5%	65
10	0901	高血圧性疾患	4,301,468	2.9%	121

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

【その他】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	3,273,674	22.5%	1
2	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	2,636,117	18.1%	6
3	0603	てんかん	2,007,424	13.8%	6
4	0506	知的障害<精神遅滞>	1,793,789	12.3%	5
5	0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	1,151,342	7.9%	6
6	1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	595,686	4.1%	5
7	1113	その他の消化器系の疾患	525,935	3.6%	9
8	0903	その他の心疾患	393,626	2.7%	4
9	1309	骨の密度及び構造の障害	269,371	1.9%	1
10	0606	その他の神経系の疾患	228,985	1.6%	5

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数上位10疾病を以下に示す。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【中野】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	33,240,529	795	40.2%
2	0402	糖尿病	32,922,082	730	36.9%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10,389,826	659	33.3%
4	1113	その他の消化器系の疾患	34,187,982	612	30.9%
5	0403	脂質異常症	18,084,598	578	29.2%
6	1202	皮膚炎及び湿疹	6,677,978	500	25.3%
7	1006	アレルギー性鼻炎	5,159,449	474	24.0%
7	0703	屈折及び調節の障害	1,718,925	474	24.0%
9	1105	胃炎及び十二指腸炎	5,319,967	455	23.0%
10	1011	その他の呼吸器系の疾患	24,096,874	448	22.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【鶉】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	4,174,452	108	42.9%
2	0402	糖尿病	7,122,273	98	38.9%
3	0403	脂質異常症	2,980,498	82	32.5%
4	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	852,895	80	31.7%
5	0606	その他の神経系の疾患	3,368,081	75	29.8%
6	1113	その他の消化器系の疾患	5,806,480	74	29.4%
7	1006	アレルギー性鼻炎	731,925	68	27.0%
8	0703	屈折及び調節の障害	260,416	67	26.6%
9	0704	その他の眼及び付属器の疾患	3,090,057	66	26.2%
10	1202	皮膚炎及び湿疹	585,612	59	23.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【鶉新田・光善寺】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	2,755,650	61	39.6%
2	0402	糖尿病	3,757,138	52	33.8%
3	1113	その他の消化器系の疾患	1,517,231	51	33.1%
4	0403	脂質異常症	1,477,466	46	29.9%
5	2220	その他の特殊目的用コード	658,837	42	27.3%
5	1202	皮膚炎及び湿疹	621,233	42	27.3%
5	0703	屈折及び調節の障害	159,582	42	27.3%
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	2,293,238	37	24.0%
9	1011	その他の呼吸器系の疾患	1,396,424	36	23.4%
10	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	933,444	35	22.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【新中野】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	3,617,832	91	37.9%
2	0402	糖尿病	6,868,402	90	37.5%
3	1113	その他の消化器系の疾患	4,192,543	87	36.3%
4	1202	皮膚炎及び湿疹	1,847,824	77	32.1%
5	0703	屈折及び調節の障害	304,434	76	31.7%
6	0403	脂質異常症	2,871,045	75	31.3%
7	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	849,963	71	29.6%
8	0606	その他の神経系の疾患	3,256,290	67	27.9%
9	0704	その他の眼及び付属器の疾患	2,596,728	61	25.4%
10	1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	639,521	60	25.0%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【明野】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	6,578,364	130	38.0%
2	0402	糖尿病	7,966,162	115	33.6%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,478,994	105	30.7%
4	1113	その他の消化器系の疾患	7,162,225	99	28.9%
4	0704	その他の眼及び付属器の疾患	4,668,676	99	28.9%
6	0703	屈折及び調節の障害	393,826	96	28.1%
7	0403	脂質異常症	2,522,609	91	26.6%
8	1202	皮膚炎及び湿疹	3,183,997	86	25.1%
9	1006	アレルギー性鼻炎	912,722	78	22.8%
10	1011	その他の呼吸器系の疾患	7,861,819	75	21.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【藤川】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	4,528,920	108	51.4%
2	0402	糖尿病	7,010,510	104	49.5%
3	1113	その他の消化器系の疾患	5,153,859	76	36.2%
4	0403	脂質異常症	2,001,002	75	35.7%
5	0703	屈折及び調節の障害	281,458	66	31.4%
6	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	732,184	64	30.5%
7	0704	その他の眼及び付属器の疾患	1,317,246	56	26.7%
7	1105	胃炎及び十二指腸炎	629,612	56	26.7%
9	1006	アレルギー性鼻炎	510,315	52	24.8%
10	0606	その他の神経系の疾患	1,536,199	47	22.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【秋妻】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	3,277,674	76	47.2%
2	1113	その他の消化器系の疾患	2,446,911	64	39.8%
2	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	737,202	64	39.8%
4	0403	脂質異常症	2,414,614	63	39.1%
5	0402	糖尿病	5,162,447	58	36.0%
6	0703	屈折及び調節の障害	180,576	48	29.8%
7	0704	その他の眼及び付属器の疾患	1,445,883	44	27.3%
8	1006	アレルギー性鼻炎	577,945	40	24.8%
9	1105	胃炎及び十二指腸炎	467,799	38	23.6%
10	0701	結膜炎	248,382	37	23.0%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【石打】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	5,756,289	136	44.2%
2	0402	糖尿病	6,828,382	128	41.6%
3	0403	脂質異常症	2,914,545	99	32.1%
4	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,232,557	96	31.2%
5	1006	アレルギー性鼻炎	829,684	89	28.9%
6	1113	その他の消化器系の疾患	4,356,425	88	28.6%
7	0704	その他の眼及び付属器の疾患	4,622,962	78	25.3%
8	1105	胃炎及び十二指腸炎	987,363	74	24.0%
9	1003	その他の急性上気道感染症	432,165	72	23.4%
10	0703	屈折及び調節の障害	275,543	71	23.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【篠塚】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	28,560,040	460	41.5%
2	0901	高血圧性疾患	17,386,406	459	41.4%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,135,427	379	34.2%
4	0403	脂質異常症	10,029,838	358	32.3%
5	1113	その他の消化器系の疾患	13,586,001	339	30.6%
6	0703	屈折及び調節の障害	1,272,606	318	28.7%
7	1006	アレルギー性鼻炎	2,976,003	284	25.6%
8	1011	その他の呼吸器系の疾患	13,007,902	280	25.3%
9	1202	皮膚炎及び湿疹	3,628,396	271	24.5%
10	2220	その他の特殊目的用コード	5,528,911	270	24.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【赤堀】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	4,817,443	127	42.1%
2	0402	糖尿病	7,402,353	122	40.4%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,388,587	106	35.1%
4	1113	その他の消化器系の疾患	8,931,453	96	31.8%
4	0403	脂質異常症	2,573,074	96	31.8%
6	1105	胃炎及び十二指腸炎	799,415	83	27.5%
7	1202	皮膚炎及び湿疹	991,211	78	25.8%
8	0606	その他の神経系の疾患	2,715,647	77	25.5%
9	0704	その他の眼及び付属器の疾患	1,350,573	75	24.8%
10	1011	その他の呼吸器系の疾患	3,661,386	71	23.5%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中野	鶉	鶉新田・光善寺	新中野	明野	藤川
秋妻	石打	篠塚	赤堀	狸塚	その他

【狸塚】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	4,301,468	121	36.3%
2	0402	糖尿病	8,656,580	118	35.4%
3	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,410,743	113	33.9%
4	1113	その他の消化器系の疾患	6,964,264	107	32.1%
5	0703	屈折及び調節の障害	358,475	96	28.8%
6	0704	その他の眼及び付属器の疾患	3,003,043	86	25.8%
7	1011	その他の呼吸器系の疾患	1,373,816	84	25.2%
8	1202	皮膚炎及び湿疹	1,102,049	83	24.9%
8	1006	アレルギー性鼻炎	786,578	83	24.9%
10	1105	胃炎及び十二指腸炎	978,396	81	24.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

【その他】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1113	その他の消化器系の疾患	525,935	9	56.3%
2	1202	皮膚炎及び湿疹	102,048	8	50.0%
2	1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	101,884	8	50.0%
4	2220	その他の特殊目的用コード	53,698	7	43.8%
5	0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	2,636,117	6	37.5%
5	0603	てんかん	2,007,424	6	37.5%
5	0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	1,151,342	6	37.5%
8	0506	知的障害<精神遅滞>	1,793,789	5	31.3%
8	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	595,686	5	31.3%
8	0606	その他の神経系の疾患	228,985	5	31.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

5. 生活習慣病に係る医療費等の状況

(1) 生活習慣病と生活習慣病以外の医療費と患者数

令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)のレセプトより、疾病分類表における中分類単位で生活習慣病と生活習慣病以外の医療費を集計した結果を示す。ここでは、生活習慣病の基礎疾患(糖尿病、脂質異常症、高血圧性疾患)及び生活習慣病に係る重症化疾患を生活習慣病とし集計した。生活習慣病の医療費は4億2,564万円で医療費全体に占める割合は21.2%である。

生活習慣病と生活習慣病以外の医療費

	入院(円)	構成比(%)	入院外(円)	構成比(%)	合計(円)	構成比(%)
生活習慣病	57,707,989	8.0%	367,927,846	28.5%	425,635,835	21.2%
生活習慣病以外	659,752,011	92.0%	923,665,194	71.5%	1,583,417,205	78.8%
合計(円)	717,460,000		1,291,593,040		2,009,053,040	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

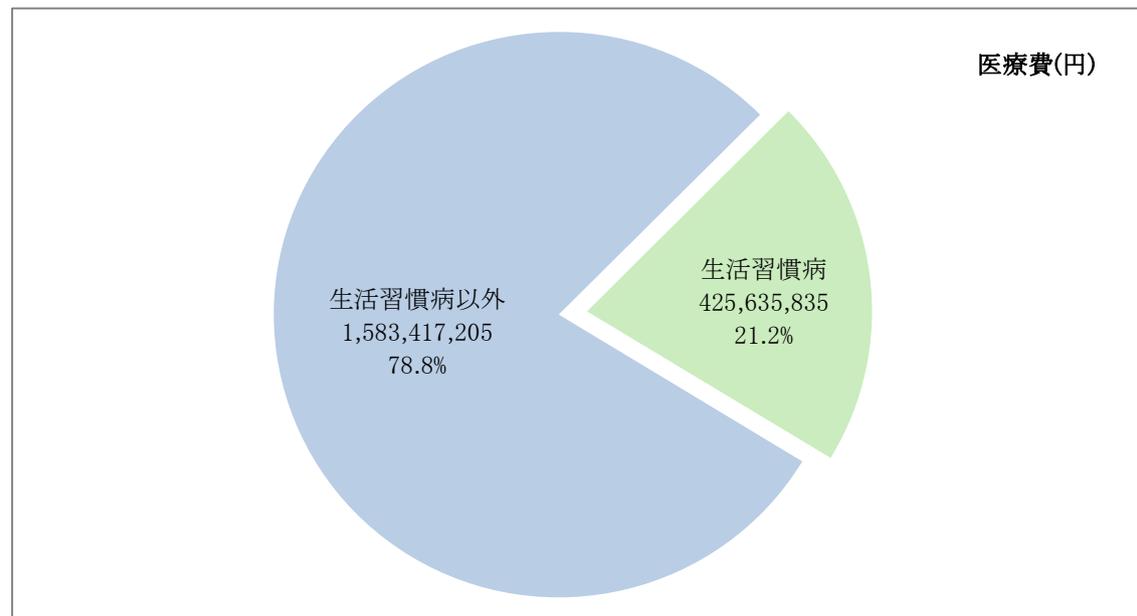
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費全体に占める生活習慣病医療費の割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

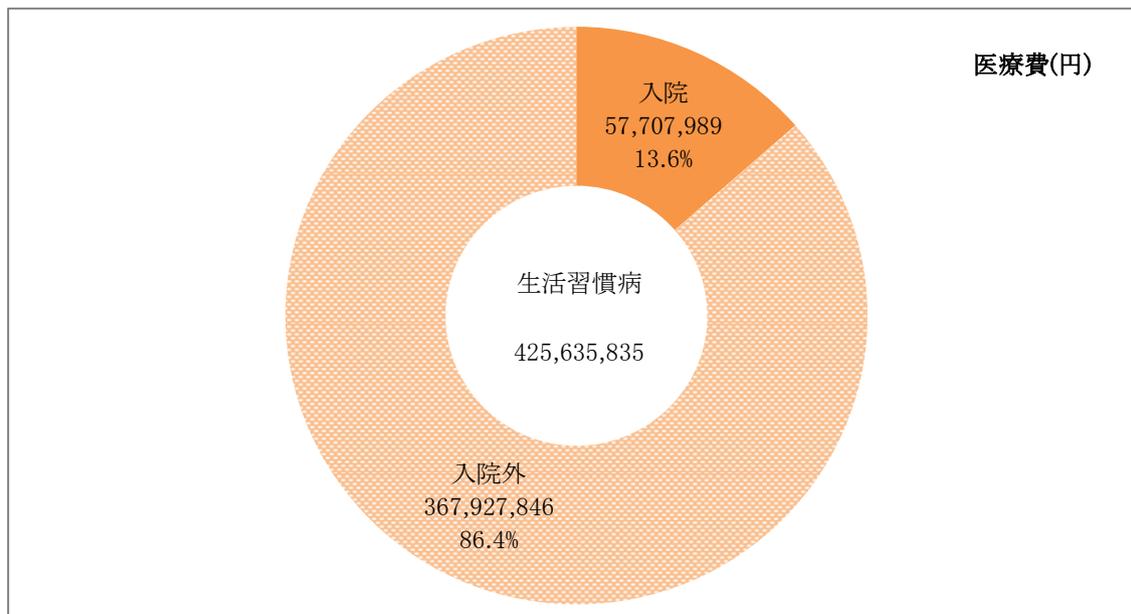
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病医療費に占める入院、入院外医療費の割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病で医療機関を受診している患者数は3,265人で、被保険者全体に占めるその割合は47.4%である。

医療機関受診状況及び生活習慣病罹患状況

		人数(人)	割合(%)
A	被保険者数	6,881	
B	医療機関受診者数(患者数)	5,419	78.8%
C	生活習慣病有 ※	3,265	47.4%
B-C	生活習慣病無 ※	2,154	31.3%
A-B	医療機関未受診者数	1,462	21.2%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※生活習慣病有…分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がある患者を対象に集計している。

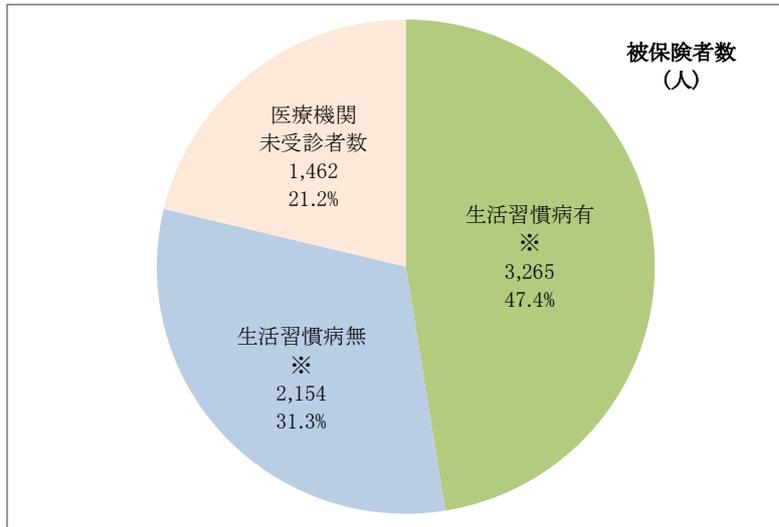
※生活習慣病無…レセプトが発生している患者のうち、分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がない患者を対象に集計している。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

被保険者全体に占める生活習慣病患者の状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※生活習慣病有…分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がある患者を対象に集計している。

※生活習慣病無…レセプトが発生している患者のうち、分析期間中に生活習慣病に関する診療行為がない患者を対象に集計している。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、

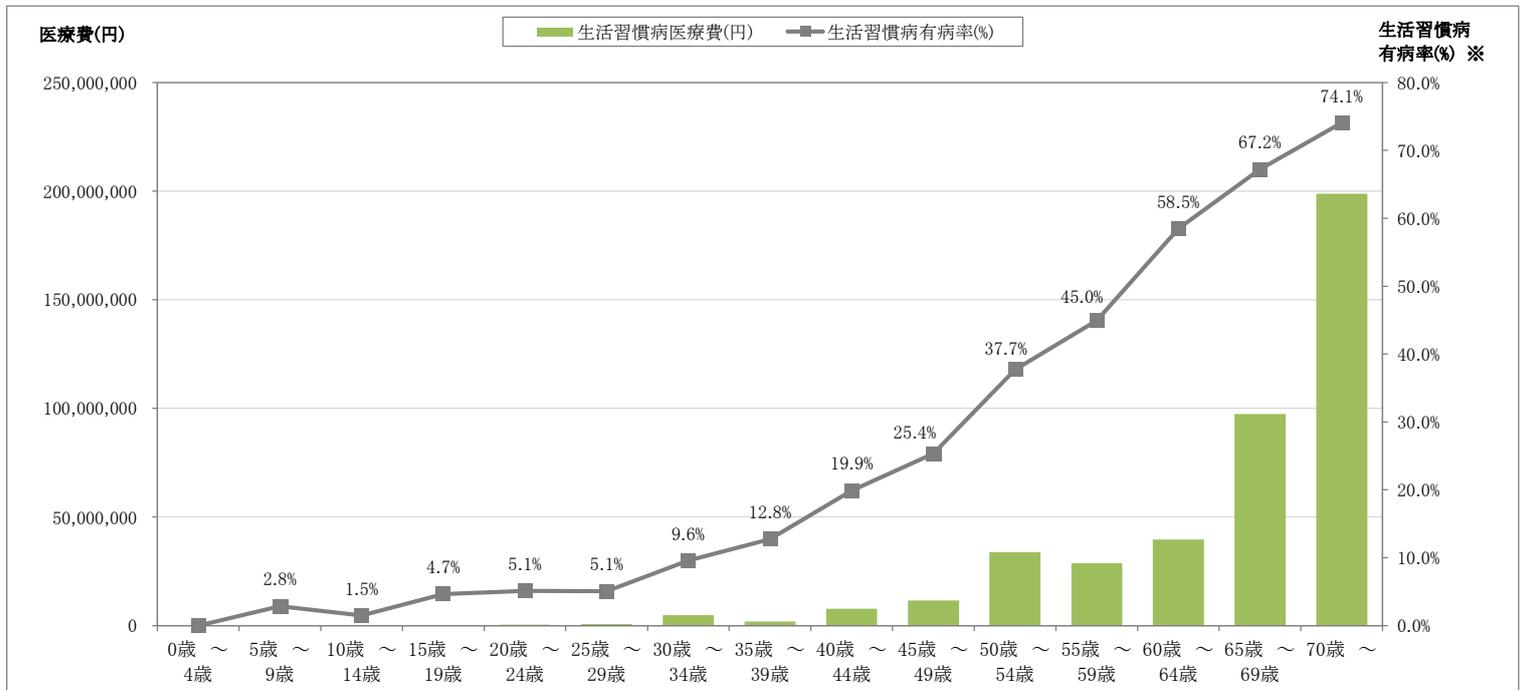
「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

年齢階層別の生活習慣病医療費と有病率を以下に示す。年齢階層が上がるにつれて患者数が増え医療費が増大する傾向にある。

年齢階層別 生活習慣病医療費と有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※生活習慣病有病率…被保険者数に占める生活習慣病患者数の割合。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、

「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

0402 糖尿病、0403 脂質異常症、0901 高血圧性疾患、0902 虚血性心疾患、0904 くも膜下出血、0905 脳内出血、0906 脳梗塞、0907 脳動脈硬化(症)、0909 動脈硬化(症)、1402 腎不全

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

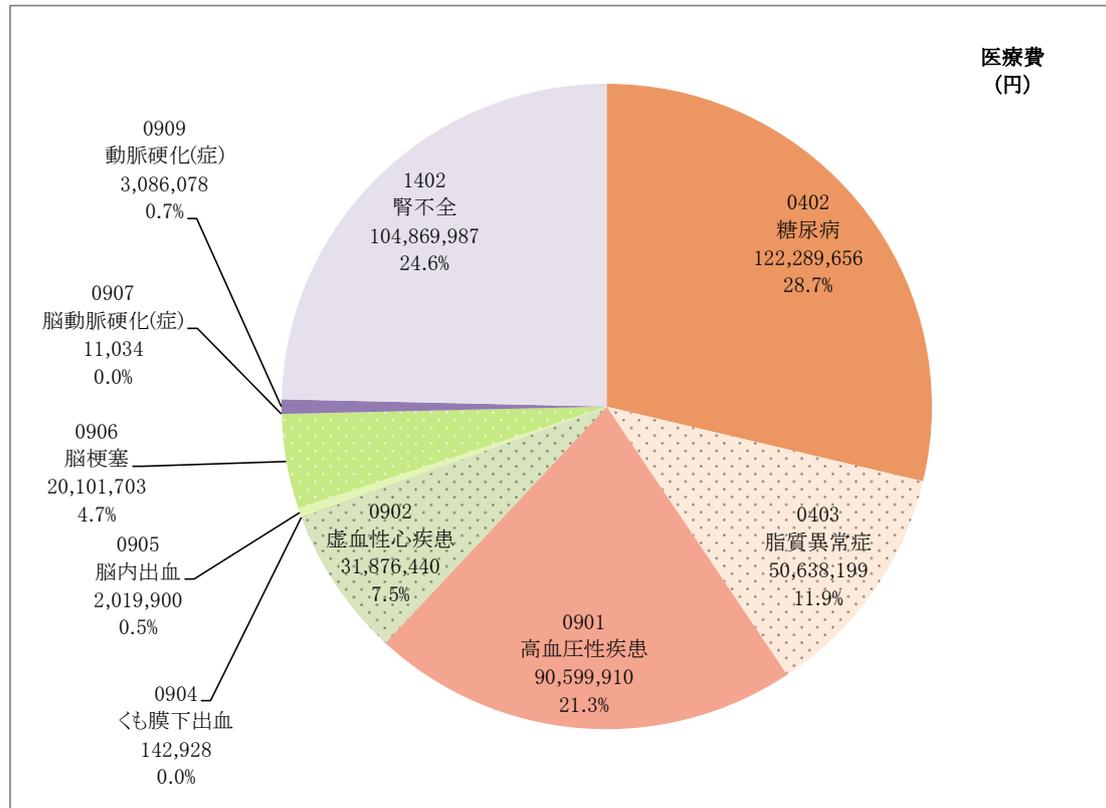
(2) 生活習慣病疾病別医療費等の状況

令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)における、生活習慣病疾病別の医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、有病率は以下のとおりである。

生活習慣病疾病別 医療費統計

疾病分類(中分類)	医療費(円)	構成比(%)	順位	患者数(人)	有病率(%) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
0402 糖尿病	122,289,656	28.7%	1	2,080	30.2%	2	58,793	3
0403 脂質異常症	50,638,199	11.9%	4	1,646	23.9%	3	30,764	7
0901 高血圧性疾患	90,599,910	21.3%	3	2,217	32.2%	1	40,866	5
0902 虚血性心疾患	31,876,440	7.5%	5	637	9.3%	4	50,042	4
0904 くも膜下出血	142,928	0.0%	9	9	0.1%	9	15,881	8
0905 脳内出血	2,019,900	0.5%	8	64	0.9%	8	31,561	6
0906 脳梗塞	20,101,703	4.7%	6	259	3.8%	6	77,613	2
0907 脳動脈硬化(症)	11,034	0.0%	10	2	0.0%	10	5,517	10
0909 動脈硬化(症)	3,086,078	0.7%	7	349	5.1%	5	8,843	9
1402 腎不全	104,869,987	24.6%	2	198	2.9%	7	529,646	1
合計	425,635,835			3,265	47.4%		130,363	

生活習慣病疾病別 医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

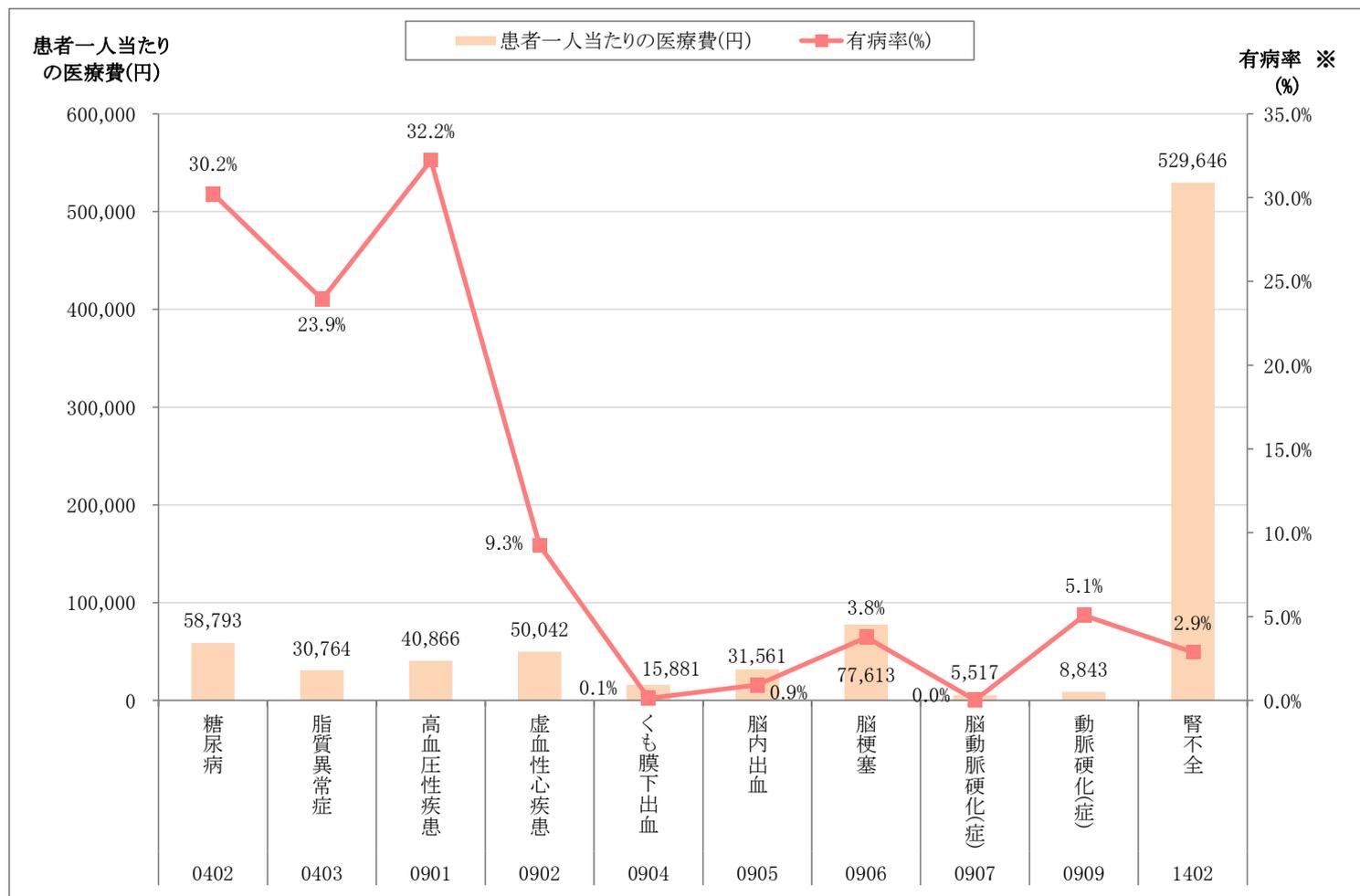
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※有病率…被保険者数に占める患者数の割合。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

生活習慣病疾病別 患者一人当たりの医療費と有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※有病率…被保険者数に占める患者数の割合。

生活習慣病…厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第4版)」には、生活習慣病の明確な定義が記載されていないため、「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目としている。

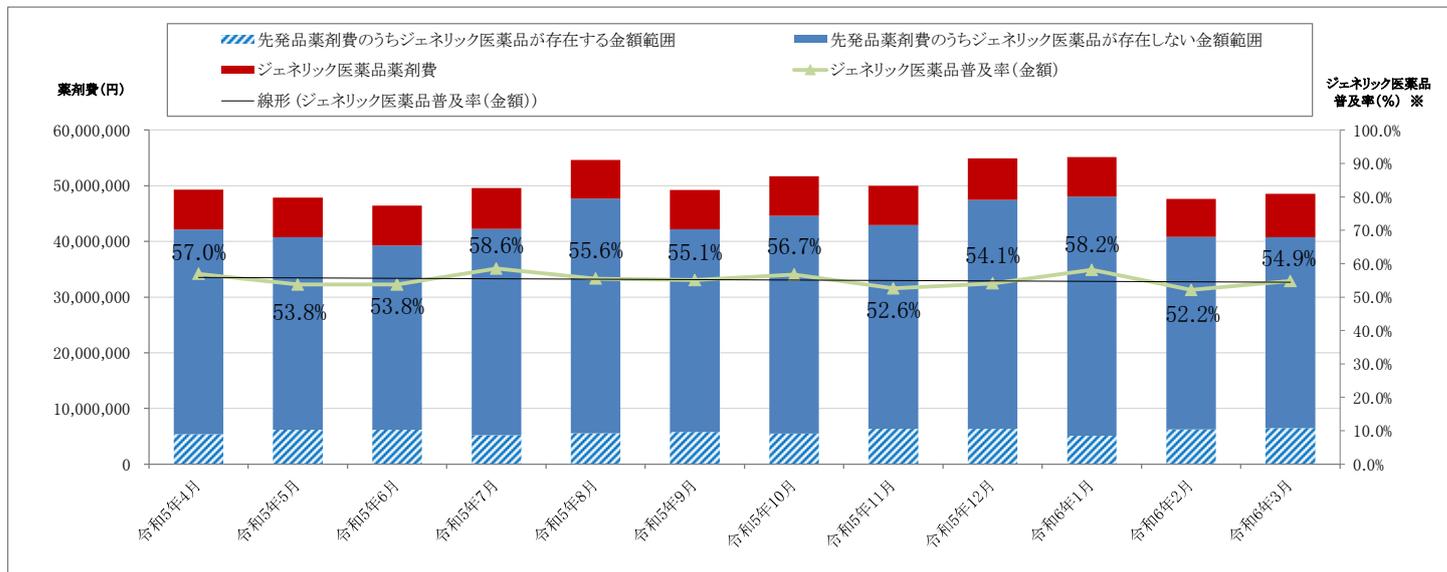
株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

6. ジェネリック医薬品普及率

(1) ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)

以下のとおり、診療年月毎の先発品薬剤費、ジェネリック医薬品薬剤費、全体の薬剤費総額に対するジェネリック医薬品薬剤費の割合を示す。令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)での平均ジェネリック医薬品普及率(医科調剤レセプト)は55.1%である。

ジェネリック医薬品月別普及率(医科調剤レセプト、金額ベース)



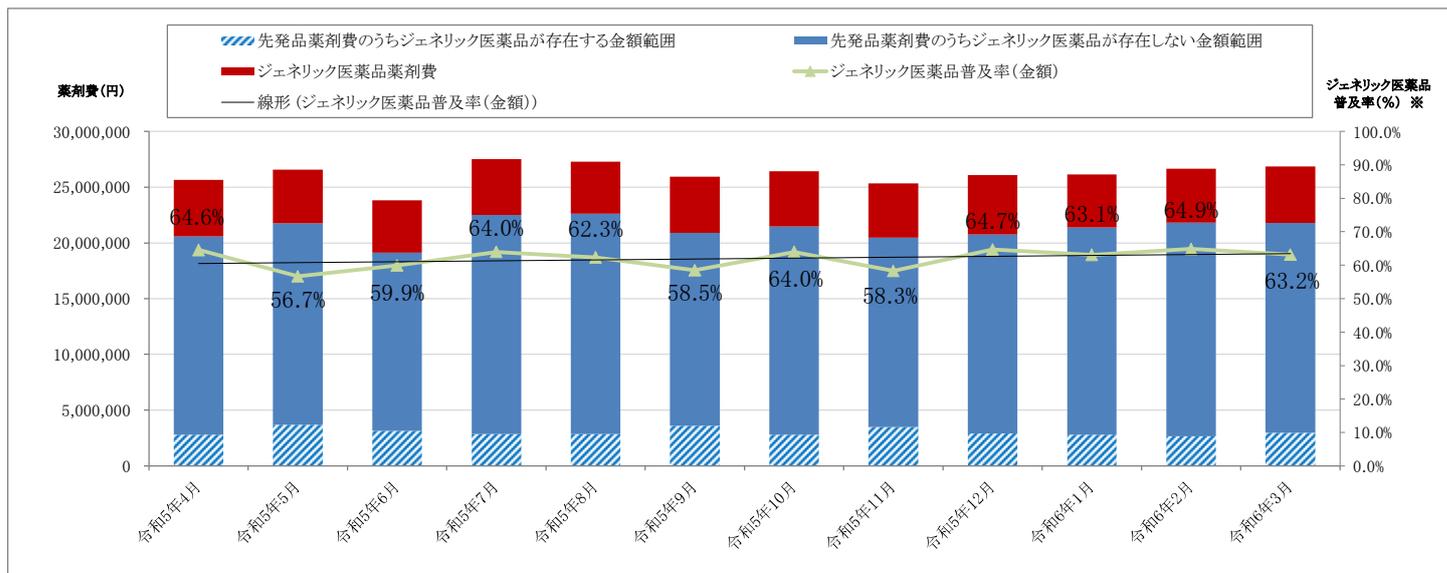
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)×100

ジェネリック医薬品月別普及率(調剤レセプト、金額ベース)



データ化範囲(分析対象)…調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

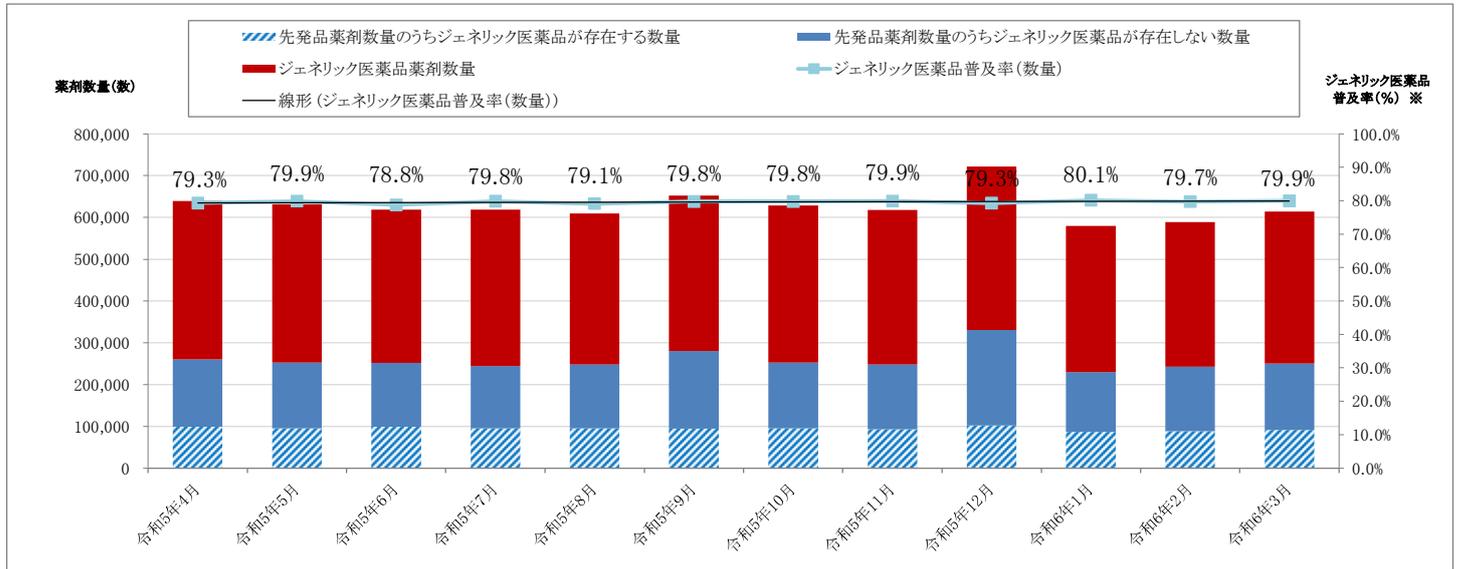
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)×100

(2) ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)

以下のとおり、診療年月毎の先発品薬剤数量、ジェネリック医薬品薬剤数量、全体の薬剤数量に対するジェネリック医薬品薬剤数の割合を示す。令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)での平均ジェネリック医薬品普及率(医科調剤レセプト)は79.6%である。

ジェネリック医薬品月別普及率(医科調剤レセプト、数量ベース)



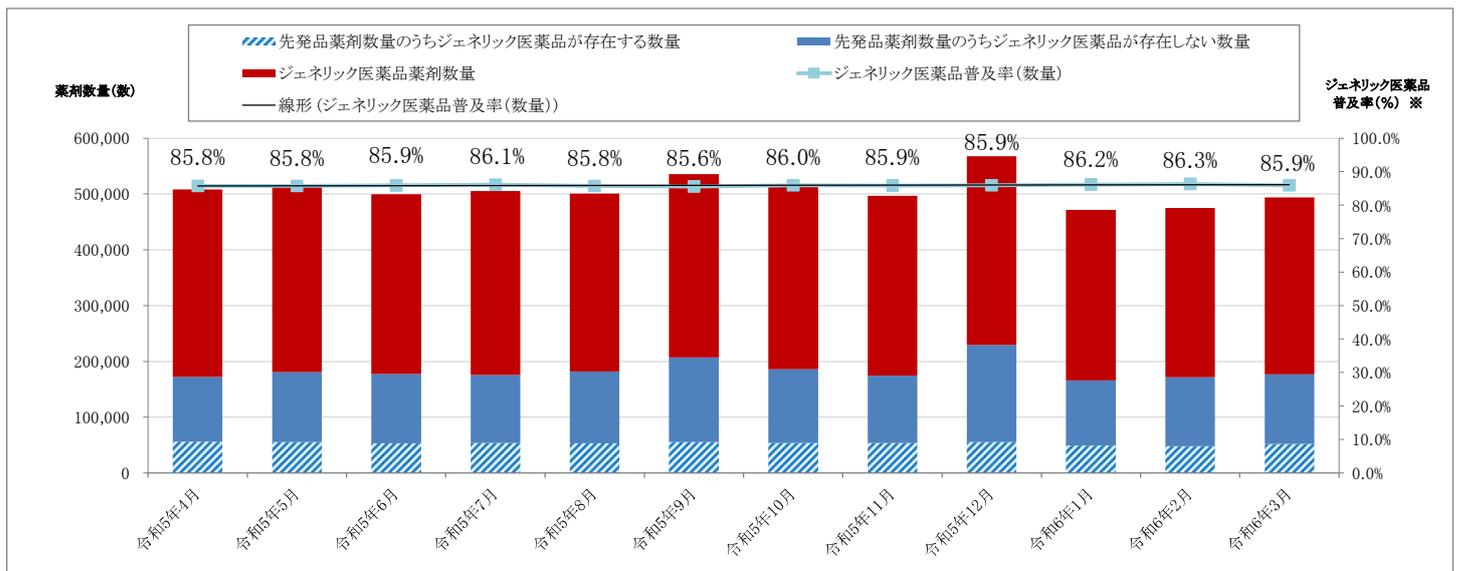
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)×100

ジェネリック医薬品月別普及率(調剤レセプト、数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

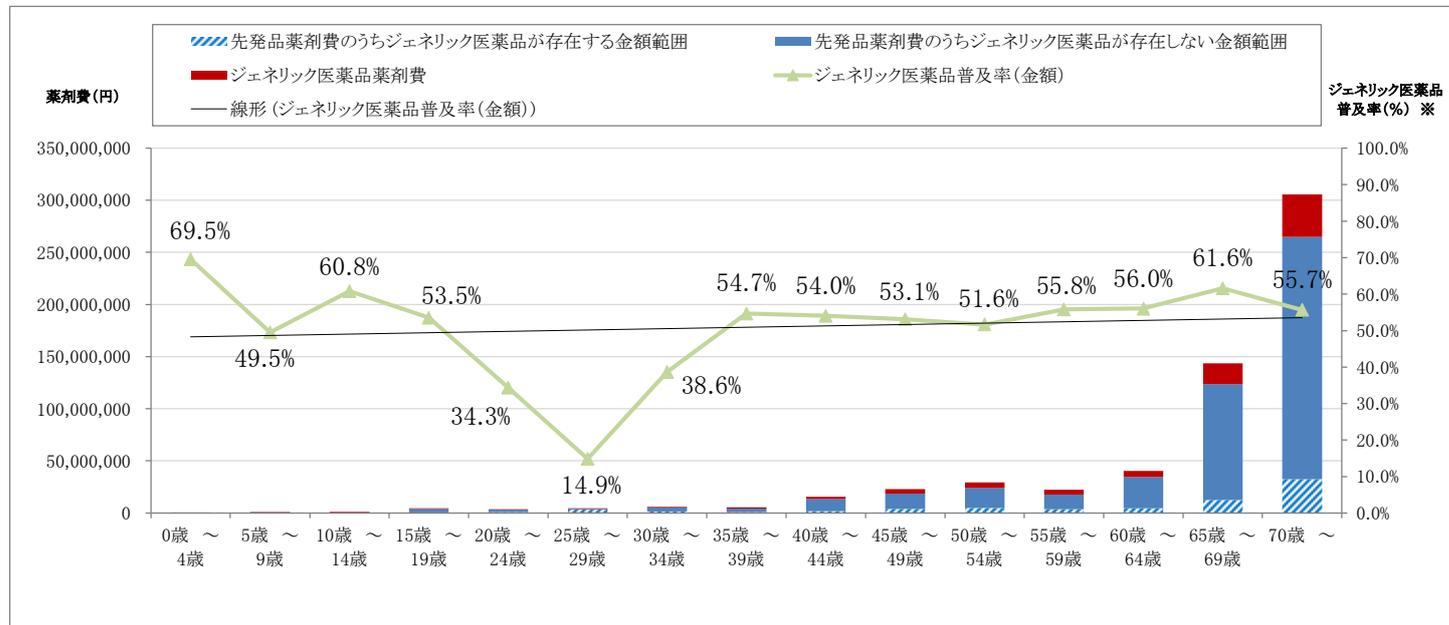
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)×100

(3) 年齢階層別普及率

令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)における、ジェネリック医薬品普及率(医科調剤レセプト、金額ベース・数量ベース)を年齢階層別に示す。

ジェネリック医薬品年齢階層別普及率(医科調剤レセプト、金額ベース)

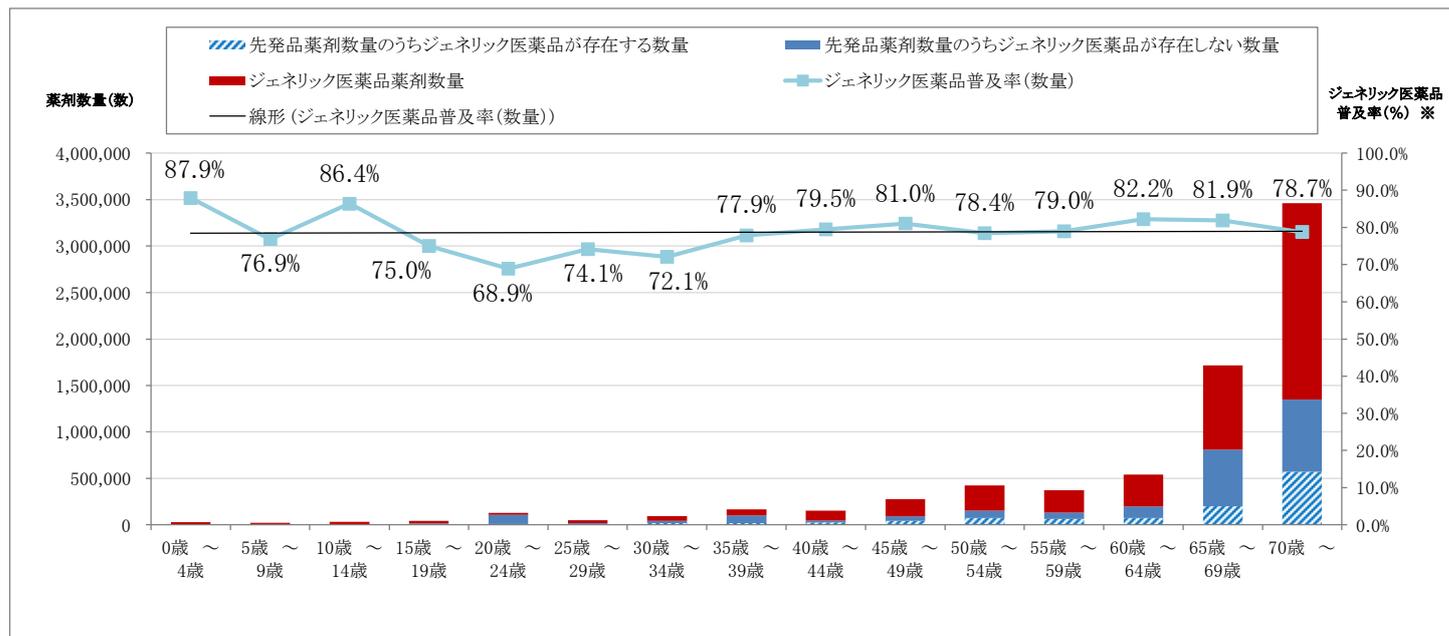


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)×100

ジェネリック医薬品年齢階層別普及率(医科調剤レセプト、数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)×100

7. 特定健康診査結果分析

(1) 有所見者割合

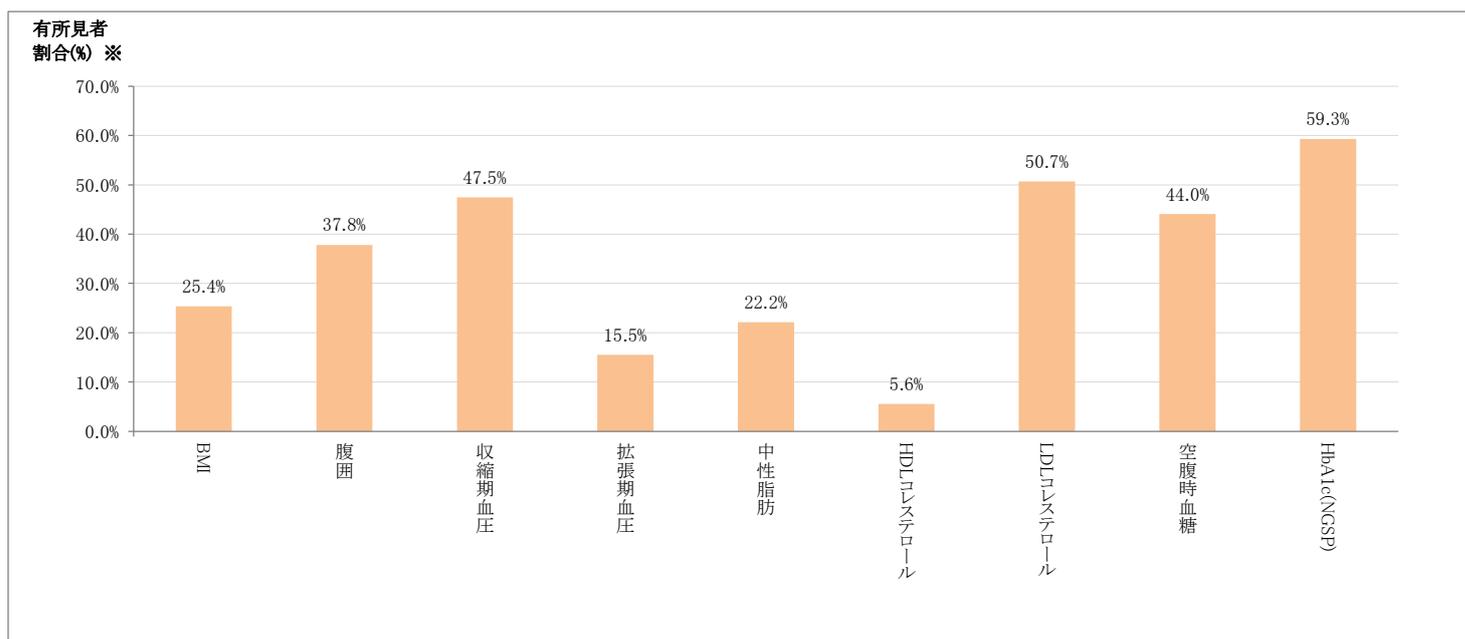
令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査受診者の有所見者割合は以下のとおりである。

有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	2,153	2,153	2,153	2,154
有所見者数(人) ※	546	814	1,022	334
有所見者割合(%) ※	25.4%	37.8%	47.5%	15.5%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c(NGSP)
対象者数(人) ※	2,153	2,153	2,153	1,601	2,151
有所見者数(人) ※	477	120	1,091	705	1,276
有所見者割合(%) ※	22.2%	5.6%	50.7%	44.0%	59.3%

有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25kg/m²以上、腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、収縮期血圧:130mmHg以上、拡張期血圧:85mmHg以上、
 中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール:40mg/dl未満、LDLコレステロール:120mg/dl以上、
 空腹時血糖:100mg/dl以上、HbA1c(NGSP):5.6%以上

(2) 質問別回答状況

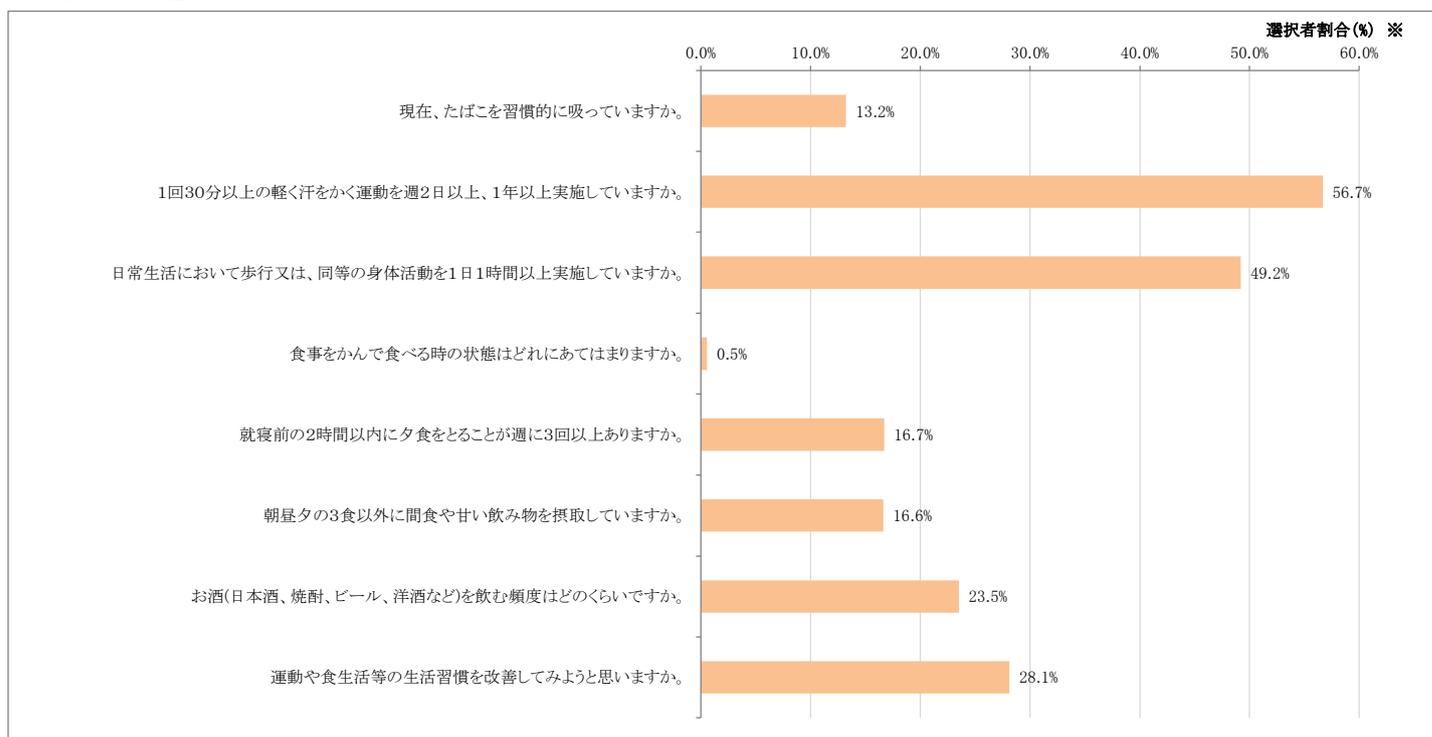
令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査の喫煙・運動・口腔機能・食習慣・飲酒・生活習慣の改善に関する各質問において、対応の考慮が必要な選択肢を選択した者の割合は以下のとおりである。

対応の考慮が必要な選択肢の選択状況

	喫煙	運動		口腔機能
	現在、たばこを習慣的に吸っていますか。	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか。	日常生活において歩行又は、同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか。	食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。
質問の選択肢	「はい」	「いいえ」	「いいえ」	「ほとんどかめない」
質問回答者数(人) ※	2,154	2,153	2,149	2,016
選択者数(人) ※	285	1,220	1,057	11
選択者割合(%) ※	13.2%	56.7%	49.2%	0.5%

	食習慣	飲酒	生活習慣の改善	
	就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ありますか。	朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。	お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度はどのくらいですか。	運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いませんか。
質問の選択肢	「はい」	「毎日」	「毎日」	「改善するつもりはない」
質問回答者数(人) ※	2,016	2,014	2,152	2,149
選択者数(人) ※	337	335	506	604
選択者割合(%) ※	16.7%	16.6%	23.5%	28.1%

対応の考慮が必要な選択肢の選択者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…該当の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、該当の選択肢を選択した人の割合。

8. 健康診査データによるメタボリックシンドローム該当状況

令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)における、特定健康診査受診者のメタボリックシンドローム該当状況は以下のとおりである。基準該当は23.6%、予備群該当は10.7%である。

メタボリックシンドローム該当状況

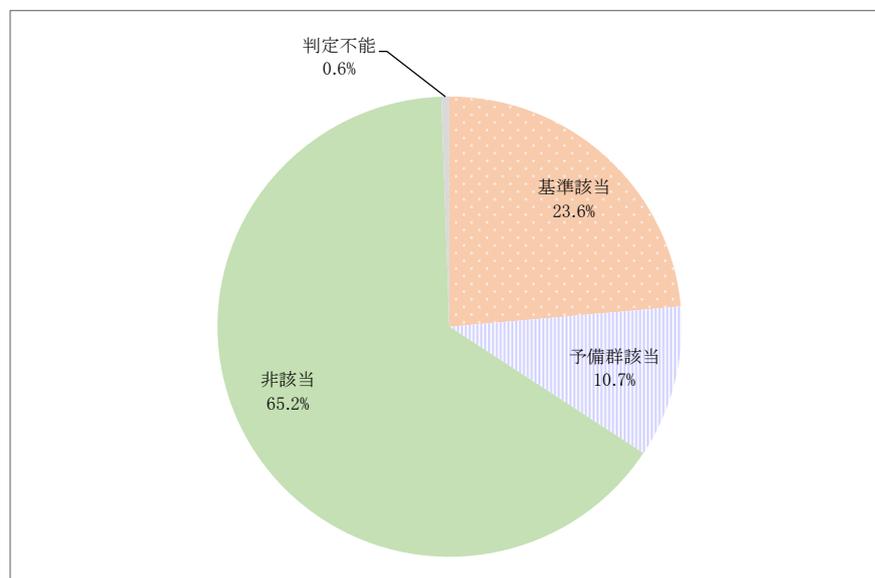
	健診受診者数	基準該当	予備群該当	非該当	判定不能
該当者数(人)	2,154	508	230	1,404	12
割合(%) ※	-	23.6%	10.7%	65.2%	0.6%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

メタボリックシンドローム該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

※割合…特定健康診査受診者のうち、各レベルに該当した人の割合。

※メタボリックシンドローム判定について

本分析は、健康診査データにおける医師の判断によるメタボリックシンドローム判定の項目から集計した結果を示したもので、厚生労働省が規定するメタボリックシンドローム判定基準による分類結果とは必ずしも一致しない。

【参考】メタボリックシンドローム判定基準

腹囲	追加リスク (①血糖 ②脂質 ③血圧)	該当状況
≥85cm (男性)	2つ以上該当	メタボリックシンドローム基準該当者
≥90cm (女性)	1つ該当	メタボリックシンドローム予備群該当者

※追加リスクの基準値は以下のとおりである。

①血糖:空腹時血糖が110mg/dl以上、またはHbA1c(NGSP)6.0%以上、または血糖を下げる薬を服用・インスリン注射を使用(空腹時血糖とHbA1c(NGSP)の両方を測定している場合は、空腹時血糖を優先し判定に用いる)

②脂質:中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、またはコレステロールや中性脂肪を下げる薬を服用

③血圧:収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上、または血圧を下げる薬を服用

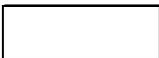
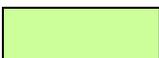
9. 健康診査データによるCKD重症度分類

健康診査項目の「尿蛋白」及び「クレアチニン」から算出したeGFR値を用いて、以下のとおり「エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン2023」の基準に基づき健診受診者を分類した。末期腎不全・心血管死亡発症リスクの上昇に合わせてステージ分けを行い該当するステージの健診受診者数を示す。

健康診査項目からステージに該当する人数(尿蛋白×クレアチニン)

健診受診者数:人

				尿蛋白区分					未測定	計
				A1	A2	A3				
				(-)	(±)	(1+)	(2+)	(3+)		
GFR区分 (mL/分/ 1.73m ²)	G1	正常または 高値	≥ 90	146	5	3	0	0	0	154
	G2	正常または 軽度低下	60 ~ 89	1,393	74	19	4	0	0	1,490
	G3a	軽度～ 中等度低下	45 ~ 59	401	29	12	7	1	0	450
	G3b	中等度～ 高度低下	30 ~ 44	32	6	5	3	4	0	50
	G4	高度低下	15 ~ 29	6	0	1	1	0	0	8
	G5	高度低下～ 末期腎不全	< 15	1	0	0	1	0	0	2
	未測定			0	0	0	0	0	0	0
計				1,979	114	40	16	5	0	2,154

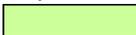
IV		=48人	2.2%
III		=87人	4.0%
II		=480人	22.3%
I		=1,539人	71.4%
不明		=0人	0.0%

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

参考資料:日本腎臓学会「エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン2023」(東京医学社)

※上記資料を用いて、株式会社データホライズンが作成した。

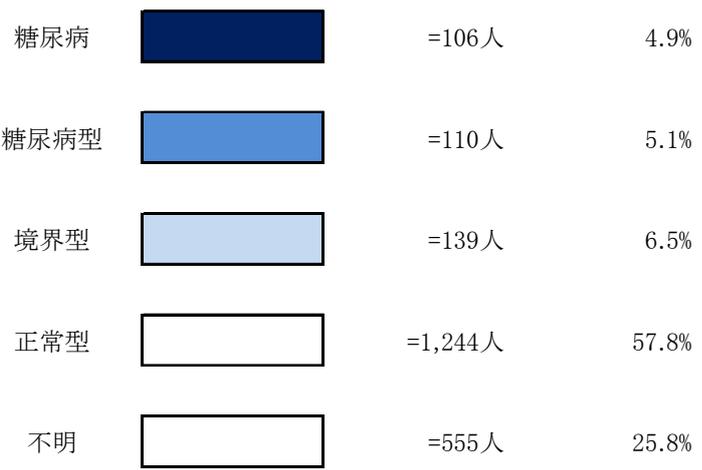
CKDの重症度は死亡・末期腎不全・CVD死亡発症のリスクを  を基準に    の順にステージが上昇するほどリスクは上昇する。

10. 健康診査データによる糖尿病診断

健康診査項目の「空腹時血糖」及び「HbA1c」の値を用いて、以下のとおり日本糖尿病学会の判定区分に基づき色分けした。

健康診査項目からステージに該当する人数 (HbA1c × 空腹時血糖) 健診受診者数: 人

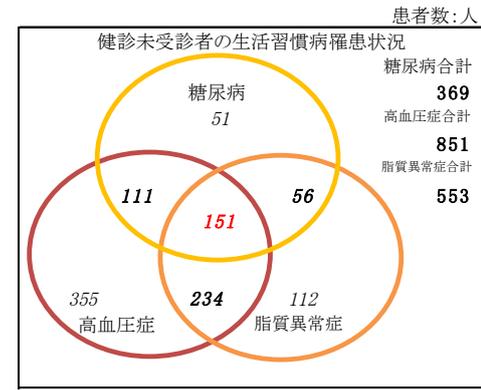
			HbA1c (NGSP) (ヘモグロビンA1c)				未測定	計	
			正常	↔					糖尿病型
			～ 5.5%	5.6% ～	6.0% ～	6.5% ～			
空腹時血糖	正常	～ 99mg/dl	520	302	63	10	1	896	
	正常高値	100mg/dl ～	99	174	86	18	0	377	
	空腹時血糖異常	110mg/dl ～	15	47	77	51	0	190	
	糖尿病型	126mg/dl ～	4	6	21	106	1	138	
	未測定		237	187	63	65	1	553	
計			875	716	310	250	3	2,154	



データ化範囲 (分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分 (12カ月分)。
資格確認日…令和6年3月31日時点。
参考資料: 日本糖尿病学会「糖尿病診療ガイドライン2019」(南江堂)

11. 生活習慣病患者の健康診査受診状況別罹患状況と医療費

●生活習慣病患者のうち健診未受診者の罹患状況と医療費



生活習慣病患者のうち健診未受診者の罹患状況と医療費

罹患状況 (投薬のある患者)	患者数(人) ※	医療費(円) ※		医療費合計 (円)	一人当たり 医療費(円)	
		入院	入院外			
3疾病併存患者	合計	151	53,603,260	81,221,030	134,824,290	892,876
2疾病併存患者	糖尿病・高血圧症	111	44,266,560	92,501,960	136,768,520	1,232,149
	糖尿病・脂質異常症	56	16,246,450	22,475,410	38,721,860	691,462
	高血圧症・脂質異常症	234	31,227,960	103,727,010	134,954,970	576,731
	合計	401	91,740,970	218,704,380	310,445,350	774,178
1疾病患者	糖尿病	51	10,261,800	19,007,090	29,268,890	573,900
	高血圧症	355	56,202,030	130,152,580	186,354,610	524,943
	脂質異常症	112	15,275,140	40,288,450	55,563,590	496,103
	合計	518	81,738,970	189,448,120	271,187,090	523,527

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

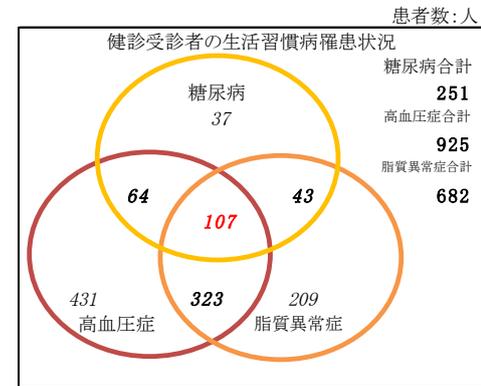
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

※患者数…該当傷病名で投薬のある患者のみ集計する。

※医療費…データ化範囲内における該当患者の医療費全体。生活習慣病に関する医療費に限らない。

●生活習慣病患者のうち健診受診者の罹患状況と医療費



生活習慣病患者のうち健診受診者の罹患状況と医療費

罹患状況 (投薬のある患者)	患者数(人) ※	医療費(円) ※		医療費合計 (円)	一人当たり 医療費(円)	
		入院	入院外			
3疾病併存患者	合計	107	7,089,910	37,982,090	45,072,000	421,234
2疾病併存患者	糖尿病・高血圧症	64	7,484,290	23,287,410	30,771,700	480,808
	糖尿病・脂質異常症	43	1,908,370	15,105,570	17,013,940	395,673
	高血圧症・脂質異常症	323	31,193,090	100,740,170	131,933,260	408,462
	合計	430	40,585,750	139,133,150	179,718,900	417,951
1疾病患者	糖尿病	37	1,801,960	15,999,170	17,801,130	481,112
	高血圧症	431	41,256,170	98,832,630	140,088,800	325,032
	脂質異常症	209	4,969,340	43,693,750	48,663,090	232,838
	合計	677	48,027,470	158,525,550	206,553,020	305,100

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

※患者数…該当傷病名で投薬のある患者のみ集計する。

※医療費…データ化範囲内における該当患者の医療費全体。生活習慣病に関する医療費に限らない。

12. 特定健診の受診者と未受診者の生活習慣病治療状況

特定健康診査受診状況別に、生活習慣病の医療機関受診状況を分析した結果を以下に示す。特定健康診査受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査受診者全体の56.4%である。特定健康診査未受診者のうち生活習慣病のレセプトがあるのは特定健康診査未受診者全体の46.6%である。

特定健診受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況

	人数(人)	構成比(%)	生活習慣病医療費(円) ※		
			入院	入院外	合計
健診受診者	2,154	48.4%	2,006,105	109,798,126	111,804,231
健診未受診者	2,294	51.6%	9,364,876	111,622,933	120,987,809
合計	4,448		11,370,981	221,421,059	232,792,040

	生活習慣病患者数 ※						生活習慣病患者一人当たり医療費(円) ※		
	入院		入院外		合計 ※		入院	入院外	合計
	患者数(人)	割合(%)	患者数(人)	割合(%)	患者数(人)	割合(%)			
健診受診者	30	1.4%	1,213	56.3%	1,214	56.4%	66,870	90,518	92,096
健診未受診者	79	3.4%	1,068	46.6%	1,070	46.6%	118,543	104,516	113,073
合計	109	2.5%	2,281	51.3%	2,284	51.3%	104,321	97,072	101,923

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。

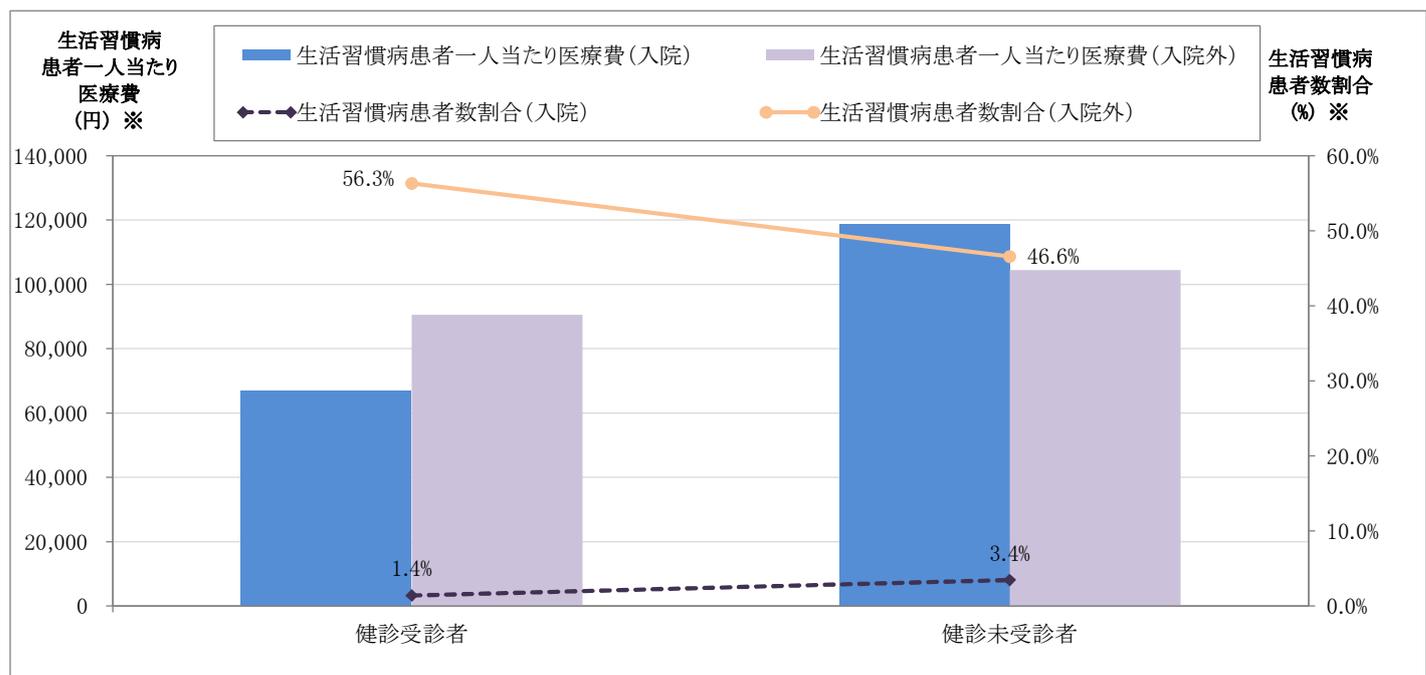
資格確認日…令和6年3月31日時点。

※生活習慣病医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者の生活習慣病医療費。

※生活習慣病患者数…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者数。合計人数は、入院、入院外の区別なく集計した実人数。

※生活習慣病患者一人当たり医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの生活習慣病医療費。

特定健診受診状況別 生活習慣病の医療機関受診状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

※生活習慣病患者一人当たり医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの生活習慣病医療費。

※生活習慣病患者数割合…健診受診者、健診未受診者それぞれに占める、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者数の割合。

13. 特定保健指導対象者・非対象者の生活習慣病医療費比較

令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)の積極的支援及び動機付け支援該当者を「対象者」とし、情報提供の該当者を「非対象者」とする。ただし、情報提供の該当者には質問票で服薬有と回答した者が含まれるため、「非対象者」を「非対象者(服薬有)」と「非対象者(服薬無)」に分ける。特定保健指導により「対象者」の生活習慣改善を促し、服薬開始を防ぐことが重要である。

特定保健指導対象者・非対象者別 生活習慣病医療費

		人数(人)	生活習慣病医療費(円) ※			生活習慣病患者数(人) ※		
			入院	入院外	合計	入院	入院外	合計 ※
対象者	積極的支援、動機付け支援	232	0	2,650,874	2,650,874	0	48	48
非対象者	情報提供 (服薬無(質問))	818	23,666	3,326,121	3,349,787	2	80	80
	情報提供 (服薬有(質問))	1,089	1,977,982	103,023,523	105,001,505	26	1,075	1,076

		人数(人)	生活習慣病患者一人当たり医療費(円) ※		
			入院	入院外	合計
対象者	積極的支援、動機付け支援	232	0	55,227	55,227
非対象者	情報提供 (服薬無(質問))	818	11,833	41,577	41,872
	情報提供 (服薬有(質問))	1,089	76,076	95,836	97,585

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

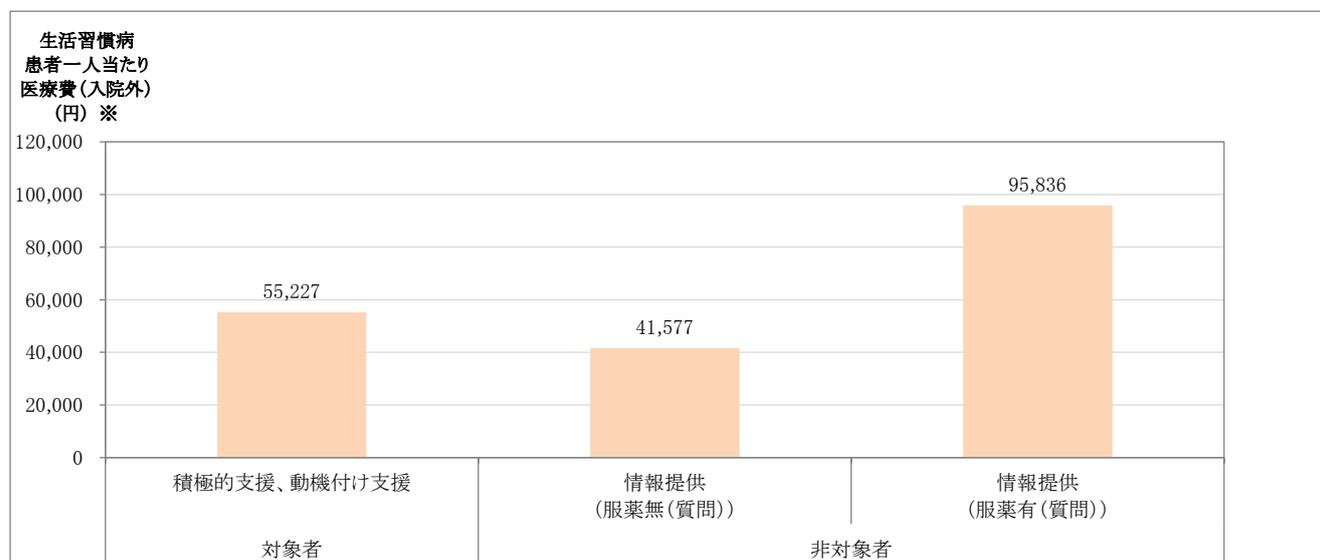
非対象者…健康診査受診における質問表の服薬の項目にて一項目でも「はい」と回答した健康診査受診者は「服薬有」、服薬の全項目「なし」と回答した健康診査受診者は「服薬無」で表記。

※生活習慣病医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者の生活習慣病医療費。

※生活習慣病患者数…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者数。合計人数は、入院、入院外の区別なく集計した実人数。

※生活習慣病患者一人当たり医療費…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの生活習慣病医療費。

特定保健指導対象者・非対象者別 生活習慣病患者一人当たり医療費(入院外)



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは令和5年4月～令和6年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…令和6年3月31日時点。

※生活習慣病患者一人当たり医療費(入院外)…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で投薬のあった患者一人当たりの入院外生活習慣病医療費。

14. 骨折予防・骨粗鬆症重症化予防に係る分析

厚生労働省「2022年国民生活基礎調査」によると、「骨折・転倒」は要介護になった主な要因において「認知症」「脳血管疾患(脳卒中)」に次ぐ第3位であり、全体の13.9%を占めている。骨折及び骨折のリスクを高める要因となる骨粗鬆症は健康寿命を阻害する危険因子の一つである。ここでは骨折予防・骨粗鬆症重症化予防の取り組みに向けての基礎調査として、骨折及び骨粗鬆症の医療費等の状況について分析し、現状把握する。

(1) 骨折及び骨粗鬆症医療費の状況

40歳以上の被保険者を対象として、骨折医療費の状況について以下に示す。骨折医療費は4,219万円で、医療費総計の2.2%を占めている。骨折医療費のうち、入院医療費は3,814万円、入院外医療費は405万円であり、入院の患者一人当たりの骨折医療費は109万円と高額である。

骨折医療費の状況

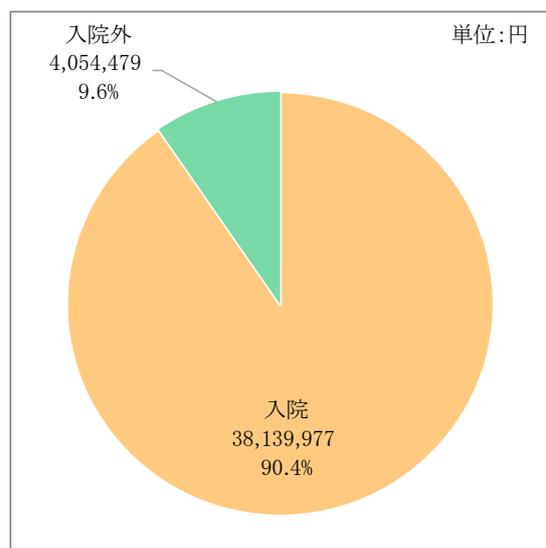
	A	B	B/A 医療費総計に 占める骨折医療費 の割合(%)	C 骨折患者数(人)	B/C 患者一人当たりの 骨折医療費(円)
	医療費総計(円)	骨折医療費(円)			
合計	1,887,188,590	42,194,456	2.2%	215	196,253
入院	681,682,460	38,139,977	5.6%	35	1,089,714
入院外	1,205,506,130	4,054,479	0.3%	209	19,399

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

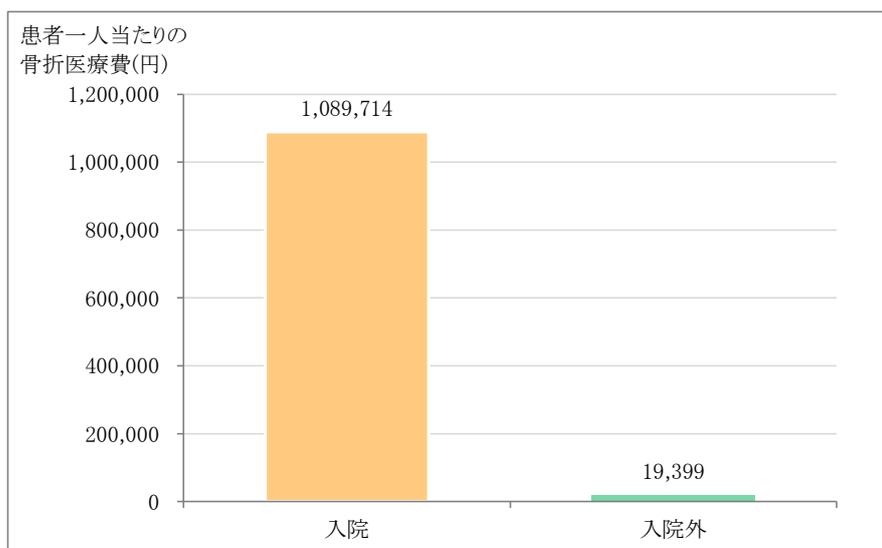
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

骨折医療費の内訳(入院・入院外)



患者一人当たりの骨折医療費の比較(入院・入院外)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

次に男女別の状況について示す。

骨折医療費4,219万円のうち、男性の医療費は1,869万円、女性の医療費は2,350万円であり、その構成比は男性44.3%、女性55.7%である。また、骨折の有病率(40歳以上の被保険者に占める割合)は、男女計では4.1%、男性3.1%、女性5.1%である。

男女別 骨折医療費の状況

	医療費(円)		患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)	有病率(%)
		構成比(%)			
合計	42,194,456		215	196,253	4.1%
男性	18,691,603	44.3%	78	239,636	3.1%
女性	23,502,853	55.7%	137	171,554	5.1%

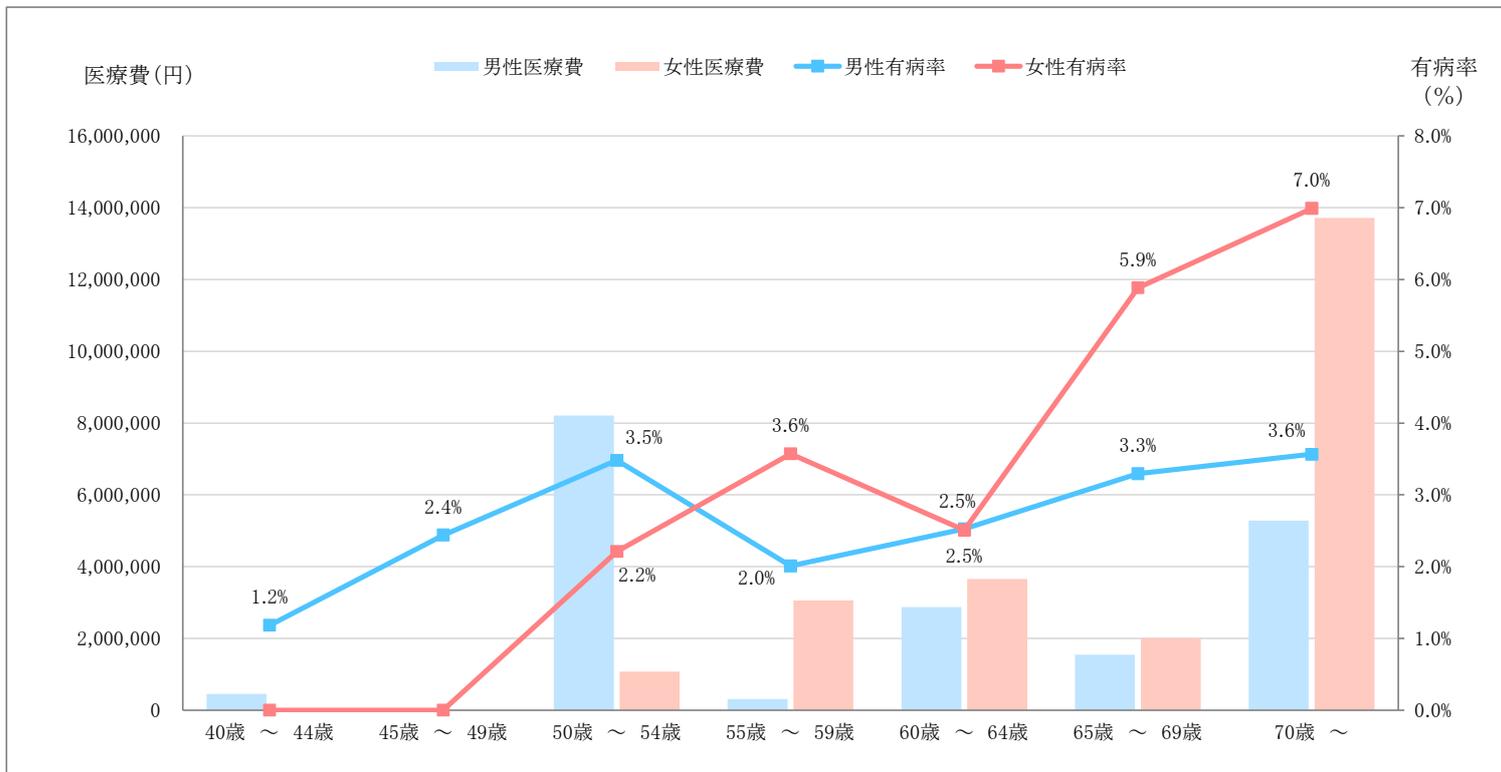
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

男女年齢階層別の状況は以下のとおりである。

男女年齢階層別 骨折の医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨折…中分類により、次の疾病を対象に集計。1901「骨折」

高齢者に骨折が多い理由は、運動機能・筋力の低下で転倒しやすいことに加えて、骨粗鬆症による骨の脆弱化により軽微な外力であっても骨折しやすいことによるとされる。骨粗鬆症は「骨折の最大の危険因子」(「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版」)である。

骨粗鬆症の医療費の状況について以下に示す。骨粗鬆症医療費は男女計で2,613万円、男性398万円、女性2,215万円であり、その構成比は男性15.2%、女性84.8%である。また、骨粗鬆症の有病率(40歳以上の被保険者に占める割合)は、男女計では10.5%、男性2.8%、女性17.7%である。

男女別 骨粗鬆症医療費の状況

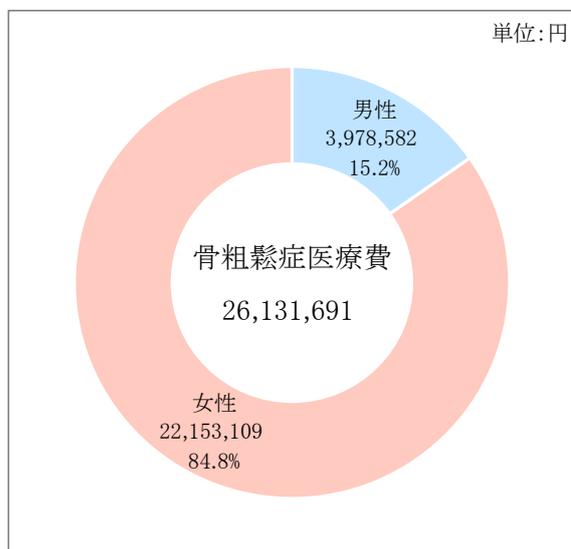
	医療費(円)		患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)	有病率(%)
		構成比(%)			
合計	26,131,691		551	47,426	10.5%
男性	3,978,582	15.2%	71	56,036	2.8%
女性	22,153,109	84.8%	480	46,152	17.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨粗鬆症医療費の内訳(男性・女性)



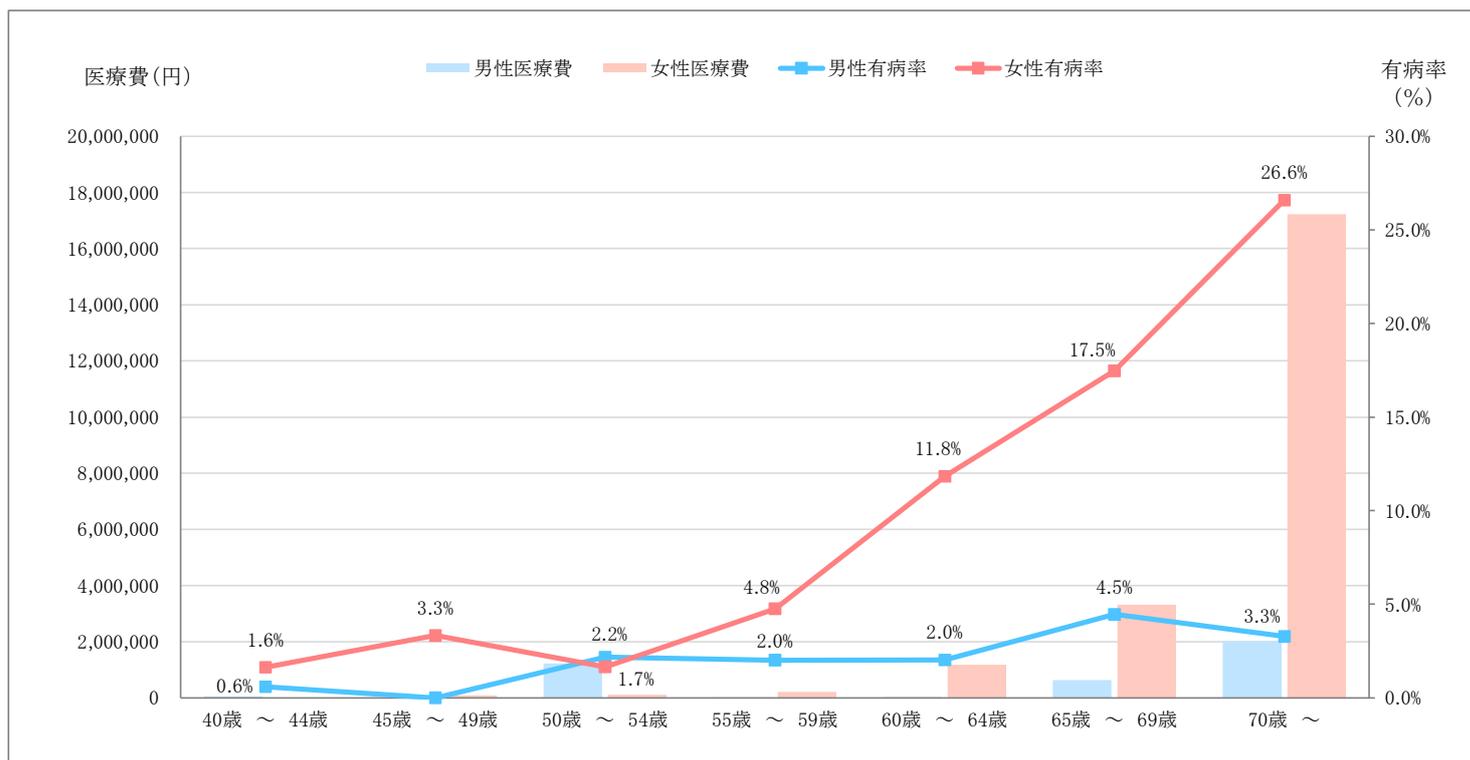
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

男女年齢階層別の状況は以下のとおりである。

男女年齢階層別 骨粗鬆症の医療費及び有病率



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

脆弱性骨折(骨の強度が低下し、軽微な外力によって生じる非外傷性骨折)は、椎体(背骨を構成する骨(椎骨)の円柱状の部分)、大腿骨近位部(足の付け根)、下腿骨(膝と足首の間の骨)、上腕骨近位部(腕の付け根)、橈骨遠位端(手首)、肋骨等において発生頻度が高い。骨粗鬆症患者がこれらの部位に骨折を生じた場合、骨折の要因として骨粗鬆症の影響が強く疑われる。骨粗鬆症患者において脆弱性骨折の好発部位に生じた骨折をここでは骨粗鬆症関連骨折と定義して、その発生状況をレセプトデータから確認する。

骨粗鬆症患者のうち、分析期間に骨粗鬆症関連骨折が発生している患者数は88人であり、患者全体の16.0%を占めている。

骨粗鬆症患者における骨粗鬆症関連骨折発生状況

	患者数(人)	構成比(%)
骨粗鬆症患者全体	551	
骨粗鬆症関連骨折あり	88	16.0%
骨粗鬆症関連骨折なし	463	84.0%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨粗鬆症関連骨折…「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版」(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会, ライフサイエンス出版)に基づき、株式会社データホライズンにて選定した、骨粗鬆症に関連性が高い骨折(椎体骨折、上腕骨近位部骨折、骨盤骨折、肋骨骨折、橈骨遠位端骨折、大腿骨近位部骨折、下腿骨骨折、脆弱性骨折)の総称。

骨粗鬆症患者における骨粗鬆症関連骨折の医療費の状況について以下に示す。医療費が最も高いのは「大腿骨近位部骨折」、患者数が最も多いのは「椎体骨折」、患者一人当たりの医療費が最も高いのは「大腿骨近位部骨折」である。

骨粗鬆症患者における骨粗鬆症関連骨折の医療費の状況

	医療費(円)	構成比(%)	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
骨粗鬆症関連骨折	16,591,388		88	188,539
椎体骨折	1,415,527	8.5%	61	23,205
上腕骨近位部骨折	720,207	4.3%	3	240,069
骨盤骨折	3,581,976	21.6%	6	596,996
肋骨骨折	88,684	0.5%	10	8,868
橈骨遠位端骨折	2,282,611	13.8%	10	228,261
大腿骨近位部骨折	7,480,036	45.1%	9	831,115
下腿骨骨折	1,022,347	6.2%	8	127,793
脆弱性骨折	0	0.0%	0	0

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

骨粗鬆症関連骨折…「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版」(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会, ライフサイエンス出版)に基づき、株式会社データホライズンにて選定した、骨粗鬆症に関連性が高い骨折(椎体骨折、上腕骨近位部骨折、骨盤骨折、肋骨骨折、橈骨遠位端骨折、大腿骨近位部骨折、下腿骨骨折、脆弱性骨折)の総称。

集計対象範囲を骨粗鬆症患者に限定しているため、他統計と一致しない。

(2) 骨粗鬆症患者の治療継続状況

骨粗鬆症の治療と予防の目的は、骨折を予防し、生活機能及びQOLの維持・改善を図ることである。骨粗鬆症の薬物治療は長期的な継続が必要であるが、一般的に服薬継続率が低く、それに伴う骨折の抑制率の低下が問題となっている。ここでは令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)のレセプトデータから、骨粗鬆症患者の治療状況について分析した。分析期間に骨粗鬆症治療薬の処方がある患者(治療薬服用中患者)のうち、男女計では4.9%、男性20.5%、女性3.1%が、治療薬の適切な服用間隔を超えて処方が確認できない治療中断患者に該当している。

骨粗鬆症患者の治療状況

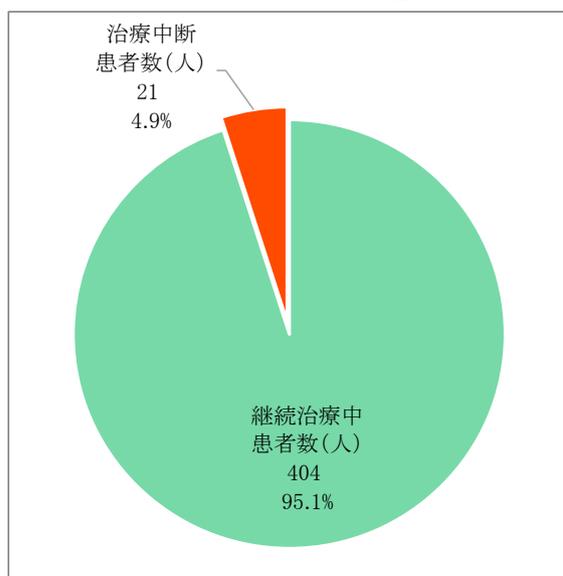
	A	B	B1	B2	B2/B
	骨粗鬆症患者数(人)	治療薬服用中患者数(人)			治療薬服用中患者に占める治療中断患者の割合(%)
			継続治療中患者数(人)	治療中断患者数(人)	
合計	551	425	404	21	4.9%
男性	71	44	35	9	20.5%
女性	480	381	369	12	3.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

治療薬服用中患者…骨粗鬆症患者のうち、1種類以上の骨粗鬆症治療薬の処方がある患者。骨粗鬆症治療薬は、「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版」(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会, ライフサイエンス出版)に基づき、株式会社データホライズンにて選定した。

骨粗鬆症治療薬服用中患者の治療継続状況



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。対象年齢は40歳以上。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

治療薬服用中患者…骨粗鬆症患者のうち、1種類以上の骨粗鬆症治療薬の処方がある患者。骨粗鬆症治療薬は、「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版」(骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン作成委員会, ライフサイエンス出版)に基づき、株式会社データホライズンにて選定した。

治療中断患者の判定について

治療薬の適切な服用間隔を超えて処方が確認できない場合に当該治療薬について中断とする。分析期間内に複数の骨粗鬆症治療薬の処方がある患者については、処方されている全ての骨粗鬆症治療薬について中断に該当する場合のみ、治療中断患者として判定している。

その他(参考資料)

大分類要素別集計

大分類による疾病別医療費統計(入院のみ)

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	11,825,540	1.6%	14	117	14	79	13	149,690	15
II. 新生物<腫瘍>	170,984,698	23.8%	1	316	5	173	4	988,351	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	18,522,999	2.6%	9	134	13	83	12	223,169	11
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	16,530,133	2.3%	11	306	6	161	5	102,672	17
V. 精神及び行動の障害	63,882,966	8.9%	4	292	7	67	14	953,477	2
VI. 神経系の疾患	54,915,615	7.7%	5	403	2	123	9	446,468	7
VII. 眼及び付属器の疾患	12,884,814	1.8%	12	60	16	38	16	339,074	9
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,561,910	0.2%	20	13	18	12	18	130,159	16
IX. 循環器系の疾患	98,045,470	13.7%	2	394	3	208	3	471,372	5
X. 呼吸器系の疾患	42,728,479	6.0%	8	261	8	126	8	339,115	8
X I. 消化器系の疾患 ※	51,632,613	7.2%	7	456	1	255	1	202,481	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	3,198,923	0.4%	18	75	15	49	15	65,284	19
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	71,128,710	9.9%	3	257	9	138	6	515,425	4
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	17,544,828	2.4%	10	135	12	93	11	188,654	13
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	2,576,230	0.4%	19	11	19	9	19	286,248	10
X VI. 周産期に発生した病態 ※	169,120	0.0%	21	2	21	2	21	84,560	18
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	4,021,686	0.6%	16	9	20	7	20	574,527	3
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,180,149	0.9%	15	243	10	132	7	46,819	21
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	54,000,921	7.5%	6	185	11	118	10	457,635	6
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	3,254,892	0.5%	17	37	17	18	17	180,827	14
X X II. 特殊目的用コード	11,869,304	1.7%	13	321	4	239	2	49,662	20
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	717,460,000			1,154		485		1,479,299	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため, “男性” においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため, 周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため, データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト, 月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため, 合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(入院外のみ)

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	26,059,362	2.0%	12	5,506	13	1,433	10	18,185	16
II. 新生物<腫瘍>	232,329,274	18.0%	1	6,077	12	1,491	9	155,821	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	15,419,965	1.2%	14	2,926	15	686	16	22,478	13
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	181,173,846	14.0%	2	33,655	2	2,877	1	62,973	5
V. 精神及び行動の障害	55,931,756	4.3%	9	8,897	9	756	15	73,984	4
VI. 神経系の疾患	55,415,290	4.3%	10	14,024	6	1,245	12	44,510	9
VII. 眼及び付属器の疾患	58,900,692	4.6%	8	8,872	10	1,934	6	30,455	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	5,162,820	0.4%	17	1,488	18	427	17	12,091	20
IX. 循環器系の疾患	149,685,024	11.6%	3	35,903	1	2,793	2	53,593	6
X. 呼吸器系の疾患	99,574,339	7.7%	6	15,452	5	2,698	3	36,907	10
X I. 消化器系の疾患 ※	86,042,226	6.7%	7	22,811	3	2,481	4	34,680	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	36,659,157	2.8%	11	9,489	7	1,860	7	19,709	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	105,760,429	8.2%	5	18,681	4	2,211	5	47,834	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	122,901,750	9.5%	4	7,768	11	1,327	11	92,616	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	484,407	0.0%	21	54	20	23	20	21,061	14
X VI. 周産期に発生した病態 ※	39,847	0.0%	22	10	22	6	22	6,641	22
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	3,338,844	0.3%	19	325	19	70	19	47,698	8
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	20,557,359	1.6%	13	8,922	8	1,728	8	11,897	21
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	14,894,816	1.2%	15	3,206	14	986	14	15,106	17
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	4,639,781	0.4%	18	2,085	17	360	18	12,888	19
X X II. 特殊目的用コード	14,689,600	1.1%	16	2,439	16	1,062	13	13,832	18
分類外	1,932,456	0.1%	20	51	21	13	21	148,650	2
合計	1,291,593,040			89,556		5,377		240,207	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(男性のみ)

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	13,002,771	1.2%	15	2,667	13	686	10	18,954	17
II. 新生物<腫瘍>	227,451,151	21.0%	1	3,077	12	702	9	324,004	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	17,146,883	1.6%	13	1,363	15	349	15	49,131	12
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	102,502,713	9.5%	3	16,329	2	1,367	2	74,984	7
V. 精神及び行動の障害	64,797,132	6.0%	7	4,339	7	333	16	194,586	2
VI. 神経系の疾患	63,298,465	5.8%	9	7,022	6	598	12	105,850	5
VII. 眼及び付属器の疾患	35,836,702	3.3%	10	3,408	11	756	8	47,403	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,230,332	0.2%	19	549	18	162	18	13,767	20
IX. 循環器系の疾患	150,719,890	13.9%	2	18,493	1	1,404	1	107,350	4
X. 呼吸器系の疾患	74,651,344	6.9%	6	7,284	4	1,307	3	57,117	11
X I. 消化器系の疾患 ※	87,533,417	8.1%	5	11,929	3	1,226	4	71,398	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	18,253,527	1.7%	12	4,123	10	808	7	22,591	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	64,621,559	6.0%	8	7,265	5	918	5	70,394	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	98,491,832	9.1%	4	4,154	9	567	13	173,707	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,062	0.0%	22	2	22	1	22	1,062	22
X VI. 周産期に発生した病態 ※	195,130	0.0%	20	6	21	6	21	32,522	14
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	2,374,341	0.2%	18	148	19	31	19	76,592	6
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	13,027,962	1.2%	14	4,322	8	818	6	15,927	19
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	30,784,312	2.8%	11	1,372	14	454	14	67,807	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	5,427,019	0.5%	17	1,140	17	173	17	31,370	15
X X II. 特殊目的用コード	11,377,887	1.0%	16	1,354	16	619	11	18,381	18
分類外	35,249	0.0%	21	13	20	8	20	4,406	21
合計	1,083,760,680			41,247		2,572		421,369	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(女性のみ)

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	24,882,131	2.7%	12	2,956	13	779	11	31,941	15
II. 新生物<腫瘍>	175,862,821	19.0%	1	3,316	12	814	9	216,048	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	16,796,081	1.8%	14	1,697	15	373	16	45,030	13
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	95,201,266	10.3%	4	17,632	2	1,536	1	61,980	10
V. 精神及び行動の障害	55,017,590	5.9%	6	4,850	9	452	15	121,720	4
VI. 神経系の疾患	47,032,440	5.1%	8	7,405	6	687	12	68,461	7
VII. 眼及び付属器の疾患	35,948,804	3.9%	11	5,524	7	1,184	6	30,362	16
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	4,494,398	0.5%	18	952	18	269	17	16,708	19
IX. 循環器系の疾患	97,010,604	10.5%	3	17,804	1	1,427	3	67,982	8
X. 呼吸器系の疾患	67,651,474	7.3%	5	8,429	5	1,431	2	47,276	12
X I. 消化器系の疾患 ※	50,141,422	5.4%	7	11,338	4	1,301	5	38,541	14
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	21,604,553	2.3%	13	5,441	8	1,079	7	20,023	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	112,267,580	12.1%	2	11,673	3	1,332	4	84,285	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	41,954,746	4.5%	9	3,749	11	790	10	53,107	11
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	3,059,575	0.3%	19	63	20	24	20	127,482	3
X VI. 周産期に発生した病態 ※	13,837	0.0%	22	6	22	2	22	6,919	22
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	4,986,189	0.5%	17	186	19	41	19	121,614	5
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	13,709,546	1.5%	16	4,843	10	959	8	14,296	20
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	38,111,425	4.1%	10	2,019	14	585	14	65,148	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,467,654	0.3%	20	982	17	191	18	12,920	21
X X II. 特殊目的用コード	15,181,017	1.6%	15	1,406	16	612	13	24,806	17
分類外	1,897,207	0.2%	21	38	21	5	21	379,441	1
合計	925,292,360			49,463		2,833		326,612	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(0歳～4歳)

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	501,726	5.0%	4	135	3	38	3	13,203	8
II. 新生物<腫瘍>	525,701	5.2%	3	4	14	2	13	262,851	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	18,914	0.2%	15	6	11	3	12	6,305	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	3,187	0.0%	18	2	17	1	17	3,187	18
V. 精神及び行動の障害	27,645	0.3%	14	6	11	4	11	6,911	14
VI. 神経系の疾患	11,648	0.1%	16	4	14	2	13	5,824	16
VII. 眼及び付属器の疾患	204,705	2.0%	10	66	7	25	6	8,188	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	317,025	3.1%	6	78	6	22	8	14,410	7
IX. 循環器系の疾患	0	0.0%		0		0		0	
X. 呼吸器系の疾患	5,133,361	50.9%	1	797	1	79	1	64,979	2
X I. 消化器系の疾患 ※	80,041	0.8%	11	35	9	15	9	5,336	17
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,047,230	20.3%	2	428	2	68	2	30,106	3
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	42,180	0.4%	13	5	13	2	13	21,090	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	57,683	0.6%	12	4	14	2	13	28,842	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	208,967	2.1%	9	12	10	8	10	26,121	5
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	10,110	0.1%	17	2	17	1	17	10,110	11
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	415,496	4.1%	5	134	4	32	5	12,984	9
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	240,470	2.4%	8	43	8	23	7	10,455	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0	0.0%		0		0		0	
X X II. 特殊目的用コード	242,691	2.4%	7	85	5	34	4	7,138	13
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	10,088,780			1,193		91		110,866	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(5歳～9歳)

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	228,800	3.2%	8	91	6	35	5	6,537	11
II. 新生物<腫瘍>	0	0.0%		0		0		0	
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	698	0.0%	17	2	15	1	16	698	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	16,507	0.2%	13	4	14	3	14	5,502	14
V. 精神及び行動の障害	293,462	4.1%	6	32	10	6	10	48,910	1
VI. 神経系の疾患	8,998	0.1%	15	2	15	1	16	8,998	9
VII. 眼及び付属器の疾患	314,177	4.4%	5	112	5	38	4	8,268	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	321,778	4.5%	3	50	9	22	8	14,626	4
IX. 循環器系の疾患	20,204	0.3%	12	2	15	2	15	10,102	7
X. 呼吸器系の疾患	4,008,063	55.7%	1	742	1	82	1	48,879	2
X I. 消化器系の疾患 ※	188,946	2.6%	10	64	7	16	9	11,809	5
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	955,327	13.3%	2	206	2	42	3	22,746	3
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	46,369	0.6%	11	9	11	5	11	9,274	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	6,282	0.1%	16	6	12	4	12	1,571	16
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	11,142	0.2%	14	6	12	4	12	2,786	15
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	203,567	2.8%	9	133	4	33	6	6,169	13
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	259,242	3.6%	7	53	8	23	7	11,271	6
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0	0.0%		0		0		0	
X X II. 特殊目的用コード	316,308	4.4%	4	164	3	50	2	6,326	12
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	7,199,870			999		90		79,999	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(10歳～14歳)

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	195,560	2.9%	7	100	5	36	5	5,432	16
II. 新生物<腫瘍>	31,330	0.5%	13	6	15	3	15	10,443	7
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	25,881	0.4%	15	8	14	3	15	8,627	9
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	9,402	0.1%	18	2	17	2	17	4,701	17
V. 精神及び行動の障害	305,852	4.5%	6	49	9	10	11	30,585	2
VI. 神経系の疾患	27,806	0.4%	14	14	12	5	12	5,561	14
VII. 眼及び付属器の疾患	454,629	6.7%	4	128	4	51	3	8,914	8
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	81,060	1.2%	11	33	10	14	9	5,790	13
IX. 循環器系の疾患	71,137	1.0%	12	9	13	4	13	17,784	5
X. 呼吸器系の疾患	3,245,246	47.8%	1	594	1	95	1	34,160	1
X I. 消化器系の疾患 ※	118,905	1.8%	9	64	7	19	8	6,258	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	918,946	13.5%	2	248	2	49	4	18,754	4
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	166,822	2.5%	8	24	11	12	10	13,902	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	13,481	0.2%	17	2	17	2	17	6,741	11
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	21,790	0.3%	16	5	16	4	13	5,448	15
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	111,280	1.6%	10	73	6	26	6	4,280	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	608,277	9.0%	3	58	8	26	6	23,395	3
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0	0.0%		0		0		0	
X X II. 特殊目的用コード	379,746	5.6%	5	195	3	55	2	6,904	10
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	6,787,150			959		108		62,844	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(15歳～19歳)

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	251,948	2.3%	13	97	7	36	5	6,999	17
II. 新生物<腫瘍>	722,357	6.7%	6	6	18	3	18	240,786	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	88,808	0.8%	17	30	15	10	13	8,881	13
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	128,813	1.2%	16	32	13	12	10	10,734	11
V. 精神及び行動の障害	734,691	6.8%	5	102	5	12	10	61,224	5
VI. 神経系の疾患	757,202	7.0%	4	103	4	10	13	75,720	3
VII. 眼及び付属器の疾患	370,877	3.4%	10	102	5	47	4	7,891	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	75,988	0.7%	18	21	16	10	13	7,599	16
IX. 循環器系の疾患	442,545	4.1%	8	12	17	7	16	63,221	4
X. 呼吸器系の疾患	1,764,106	16.2%	2	358	1	95	1	18,570	7
X I. 消化器系の疾患 ※	255,974	2.4%	12	97	7	32	6	7,999	14
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,339,136	12.3%	3	287	2	59	2	22,697	6
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	143,424	1.3%	15	31	14	11	12	13,039	10
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	296,791	2.7%	11	58	10	16	9	18,549	8
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	2,444,101	22.5%	1	39	12	6	17	407,350	1
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	159,618	1.5%	14	90	9	30	7	5,321	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	426,965	3.9%	9	51	11	25	8	17,079	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	3,059	0.0%	19	2	19	1	19	3,059	19
X X II. 特殊目的用コード	453,187	4.2%	7	116	3	51	3	8,886	12
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	10,859,590			938		132		82,270	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(20歳～24歳)

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	301,980	1.4%	15	85	9	39	5	7,743	17
II. 新生物<腫瘍>	1,174,874	5.3%	6	33	15	12	15	97,906	4
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	31,675	0.1%	18	27	16	12	15	2,640	20
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	1,715,628	7.7%	4	92	7	25	9	68,625	6
V. 精神及び行動の障害	324,216	1.5%	14	88	8	17	11	19,072	13
VI. 神経系の疾患	6,515,418	29.4%	1	104	4	15	14	434,361	1
VII. 眼及び付属器の疾患	187,782	0.8%	16	59	12	32	7	5,868	18
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	30,963	0.1%	19	13	17	7	17	4,423	19
IX. 循環器系の疾患	1,485,410	6.7%	5	82	10	16	12	92,838	5
X. 呼吸器系の疾患	2,500,944	11.3%	3	271	1	77	1	32,480	8
X I. 消化器系の疾患 ※	825,973	3.7%	9	161	3	40	4	20,649	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,694,157	12.1%	2	181	2	48	2	56,128	7
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	405,147	1.8%	13	44	14	16	12	25,322	10
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	556,924	2.5%	11	69	11	30	8	18,564	14
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,088,834	4.9%	7	8	18	4	18	272,209	2
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	7,977	0.0%	20	1	20	1	19	7,977	16
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,048,137	4.7%	8	101	6	37	6	28,328	9
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	456,627	2.1%	12	48	13	21	10	21,744	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	129,034	0.6%	17	4	19	1	19	129,034	3
X X II. 特殊目的用コード	716,590	3.2%	10	102	5	45	3	15,924	15
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	22,198,290			794		131		169,453	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(25歳～29歳)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	313,469	2.9%	9	93	7	40	2	7,837	15
II. 新生物<腫瘍>	184,375	1.7%	12	27	16	15	15	12,292	12
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	75,122	0.7%	18	28	15	10	16	7,512	16
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	308,419	2.8%	10	88	8	21	9	14,687	9
V. 精神及び行動の障害	537,942	4.9%	6	107	6	17	12	31,644	3
VI. 神経系の疾患	484,924	4.5%	7	143	4	16	13	30,308	4
VII. 眼及び付属器の疾患	168,146	1.5%	13	62	11	24	7	7,006	18
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	119,872	1.1%	16	41	13	18	11	6,660	19
IX. 循環器系の疾患	80,036	0.7%	17	20	17	10	16	8,004	14
X. 呼吸器系の疾患	1,263,337	11.6%	2	255	1	74	1	17,072	8
X I. 消化器系の疾患 ※	4,322,056	39.7%	1	152	2	37	5	116,812	1
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	702,480	6.5%	4	146	3	38	4	18,486	7
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	317,108	2.9%	8	61	12	22	8	14,414	10
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	889,339	8.2%	3	63	10	19	10	46,807	2
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	120,573	1.1%	15	14	18	4	18	30,143	5
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	2,709	0.0%	20	4	19	2	19	1,355	20
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	237,392	2.2%	11	125	5	33	6	7,194	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	149,919	1.4%	14	29	14	16	13	9,370	13
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	45,295	0.4%	19	3	20	2	19	22,648	6
X X II. 特殊目的用コード	554,147	5.1%	5	84	9	39	3	14,209	11
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	10,876,660			777		127		85,643	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(30歳～34歳)

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	451,645	1.4%	14	96	12	35	7	12,904	16
II. 新生物<腫瘍>	484,306	1.5%	13	52	16	17	14	28,489	11
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	64,896	0.2%	19	75	14	13	16	4,992	20
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	1,923,697	6.0%	6	225	5	39	6	49,326	9
V. 精神及び行動の障害	2,855,031	8.8%	4	284	3	23	12	124,132	5
VI. 神経系の疾患	2,604,884	8.1%	5	275	4	24	11	108,537	6
VII. 眼及び付属器の疾患	596,357	1.8%	12	123	8	31	9	19,237	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	25,935	0.1%	20	8	21	6	17	4,323	21
IX. 循環器系の疾患	1,192,064	3.7%	11	77	13	16	15	74,504	8
X. 呼吸器系の疾患	6,553,604	20.3%	1	292	2	74	1	88,562	7
X I. 消化器系の疾患 ※	1,588,557	4.9%	8	341	1	56	2	28,367	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,886,542	5.8%	7	194	6	48	3	39,303	10
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	350,345	1.1%	15	97	11	35	7	10,010	18
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	5,008,956	15.5%	2	121	9	31	9	161,579	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,467,664	4.5%	9	20	18	6	17	244,611	2
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	25,870	0.1%	21	13	19	2	20	12,935	15
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	307,892	1.0%	16	145	7	45	4	6,842	19
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	278,961	0.9%	18	58	15	23	12	12,129	17
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	3,166,455	9.8%	3	25	17	3	19	1,055,485	1
X X II. 特殊目的用コード	1,197,564	3.7%	10	105	10	45	4	26,613	13
分類外	290,625	0.9%	17	10	20	2	20	145,313	4
合計	32,321,850			1,202		138		234,216	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(35歳～39歳)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	289,422	1.3%	14	111	11	41	8	7,059	17
II. 新生物<腫瘍>	945,982	4.4%	7	47	17	20	14	47,299	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	205,067	1.0%	17	55	16	18	15	11,393	15
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	1,759,191	8.2%	5	243	5	43	7	40,911	5
V. 精神及び行動の障害	6,097,044	28.3%	1	383	3	35	11	174,201	1
VI. 神経系の疾患	2,014,438	9.4%	3	417	2	45	6	44,765	4
VII. 眼及び付属器の疾患	1,408,771	6.5%	6	139	9	39	9	36,122	7
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	175,815	0.8%	18	63	14	13	17	13,524	14
IX. 循環器系の疾患	819,110	3.8%	10	187	7	27	13	30,337	8
X. 呼吸器系の疾患	1,952,711	9.1%	4	446	1	86	1	22,706	10
X I. 消化器系の疾患 ※	2,293,887	10.7%	2	378	4	63	2	36,411	6
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	906,482	4.2%	8	219	6	49	4	18,500	11
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	545,704	2.5%	11	166	8	32	12	17,053	12
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	887,143	4.1%	9	94	12	39	9	22,747	9
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	371,445	1.7%	13	17	18	7	18	53,064	2
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	6,278	0.0%	19	14	19	3	19	2,093	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	211,690	1.0%	16	132	10	50	3	4,234	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	255,074	1.2%	15	59	15	18	15	14,171	13
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,883	0.0%	20	1	20	1	20	1,883	20
X X II. 特殊目的用コード	385,123	1.8%	12	94	12	46	5	8,372	16
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	21,532,260			1,558		154		139,820	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(40歳～44歳)

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	469,460	1.2%	15	139	13	46	10	10,206	16
II. 新生物<腫瘍>	8,013,847	20.2%	1	157	11	43	11	186,369	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	165,888	0.4%	18	118	14	24	16	6,912	19
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	2,525,557	6.4%	5	404	5	62	4	40,735	8
V. 精神及び行動の障害	6,332,963	16.0%	2	556	1	39	12	162,384	4
VI. 神経系の疾患	1,146,232	2.9%	11	412	4	36	13	31,840	9
VII. 眼及び付属器の疾患	643,759	1.6%	13	151	12	55	6	11,705	15
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	126,279	0.3%	19	31	17	10	17	12,628	14
IX. 循環器系の疾患	2,118,354	5.3%	7	211	10	36	13	58,843	6
X. 呼吸器系の疾患	2,234,917	5.6%	6	450	3	101	1	22,128	12
X I. 消化器系の疾患 ※	3,243,273	8.2%	4	513	2	68	2	47,695	7
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,226,795	3.1%	10	321	6	64	3	19,169	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	1,494,754	3.8%	9	281	7	51	7	29,309	11
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	6,095,844	15.4%	3	228	9	47	9	129,699	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	430,990	1.1%	17	9	19	2	19	215,495	2
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	443,512	1.1%	16	249	8	59	5	7,517	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	800,725	2.0%	12	87	16	26	15	30,797	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,194	0.0%	20	3	20	1	20	1,194	20
X X II. 特殊目的用コード	476,729	1.2%	14	98	15	51	7	9,348	17
分類外	1,604,688	4.1%	8	22	18	3	18	534,896	1
合計	39,595,760			2,011		188		210,616	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(45歳～49歳)

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	2,889,430	2.9%	10	183	14	56	12	51,597	11
II. 新生物<腫瘍>	9,012,781	8.9%	4	250	11	56	12	160,943	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,380,634	1.4%	12	194	13	37	16	37,314	12
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	6,031,996	6.0%	9	735	5	82	3	73,561	10
V. 精神及び行動の障害	23,209,565	23.0%	1	990	1	71	6	326,895	2
VI. 神経系の疾患	6,348,085	6.3%	8	957	2	67	8	94,748	8
VII. 眼及び付属器の疾患	931,014	0.9%	16	214	12	62	10	15,016	17
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	93,936	0.1%	18	32	17	12	17	7,828	18
IX. 循環器系の疾患	6,675,238	6.6%	7	793	3	70	7	95,361	7
X. 呼吸器系の疾患	13,771,285	13.6%	2	600	6	122	1	112,879	6
X I. 消化器系の疾患 ※	8,119,689	8.0%	5	788	4	96	2	84,580	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,154,613	1.1%	13	355	9	75	5	15,395	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	9,579,058	9.5%	3	560	7	81	4	118,260	4
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	7,389,583	7.3%	6	364	8	63	9	117,295	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,679,053	1.7%	11	6	19	3	18	559,684	1
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	911,445	0.9%	17	292	10	58	11	15,715	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	981,257	1.0%	14	93	16	46	15	21,332	13
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	8,184	0.0%	19	9	18	3	18	2,728	19
X X II. 特殊目的用コード	953,794	0.9%	15	117	15	54	14	17,663	14
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	101,120,640			3,181		234		432,139	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(50歳～54歳)

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	6,261,868	4.9%	9	276	12	81	11	77,307	8
II. 新生物<腫瘍>	8,979,359	7.0%	7	275	13	85	9	105,640	4
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,270,231	1.0%	15	203	14	40	16	31,756	14
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	10,879,625	8.5%	4	1,369	2	143	1	76,081	9
V. 精神及び行動の障害	20,196,060	15.8%	2	989	5	73	13	276,658	1
VI. 神経系の疾患	9,398,869	7.4%	6	1,087	4	94	8	99,988	6
VII. 眼及び付属器の疾患	1,695,985	1.3%	14	326	11	81	11	20,938	17
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	207,132	0.2%	18	96	18	22	17	9,415	19
IX. 循環器系の疾患	8,447,389	6.6%	8	1,268	3	122	4	69,241	10
X. 呼吸器系の疾患	3,248,450	2.5%	12	699	7	141	2	23,039	16
X I. 消化器系の疾患 ※	14,261,074	11.2%	3	1,380	1	137	3	104,095	5
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	3,357,357	2.6%	11	501	10	95	7	35,341	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	4,451,863	3.5%	10	843	6	108	5	41,221	11
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	20,419,845	16.0%	1	537	8	85	9	240,233	2
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	3,180	0.0%	20	1	20	1	20	3,180	20
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	71,751	0.1%	19	10	19	2	19	35,876	12
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,619,610	2.1%	13	519	9	100	6	26,196	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	10,071,010	7.9%	5	198	15	50	15	201,420	3
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	771,866	0.6%	17	103	17	9	18	85,763	7
X X II. 特殊目的用コード	1,046,546	0.8%	16	130	16	65	14	16,101	18
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	127,659,070			4,313		297		429,829	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(55歳～59歳)

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	848,953	0.9%	15	294	12	75	10	11,319	17
II. 新生物<腫瘍>	11,342,363	12.2%	3	251	13	64	11	177,224	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	329,096	0.4%	17	140	15	31	16	10,616	18
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	12,187,257	13.1%	2	1,581	1	151	1	80,710	6
V. 精神及び行動の障害	8,009,918	8.6%	5	908	5	61	13	131,310	3
VI. 神経系の疾患	9,340,554	10.0%	4	1,257	4	84	7	111,197	5
VII. 眼及び付属器の疾患	2,301,060	2.5%	12	301	11	80	8	28,763	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	144,264	0.2%	18	41	18	17	17	8,486	19
IX. 循環器系の疾患	7,751,193	8.3%	6	1,469	2	125	2	62,010	7
X. 呼吸器系の疾患	3,659,632	3.9%	10	721	7	124	3	29,513	12
X I. 消化器系の疾患 ※	6,201,249	6.7%	7	1,339	3	123	4	50,417	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,688,135	2.9%	11	468	9	90	6	29,868	11
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	5,093,001	5.5%	9	858	6	110	5	46,300	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	14,522,925	15.6%	1	314	10	64	11	226,921	1
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	5,350	0.0%	20	2	20	1	20	5,350	20
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	65,952	0.1%	19	36	19	4	19	16,488	16
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,372,173	1.5%	13	492	8	77	9	17,820	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	5,606,197	6.0%	8	171	14	49	15	114,412	4
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	449,470	0.5%	16	82	17	12	18	37,456	10
X X II. 特殊目的用コード	1,244,508	1.3%	14	116	16	54	14	23,046	14
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	93,163,250			4,474		270		345,049	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(60歳～64歳)

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	2,745,005	1.7%	13	448	12	117	9	23,462	13
II. 新生物<腫瘍>	13,026,325	8.1%	6	365	13	106	11	122,890	3
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	344,275	0.2%	18	132	17	48	16	7,172	19
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	17,039,347	10.5%	3	2,671	1	236	1	72,201	8
V. 精神及び行動の障害	20,199,940	12.5%	2	721	8	59	15	342,372	1
VI. 神経系の疾患	10,555,246	6.5%	8	1,320	5	113	10	93,409	6
VII. 眼及び付属器の疾患	5,682,220	3.5%	11	715	9	136	7	41,781	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	673,855	0.4%	16	119	18	32	17	21,058	14
IX. 循環器系の疾患	12,668,977	7.8%	7	2,468	2	226	2	56,057	9
X. 呼吸器系の疾患	14,873,630	9.2%	5	1,079	6	180	5	82,631	7
X I. 消化器系の疾患 ※	10,256,870	6.3%	9	1,765	3	195	3	52,599	11
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,599,984	1.6%	14	680	10	143	6	18,182	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	20,499,946	12.7%	1	1,394	4	186	4	110,215	4
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	16,354,806	10.1%	4	657	11	95	12	172,156	2
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	2,529	0.0%	21	1	21	1	20	2,529	21
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	36,461	0.0%	19	29	19	3	19	12,154	18
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,903,298	1.2%	15	729	7	126	8	15,106	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	7,381,659	4.6%	10	237	14	78	14	94,637	5
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	416,977	0.3%	17	140	16	23	18	18,129	16
X X II. 特殊目的用コード	4,512,426	2.8%	12	166	15	82	13	55,030	10
分類外	3,574	0.0%	20	8	20	1	20	3,574	20
合計	161,777,350			6,605		400		404,443	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(65歳～69歳)

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	9,051,829	2.1%	12	1,196	13	254	11	35,637	14
II. 新生物<腫瘍>	114,673,326	26.5%	1	1,460	11	332	7	345,402	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	14,924,009	3.4%	10	642	15	155	15	96,284	5
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	45,005,058	10.4%	3	8,070	2	626	2	71,893	8
V. 精神及び行動の障害	7,035,359	1.6%	13	1,197	12	104	16	67,648	9
VI. 神経系の疾患	18,451,157	4.3%	8	2,660	6	236	12	78,183	7
VII. 眼及び付属器の疾患	16,416,487	3.8%	9	1,733	8	353	6	46,506	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,651,930	0.4%	18	239	18	74	18	22,323	15
IX. 循環器系の疾患	64,740,014	14.9%	2	8,950	1	649	1	99,753	3
X. 呼吸器系の疾患	21,413,274	4.9%	7	2,973	5	487	4	43,970	13
X I. 消化器系の疾患 ※	30,314,095	7.0%	5	4,625	3	496	3	61,117	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	6,379,405	1.5%	14	1,781	7	306	9	20,848	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	36,430,876	8.4%	4	3,905	4	457	5	79,717	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	25,530,755	5.9%	6	1,687	10	261	10	97,819	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	0	0.0%		0		0		0	
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	1,970,853	0.5%	17	74	19	15	19	131,390	2
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,393,405	1.0%	15	1,726	9	326	8	13,477	18
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	9,920,866	2.3%	11	647	14	203	13	48,871	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	422,808	0.1%	19	502	16	77	17	5,491	19
X X II. 特殊目的用コード	4,313,842	1.0%	16	437	17	199	14	21,678	16
分類外	7,922	0.0%	20	3	20	2	20	3,961	20
合計	433,047,270			18,952		962		450,153	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

大分類による疾病別医療費統計(70歳～)

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数(件) ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	13,083,807	1.4%	13	2,279	13	536	12	24,410	15
II. 新生物<腫瘍>	234,197,046	25.2%	1	3,460	11	758	7	308,967	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	15,017,770	1.6%	12	1,400	15	317	15	47,375	11
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	98,170,295	10.5%	3	18,443	2	1,457	2	67,378	8
V. 精神及び行動の障害	23,655,034	2.5%	11	2,777	12	254	16	93,130	2
VI. 神経系の疾患	42,665,444	4.6%	7	5,672	5	537	11	79,451	5
VII. 眼及び付属器の疾患	40,409,537	4.3%	9	4,701	7	886	6	45,609	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	2,678,898	0.3%	17	636	18	152	18	17,624	16
IX. 循環器系の疾患	141,218,823	15.2%	2	20,749	1	1,521	1	92,846	3
X. 呼吸器系の疾患	56,680,258	6.1%	5	5,436	6	921	5	61,542	9
X I. 消化器系の疾患 ※	55,604,250	6.0%	6	11,565	3	1,134	3	49,034	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	11,001,491	1.2%	15	3,549	10	713	9	15,430	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	97,322,542	10.5%	4	10,660	4	1,122	4	86,740	4
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	42,416,221	4.6%	8	3,699	9	599	10	70,812	7
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,062	0.0%	21	2	21	1	21	1,062	21
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	575,493	0.1%	19	86	19	20	19	28,775	13
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	12,398,993	1.3%	14	4,225	8	745	8	16,643	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	31,458,488	3.4%	10	1,559	14	412	13	76,356	6
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,478,448	0.3%	18	1,248	16	231	17	10,729	19
X X II. 特殊目的用コード	9,765,703	1.0%	16	751	17	361	14	27,052	14
分類外	25,647	0.0%	20	8	20	5	20	5,129	20
合計	930,825,250			42,754		2,083		446,868	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。
対象診療年月は令和5年4月～令和6年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライズン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

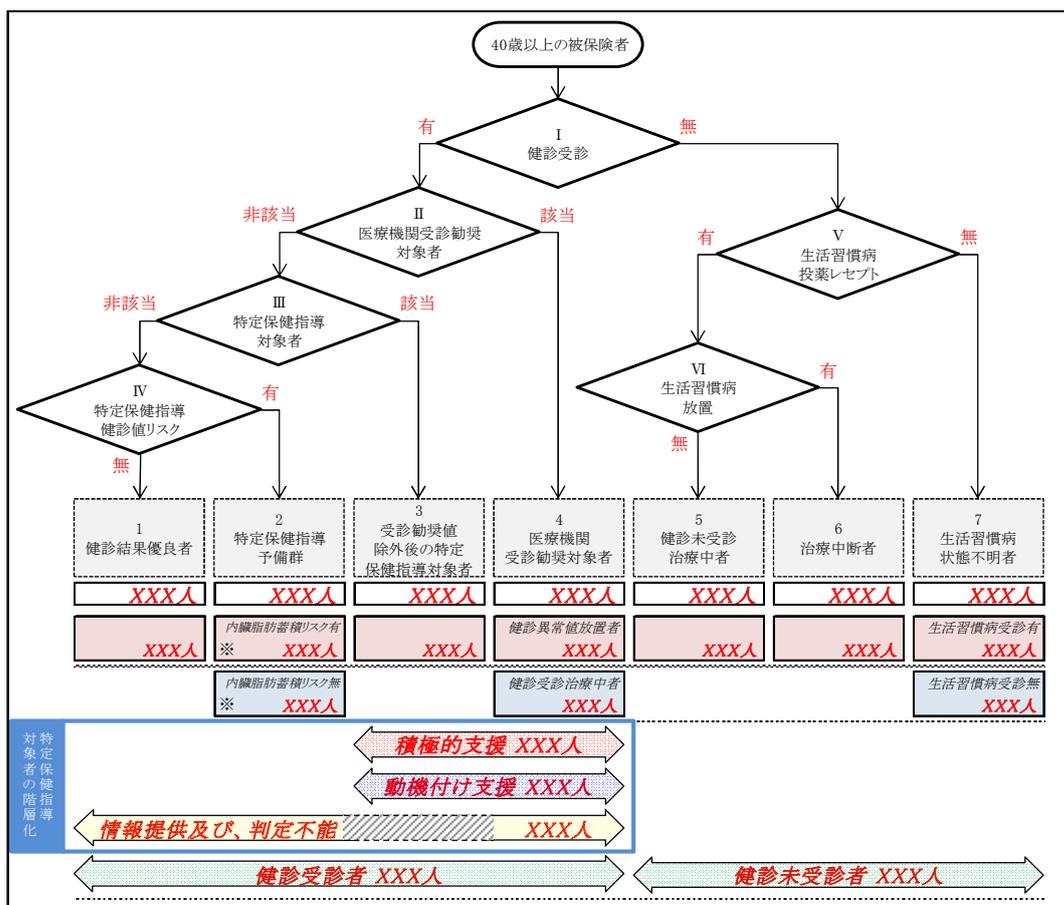
※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(一件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

健康診査及びレセプトによる指導対象者群分析



【フロー説明】

- I 健診受診 … 健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 … 健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 … 厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク … 厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト … 生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 … 生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

【グループ別説明】

- 健診受診あり
- 1. 健診結果優良者 … 保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
 - 2. 特定保健指導予備群 … 保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。
内臓脂肪蓄積リスク有 … 「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。
内臓脂肪蓄積リスク無 … 「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
 - 3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者 … 受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
 - 4. 医療機関受診勧奨対象者 … 受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。
健診異常値放置者 … 「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。
健診受診治療中者 … 「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため医療機関受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。
- 健診受診なし
- 5. 健診未受診治療中者 … 生活習慣病治療中の者。
 - 6. 治療中断者 … 過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
 - 7. 生活習慣病状態不明者 … 生活習慣病の投薬治療をしていない者。
生活習慣病受診有 … 「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。
生活習慣病受診無 … 「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

2. 疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
I. 感染症及び寄生虫症				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	急性腸炎
0102	結核	肺結核	結核	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	クラミジア子宮頸管炎
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	B型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	流行性角結膜炎	アデノウイルス感染症	サイトメガロウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	爪白癬	白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
II. 新生物<腫瘍>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸カルチノイド	直腸S状部癌
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	肝内胆管癌
0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳房上内側部乳癌
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮頸癌	子宮体癌	子宮内膜癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	慢性骨髄性白血病	急性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	睪癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫	卵巣腫瘍	甲状腺腫瘍
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	血液凝固異常	播種性血管内凝固	出血傾向
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	慢性甲状腺炎
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高コレステロール血症	脂質異常症	高脂血症
0404	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	高尿酸血症	脱水症	卵巣機能不全
V. 精神及び行動の障害				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年期認知症
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	アルコール依存症	ニコチン依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	統合失調感情障害
0504	気分〔感情〕障害(躁うつ病を含む)	うつ病	うつ状態	双極性感情障害
0505	神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	中等度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	注意欠陥多動障害	器質性精神障害	自閉症スペクトラム障害

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr 3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー型老年認知症	アルツハイマー病
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	片麻痺	痙性麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	多系統萎縮症
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	末梢神経障害	神経障害性疼痛
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	急性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	核性白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	近視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	複雑耳垢	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	慢性中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	鼓膜炎	耳管機能低下
0805	メニエール病	メニエール病	内リンパ水腫	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	末梢性めまい症	耳性めまい	良性発作性頭位めまい症
0807	その他の耳疾患	感音難聴	耳鳴症	難聴
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	虚血性心疾患	急性心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	心房細動
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	中大脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	被殻出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳動脈瘤
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	下肢静脈血栓症	末梢循環障害
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻咽頭炎	急性鼻炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	細菌性肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	ウイルス性気管支炎	急性気管支炎

コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	アレルギー性鼻結膜炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	カタル性気管支炎	気管気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	間質性肺炎	慢性咽喉頭炎
X I. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	う蝕第2度	
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯肉炎	歯周炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	胃びらん
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	萎縮性胃炎
1106	痔核	痔核	内痔核	嵌頓痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝硬変	アルコール性肝炎
1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	原発性胆汁性胆管炎
1110	その他の肝疾患	脂肪肝	肝機能障害	肝のう胞
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	胆石性胆のう炎
1112	膵疾患	急性膵炎	慢性膵炎	膵のう胞
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	大腸ポリープ
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿痂疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	接触皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏性湿疹	皮脂欠乏症	じんま疹
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性股関節症	変形性関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板ヘルニア	腰椎椎間板症	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	殿部痛
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	肩こり	関節痛
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	水腎症	腎盂腎炎	慢性糸球体腎炎
1402	腎不全	慢性腎不全	慢性腎臓病	腎性貧血

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	尿路感染症	膀胱炎	過活動膀胱
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	乳腺症	細菌性膣炎
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	異所性妊娠	稽留流産	胎状奇胎
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症
1503	単胎自然分娩	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	切迫早産	子宮内感染症
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	低出生体重児	早産児	極低出生体重児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	新生児低血糖	新生児呼吸障害
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	足底角化症	毛孔性苔癬	尋常性魚鱗癬
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	めまい症	嘔吐症
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	橈骨遠位端骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性頭蓋内出血	外傷性脳出血
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	前腕第2度熱傷
1904	中毒	虫刺性皮膚炎	刺虫症	蜂刺症
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	挫創
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	早期胃癌ESD後	早期胃癌術後	早期胃癌EMR後
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	高齢妊娠	正常妊娠
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	腎移植ドナー	胃瘻開口部に対する手当て	気管切開口に対する手当て
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	眼内レンズ挿入眼	冠動脈ステント植え込み状態	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード	COVID-19	COVID-19肺炎	COVID-19後遺症
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		